

成田市  
学校教育に関するアンケート調査  
報告書

令和4年3月  
成田市教育委員会



成田市学校教育に関するアンケート調査報告書  
—目 次—

<b>第1章 調査の概要</b> .....	1
1. 調査の目的 .....	1
2. 調査の種類および調査対象者 .....	1
3. 調査の設計 .....	1
4. 調査方法 .....	2
5. 調査期間 .....	2
6. 回収結果 .....	2
7. 報告書の見方 .....	2
<b>第2章 小学生調査の結果</b> .....	3
1. あなたについて .....	3
2. 学校について .....	5
3. 放課後や土日の過ごし方について .....	17
4. 家での様子について .....	23
5. 将来について .....	37
<b>第3章 中学生調査の結果</b> .....	48
1. あなたについて .....	48
2. 学校について .....	50
3. 放課後や土日の過ごし方について .....	68
4. 家での様子について .....	77
5. 将来について .....	95
<b>第4章 保護者調査の結果</b> .....	109
1. あなたについて .....	109
2. お子さんへの接し方について .....	113
3. 学校教育について .....	118
4. 教育全般について .....	130
<b>第5章 教職員調査の結果</b> .....	142
1. あなた自身について .....	142
2. 学習指導などの状況について .....	153
3. 学校教育の在り方について .....	165
4. 児童・生徒や地域との関わりについて .....	188

# 第1章 調査の概要

## 1. 調査の目的

本調査は、平成28年3月に策定した「成田市学校教育振興基本計画」の進行管理における数値目標等の現状を把握することを目的として実施しました。

## 2. 調査の種類および調査対象者

調査種別	調査対象者
①小学生調査	市内各公立小学校・義務教育学校に在籍する児童（4・6年生）
②中学生調査	市内各公立中学校・義務教育学校に在籍する生徒（中学2年生・義務教育学校8年生）
③保護者調査	①、②の児童・生徒の保護者
④教職員調査	市内各公立小学校・中学校・義務教育学校に勤務する教職員

## 3. 調査の設計

調査種別	項目	内容
①小学生調査	ア 対象者数	2,412人
	イ 抽出方法	市内各公立小学校・義務教育学校に在籍する児童の4・6年生を対象とした。
	ウ 調査地域	成田市内
②中学生調査	ア 対象者数	1,174人
	イ 抽出方法	市内各公立中学校・義務教育学校に在籍する生徒の中学2年生・義務教育学校8年生を対象とした。
	ウ 調査地域	成田市内
③保護者調査	ア 対象者数	3,586人
	イ 抽出方法	調査対象の児童・生徒の保護者を対象とした。
	ウ 調査地域	成田市内
④教職員調査	ア 対象者数	961人
	イ 抽出方法	市内各公立小学校・中学校・義務教育学校に勤務する全ての教職員を対象とした。
	ウ 調査地域	成田市内

#### 4. 調査方法

調査種別	発送	回収
①小学生調査	各学校を通じて配布	各学校を通じて回収
②中学生調査		
③保護者調査		
④教職員調査		

#### 5. 調査期間

令和3年9月3日～令和3年9月22日

#### 6. 回収結果

調査種別	①発送数（通）	②回収数（通）	③回収率（％）
①小学生調査	2,412	2,344	97.2%
②中学生調査	1,174	1,097	93.4%
③保護者調査	3,586	3,270	91.2%
④教職員調査	961	855	89.0%
合計	8,133	7,566	93.0%

#### 7. 報告書の見方

①図表中の「n」（=number）は、設問への回答者数を示しています。

②集計した数値（％）は小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示しています。そのため、質問に対する回答の選択肢が1つだけの場合、選択肢の数値（％）をすべて合計しても、100.0%にならない場合があります。

③回答者数を分母として割合（％）を計算しているため、複数回答の場合には、各選択肢の割合を合計すると100%を超えることがあります。

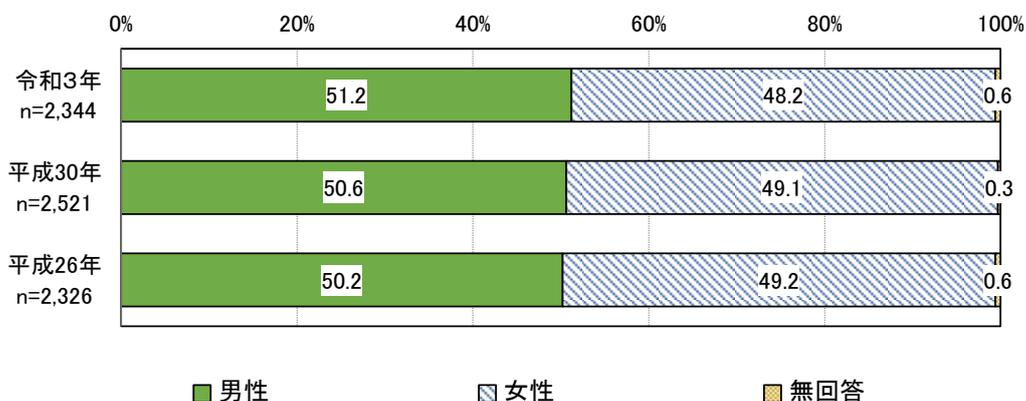
④回答が少数である場合の比率については、特定の傾向が強く反映される場合があります。

## 第2章 小学生調査の結果

### 1. あなたについて

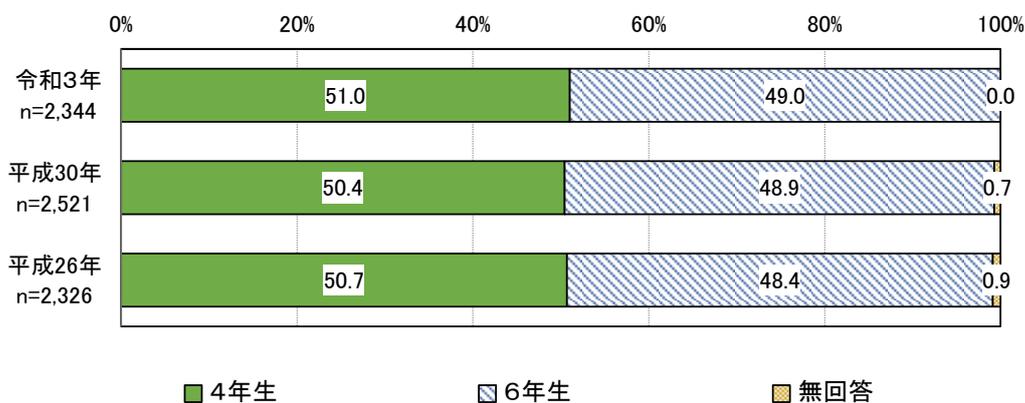
問1 あなたの性別はどちらですか。(1つだけ〇)

性別については、「男性」が51.2%、「女性」が48.2%となっています。



問2 あなたは何年生ですか。(1つだけ〇)

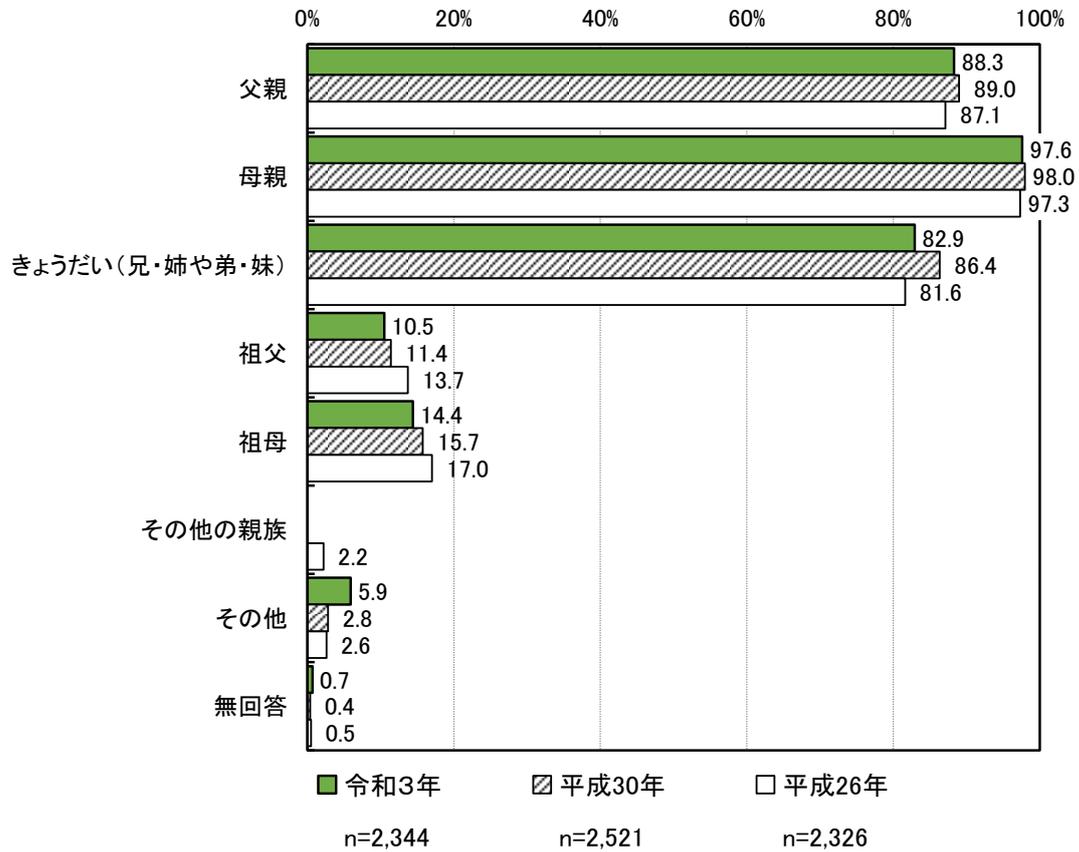
学年については、「小学4年生」が51.0%、「小学6年生」が49.0%となっています。



問3 あなたがいっしょに住んでいる家族はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

いっしょに住んでいる家族については「母親」が97.6%で最も多く、次いで「父親」が88.3%、「きょうだい(兄・姉や弟・妹)」が82.9%、「祖母」が14.4%、「祖父」が10.5%などとなっています。

平成30年度の調査と比較すると、「祖父」と「祖母」が減少しています。

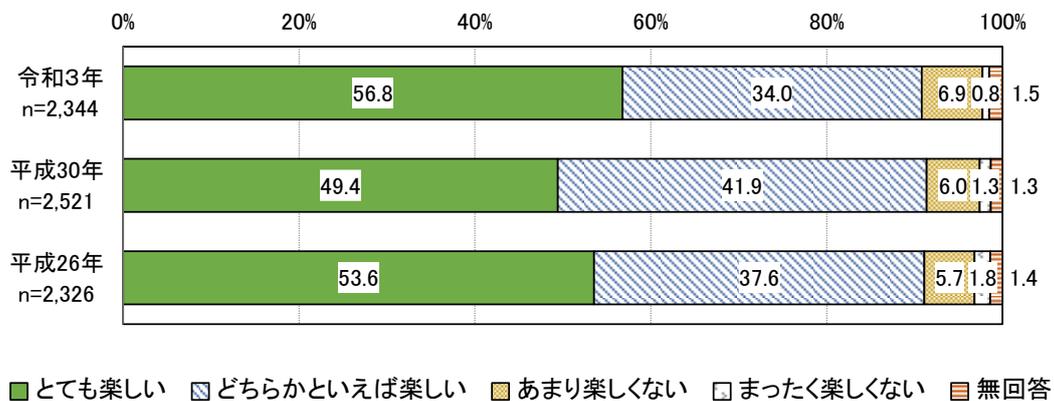


## 2. 学校について

### 問4 学校生活は楽しいですか。(1つだけ〇)

学校生活が楽しいかについては、「とても楽しい」が56.8%、「どちらかといえば楽しい」が34.0%、「あまり楽しくない」が6.9%、「まったく楽しくない」が0.8%となっています。

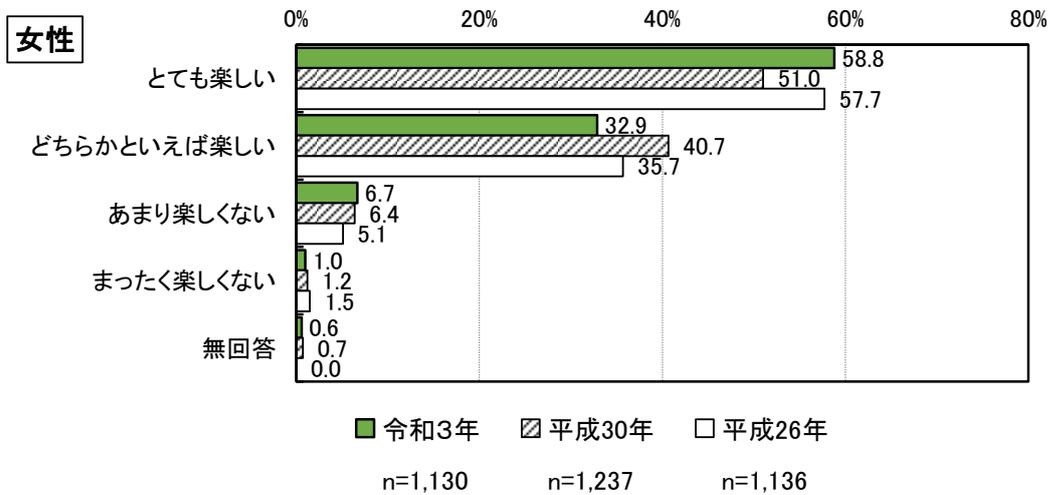
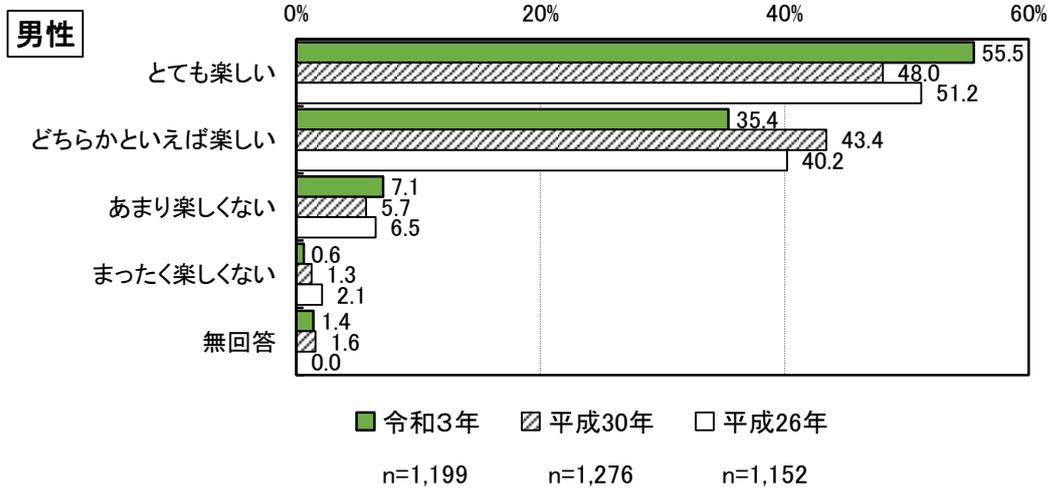
平成30年度の調査と比較すると、本調査では「とても楽しい」が増加しています。



【性別】

学校生活を楽ししいかについて性別でみると、「男性」「女性」とともに「とても楽しい」「どちらかといえば楽しい」を合わせると9割となっています。

平成30年度の調査と比較すると、本調査では男女ともに「とても楽しい」が増加しています。

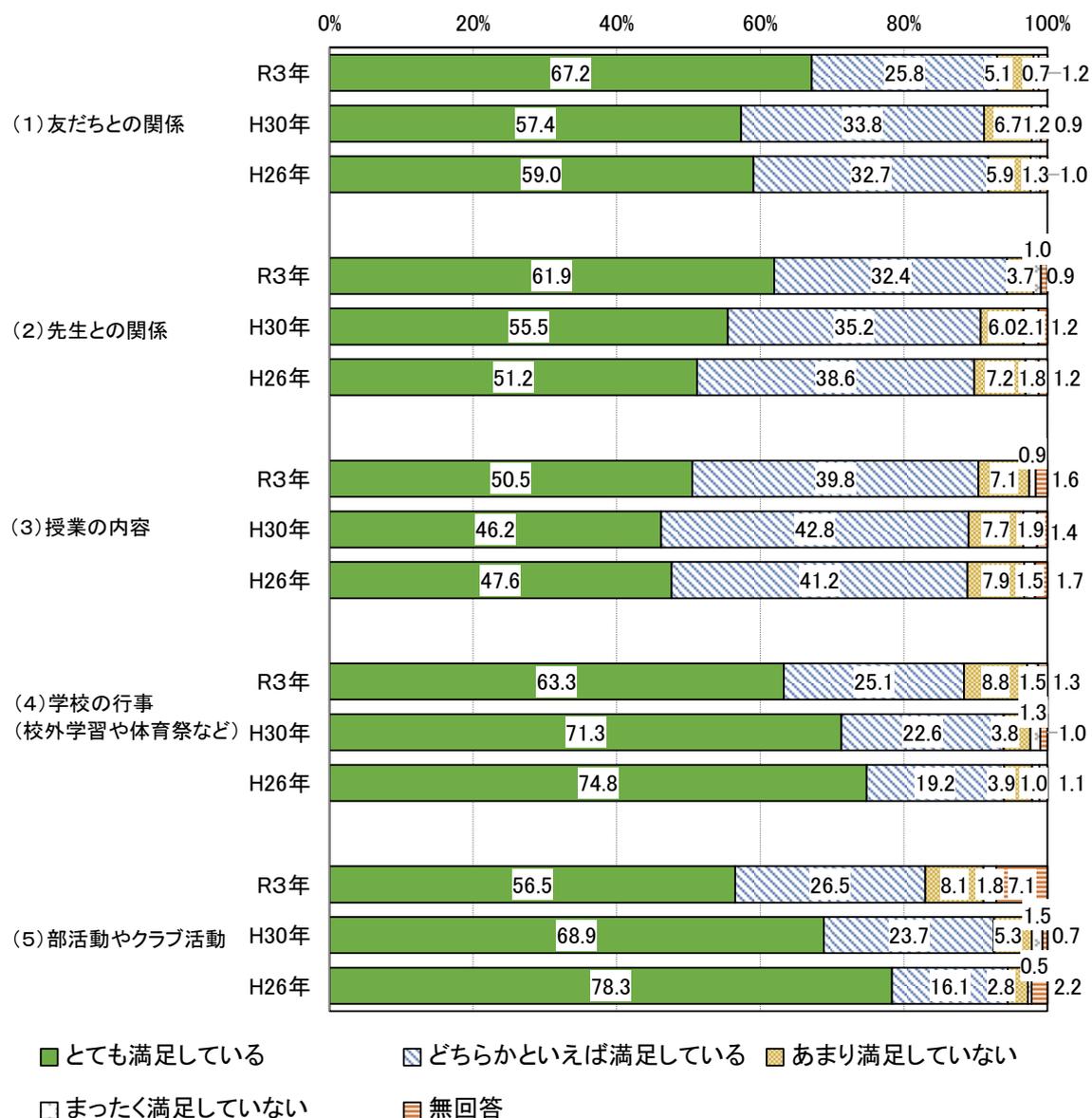


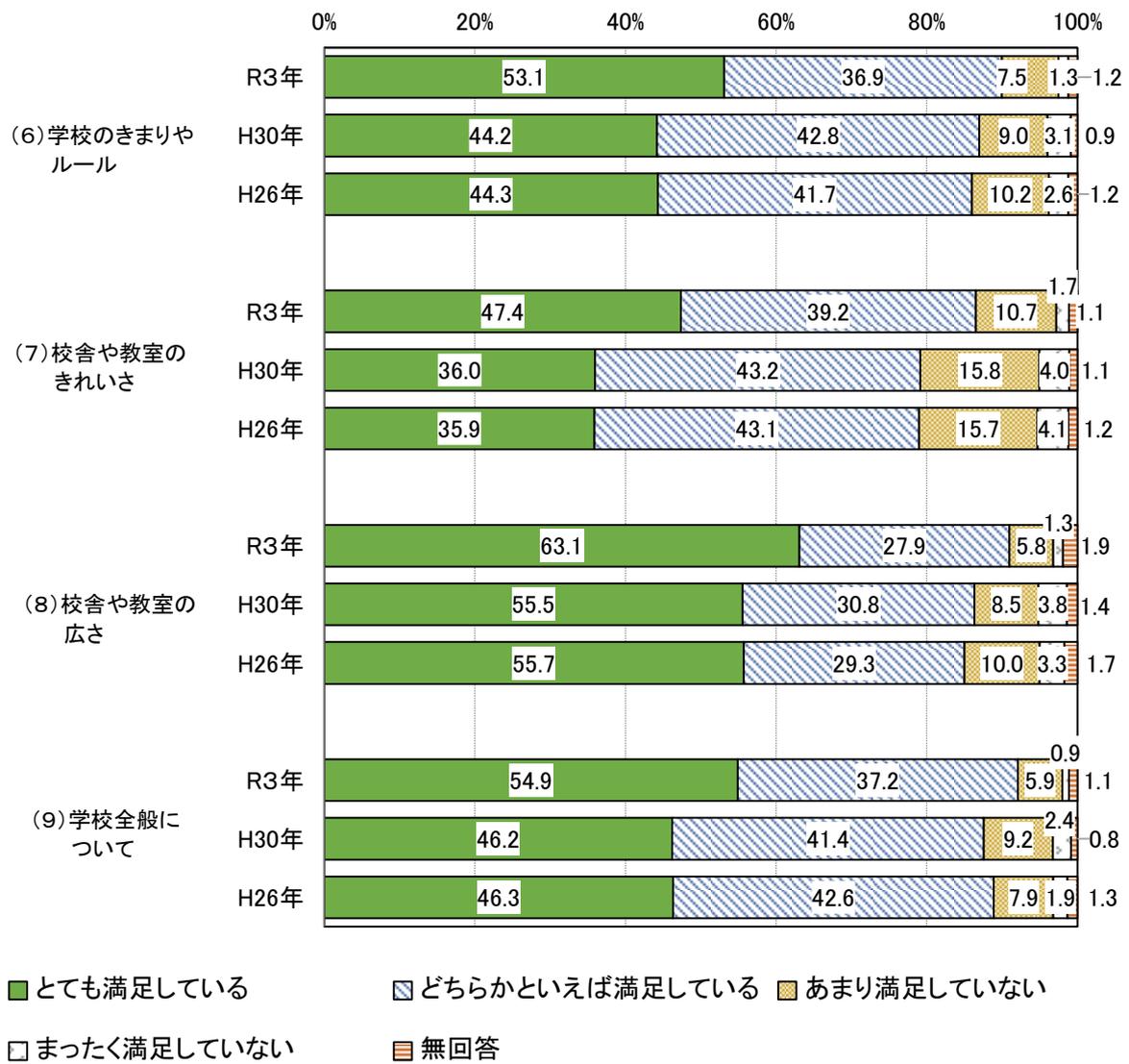
問5 あなたは、学校生活に関する次のようなことに、どのくらい満足していますか。

(それぞれにひとつずつ〇)

学校生活に関する満足度については“(1) 友だちとの関係”“(2) 先生との関係”“(4) 学校の行事(校外学習や体育祭など)”“(8) 校舎や教室の広さ”で6割以上が「とても満足」と回答しており、「どちらかといえば満足している」を合わせるといずれも9割近くとなっています。他の項目についても「とても満足している」と「どちらかといえば満足している」の割合が高く、2つを合わせた『満足』は、最も低い“(5) 部活動やクラブ活動”でも8割を超えています。また、“(9) 学校全般について”では、「とても満足している」「どちらかといえば満足している」を合わせた『満足』は9割を超えています。

なお、平成30年度の調査と比較すると、本調査ではほとんどの項目で「とても満足」が大きく増加している一方で、“(4) 学校の行事(校外学習や体育祭など)”“(5) 部活動やクラブ活動”は減少しています。

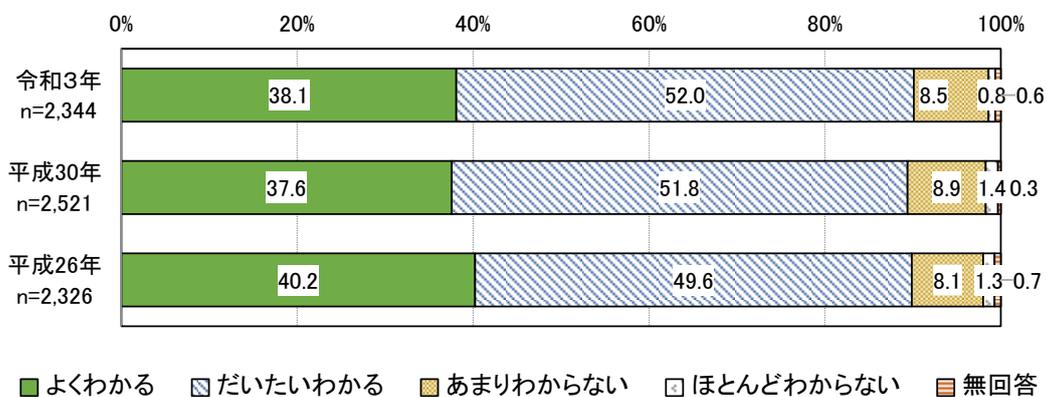




問6 あなたは、学校の授業がどのくらいわかりますか。(1つだけ〇)

学校の授業がどのくらい分かるかについては、「よくわかる」が38.1%、「だいたいわかる」が52.0%、「あまりわからない」が8.5%、「ほとんどわからない」が0.8%となっています。

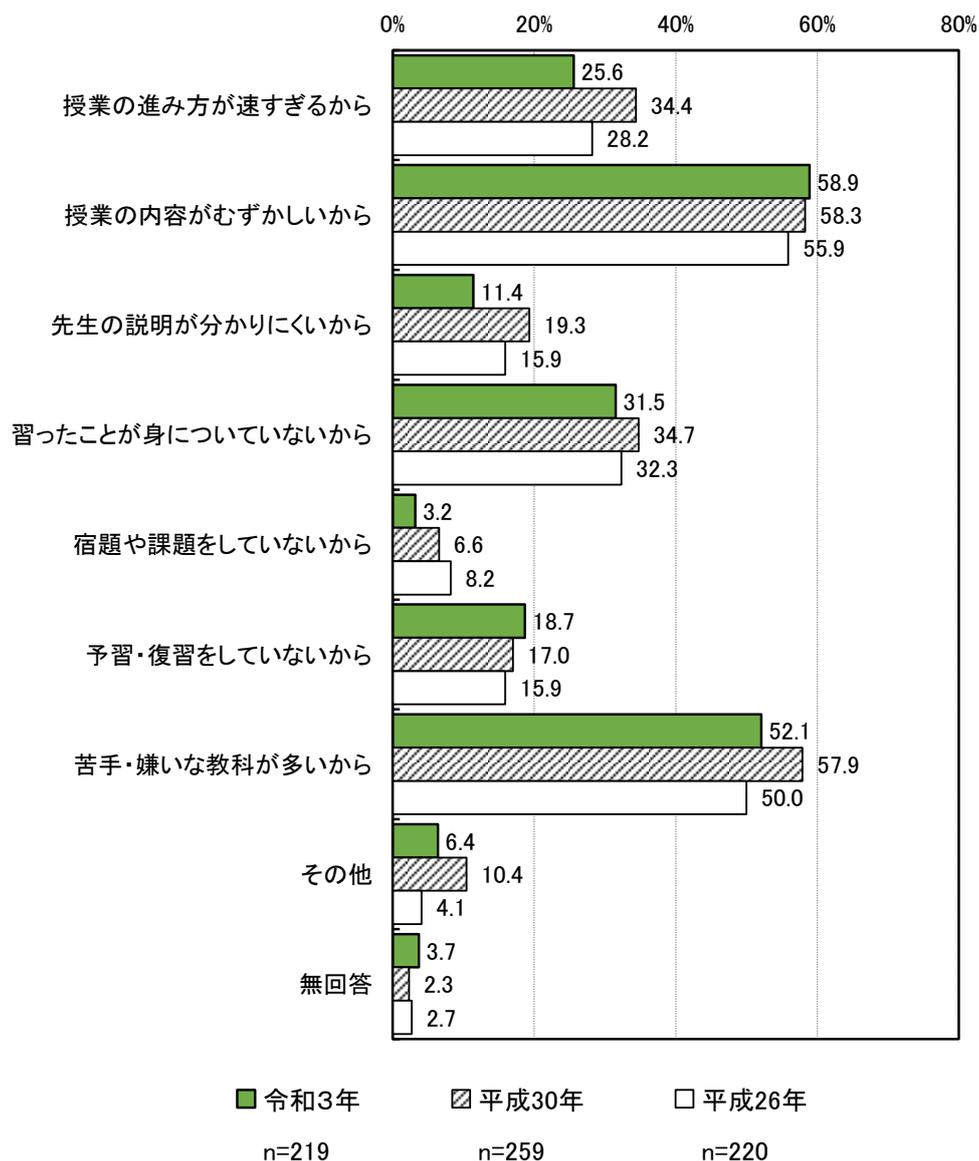
平成30年度の調査と比較すると、本調査では「よくわかる」「だいたいわかる」が微増しています。



問7 授業がわからない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

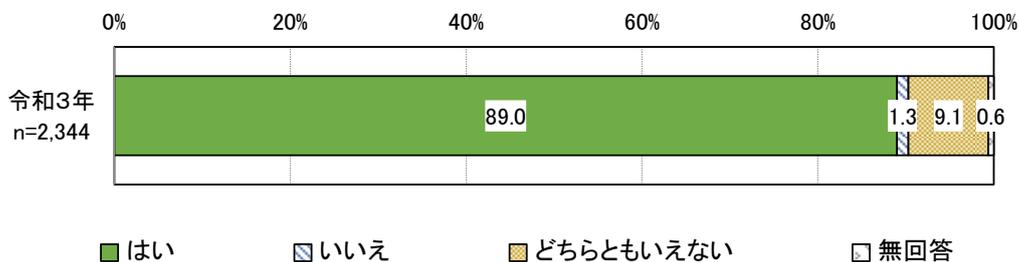
授業がわからない理由については、「授業の内容がむずかしいから」が58.9%で最も多く、次いで「苦手・嫌いな教科が多いから」が52.1%、「習ったことが身につけていないから」が31.5%、「授業の進み方が速すぎるから」が25.6%などとなっています。

平成30年度の調査と比較すると、本調査では「授業の内容がむずかしいから」と「予習・復習をしていないから」の割合が増加しています。



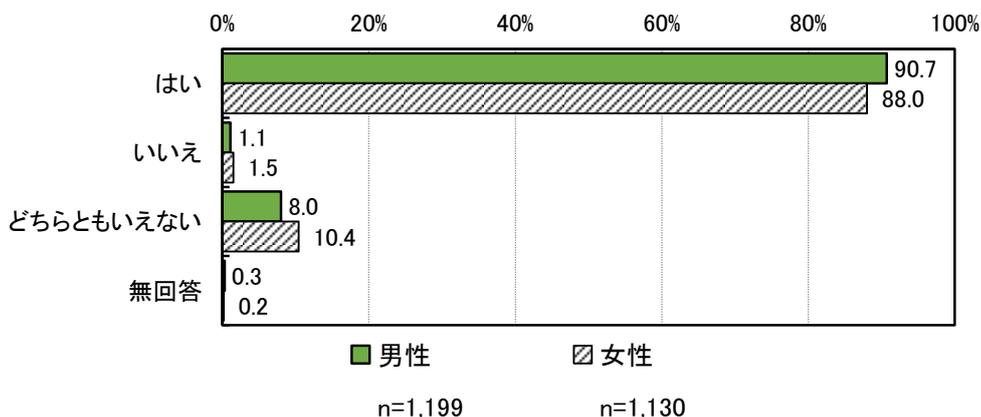
問8 コンピュータやタブレットを使った授業は、楽しいですか。(1つだけ〇)

コンピュータやタブレットを使った授業は楽しいかについては、「はい」が89.0%、「いいえ」が1.3%、「どちらともいえない」が9.1%となっています。



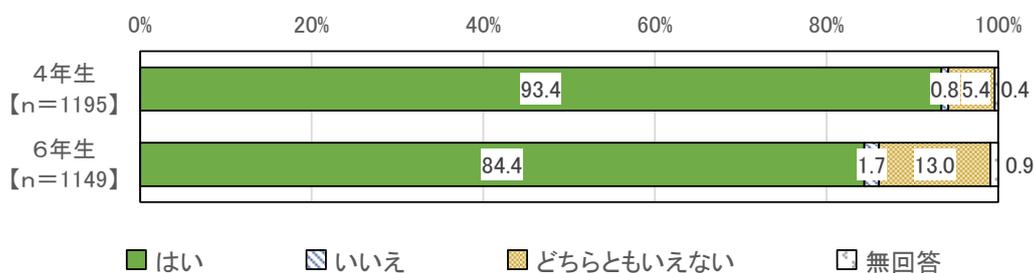
【性別】

コンピュータやタブレットを使った授業は楽しいかについて性別でみると、“男性” “女性”ともに「はい」が約9割となっています。



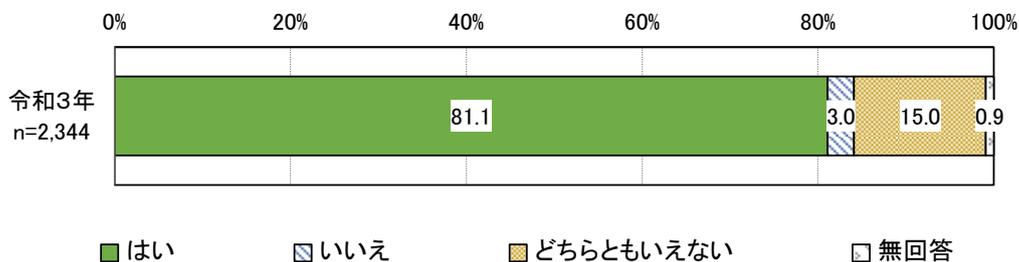
【学年別】

コンピュータやタブレットを使った授業は楽しいかについて学年別でみると、“4年生”の9割、“6年生”の8割が「はい」と回答しています。



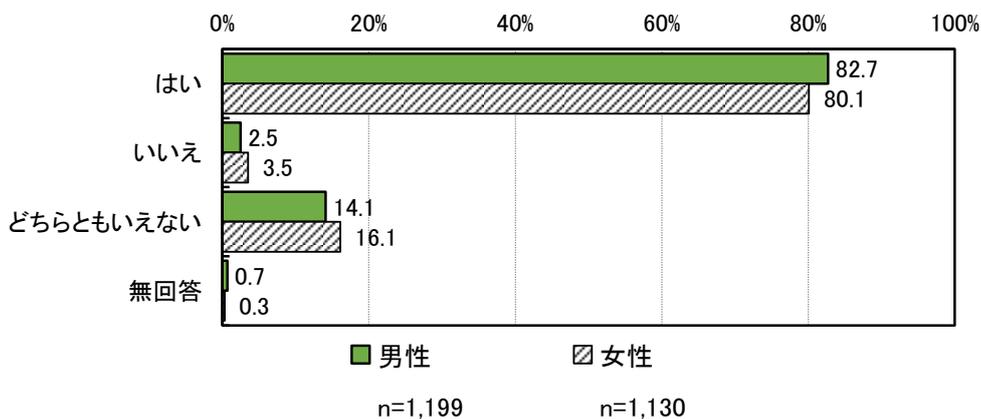
問9 コンピュータやタブレットを使った授業は、わかりやすいですか。(1つだけ○)

コンピュータやタブレットを使った授業は、わかりやすいかについては、「はい」が81.1%、「いいえ」が3.0%、「どちらともいえない」が15.0%となっています。



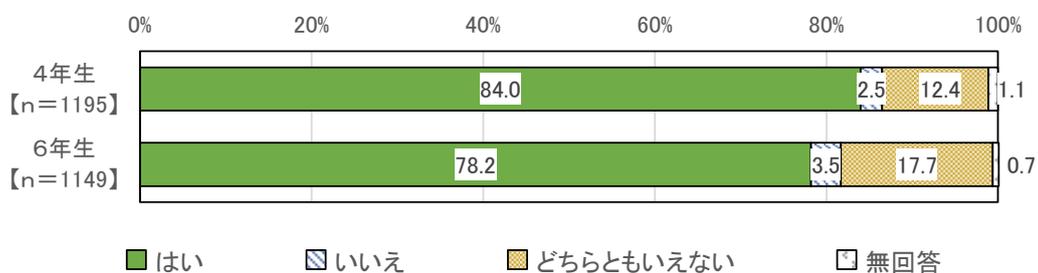
【性別】

コンピュータやタブレットを使った授業はわかりやすいかについて性別でみると、“男性” “女性”ともに「はい」が約8割となっています。



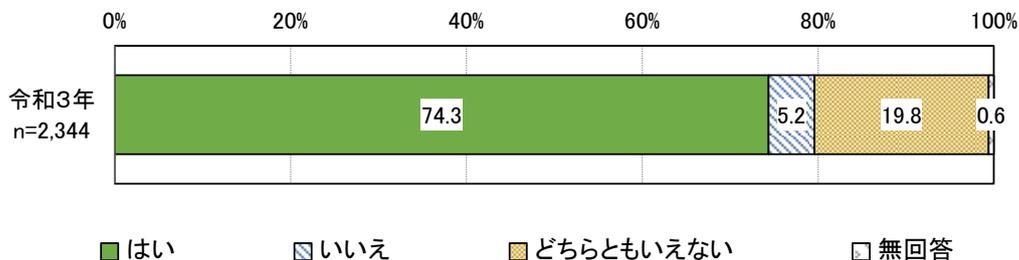
【学年別】

コンピュータやタブレットを使った授業はわかりやすいかについて学年別でみると、“4年生”の8割半は、“6年生”の8割近くが「はい」と回答しています。



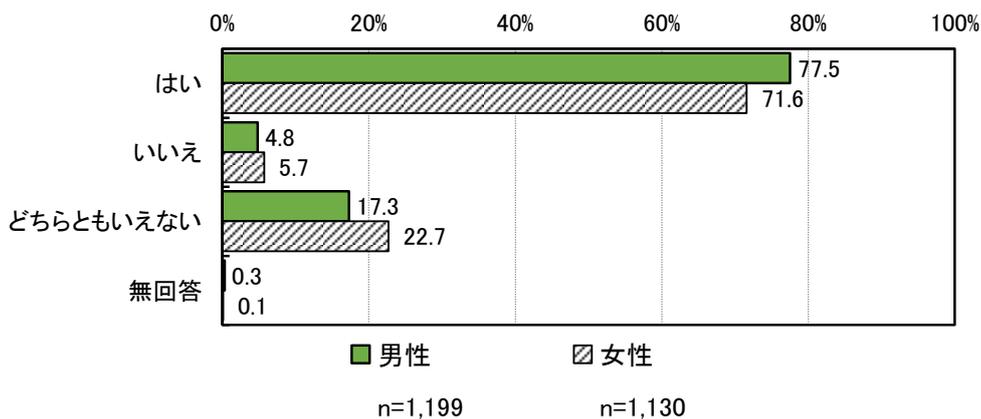
問10 コンピュータやタブレットをもっと使ってほしいですか。(1つだけ○)

コンピュータやタブレットをもっと使ってほしいかについては、「はい」が74.3%、「いいえ」が5.2%、「どちらともいえない」が19.8%となっています。



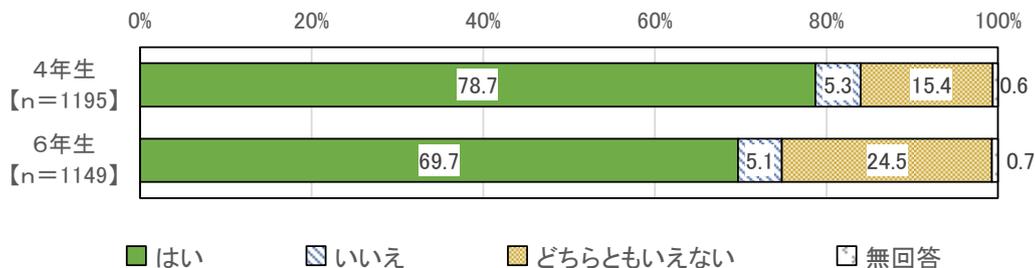
【性別】

コンピュータやタブレットをもっと使ってほしいかについて性別でみると、“男性”は8割近く“女性”とともに「はい」が7割を超えています。



【学年別】

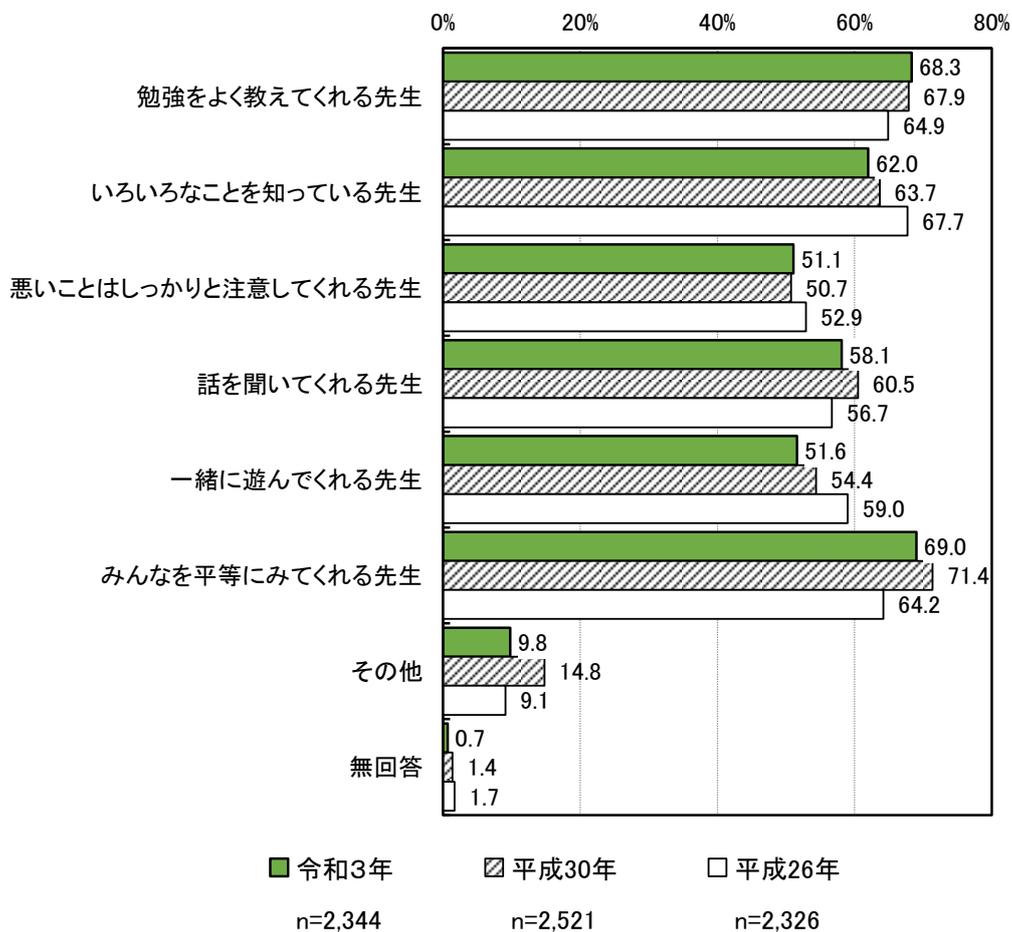
コンピュータやタブレットをもっと使ってほしいかについて学年別でみると、“4年生”の8割近く、“6年生”の7割近くが「はい」と回答しています。



問 11 あなたは、どのような先生に教わりたいですか。(あてはまるものすべてに○)

どのような先生に教わりたいかについては、「みんなを平等にみてる先生」が69.0%で最も多く、次いで「勉強をよく教えてくれる先生」が68.3%、「いろいろなことを知っている先生」が62.0%、「話を聞いてくれる先生」が58.1%などとなっています。

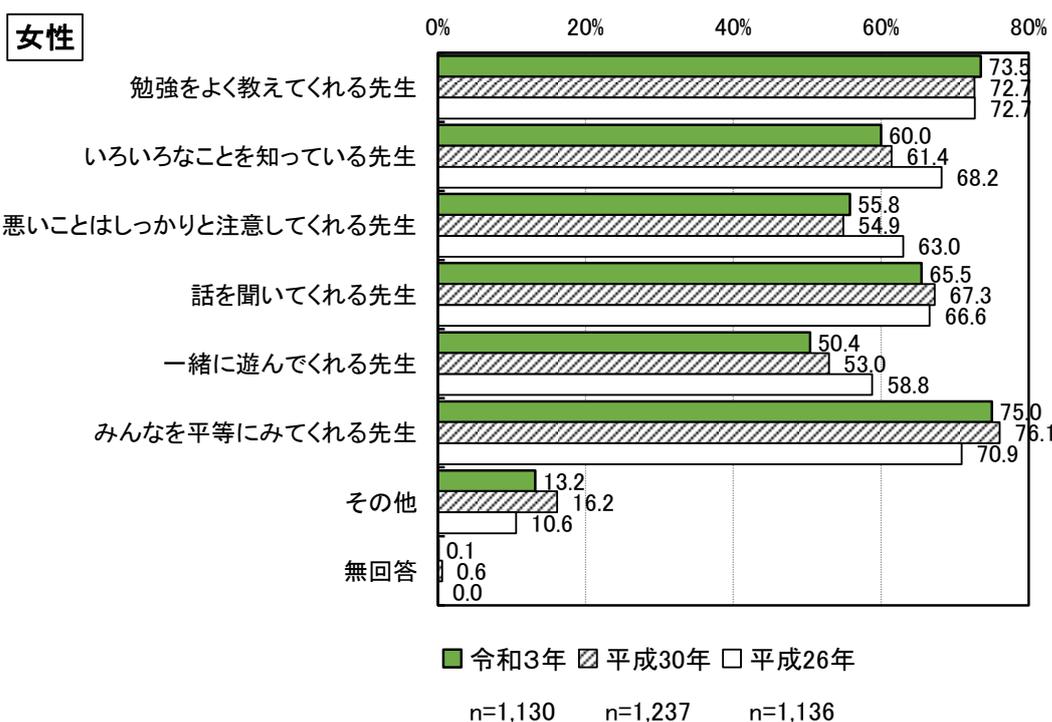
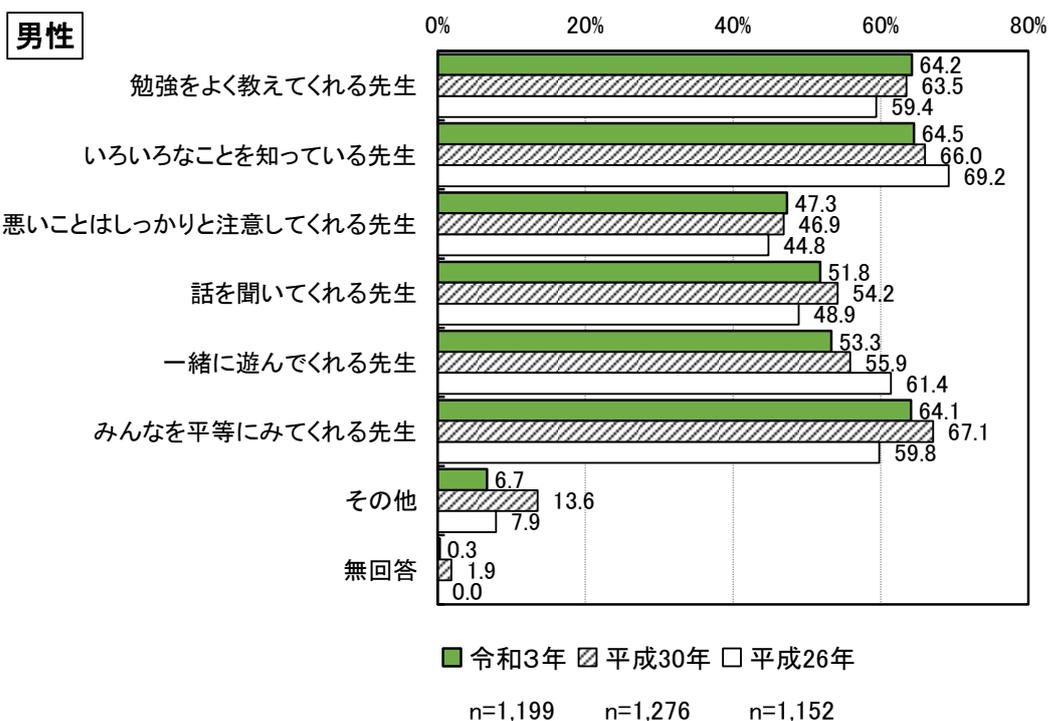
また、平成30年度の調査と同様の傾向がうかがえます。



## 【性別】

性別で見ると、“女性”は「その他」以外のすべての項目において5割を超えており、「みんなを平等に見てくれる先生」や「勉強をよく教えてくれる先生」では7割を超えています。

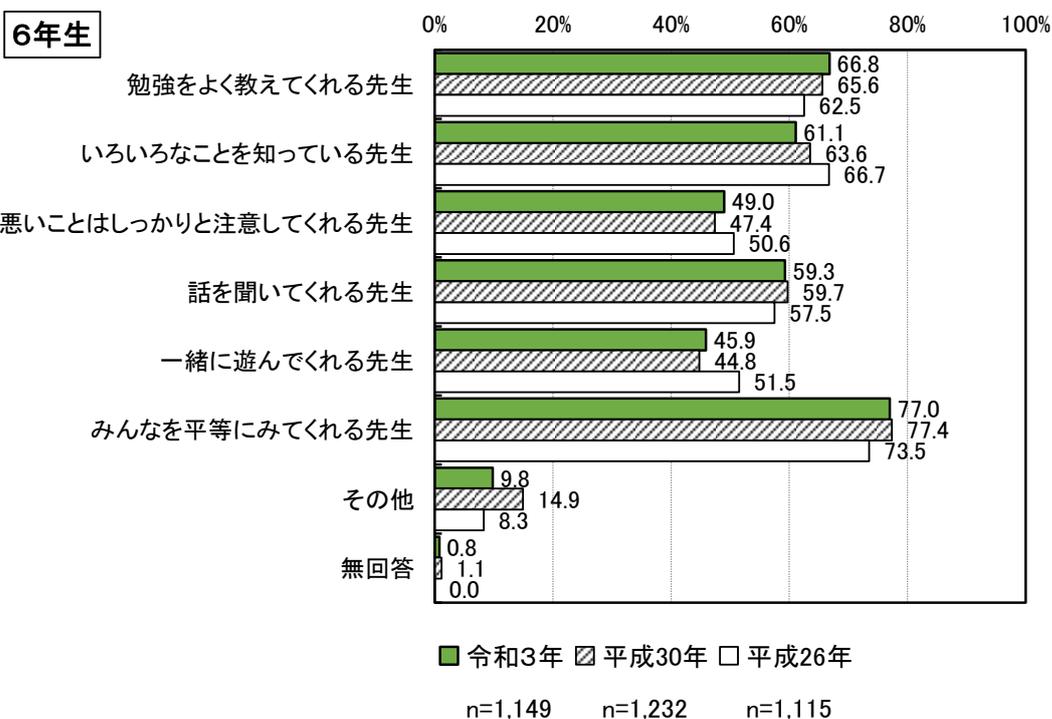
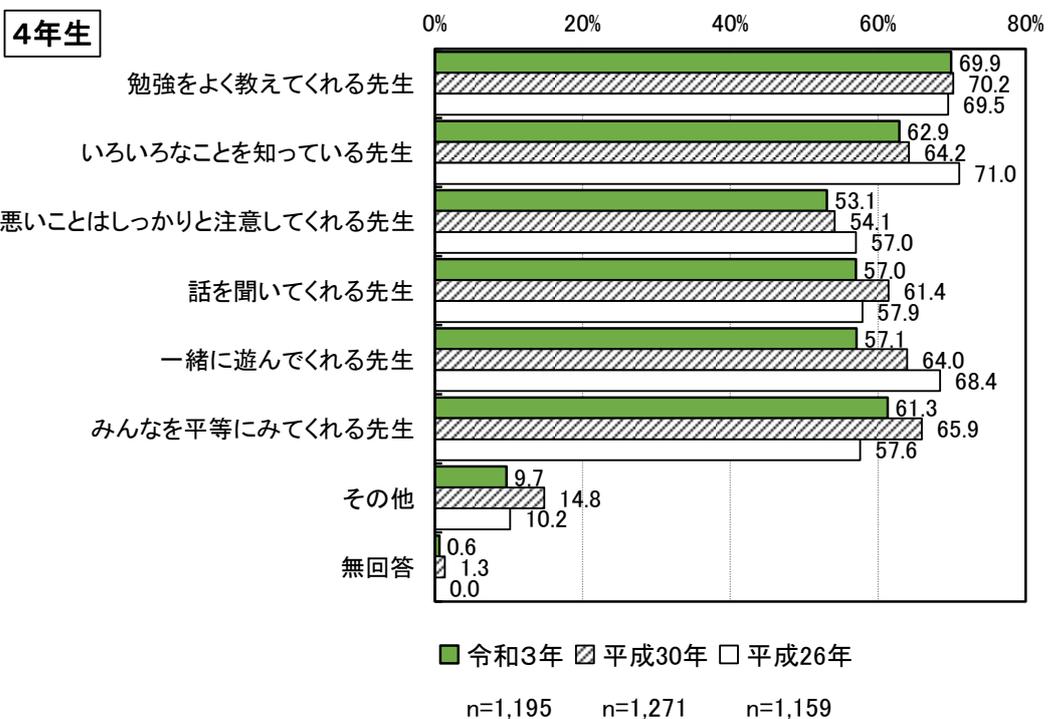
なお、平成30年度の調査では“男性”“女性”ともに「みんなを平等に見てくれる先生」が最も多かったのに対し、本調査では、“男性”は「いろいろなことを知っている先生」が最も多く、“女性”は前回同様「みんなを平等に見てくれる先生」が最も多くなっています。



## 【学年別】

学年別でみると、“4年生”では「勉強をよく教えてくれる先生」が7割近くとなっています。一方、“6年生”では「みんなを平等にみてくれる先生」が8割近くとなります。

平成30年度の調査、本調査ともに“4年生”では「勉強をよく教えてくれる先生」、「6年生」では「みんなを平等にみてくれる先生」が最も多くなっています。

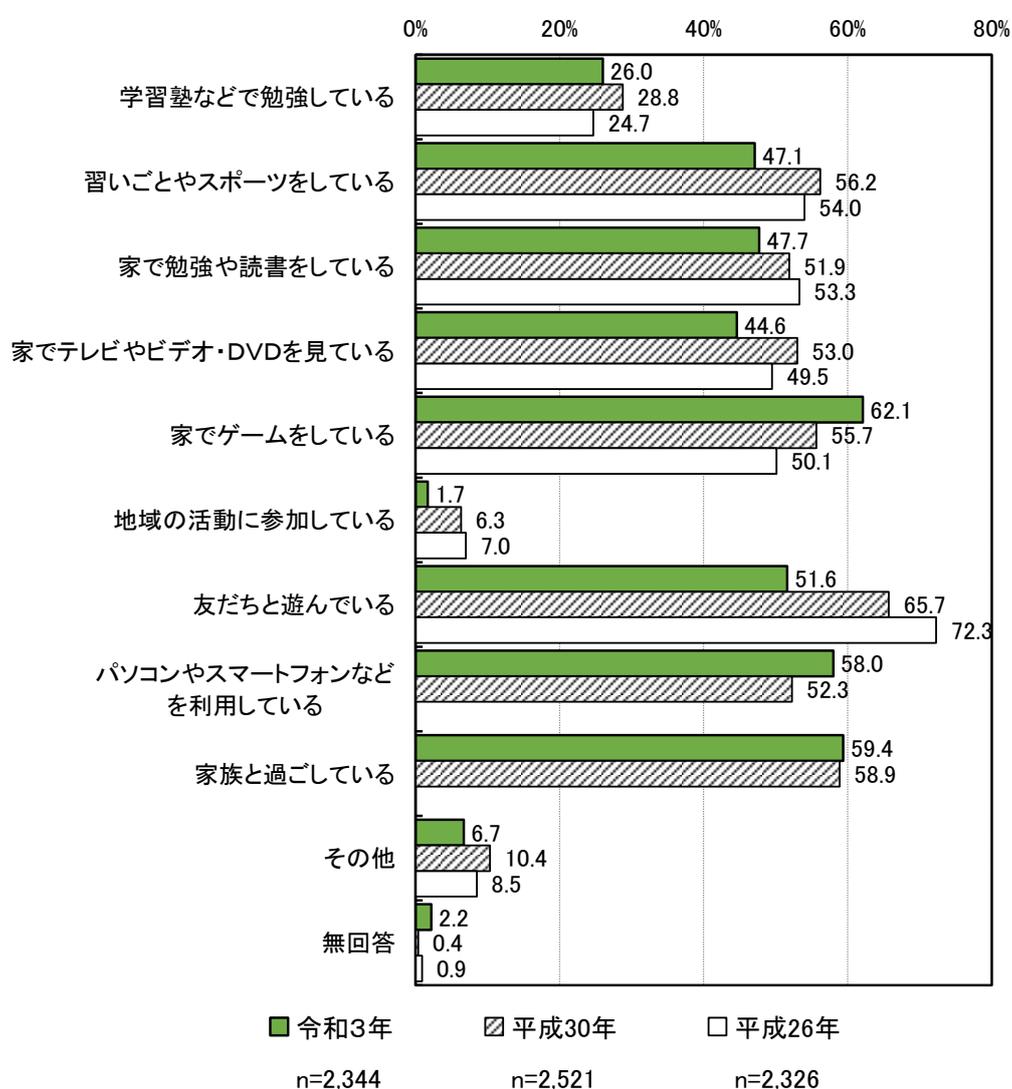


### 3. 放課後や土日の過ごし方について

問 12 あなたは、ふだん放課後に何をしてお過ごしことが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

ふだんの放課後の過ごし方については、「家でゲームをしている」が62.1%で最も多く、次いで「家族と過ごしている」が59.4%、「パソコンやスマートフォンなどを利用している」が58.0%、「友だちと遊んでいる」が51.6%、「家で勉強や読書をしている」が47.7%などとなっています。

平成30年度の調査と比較すると、本調査では「家でゲームをしている」「パソコンやスマートフォンなどを利用している」「家族と過ごしている」が増加している一方で、「友だちと遊んでいる」が大幅に減少しています。

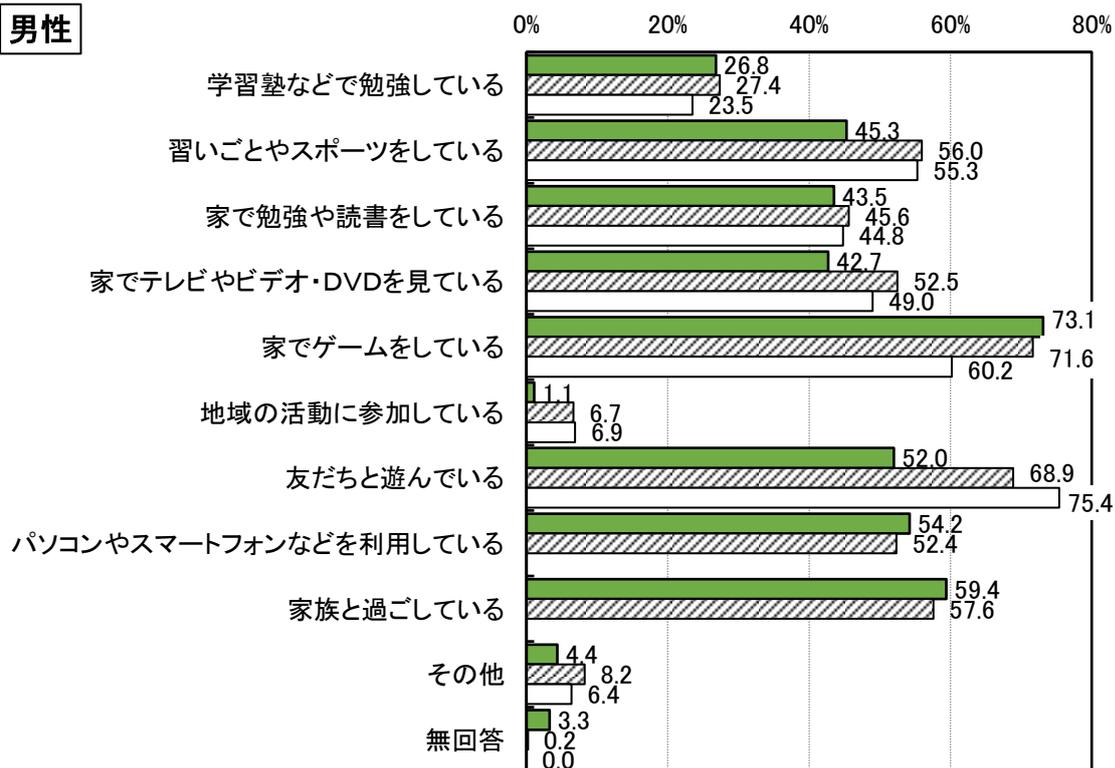


## 【性別】

性別で見ると、“男性”は「家でゲームをしている」、「女性」は「パソコンやスマートフォンなどを利用している」が最も多くなっています。

平成30年度の調査では、“男性”は「家でゲームをしている」、「女性」は「友だちと遊んでいる」が最も多かったのに対し、本調査では“男性”は「家でゲームをしている」、「女性」は「パソコンやスマートフォンなどを利用している」が最も多くなっています。また、「友だちと遊んでいる」が大幅に減少しています。

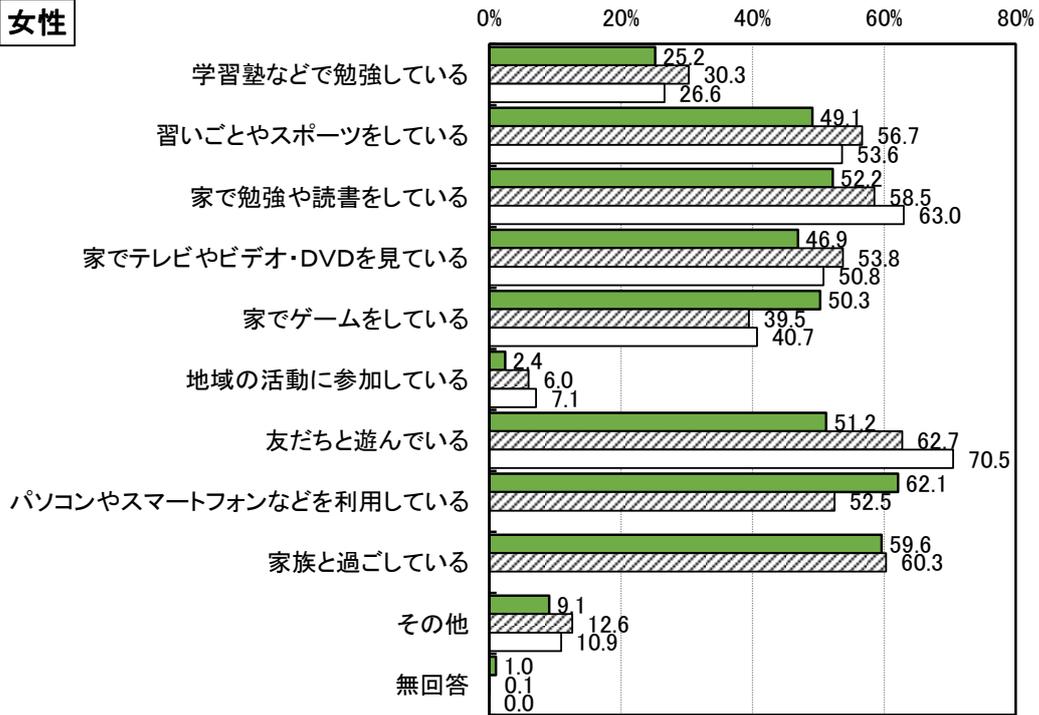
### 男性



■ 令和3年 ■ 平成30年 □ 平成26年

n=1,199    n=1,276    n=1,152

**女性**



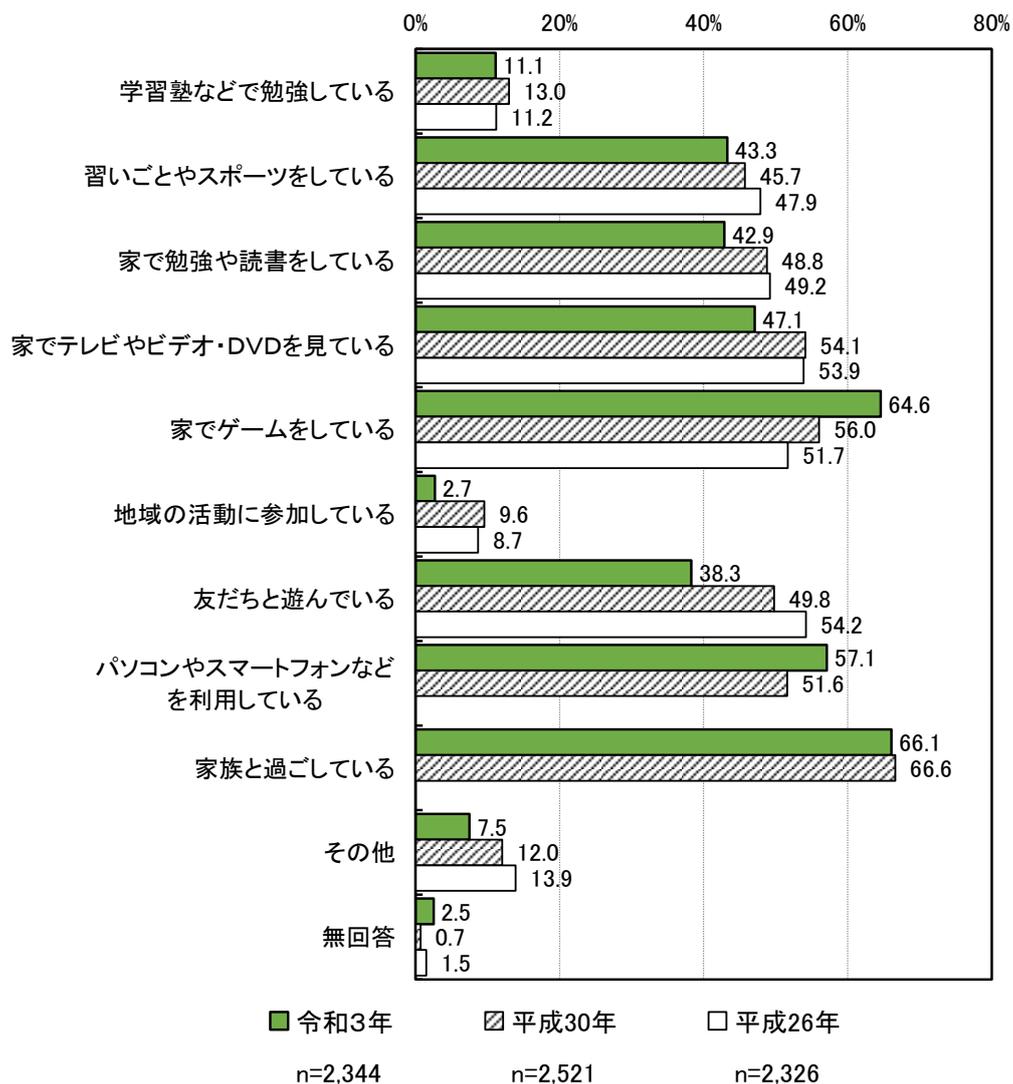
■ 令和3年 ▨ 平成30年 □ 平成26年

n=1,130    n=1,237    n=1,136

問 13 あなたは、土曜日や日曜日に何をしてお過ごしことが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

土曜日や日曜日にどのような過ごし方をしているかについては、「家族と過ごしている」が66.1%で最も多く、次いで「家でゲームをしている」が64.6%、「パソコンやスマートフォンなどを利用している」が57.1%などとなっています。

平成30年度の調査、本調査ともに「家族と過ごしている」が最も多くなっています。また、「家でゲームをしている」「パソコンやスマートフォンなどを利用している」は増加しており、「友だちと遊んでいる」が大幅に減少しています。

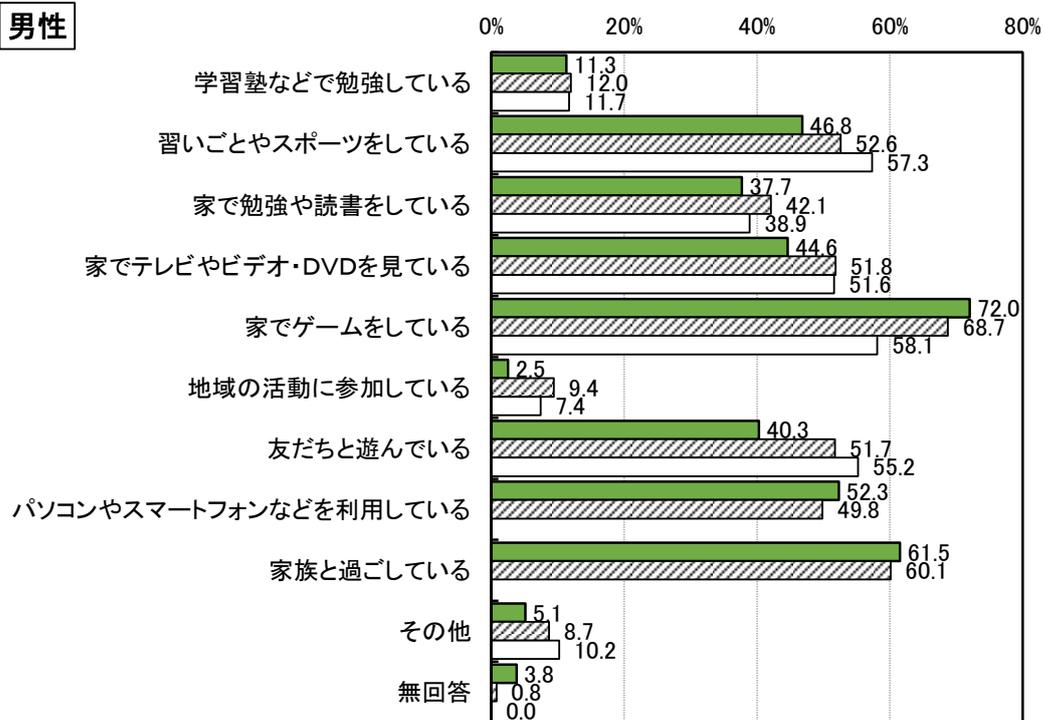


## 【性別】

性別で見ると、「家でゲームをしている」や「習いごとやスポーツをしている」では“男性”の割合が高く、「パソコンやスマートフォンなどを利用している」や「家族と過ごしている」では“女性”の割合が高くなっています。

平成30年度の調査と比較すると、“男性”“女性”ともに「友だちと遊んでいる」が大幅に減少しています。そのなかで、“女性”の「家でゲームをしている」が大きく増加しています。

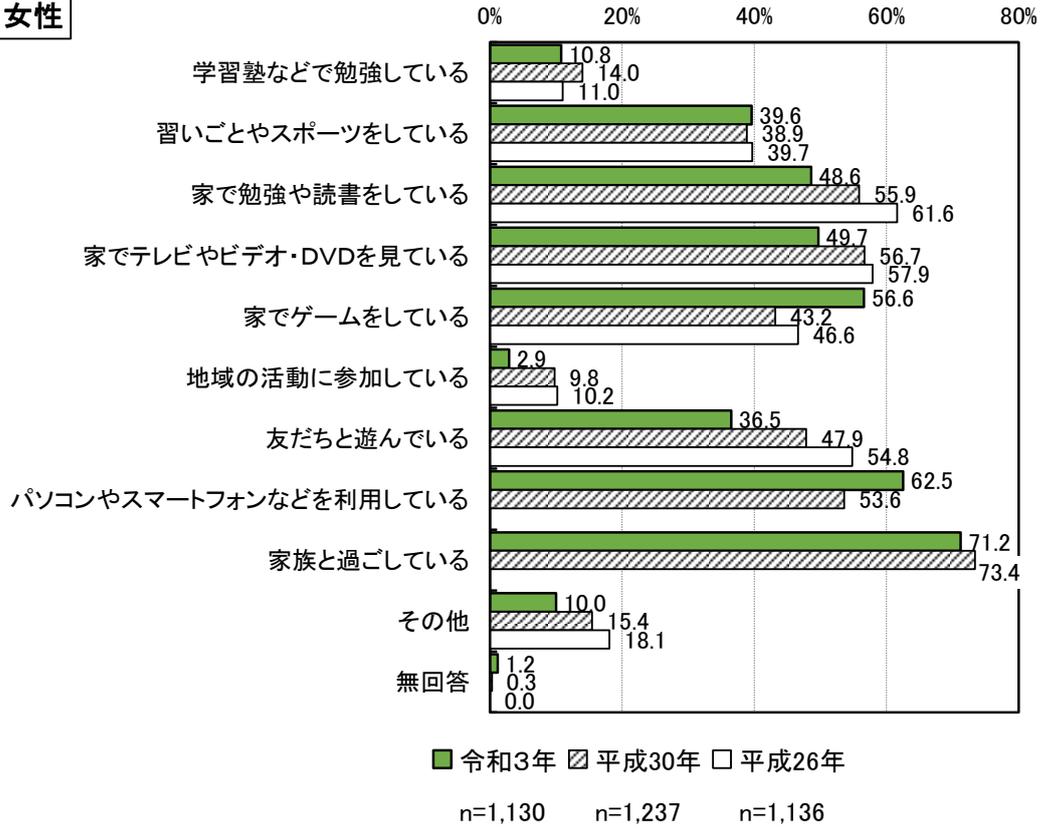
### 男性



■ 令和3年    ▨ 平成30年    □ 平成26年

n=1,199    n=1,276    n=1,152

女性



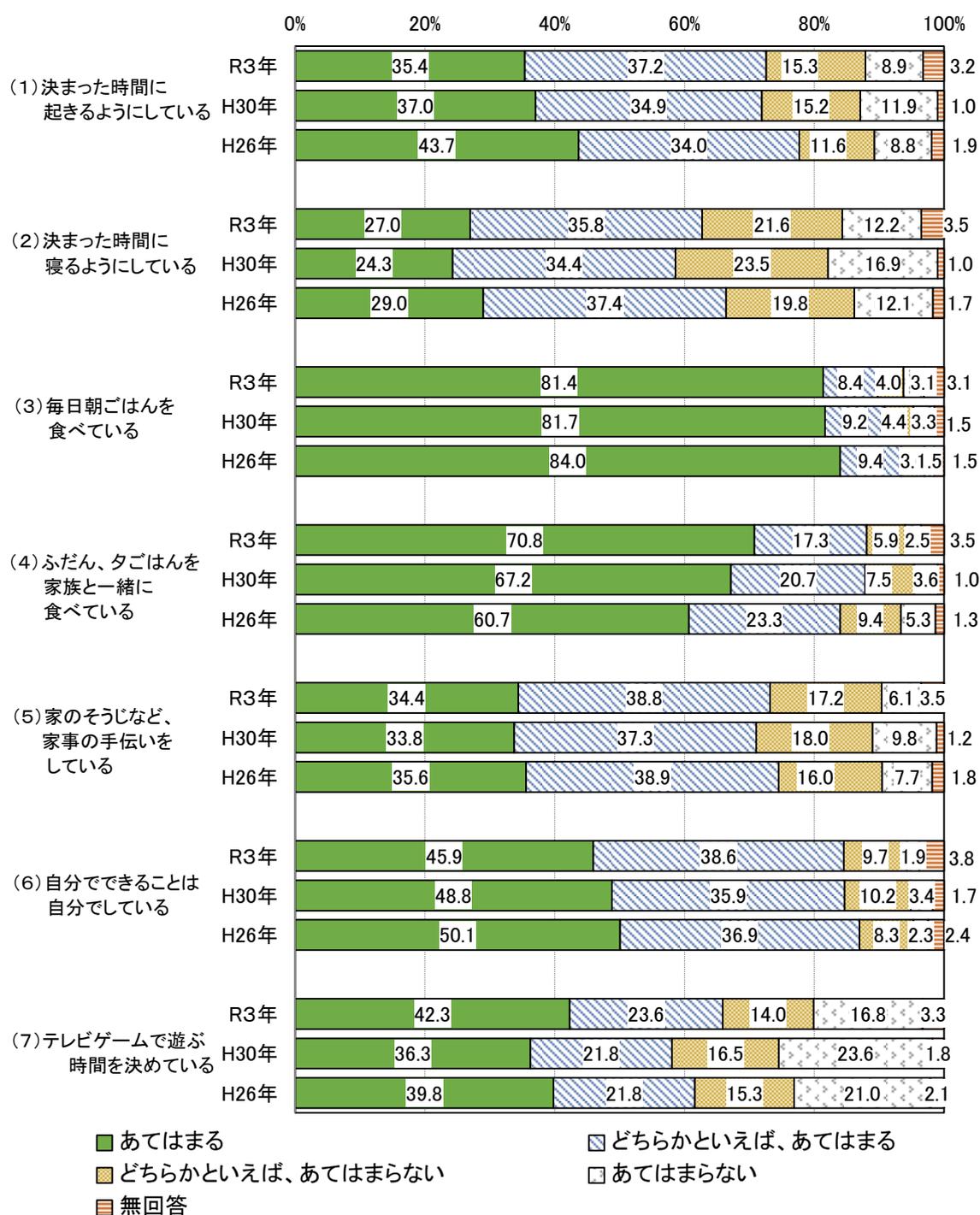
## 4. 家での様子について

問 14 つぎのうち、あなたのふだんの生活に当てはまるのはどのようなことですか。

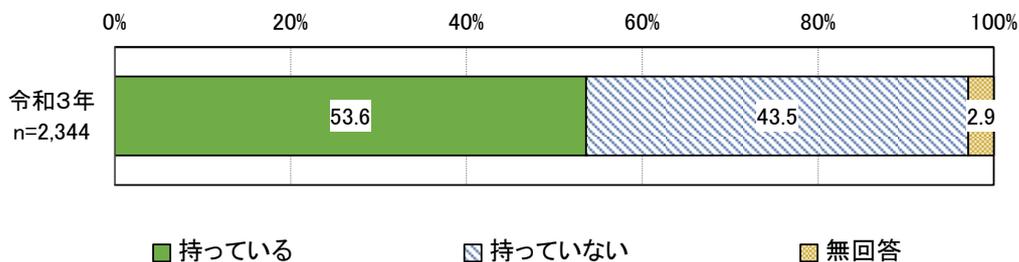
(それぞれに1つずつ〇)

ふだんの生活に当てはまるものについて、「あてはまる」では“(3) 毎日朝ごはんを食べている”で8割を超え、“(4) ふだん、夕ごはんを家族と一緒に食べている”で7割となっています。一方、「あてはまらない」では“(7) テレビゲーム(コンピュータゲームや携帯式のゲームを含む)で遊ぶ時間を決めている”で1割半ばとなっています。

平成30年度の調査と比較すると、「あてはまる」では、“(6) 自分でできることは自分でしている”と“(1) 決まった時間に起きるようにしている”が減少し、“(4) ふだん夕ごはんを家族と一緒に食べている”と“(7) テレビゲームで遊ぶ時間を決めている”が増加しています。

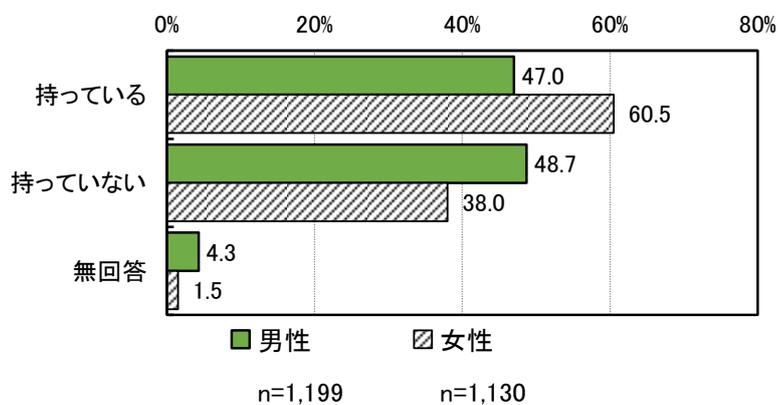


問 15 あなたは、自分だけの携帯電話やスマートフォンを持っていますか。(1つだけ○)  
 自分だけの携帯電話やスマートフォンを持っているかについては、「持っている」が53.6%、「持っていない」が43.5%となっています。



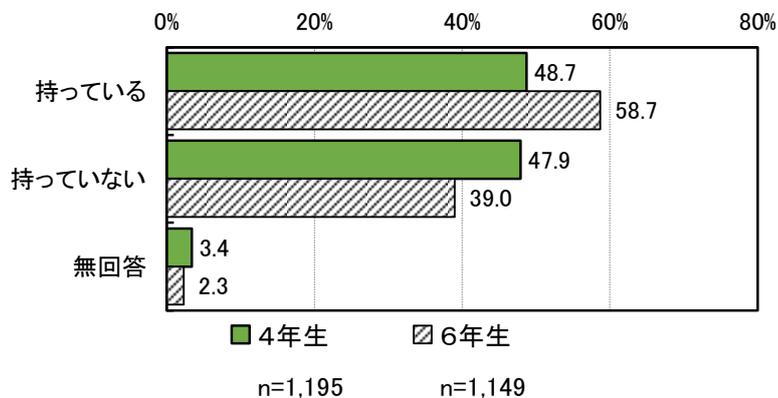
【性別】

性別でみると、「持っている」では“女性”が6割と“男性”と比べて割合が高くなっています。



【学年別】

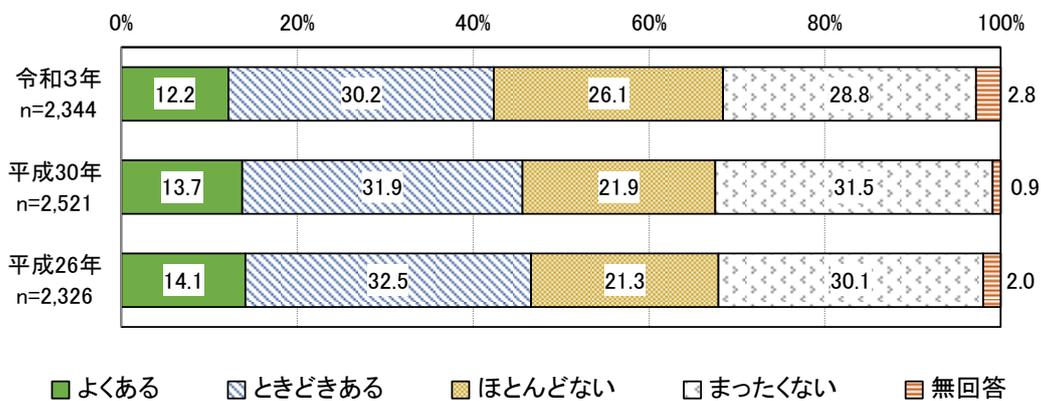
学年別でみると、「持っている」では“6年生”が6割と“4年生”と比べてやや高い割合となっています。



問 16 あなたは、心配ごとなどで不安に感じることがありますか。(1つだけ〇)

心配ごとなどで不安を感じることは、「ときどきある」が最も多く 30.2%、次いで「まったくない」が 28.8%、「ほとんどない」が 26.1%、「よくある」が 12.2%となっています。

平成 30 年度の調査と比較すると、「よくある」「ときどきある」の割合が減少しています。

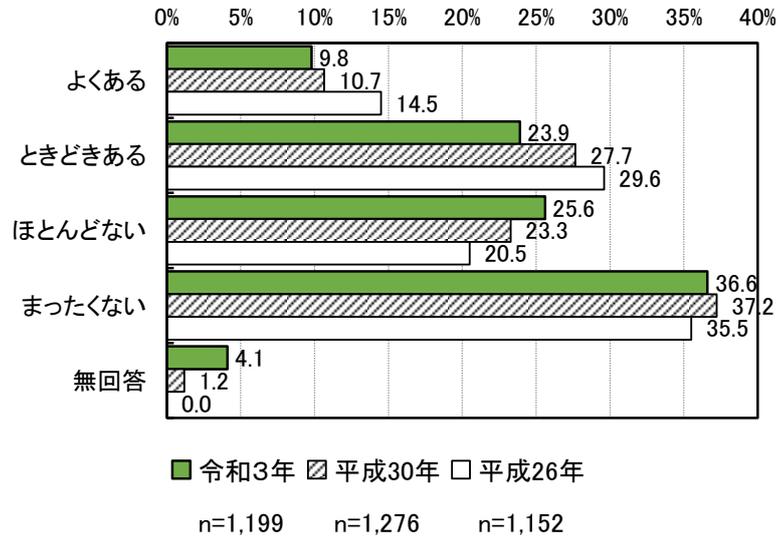


【性別】

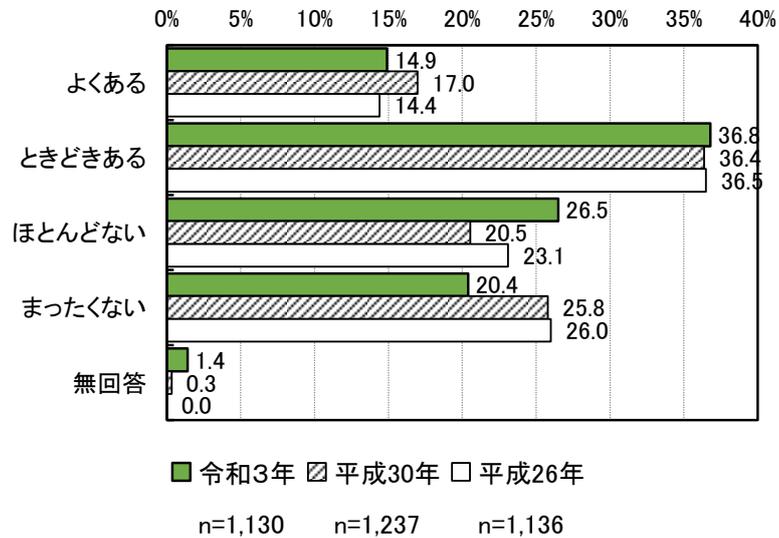
性別でみると、“女性”では「よくある」「ときどきある」を合わせると5割を超えており、“男性”と比べて不安を感じる割合が高くなっています。

平成30年度の調査と比較すると、本調査では“男性”は「よくある」「ときどきある」が減少し、“女性”は「まったくない」の割合が減少しています。また、“男性”“女性”ともに「ほとんどない」が増加しています。

男性



女性

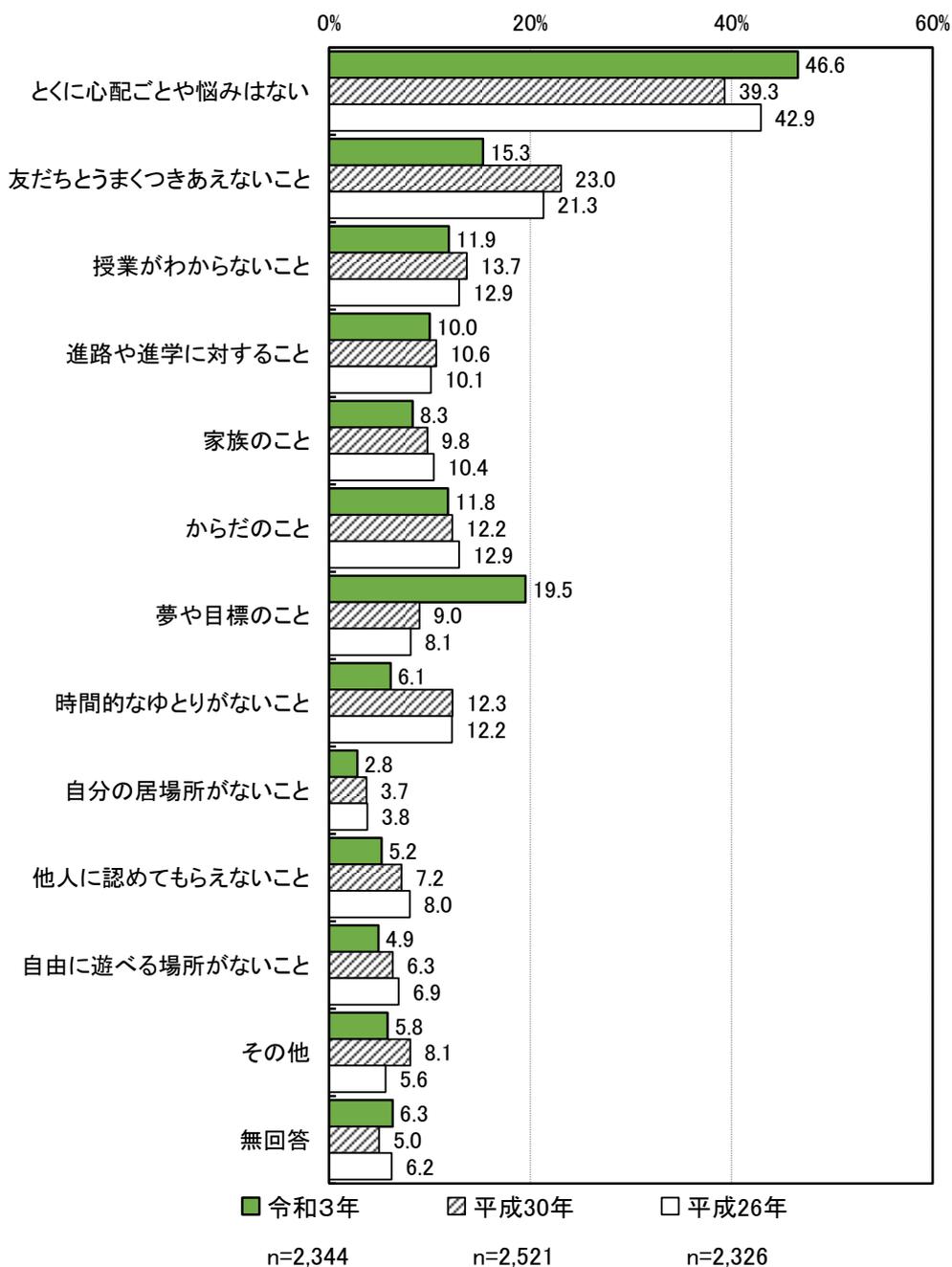


問 17 あなたの心配ごとや悩みは次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

心配ごとや悩みの理由については、「夢や目標のこと」が19.5%で最も多く、次いで「友だちとうまくつきあえないこと」が15.3%、「授業がわからないこと」が11.9%、「からだのこと」が11.8%などとなっています。

また、「とくに心配ごとや悩みはない」が46.6%となっています。

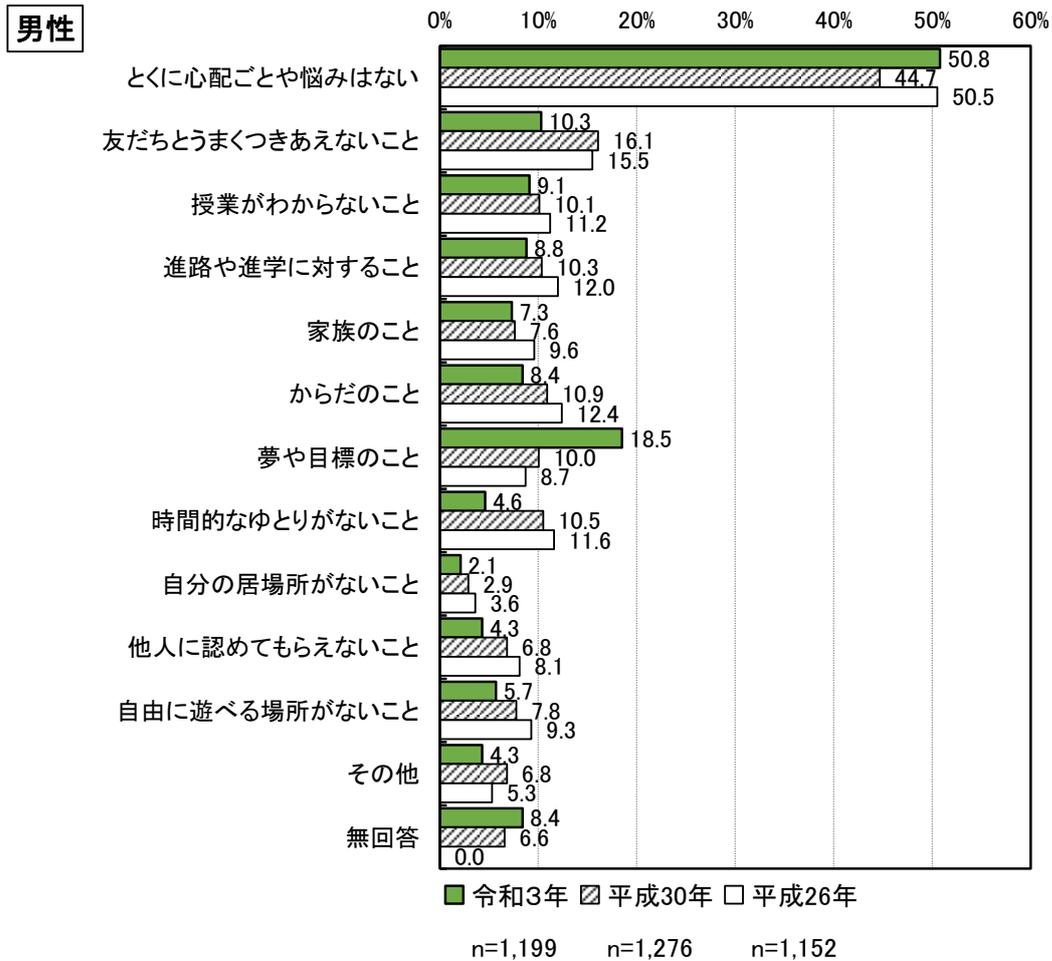
平成30年度の調査と比較すると、本調査では「友だちとうまくつきあえないこと」「時間的なゆとりがないこと」が減少し、「夢や目標のこと」が増加しています。



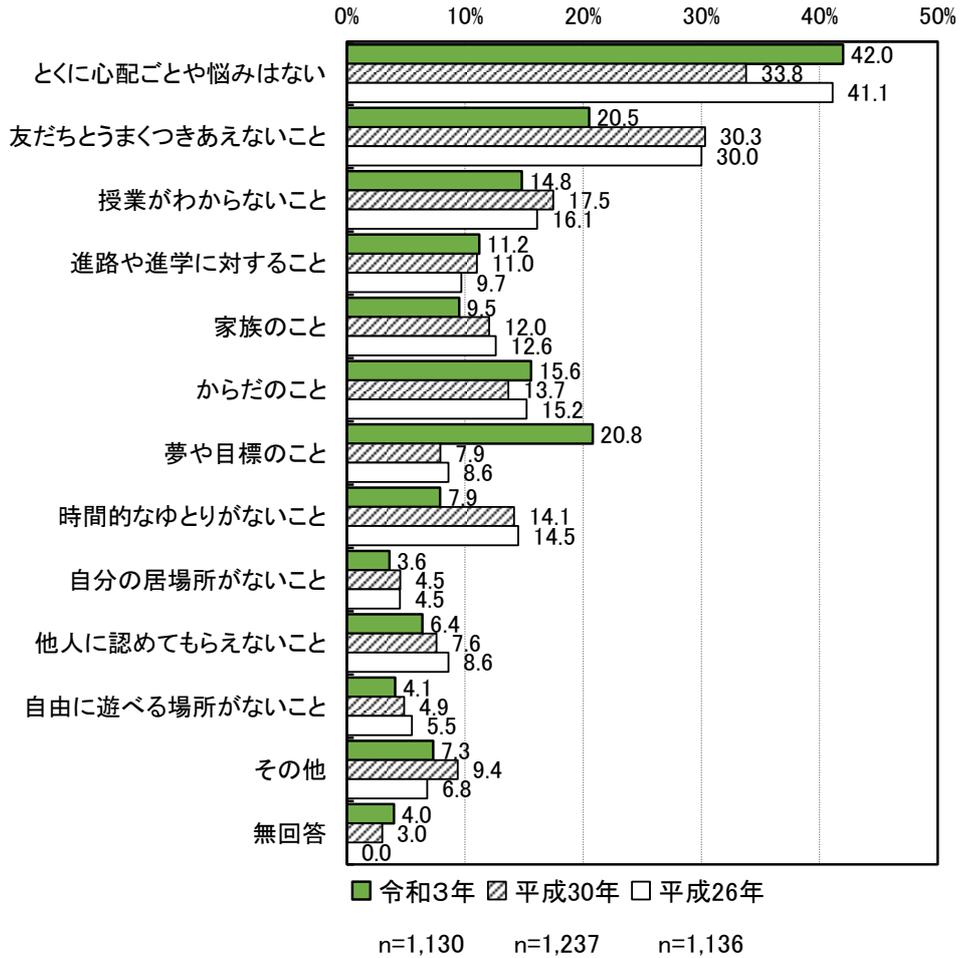
【性別】

性別で見ると、「男性」「女性」ともに「夢や目標のこと」が高い割合となっています。また、「とくに心配ごとや悩みはない」とした「男性」は5割で「女性」よりも高くなっています。

平成30年度の調査と比較すると、本調査では「男性」「女性」ともに「友だちとうまくつきあえないこと」が減少したのに対し、「とくに心配ごとや悩みはない」は「男性」「女性」ともに大きく増加しています。



女性

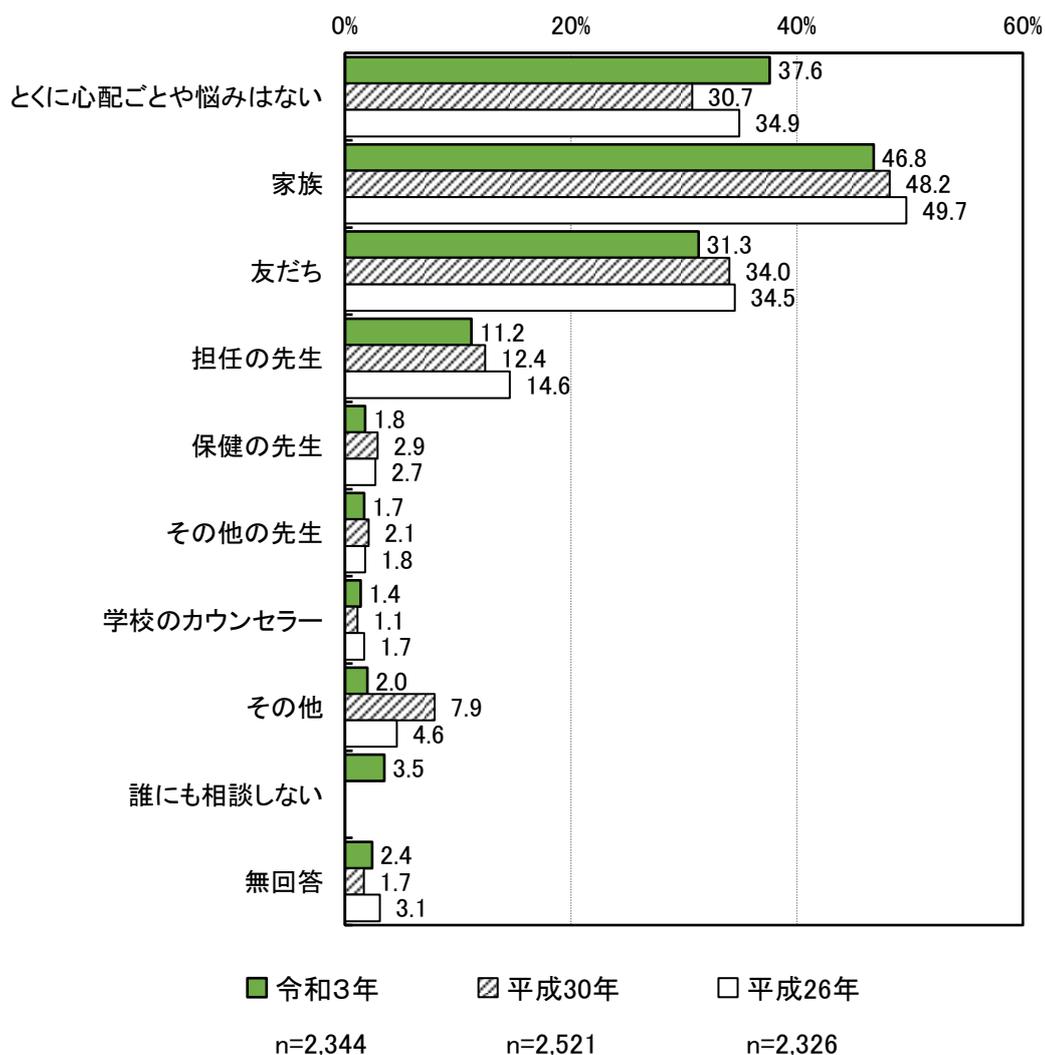


問 18 心配ごとや悩みは、誰に相談することが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

心配ごとや悩みを誰に相談することが多いかについては、「家族」が46.8%で最も多く、次いで「友だち」が31.3%、「担任の先生」が11.2%などとなっています。

また、「とくに心配ごとや悩みはない」が37.6%となっています。

平成30年度の調査と比較すると、「とくに心配ごとや悩みはない」が増加する代わりに、それ以外の項目は全般的に減少しています。



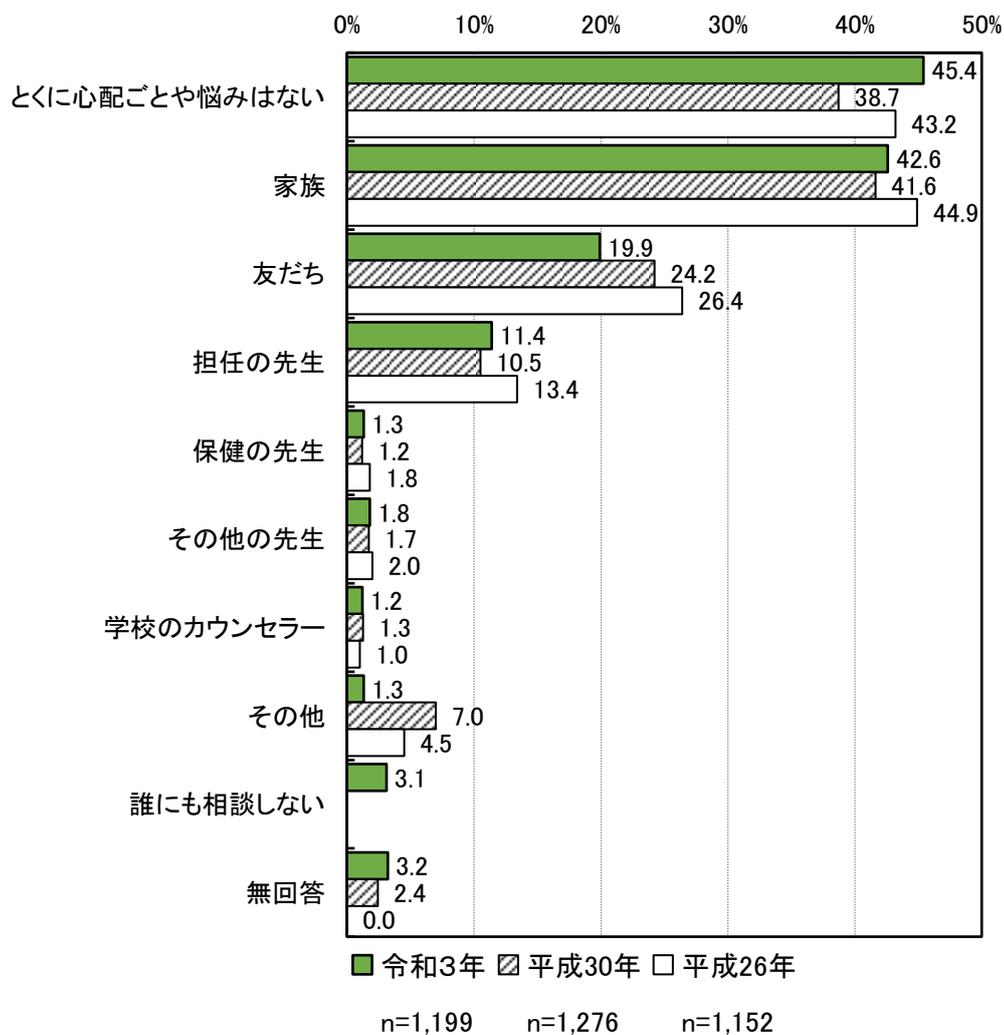
※「誰にも相談しない」は「その他」の回答が多かったため、項目立てして集計しました。

## 【性別】

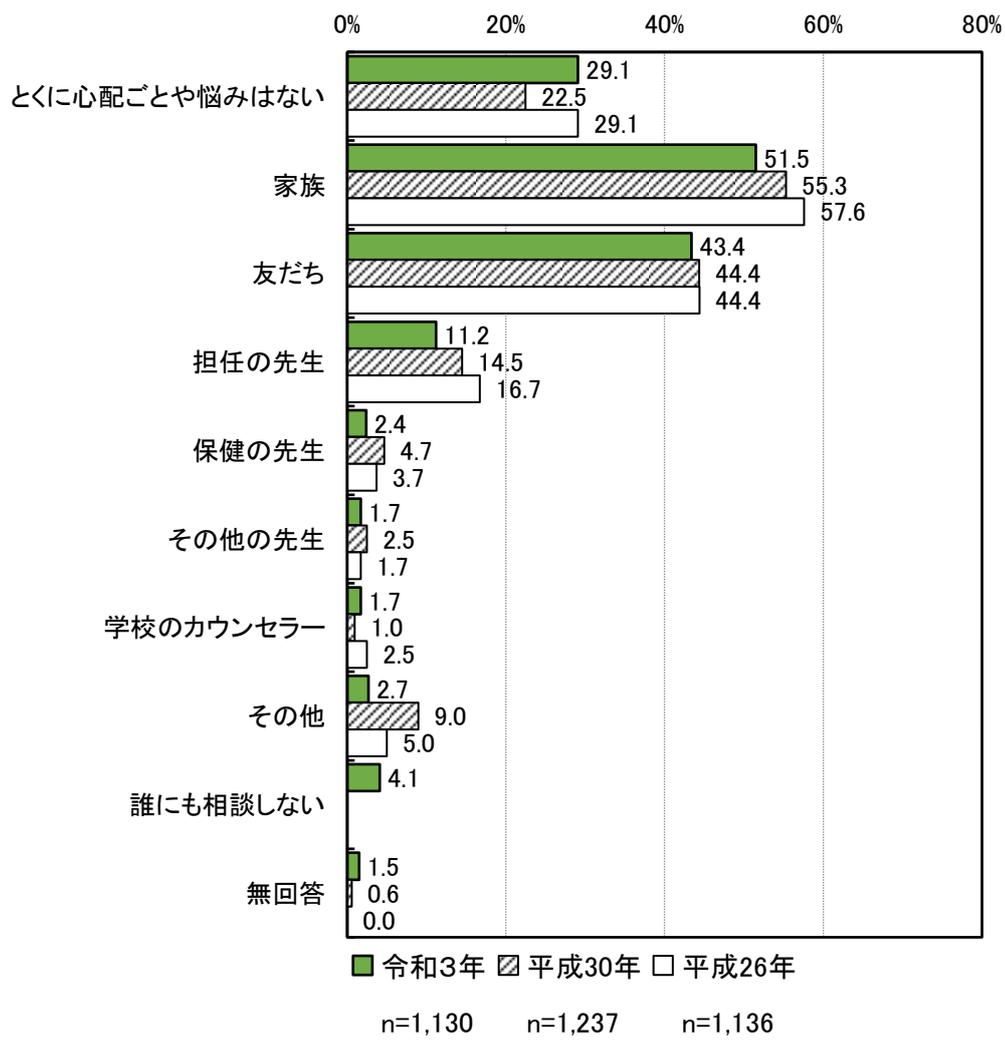
性別で見ると、相談相手は“男性”“女性”ともに「家族」「友だち」が多くなっていますが、割合としては、“男性”よりも“女性”の方が高くなっています。

平成30年度の調査と比較すると、本調査では“男性”“女性”いずれも「とくに心配事や悩みはない」が増加しています。相談相手について“男性”は、「家族」や「担任の先生」に相談する割合が微増しましたが、“女性”ではいずれも減少しています。

### 男性



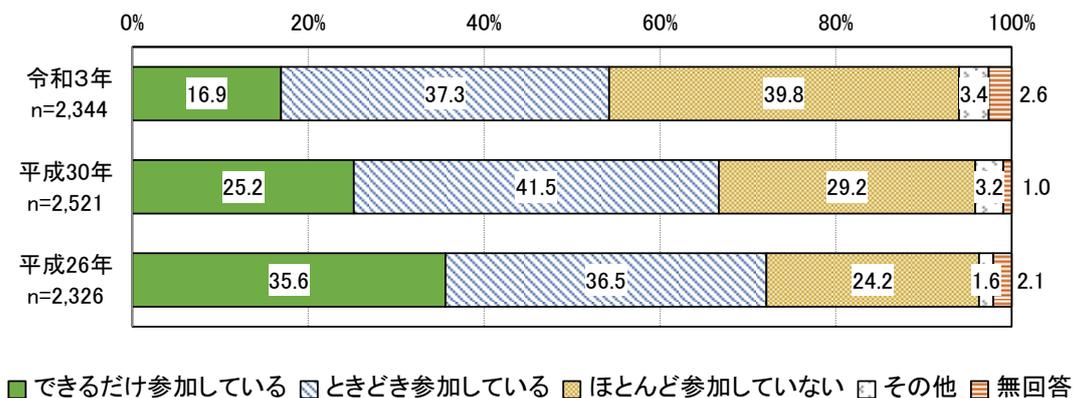
**女性**



問 19 あなたは地域の行事などにどのくらい参加していますか。(1つだけ〇)

地域の行事にどのくらい参加するかについては、「ほとんど参加していない」が39.8%で最も多く、次いで「ときどき参加している」が37.3%、「できるだけ参加している」が16.9%、「その他」が3.4%となっています。

平成30年度の調査と比較すると、本調査では「ほとんど参加していない」が1割近く増加しています。

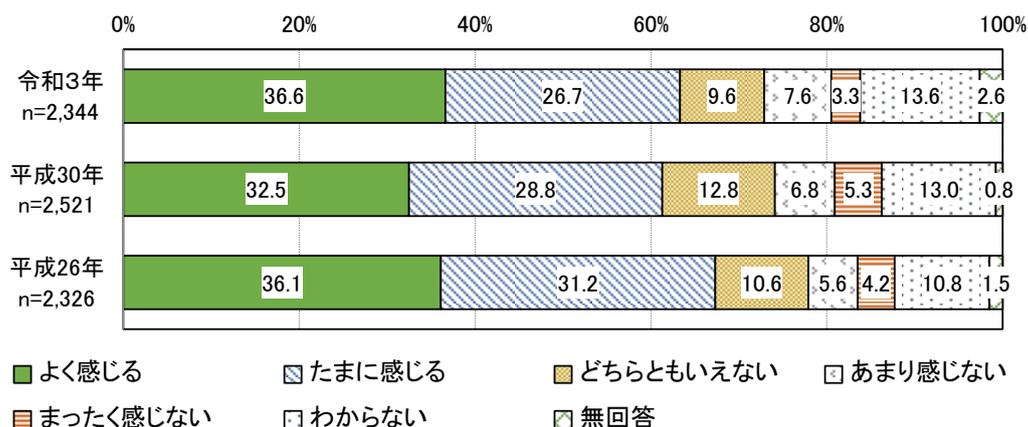


問 20 あなたは、地域の大人が自分たちを見守ってくれていると感じますか。

(1つだけ○)

地域の大人が自分たちを見守ってくれていると感じるかについては、「よく感じる」が36.6%で最も多く、次いで「たまを感じる」が26.7%、「わからない」が13.6%、「どちらともいえない」が9.6%、「あまり感じない」が7.6%などとなっています。

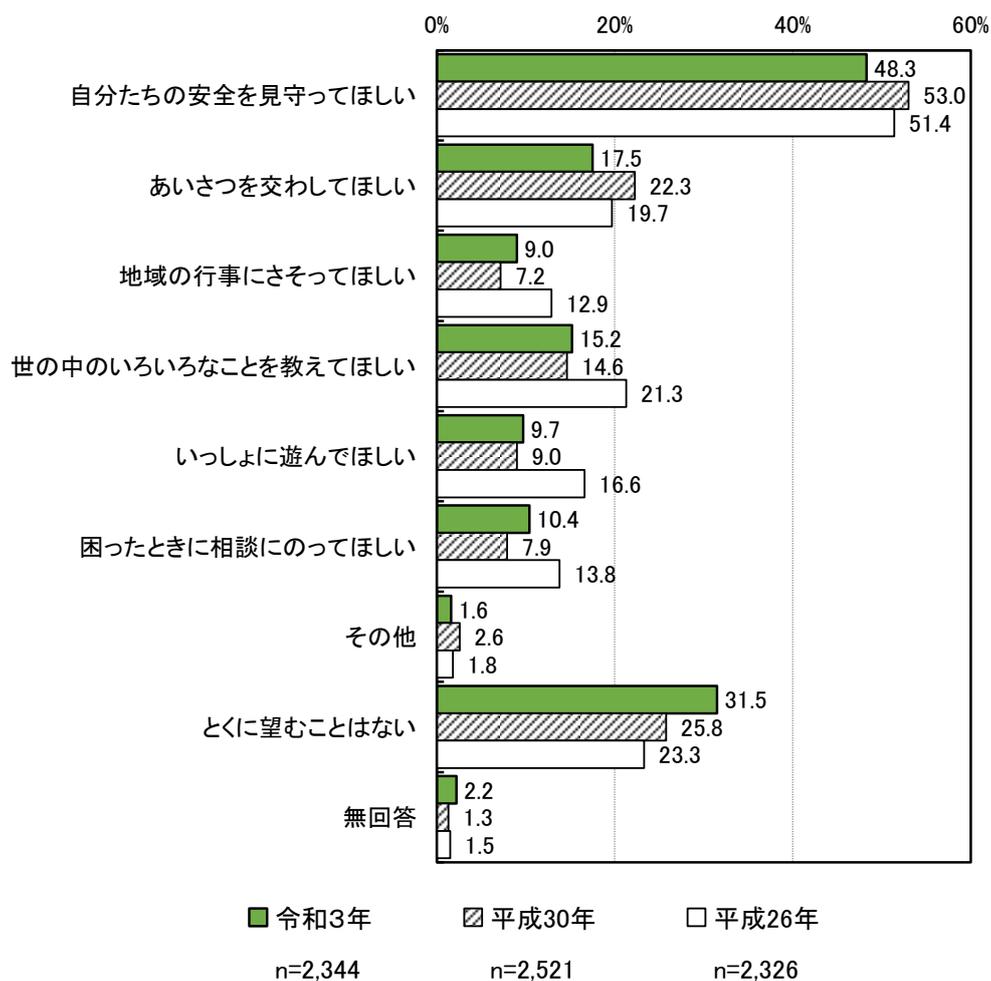
平成30年度の調査と比較すると、本調査では「良く感じる」「あまり感じない」「わからない」が増加し、「たまを感じる」「どちらともいえない」「まったく感じない」が、いずれも減少しています。



問 21 あなたの住んでいる地域の大人にどんなことを望みますか。(2つまで〇)

地域の大人にどのようなことを望むかについては、「自分たちの安全を見守ってほしい」が48.3%で最も多く、次いで「あいさつを交わしてほしい」が17.5%、「世の中のいろいろなことを教えてほしい」が15.2%、「困ったときに相談にのってほしい」が10.4%などとなっています。また、「とくに望むことはない」が31.5%となっています。

平成30年度の調査と比較すると、本調査では「自分たちの安全を見守ってほしい」「あいさつを交わしてほしい」が減少した一方で、「困ったときに相談にのってほしい」「地域の行事にさそってほしい」「世の中のいろいろなことを教えてほしい」などは増加しています。

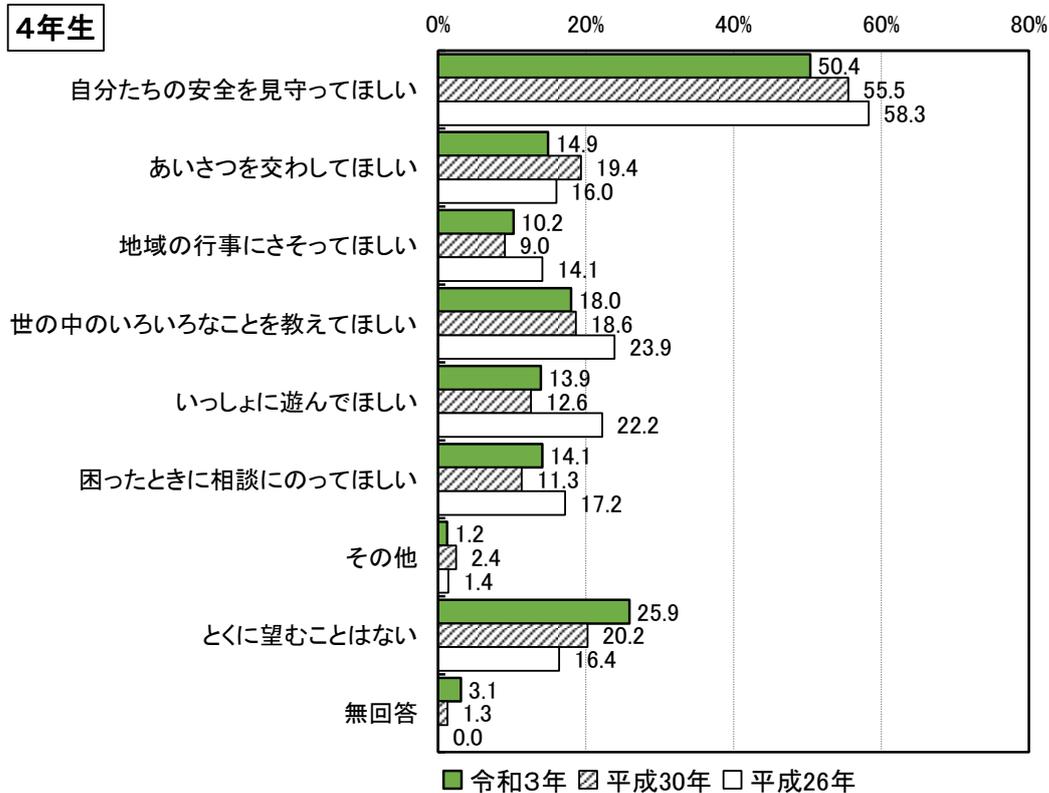


## 【学年別】

学年別でみると、「困ったときに相談にのってほしい」では“6年生”よりも“4年生”のほうがやや高い割合となっています。

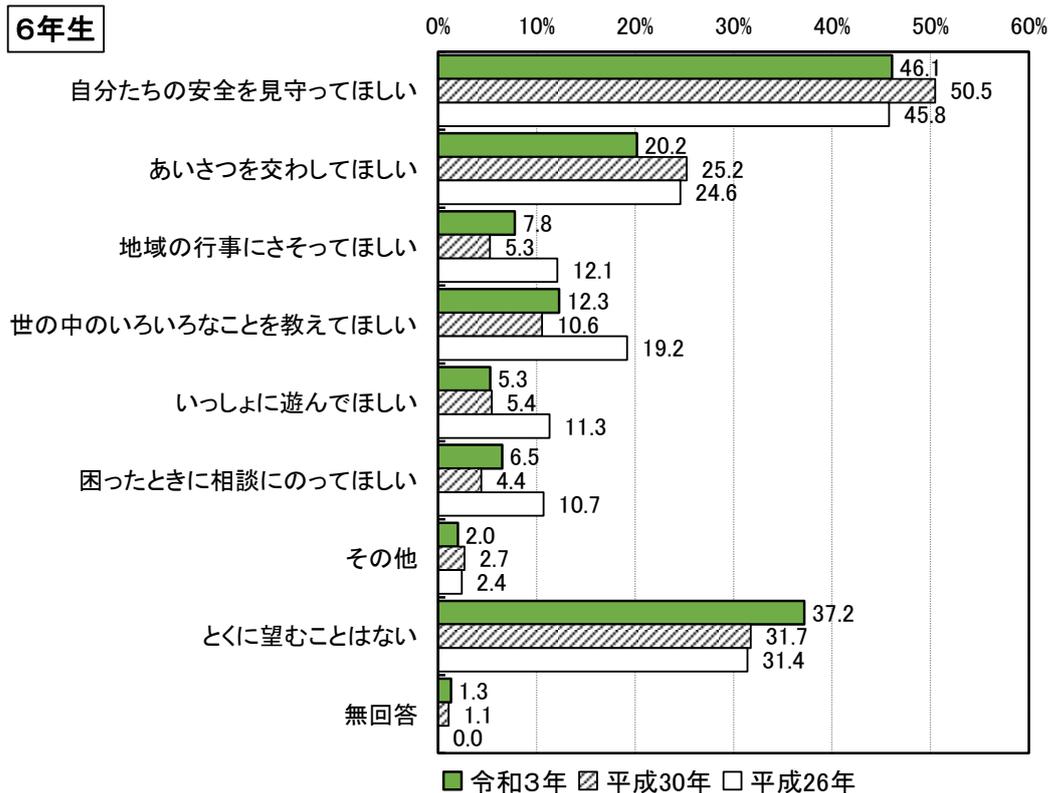
平成30年度の調査と比較すると、“4年生”“6年生”ともに「とくに望むことはない」が増加しています。

### 4年生



n=1,195 n=1,271 n=1,159

### 6年生



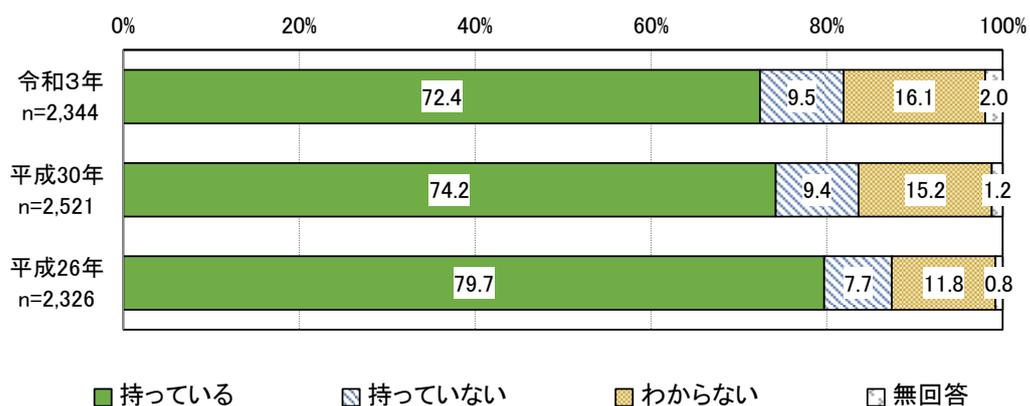
n=1,149 n=1,232 n=1,115

## 5. 将来について

問 22 あなたは将来の夢や目標を持っていますか。(1つだけ〇)

将来の夢や目標については、「持っている」が72.4%で最も多く、次いで「わからない」が16.1%、「持っていない」が9.5%となっています。

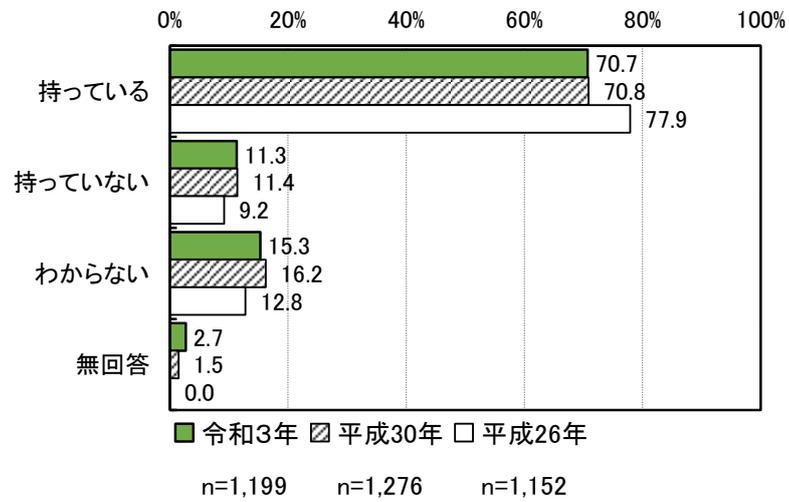
平成30年度の調査と比較すると、本調査では「持っている」が減少し、「わからない」が増加しています。



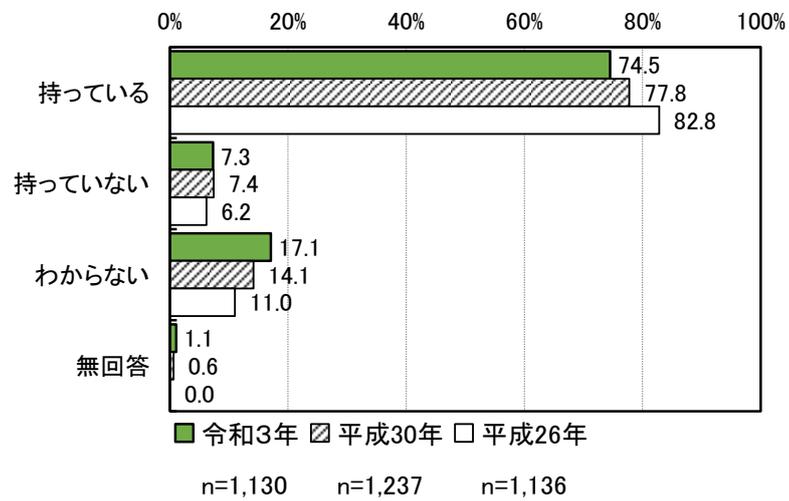
【性別】

性別でみると、“女性”では「持っている」が減少し、「わからない」が増加しています。

男性

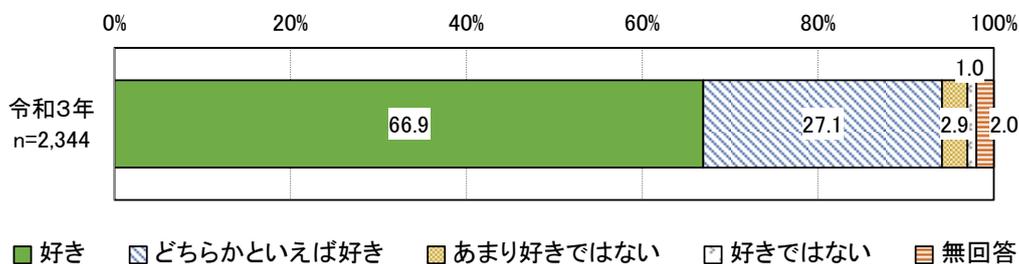


女性



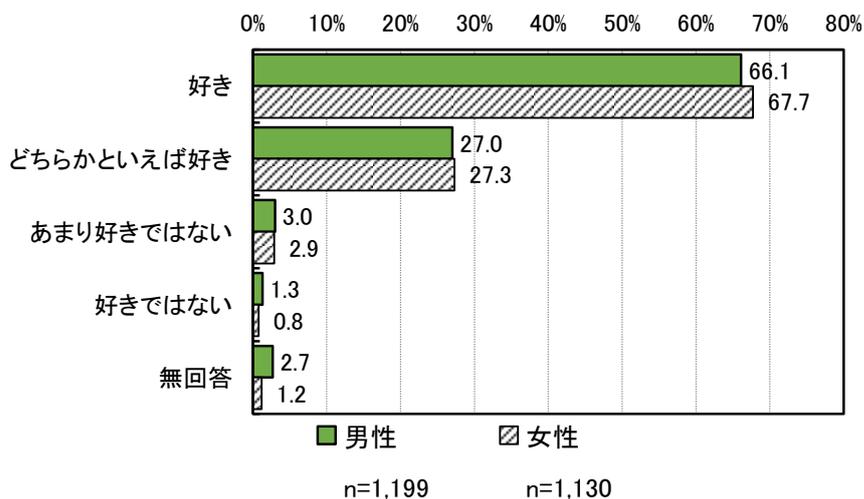
問 23 あなたは成田市が好きですか。(1つだけ〇)

成田市が好きかについては、「好き」が 66.9%で最も多く、「どちらかといえば好き」が 27.1%、「あまり好きではない」が 2.9%、「好きではない」が 1.0%となっています。



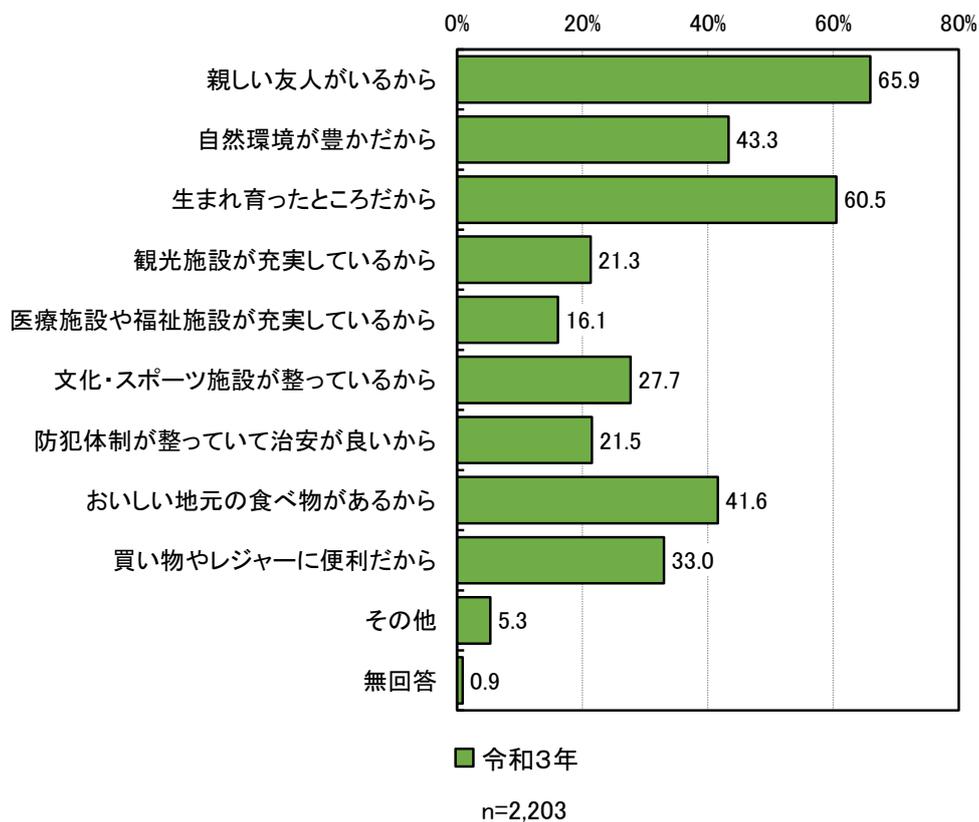
【性別】

性別でみると、“男性”“女性”ともに「好き」「どちらかといえば好き」を合わせると9割を超えています。



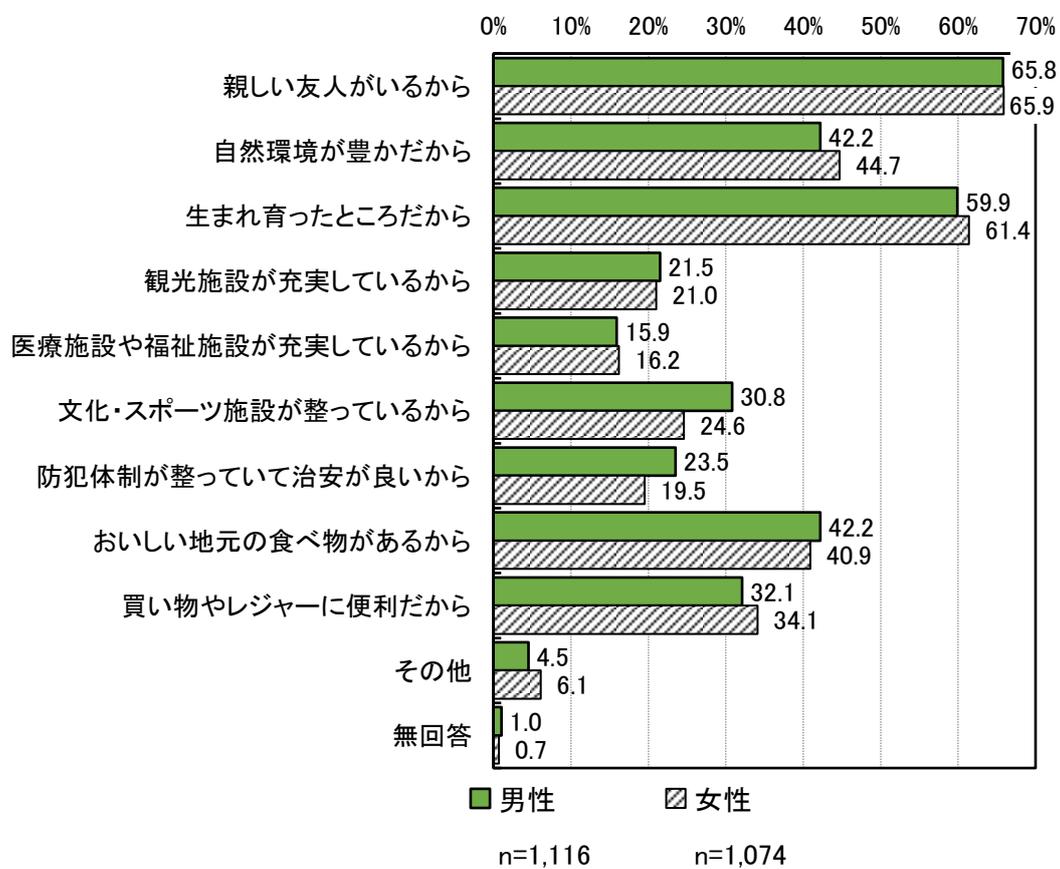
問 24 成田市を好きな理由はどのようなところですか。(あてはまるものすべてに○)

成田市を好きな理由については、「親しい友人がいるから」が65.9%で最も多く、次いで「生まれ育ったところだから」が60.5%、「自然環境が豊かだから」が43.3%、「おいしい地元の食べ物があるから」が41.6%、「買い物やレジャーに便利だから」が33.0%などとなっています。



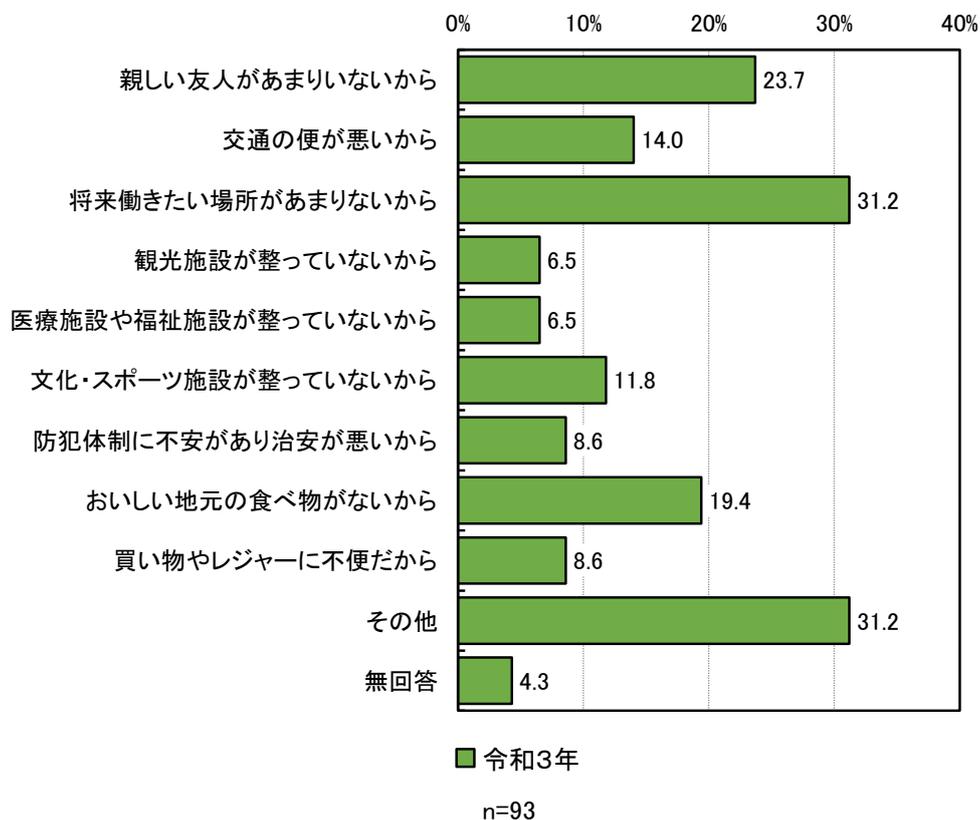
### 【性別】

性別でみると、“男性”“女性”ともに同じ傾向がみられましたが、「文化・スポーツ施設が整っているから」「防犯体制が整っていて治安が良いから」は“男性”の割合が高くなっています。



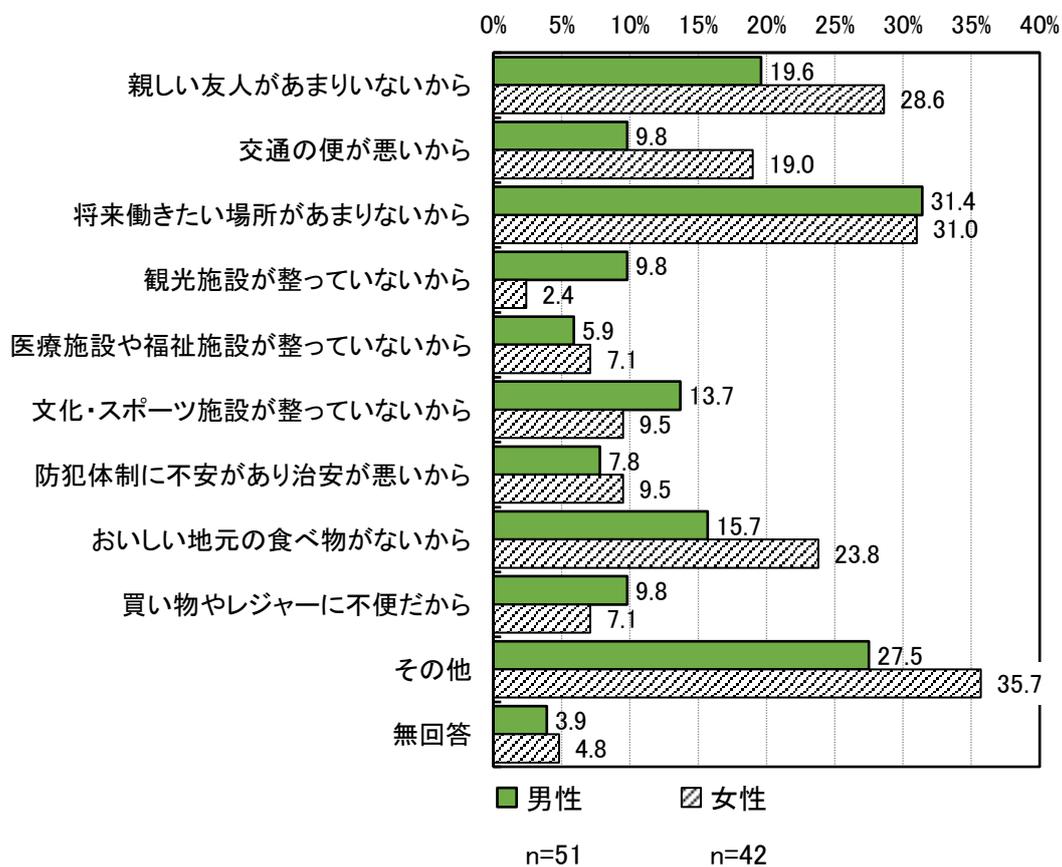
問 25 成田市を好きではない理由はどのようなところですか。(あてはまるものすべてに○)

成田市を好きではない理由については、「将来働きたい場所があまりないから」が31.2%で最も多く、次いで「親しい友人があまりいないから」が23.7%、「おいしい地元の食べ物がな  
いから」が19.4%、「交通の便が悪いから」が14.0%などとなっています。



### 【性別】

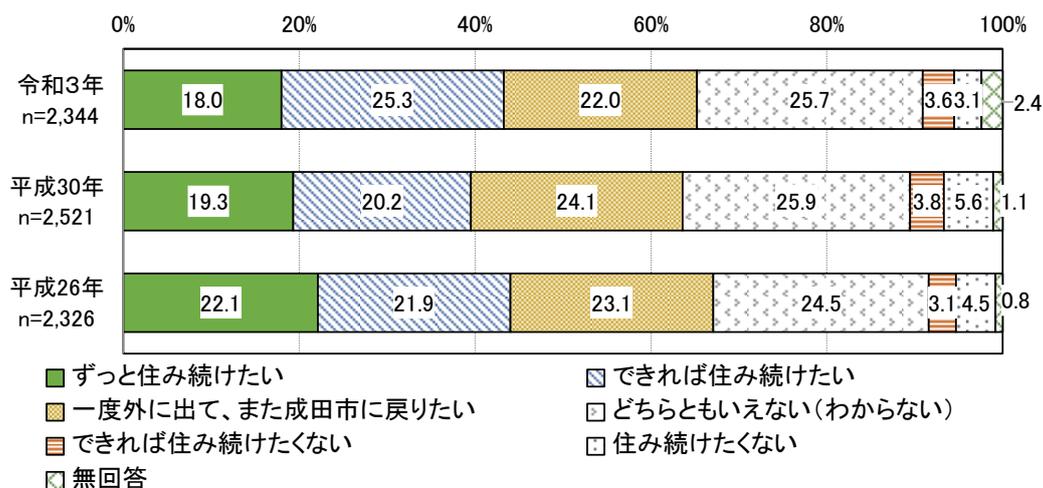
性別でみると、全体的に“女性”の割合が高い傾向がみられ、なかでも「交通の便が悪いから」「親しい友人があまりいないから」「おいしい地元の食べ物がないから」の割合は“男性”より高くなっています。



問 26 あなたは、将来も成田市に住み続けたいと思いますか。(1つだけ〇)

将来も成田市に住み続けたいと思うかについては、「どちらともいえない(わからない)」が25.7%で最も多く、次いで「できれば住み続けたい」が25.3%、「一度外に出て、また成田市に戻りたい」が22.0%、「ずっと住み続けたい」が18.0%、「できれば住み続けたくない」が3.6%などとなっています。

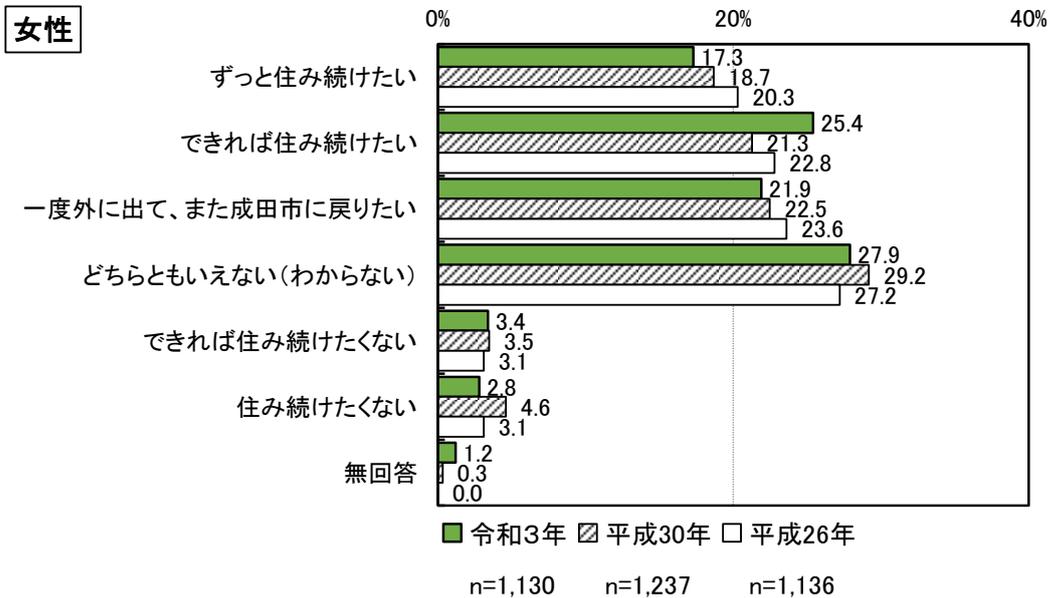
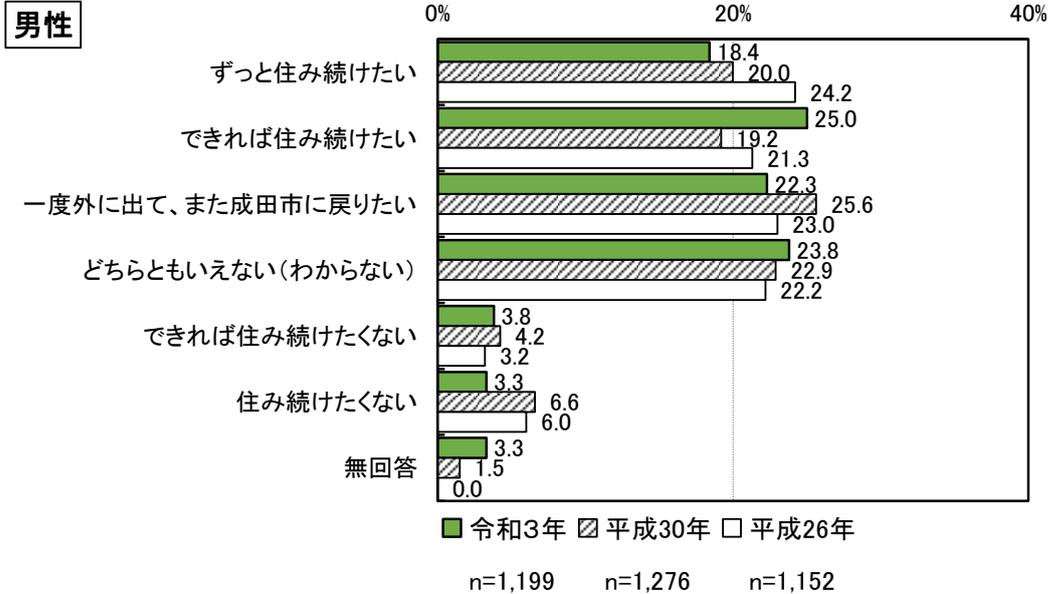
平成30年度の調査と比較すると、本調査では「できれば住み続けたい」が増加し、「ずっと住み続けたい」「一度外に出て、また成田市に戻りたい」「住み続けたくない」が減少しています。



【性別】

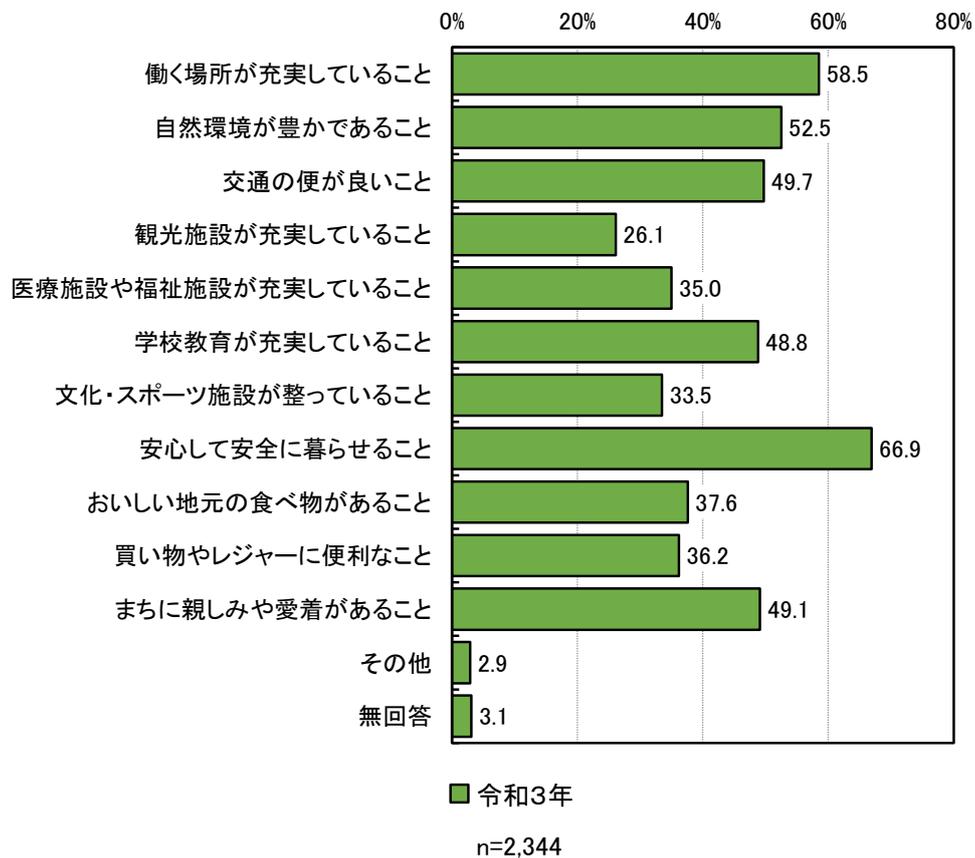
性別で見ると、“男性”は「できれば住み続けたい」が最も多く、“女性”は「どちらともいえない（わからない）」が最も多くなっています。

平成30年度の調査と比較すると、本調査では“男性”“女性”ともに「ずっと住み続けたい」「一度外に出て、また成田市に戻りたい」が減少していますが、「できれば住み続けたい」が増加しています。



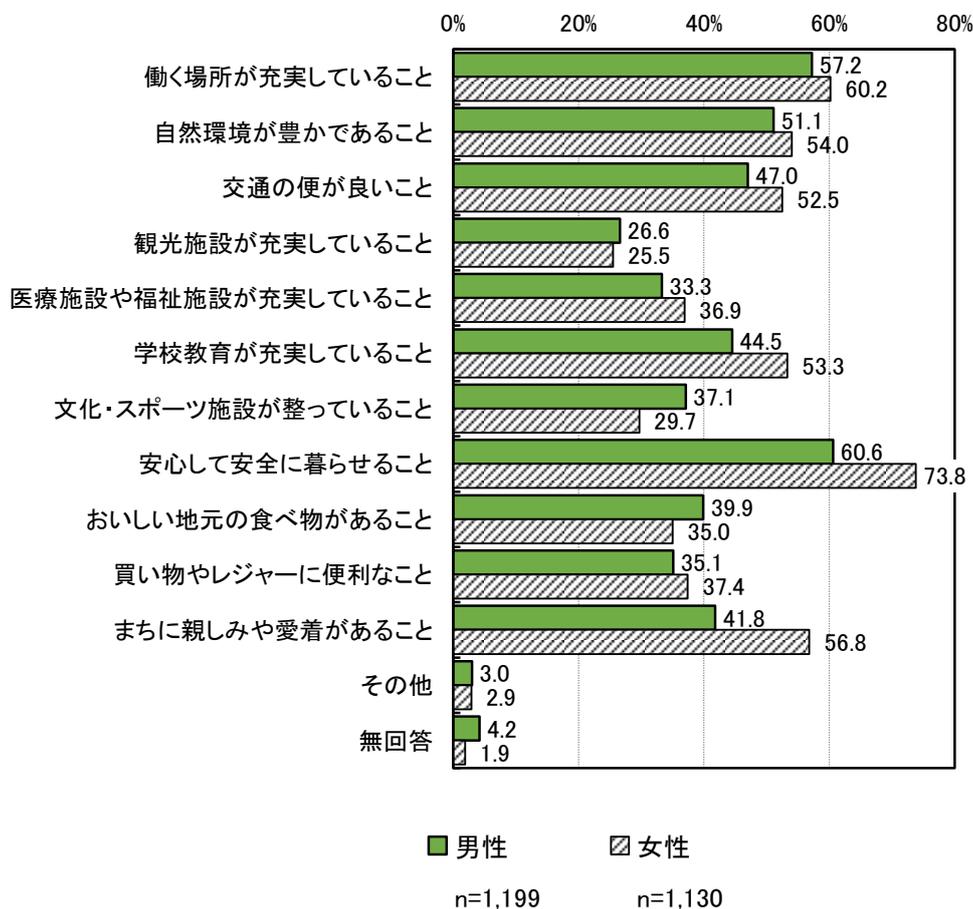
問 27 成田市に住み続けていくために大事なことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

成田市に住み続けていくために大事なことについては、「安心して安全に暮らせること」が66.9%で最も多く、次いで「働く場所が充実していること」が58.5%、「自然環境が豊かであること」が52.5%、「交通の便が良いこと」が49.7%、「まちに親しみや愛着があること」が49.1%などとなっています。



## 【性別】

性別でみると、全体的に“女性”の割合が高い傾向がみられました。そのなかで「文化・スポーツ施設が整っていること」「おいしい地元の食べ物があること」「観光施設が充実していること」では“男性”の割合が高くなっています。

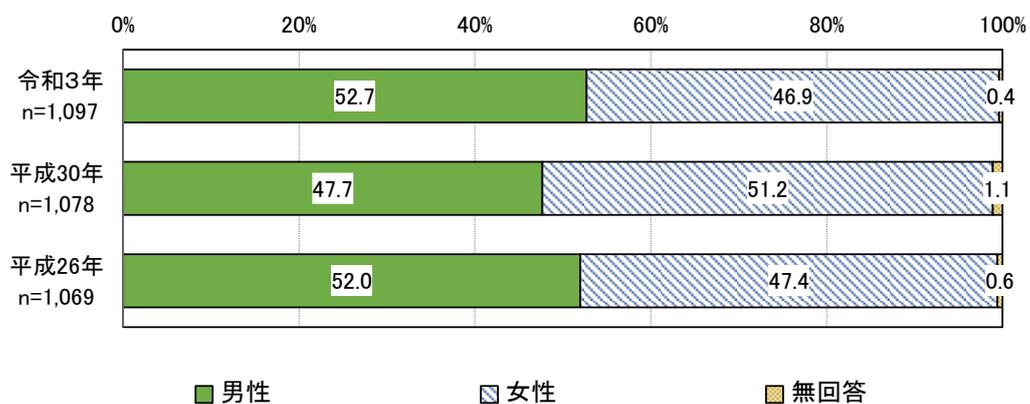


## 第3章 中学生調査の結果

### 1. あなたについて

問1 あなたの性別はどちらですか。(1つだけ○)

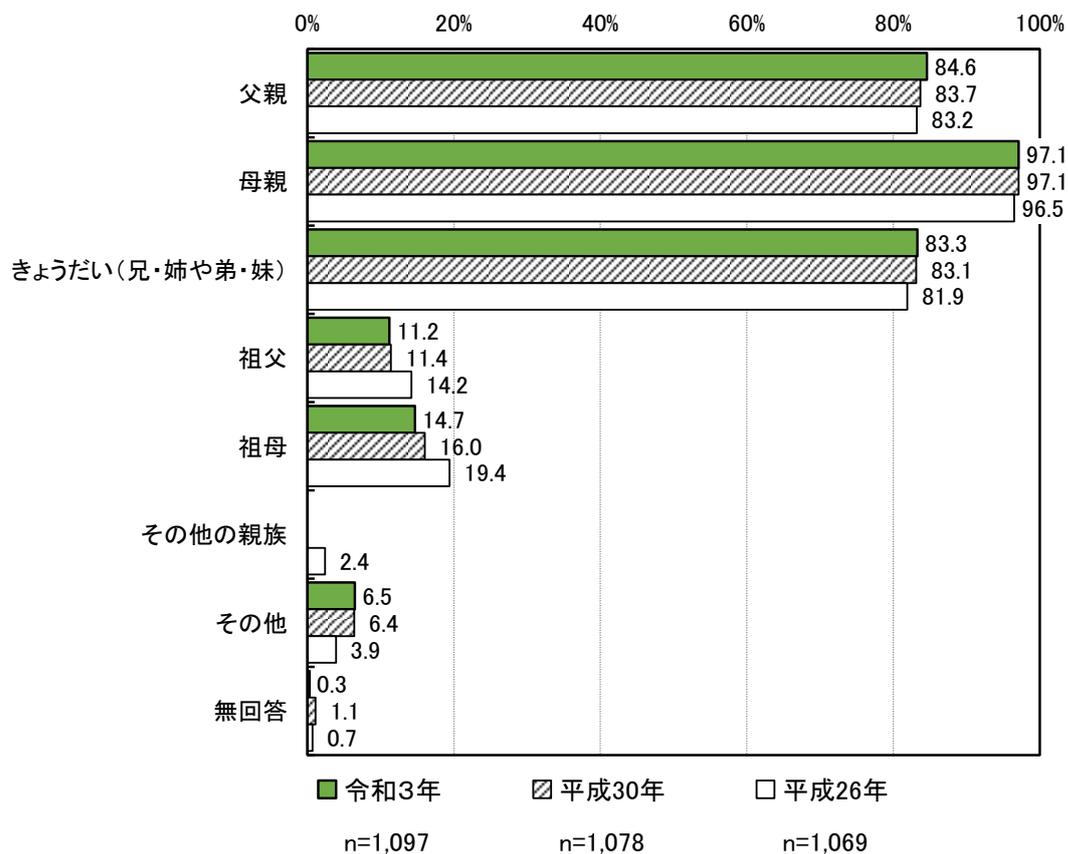
性別については、「男性」が52.7%、「女性」が46.9%となっています。



問2 あなたと一緒に住んでいる家族はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

一緒に住んでいる家族については「母親」が97.1%で最も多く、次いで「父親」が84.6%、「きょうだい(兄・姉や弟・妹)」が83.3%、「祖母」が14.7%、「祖父」が11.2%などとなっています。

平成30年度の調査と比較すると、本調査では「祖父」と「祖母」が減少しています。

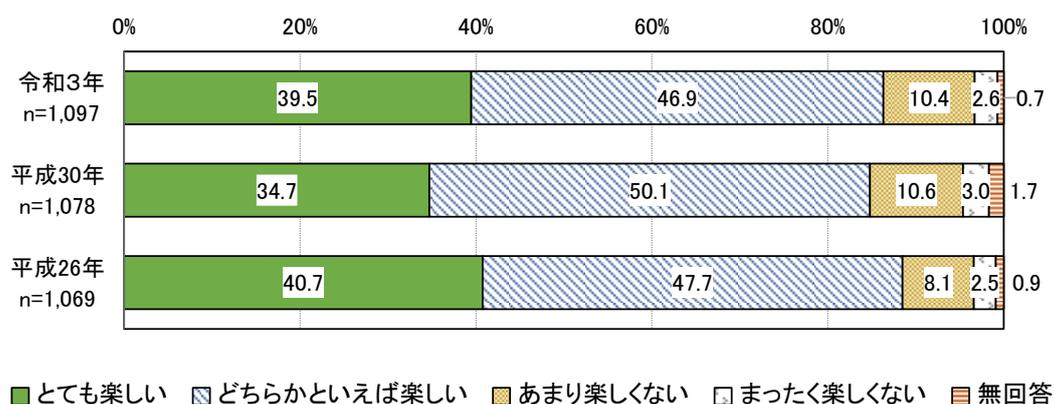


## 2. 学校について

### 問3 学校生活は楽しいですか。(1つだけ〇)

学校生活が楽しいかについては、「どちらかといえば楽しい」が46.9%で最も多く、次いで「とても楽しい」が39.5%、「あまり楽しくない」が10.4%、「まったく楽しくない」が2.6%などとなっています。

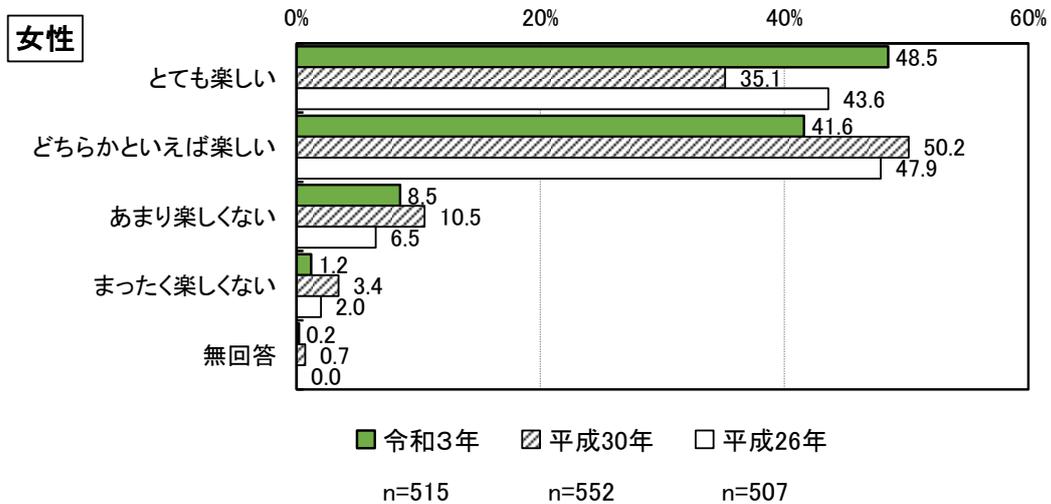
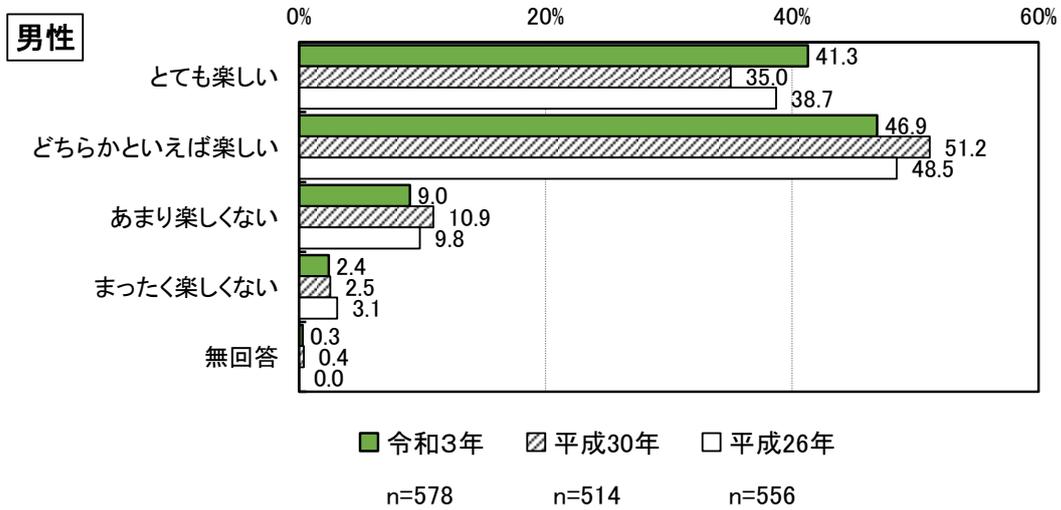
平成30年度の調査と比較すると、本調査では「とても楽しい」が増加しています。



【性別】

性別でみると、“女性”のほうが「とても楽しい」の割合が“男性”よりも高くなっています。

平成30年度の調査と比較すると、本調査では“男性”“女性”ともに「とても楽しい」が増加し、「どちらかといえば楽しい」は減少しています。

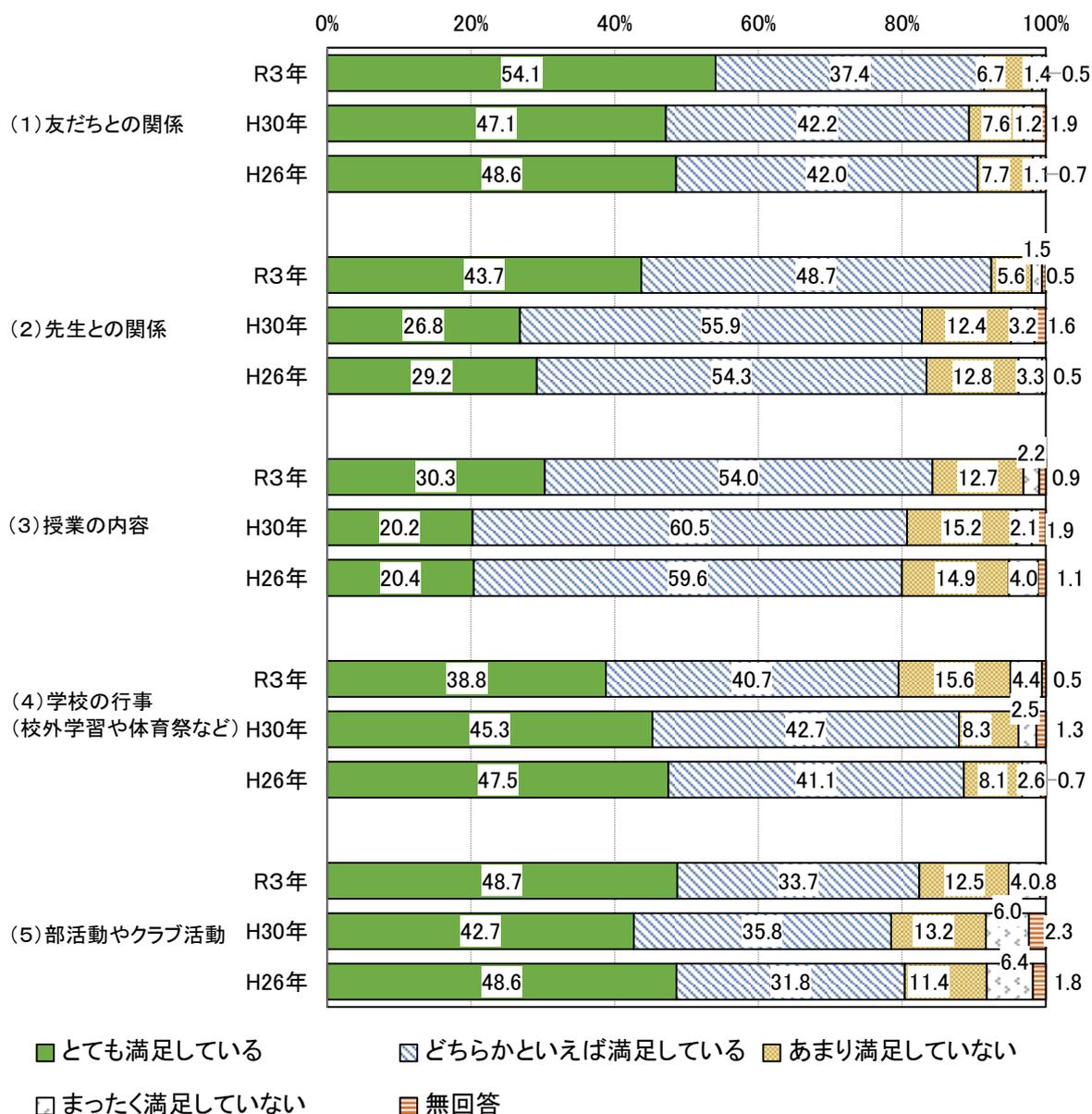


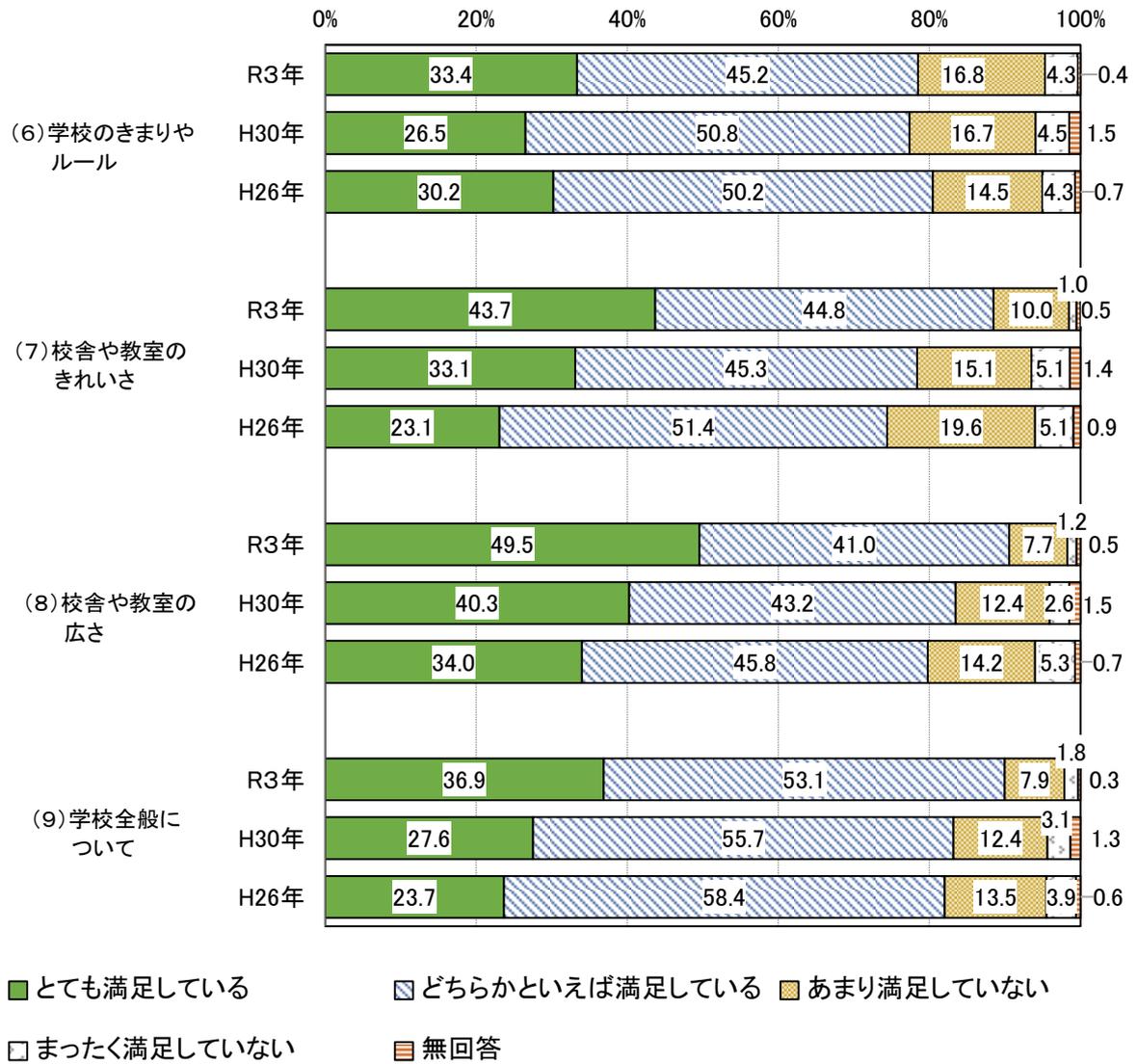
問4 あなたは、学校生活に関する次のようなことに、どのくらい満足していますか。

(それぞれにひとつずつ〇)

学校生活に関する満足度については、“(1) 友だちとの関係” や“(2) 先生との関係”、“(5) 部活動やクラブ活動”、“(7) 校舎や教室のきれいさ”、“(8) 校舎や教室の広さ”で「とても満足」が4割を超え、「どちらかといえば満足している」と合わせると8割から9割程度になります。他の項目についても「とても満足」と「どちらかといえば満足している」の割合が高く、2つを合わせた『満足』は、最も低い“(6) 学校のきまりやルール”でも7割を超えています。また、“(9) 学校全般について”では「とても満足している」が4割近く、「どちらかといえば満足している」が5割を超え、合わせた『満足』は9割となりました。

平成30年度の調査と比較すると、本調査では「とても満足」と「どちらかといえば満足している」の2つを合わせた『満足』が、“(4) 学校や行事”において減少しましたが、それ以外の項目において増加しています。

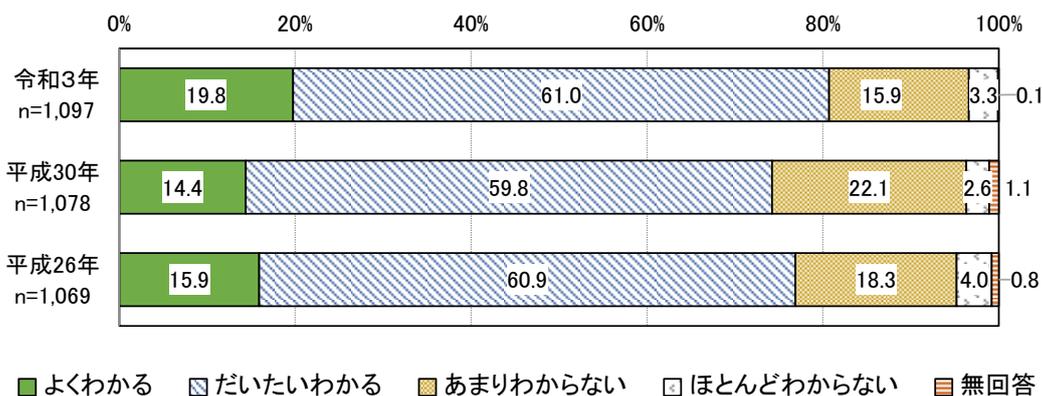




問5 あなたは、学校の授業がどのくらいわかりますか。(1つだけ○)

学校の授業がどのくらい分かるかについては、「だいたいわかる」が61.0%で最も多く、次いで「よくわかる」が19.8%、「あまりわからない」が15.9%、「ほとんどわからない」が3.3%となっています。

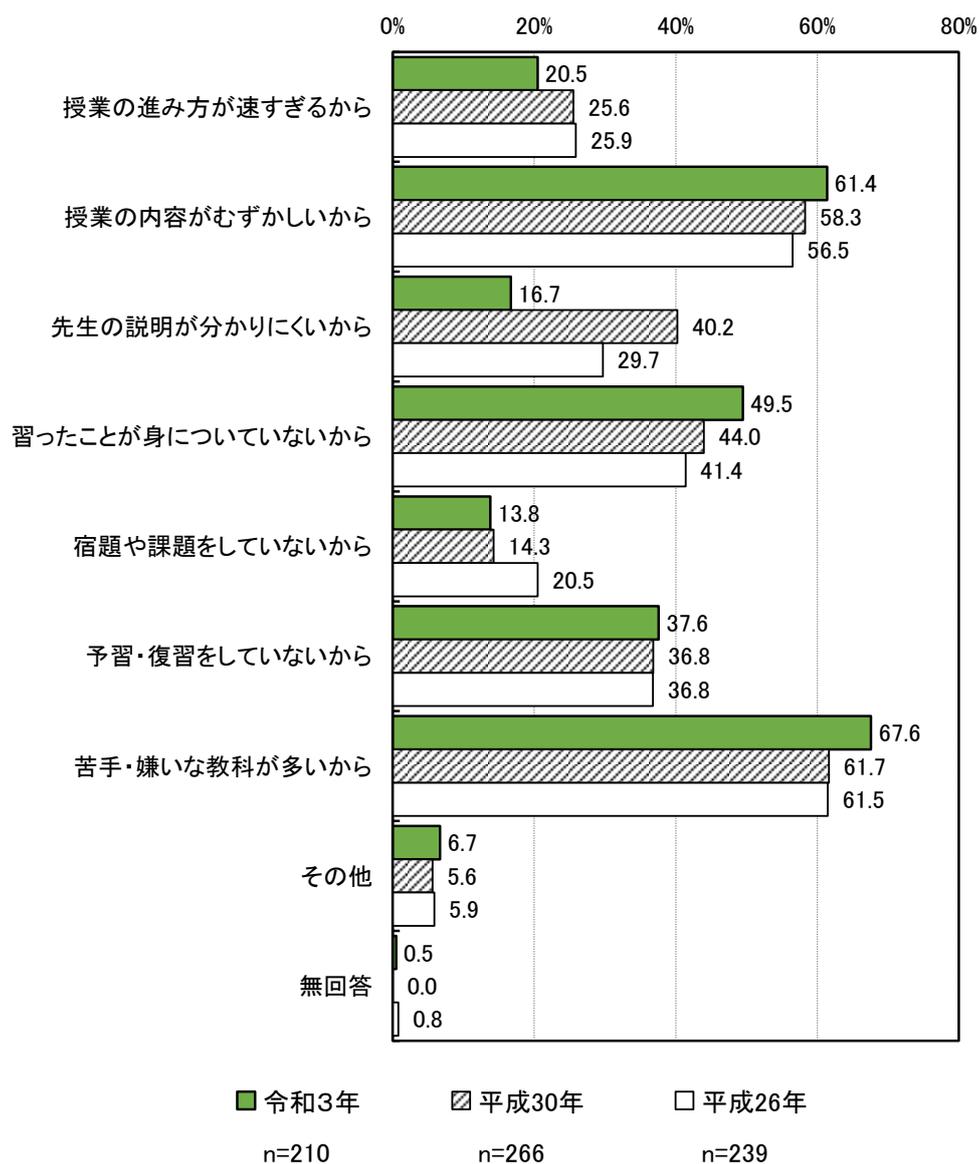
平成30年度の調査と比較すると、本調査では「よくわかる」「だいたいわかる」が増加し、「あまりわからない」が減少しています。



問6 授業がわからない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

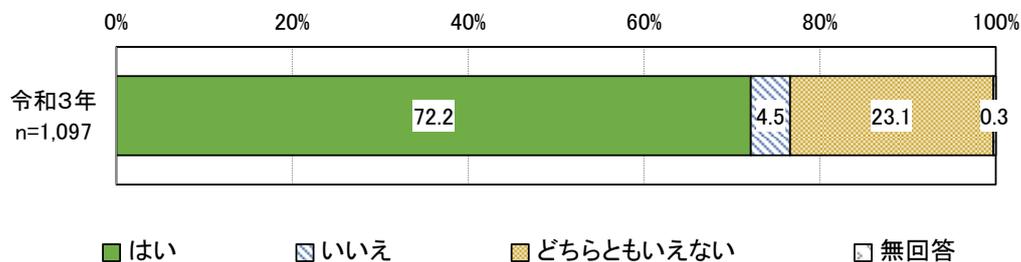
授業がわからない理由については、「苦手・嫌いな教科が多いから」が67.6%で最も多く、次いで「授業の内容がむずかしいから」が61.4%、「習ったことが身につけていないから」が49.5%、「予習・復習をしていないから」が37.6%、「授業の進み方が速すぎるから」が20.5%などとなっています。

平成30年度の調査と比較すると、本調査では、「苦手・嫌いな教科が多いから」が5.9ポイント増加し、「先生の説明が分かりにくいから」が23.5ポイントと大きく減少しています。



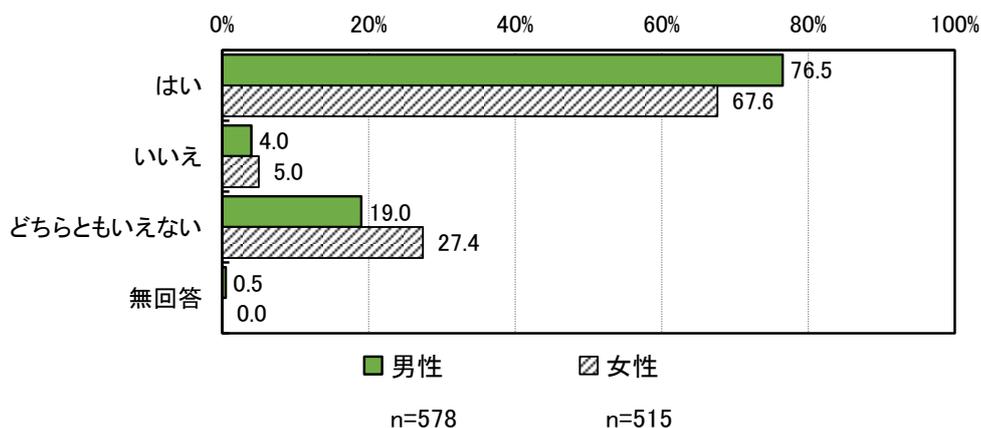
問7 コンピュータやタブレットを使った授業は、楽しいですか。(1つだけ〇)

コンピュータやタブレットを使った授業は楽しいかについては、「はい」が72.2%、「いいえ」が4.5%、「どちらともいえない」が23.1%となっています。



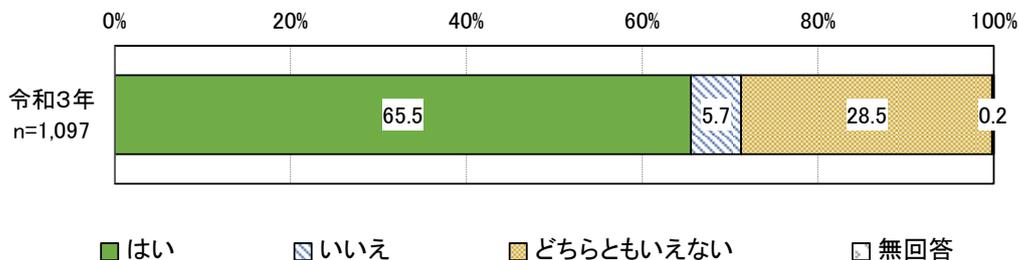
### 【性別】

コンピュータやタブレットを使った授業は楽しいかについて性別でみると、“男性”“女性”ともに「はい」の割合が高くなっています。



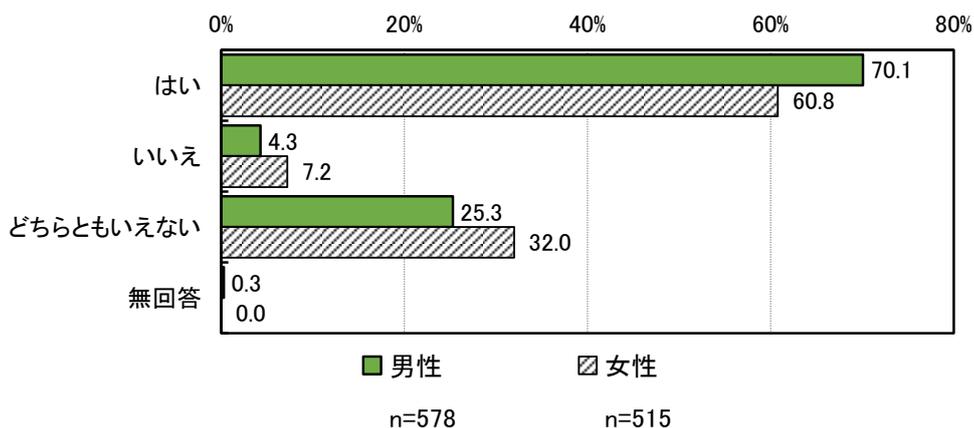
問8 コンピュータやタブレットを使った授業は、わかりやすいですか。(1つだけ〇)

コンピュータやタブレットを使った授業はわかりやすいかについては、「はい」が65.5%、「いいえ」が5.7%、「どちらともいえない」が28.5%となっています。



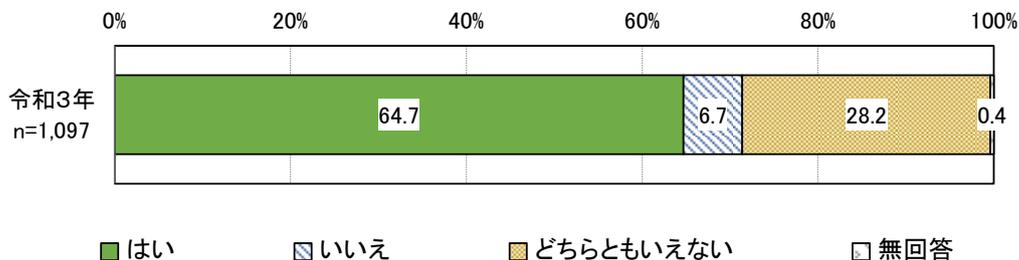
【性別】

コンピュータやタブレットを使った授業はわかりやすいかについて性別でみると、“男性” “女性”ともに「はい」が多くなっています。



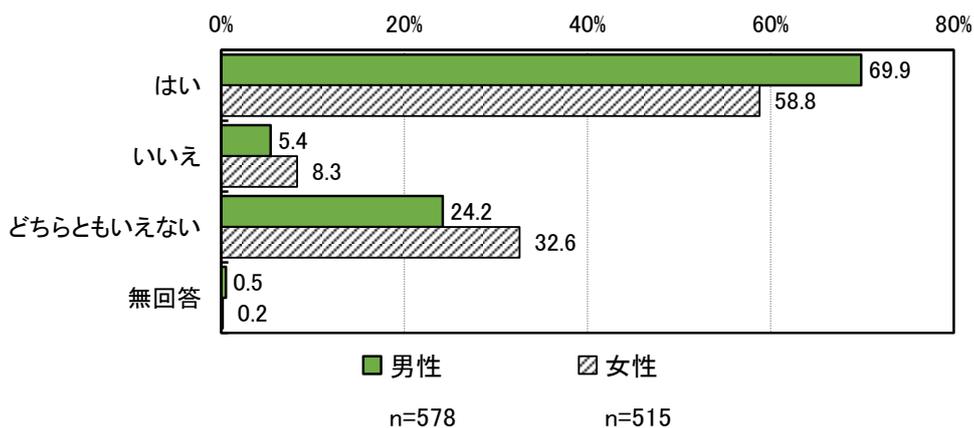
問9 コンピュータやタブレットをもっと使ってほしいですか。(1つだけ〇)

コンピュータやタブレットをもっと使ってほしいかについては、「はい」が64.7%、「いいえ」が6.7%、「どちらともいえない」が28.2%となっています。



【性別】

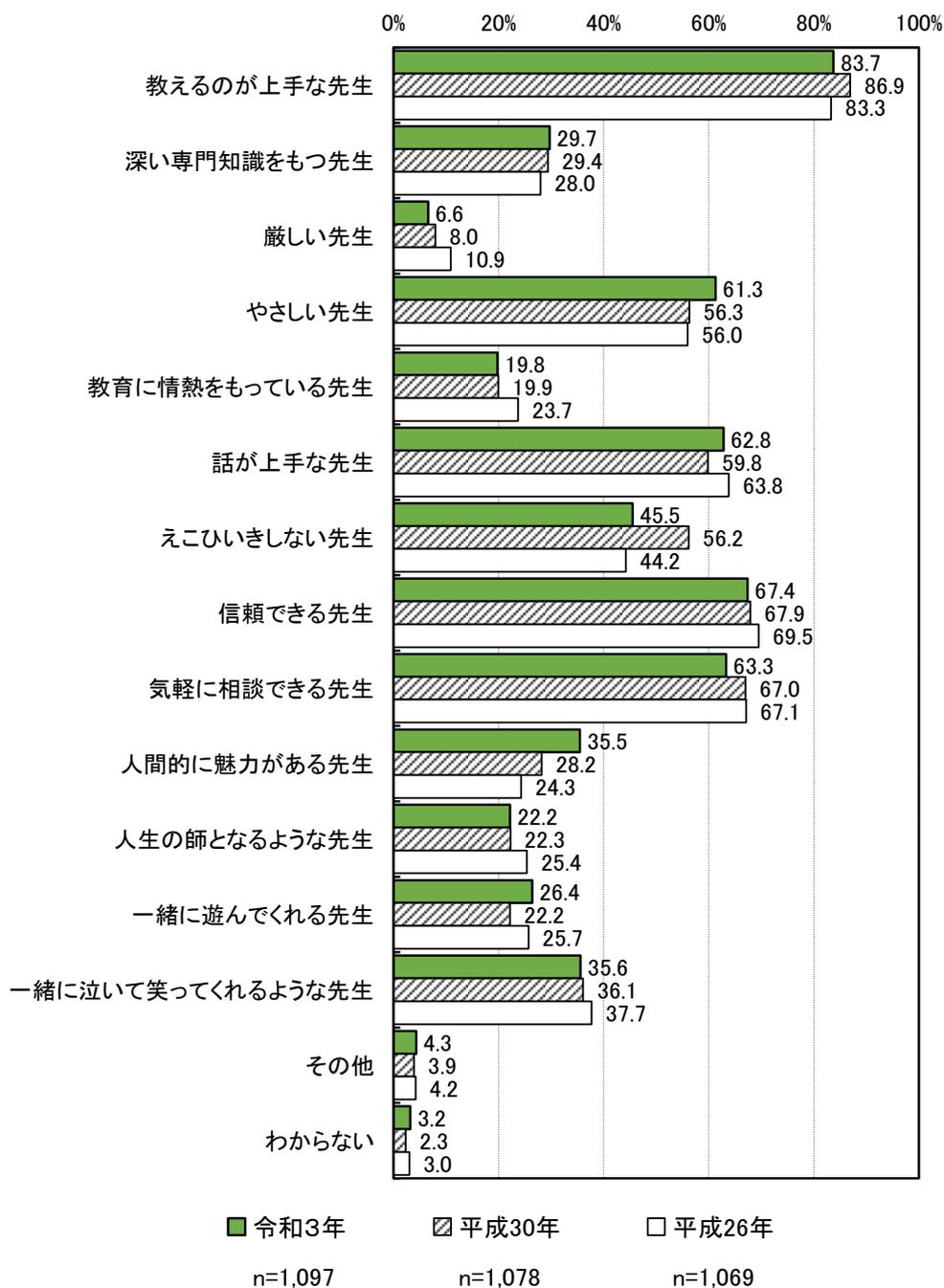
コンピュータやタブレットをもっと使ってほしいかについて性別でみると、“男性”“女性”ともに「はい」の割合が多くなっています。



問10 あなたは、どのような先生に教わりたいですか。(あてはまるものすべてに○)

どのような先生に教わりたいかについては、「教えるのが上手な先生」が83.7%で最も多く、次いで「信頼できる先生」が67.4%、「気軽に相談できる先生」が63.3%、「話が上手な先生」が62.8%、「やさしい先生」が61.3%などとなっています。

平成30年度の調査と比較すると、本調査では「人間的に魅力がある先生」が最も増加しています。

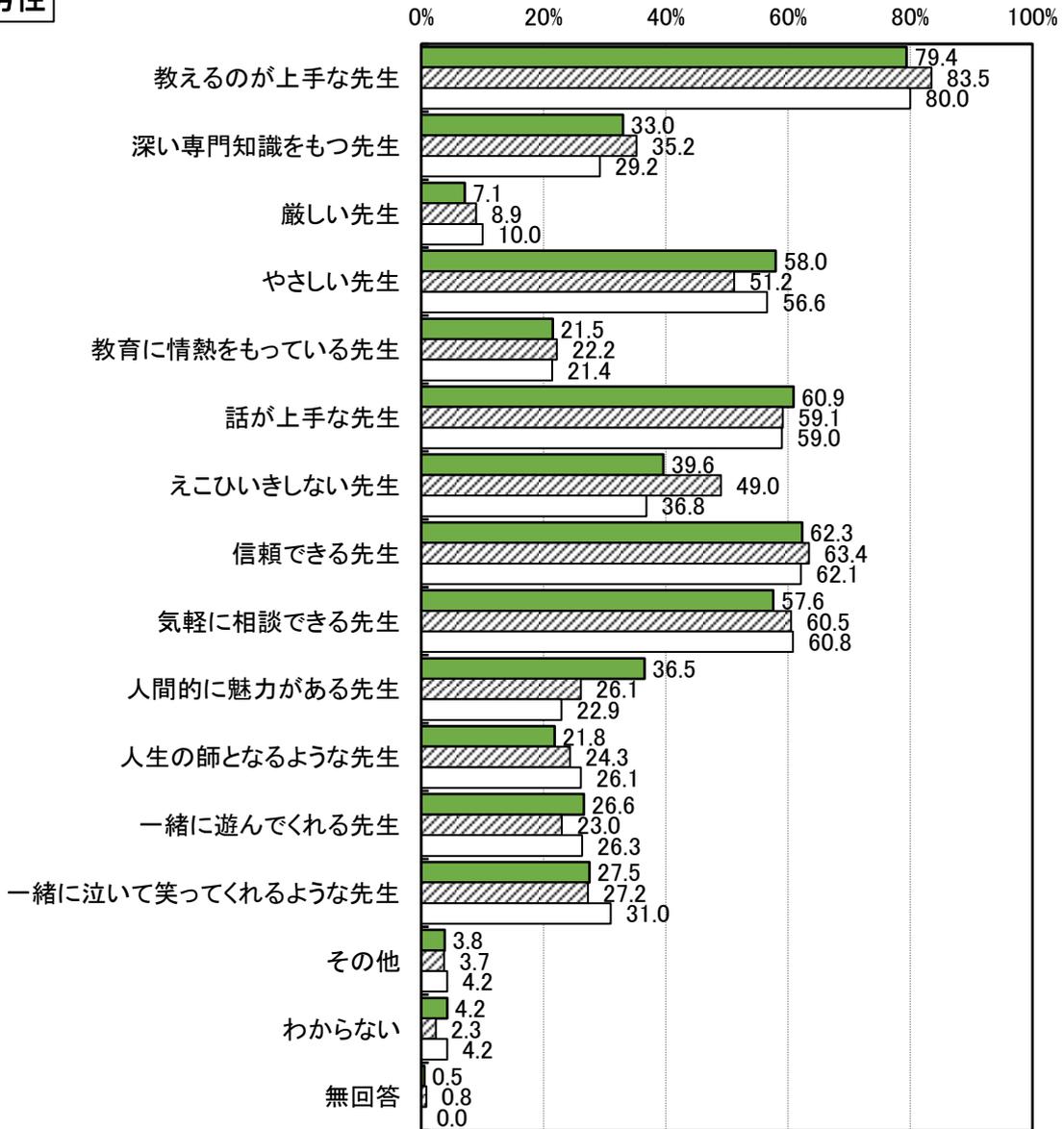


【性別】

上位を性別で見ると、「教えるのが上手な先生」「信頼できる先生」ともに“男性”よりも“女性”の割合が高くなっています。

平成 30 年度の調査と比較すると“男性”は「人間的に魅力がある先生」、「女性」は「一緒に遊んでくれる先生」がそれぞれ最も増加しています。

男性



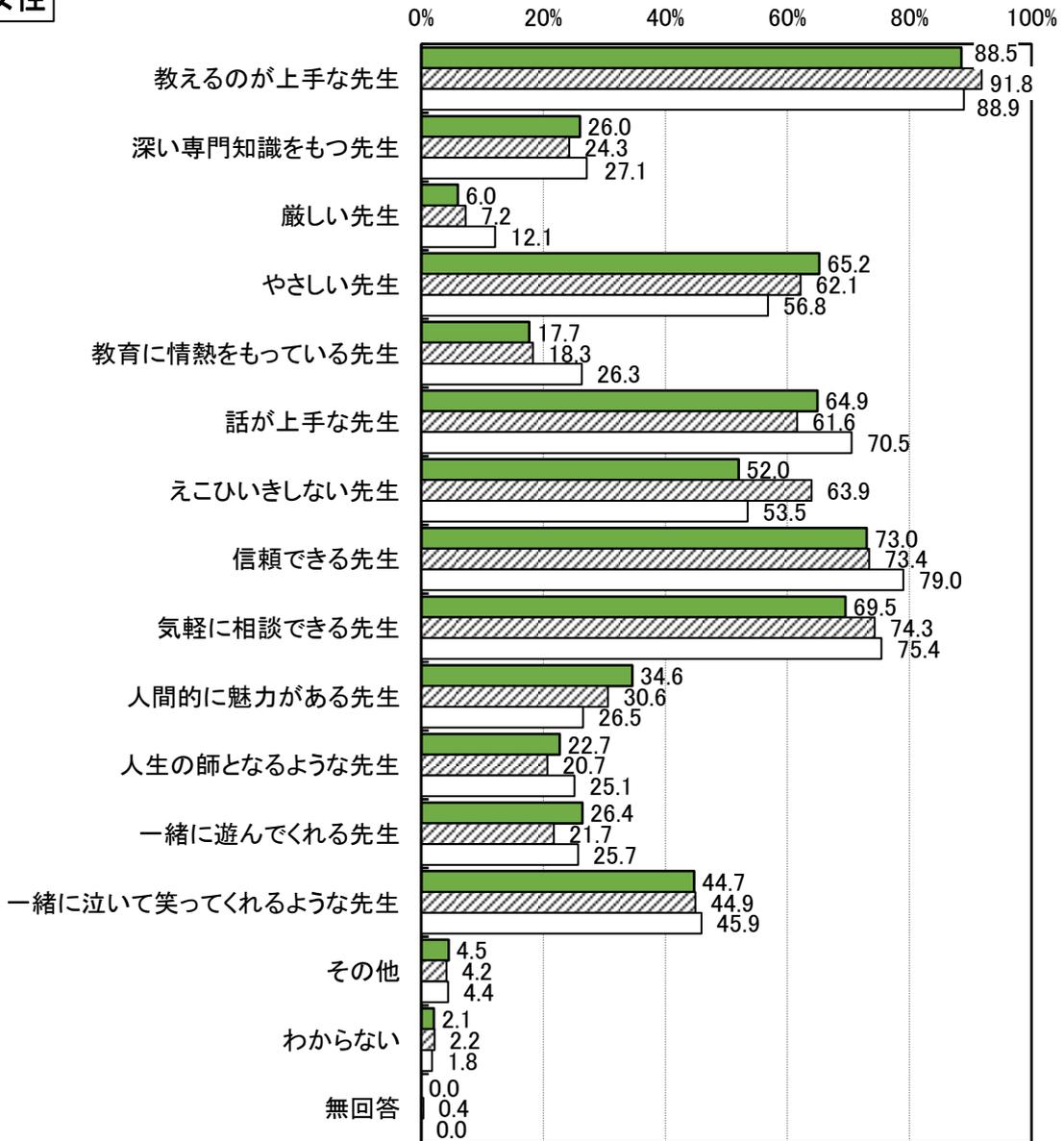
■ 令和3年 ■ 平成30年 □ 平成26年

n=578

n=514

n=556

女性



■ 令和3年 ■ 平成30年 □ 平成26年

n=515

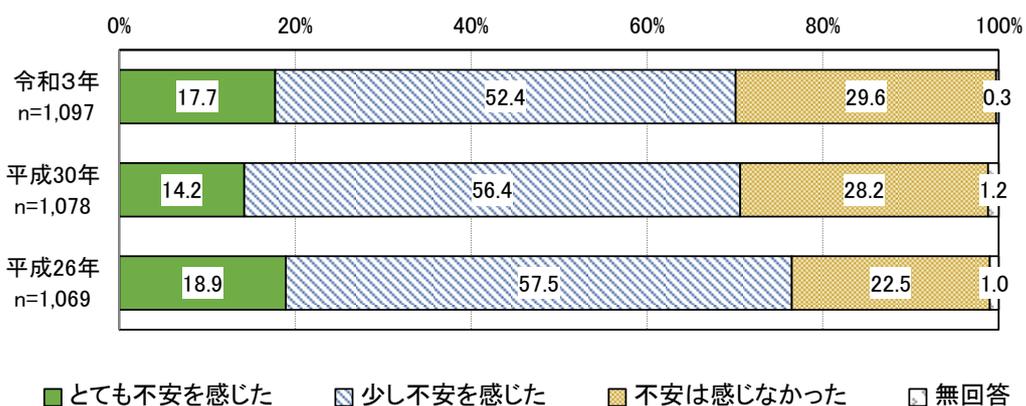
n=552

n=507

問 11 あなたは、小学生から中学生になるとき（義務教育学校の場合には 6 年生から 7 年生になるとき）に、不安を感じましたか。（1 つだけ○）

進級するときに不安を感じたかについては「少し不安を感じた」が 52.4%で最も多く、次いで「不安は感じなかった」が 29.6%、「とても不安を感じた」が 17.7%となっています。

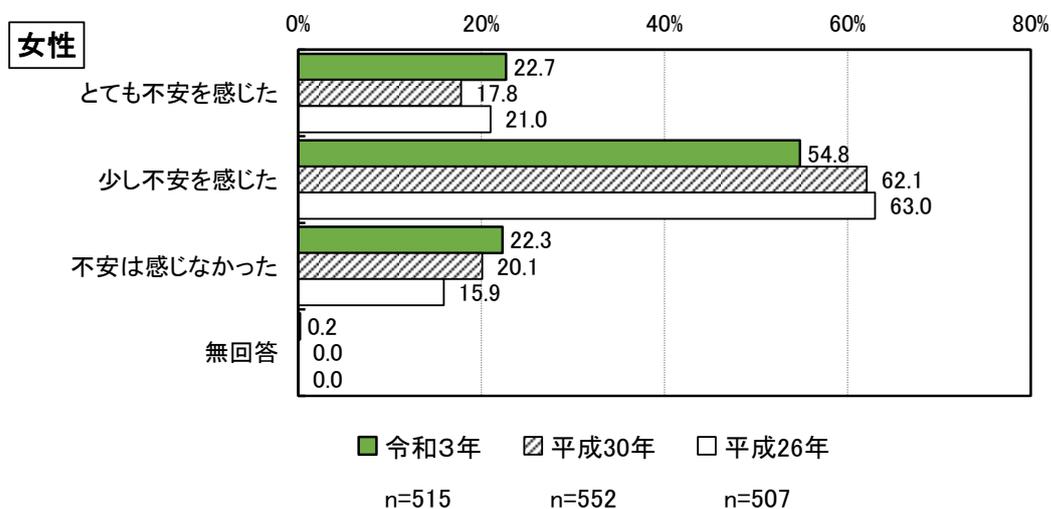
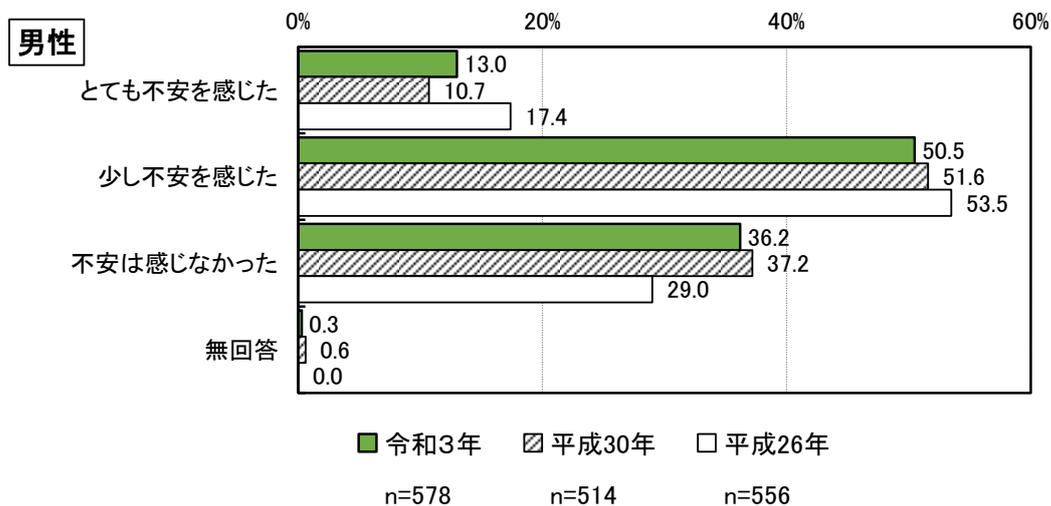
平成 30 年度の調査と比較すると、本調査では「とても不安を感じた」が増加、「少し不安を感じた」が減少しています。



## 【性別】

性別で見ると、「とても不安を感じた」「少し不安を感じた」を合わせると、“女性”は8割近くになり、“男性”と比べて高い割合となっています。

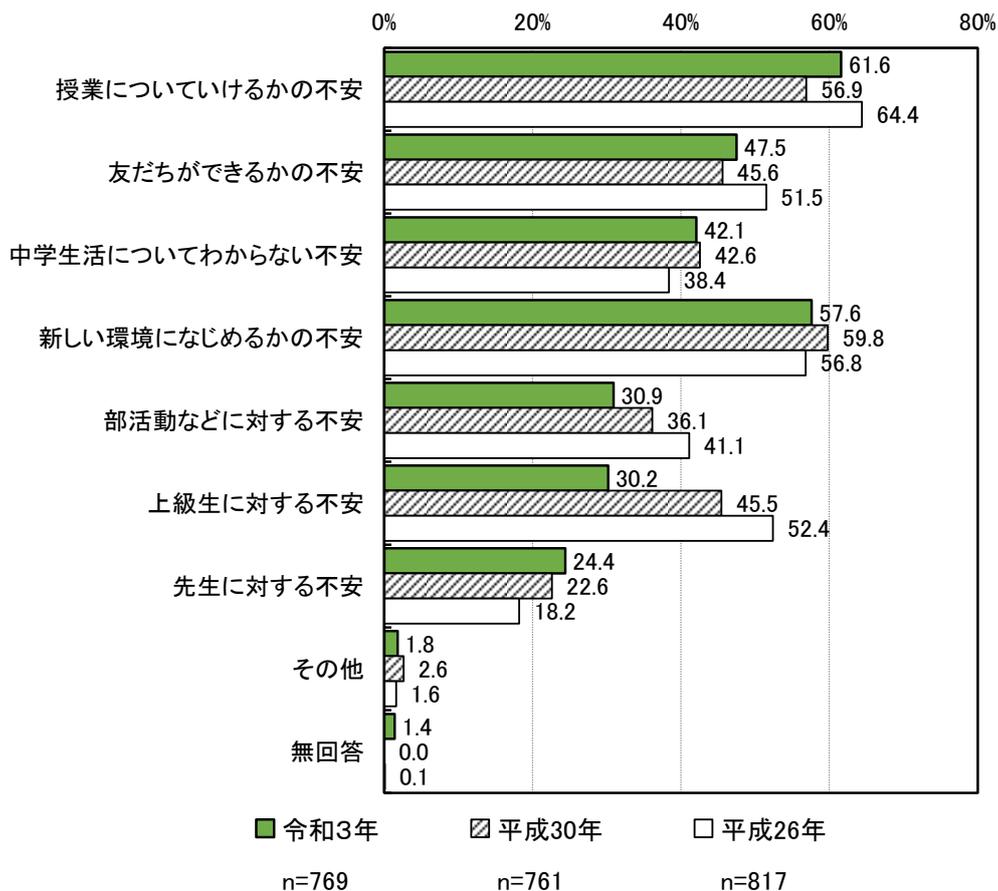
平成30年度の調査と比較すると、本調査では「とても不安を感じた」が“男性”“女性”ともに増加しましたが、「不安は感じなかった」は“男性”は減少したものの“女性”は増加しています。



問12 不安の内容はどのようなことでしたか。(あてはまるものすべてに○)

不安の内容については、「授業についていけるかの不安」が61.6%で最も多く、次いで「新しい環境になじめるかの不安」が57.6%、「友だちができるかの不安」が47.5%、「中学生生活についてわからない不安」が42.1%、「部活動などに対する不安」が30.9%などとなっています。

また、平成30年度の調査では、「新しい環境になじめるかの不安」が最も多かったのに対し、本調査では「授業についていけるかの不安」が最も多くなっています。

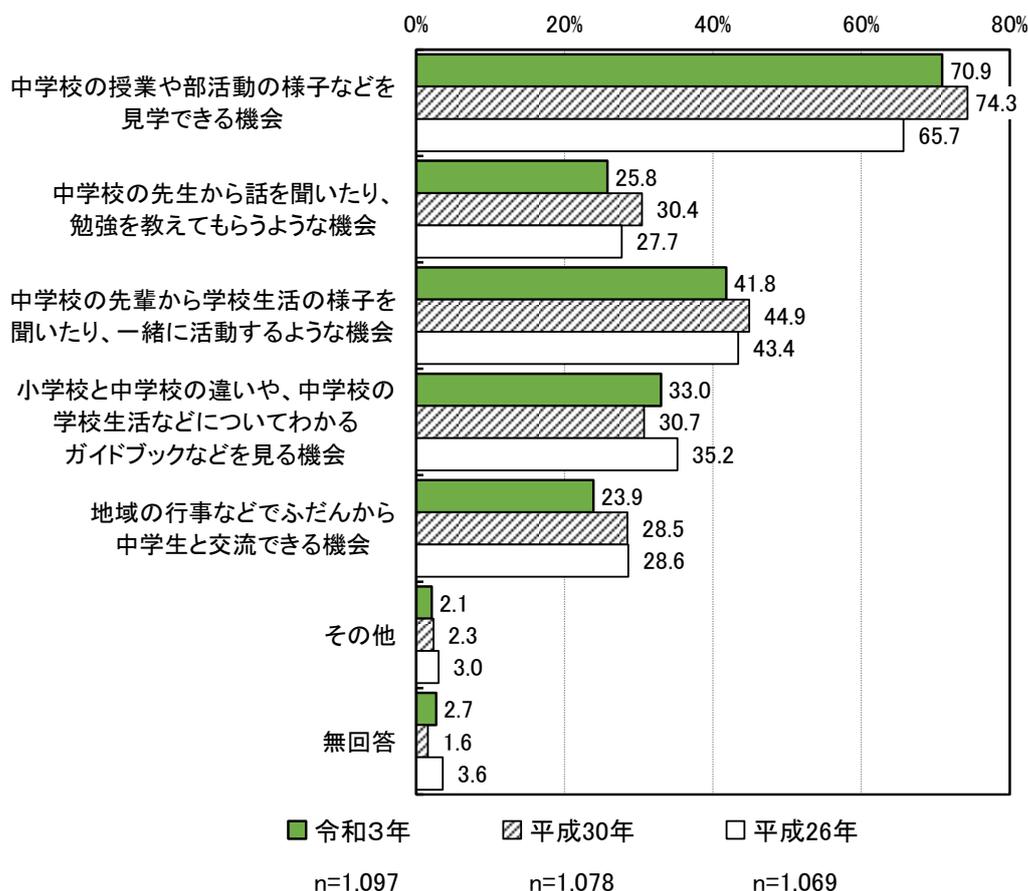


問 13 中学校に安心して進学するためには、小学校のときに、どのような機会があると良いと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

※義務教育学校の生徒につきましては、小学校と中学校が分かれていた場合を想定してお答えください（問 14 も同様）。

中学校に安心して進学するための機会については、「中学校の授業や部活動の様子などを見学できる機会」が 70.9%で最も多く、次いで「中学校の先輩から学校生活の様子を聞いたり、一緒に活動するような機会」が 41.8%、「小学校と中学校の違いや、中学校の学校生活などについてわかるガイドブックなどを見る機会」が 33.0%、「中学校の先生から話を聞いたり、勉強を教えてもらうような機会」が 25.8%、「地域の行事などでふだんから中学生と交流できる機会」が 23.9%となっています。

平成 30 年度の調査と比較すると、本調査では「小学校と中学校の違いや、中学校の学校生活などについてわかるガイドブックなどを見る機会」のみ増加し、他の項目では減少しています。

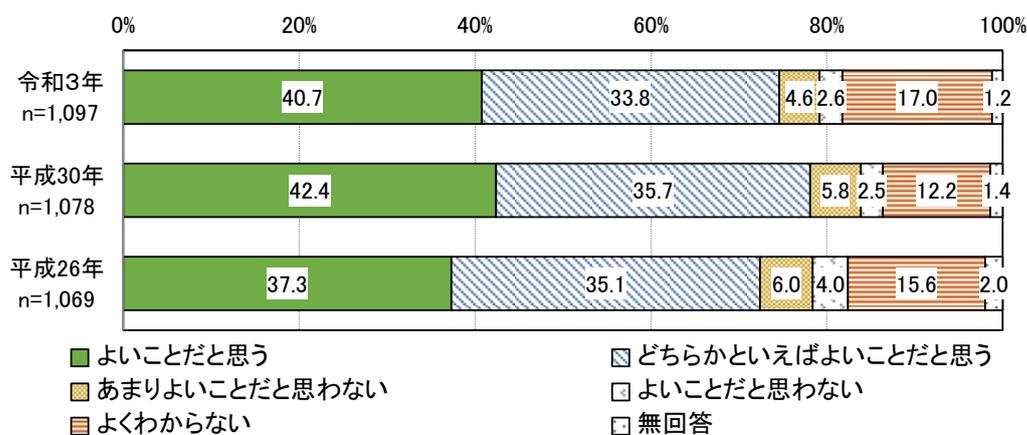


問 14 あなたは、小学校と中学校とが連携して、学校の目標や生活のきまりを統一したり、学校行事などで児童と生徒が交流することについて、どのように思いますか。

(1つだけ〇)

小学校と中学校とが連携して、学校の目標や生活のきまりを統一したり、学校行事などで児童と生徒が交流することについては、「よいことだと思う」が40.7%で最も多く、次いで「どちらかといえばよいことだと思う」が33.8%、「あまりよいことだと思わない」が4.6%、「よいことだと思わない」が2.6%などとなっています。

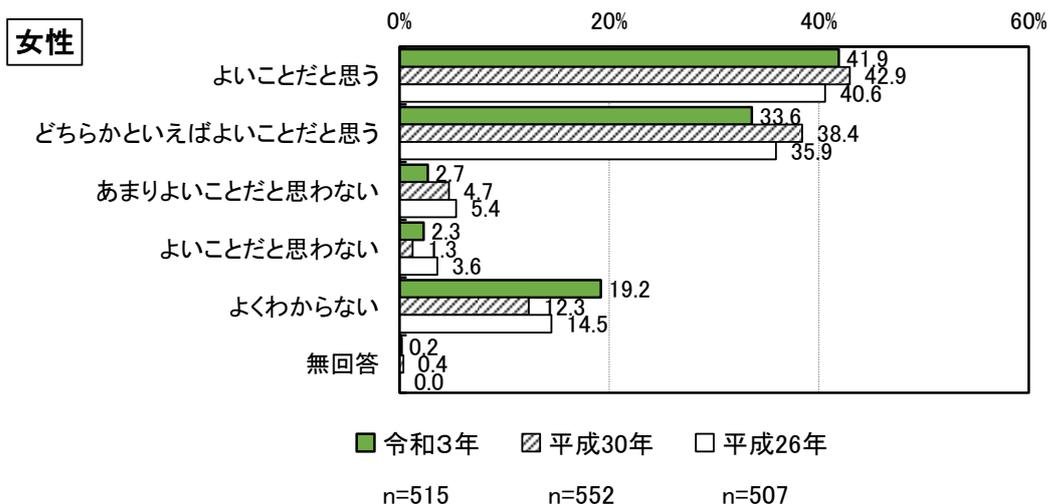
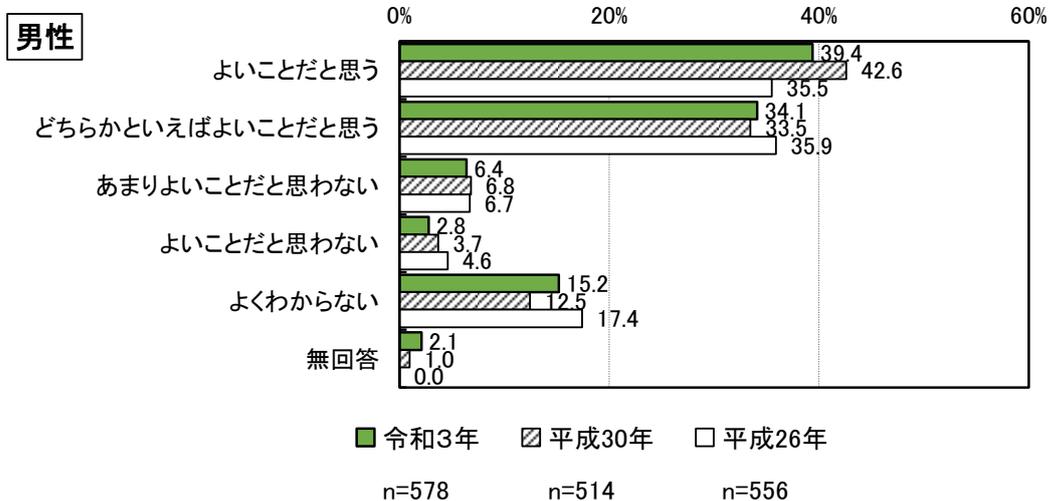
平成30年度の調査と比較すると、本調査では「よくわからない」が増加し、「よいことだと思う」や「どちらかといえばよいことだと思う」などが減少しています。



## 【性別】

性別でみると、「よいことだと思う」では“男性”“女性”ともに4割程度となりました。

また、平成30年度の調査と比較して、“男性”は「よいことだと思う」、「女性」は「どちらかといえばよいことだと思う」の減少が大きくなっています。

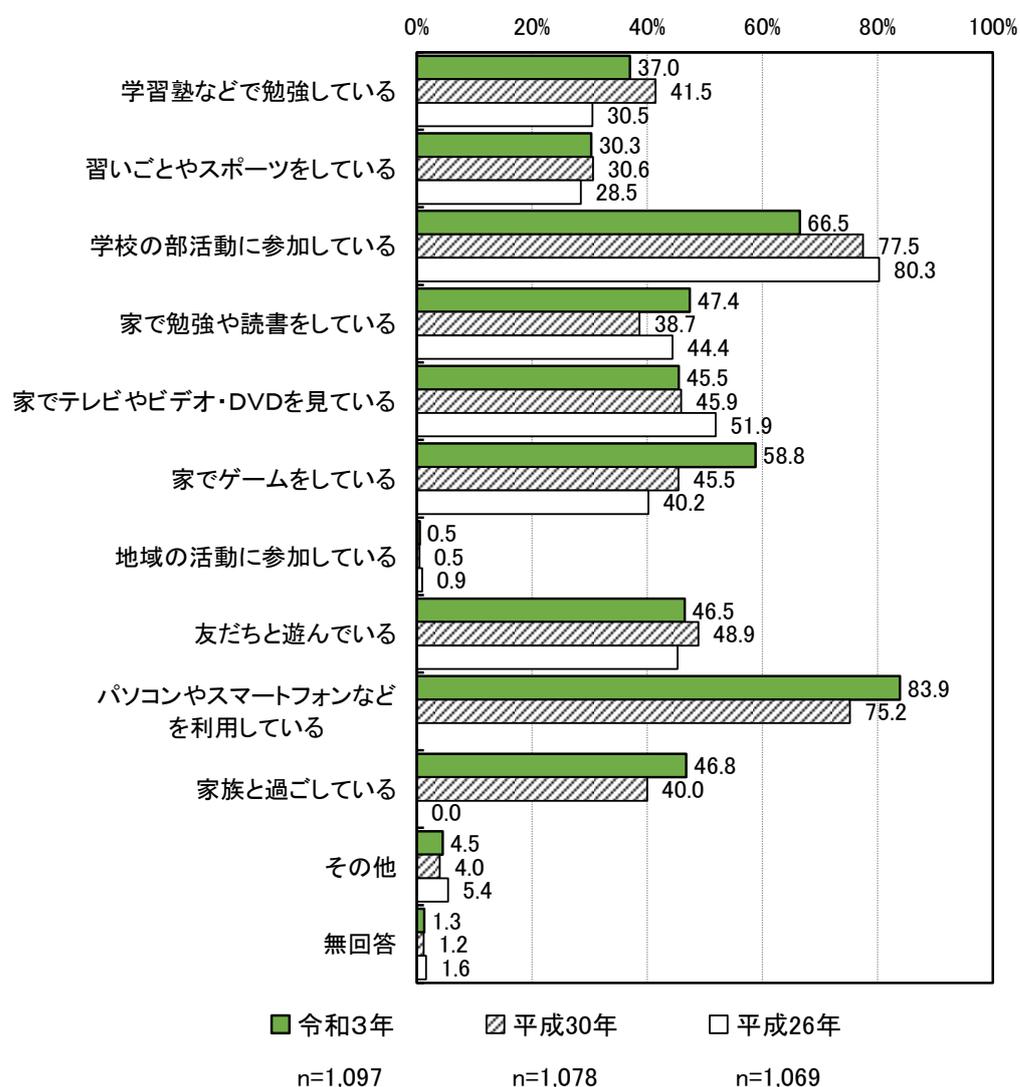


### 3. 放課後や土日の過ごし方について

問 15 あなたは、普段放課後に何をしてお過ごしが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

ふだんの放課後の過ごし方については、「パソコンやスマートフォンなどを利用している」が83.9%で最も多く、次いで「学校の部活動に参加している」が66.5%、「家でゲームをしている」が58.8%、「家で勉強や読書をしている」が47.4%、「家族と過ごしている」が46.8%などとなっています。

平成30年度の調査と比較すると、本調査では「家でゲームをしている」が最も大きく増加しています。

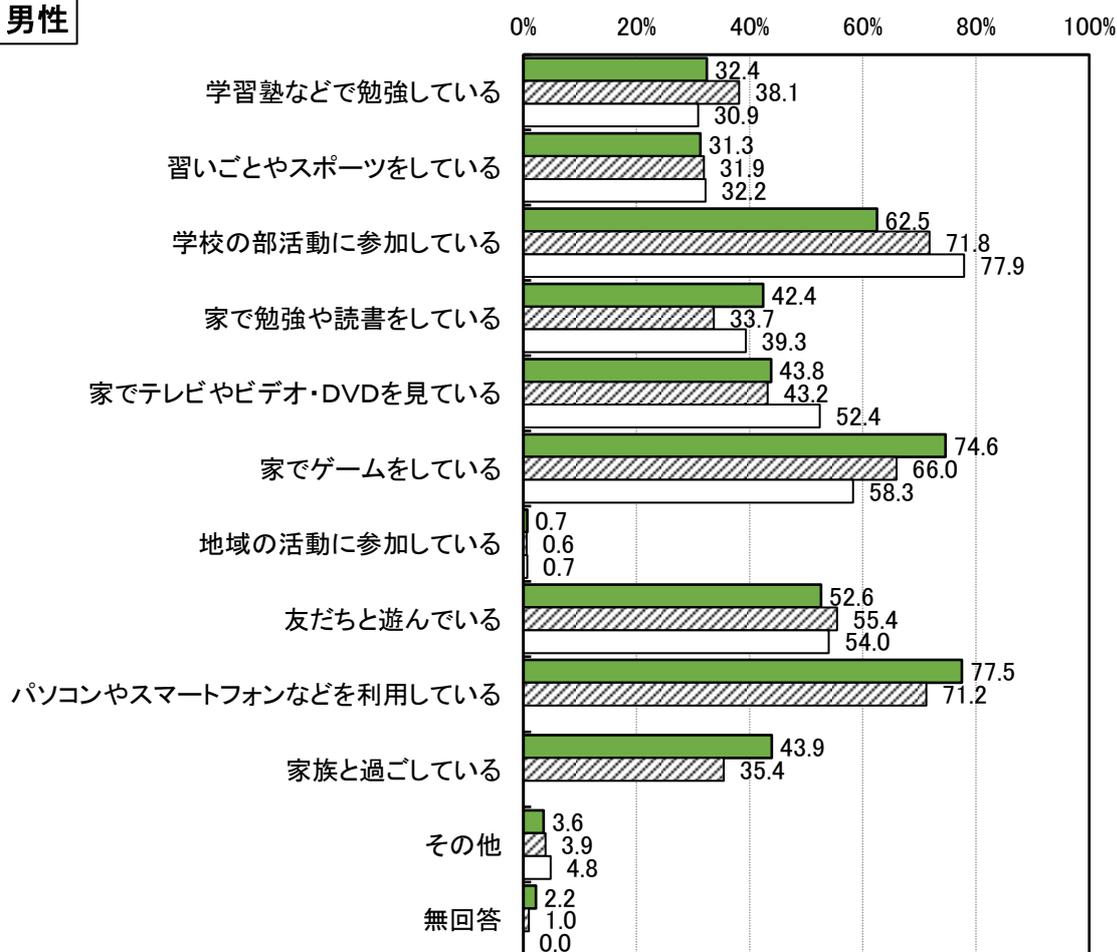


## 【性別】

性別で見ても、“男性”“女性”ともに「パソコンやスマートフォンなどを利用している」の割合が高くなっています。特に“女性”は90.9%と“男性”よりも13.4ポイント高い値になっています。

平成30年度の調査と比較すると、“男性”“女性”ともに「学校の部活動に参加している」が大きく減少しています。

### 男性



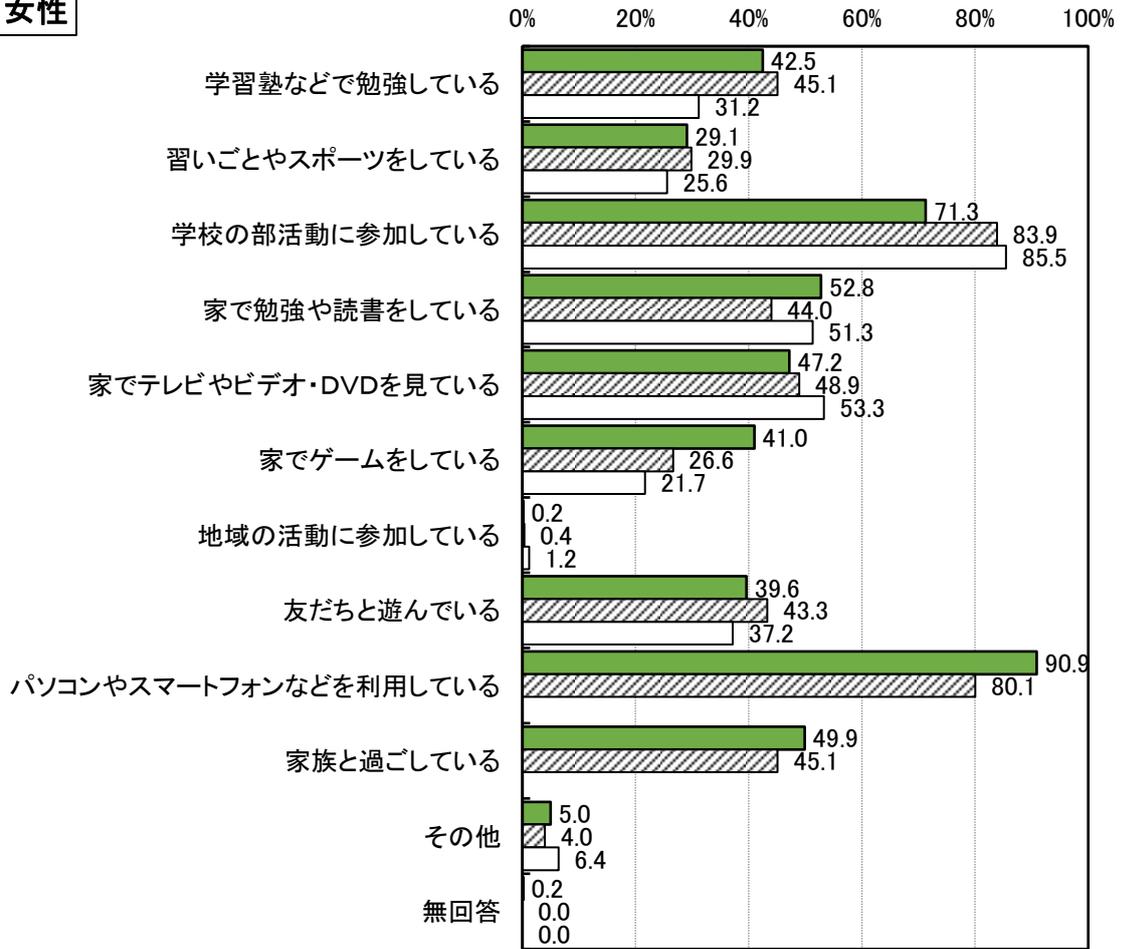
■ 令和3年 ■ 平成30年 □ 平成26年

n=578

n=514

n=556

**女性**



■ 令和3年 ■ 平成30年 □ 平成26年

n=515

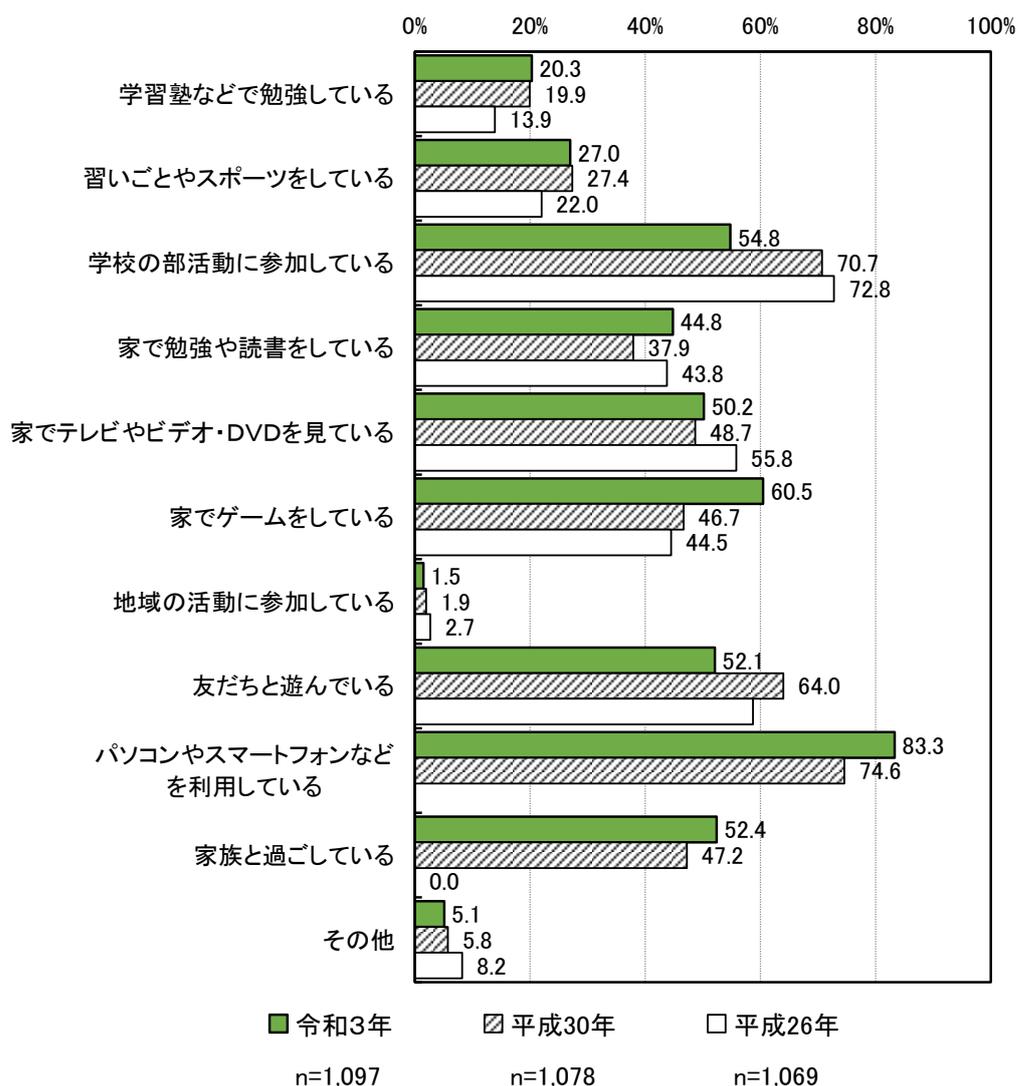
n=552

n=507

問 16 あなたは、土曜日や日曜日に何をすることが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

土曜日や日曜日にどのような過ごし方をしているかについては、「パソコンやスマートフォンなどを利用している」が83.3%で最も多く、次いで「家でゲームをしている」が60.5%、「学校の部活動に参加している」が54.8%、「家族と過ごしている」が52.4%、「友だちと遊んでいる」が52.1%などとなっています。

平成30年度の調査と比較すると、本調査では「家でゲームをしている」が最も増加し、「学校の部活動に参加している」が最も減少しています。

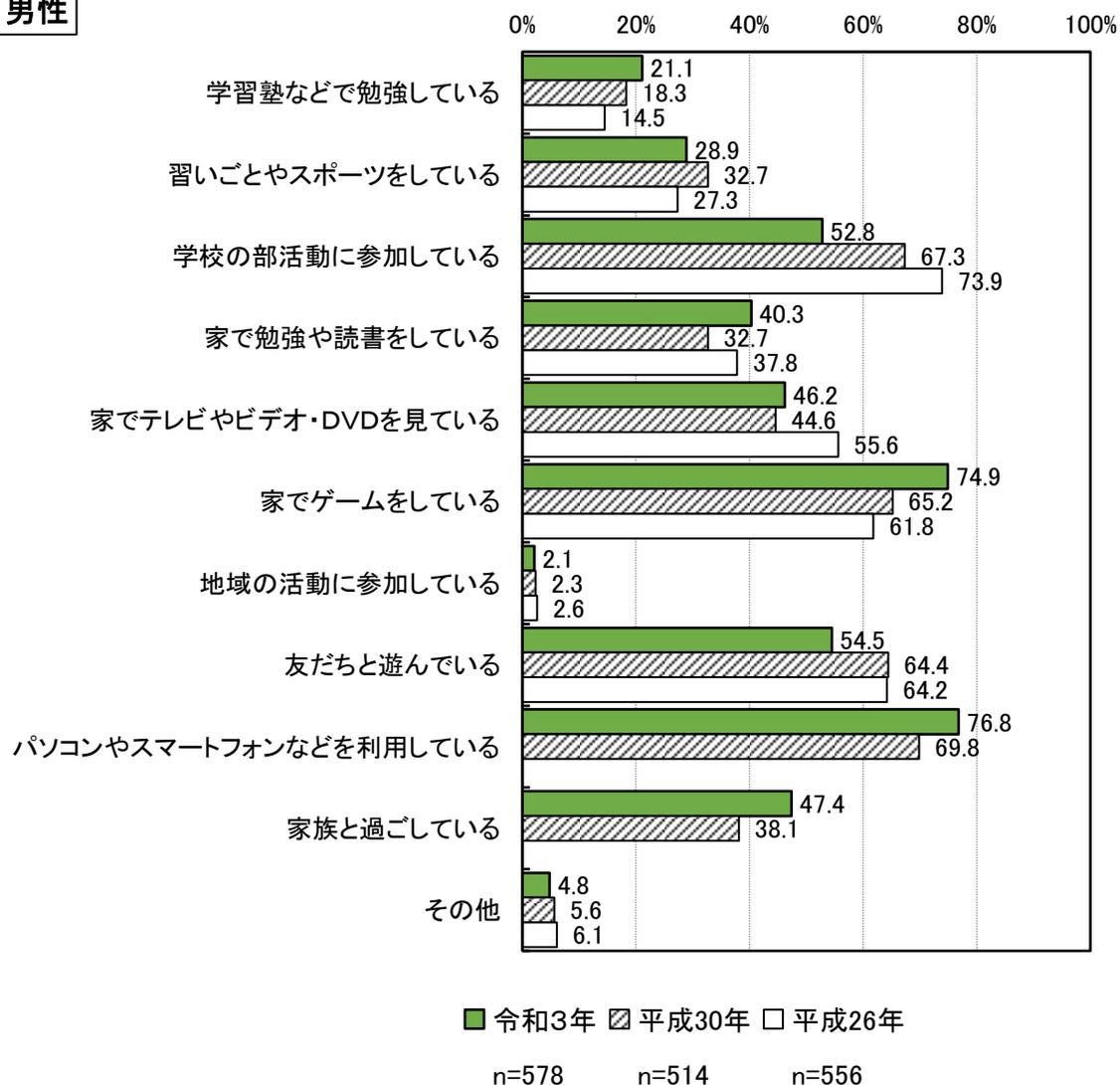


## 【性別】

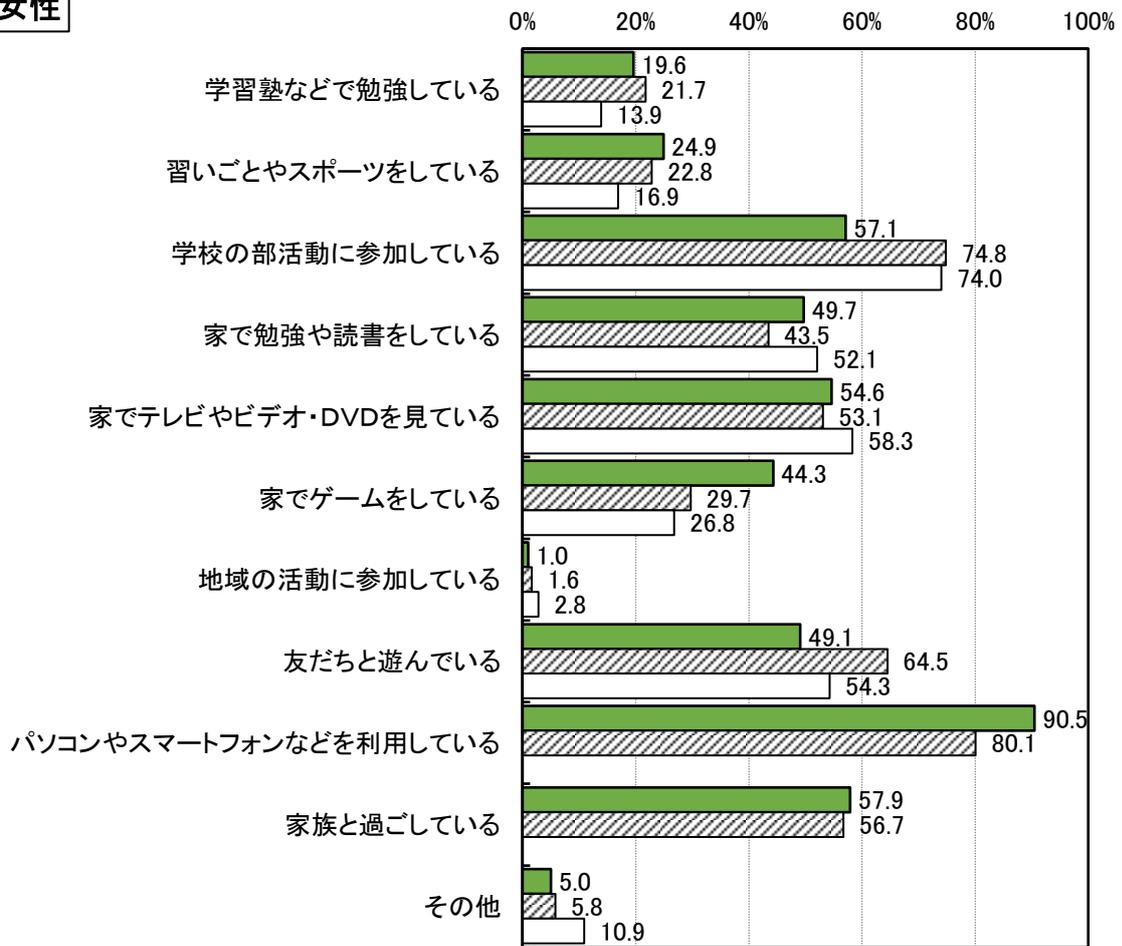
性別で見ると、放課後の過ごし方と同様に、「パソコンやスマートフォンなどを利用している」が“男性”“女性”ともに高い割合となっています。

平成30年度の調査と比較すると、本調査では「友だちと遊んでいる」「学校の部活動に参加している」が、“男性”“女性”ともに大きく減少しています。

### 男性



女性



■ 令和3年    ▨ 平成30年    □ 平成26年

n=515

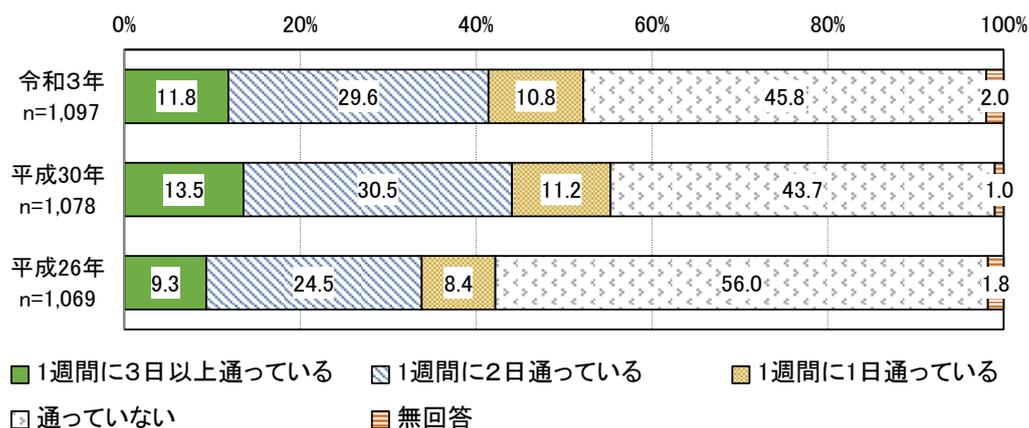
n=552

n=507

問 17 あなたは学習塾に通っていますか。(1つだけ〇)

学習塾に通っているかについては、「通っていない」が45.8%と最も多くなっているものの、「1週間に2日通っている」が29.6%、「1週間に3日以上通っている」が11.8%、「1週間に1日通っている」が10.8%となっており、1週間に1日以上通っている生徒は全体で52.2%と、過半数を超えています。

平成30年度の調査と比較すると、本調査では「1週間に1日通っている」「1週間に2日通っている」「1週間に3日以上通っている」と、いずれにおいても微減しています。

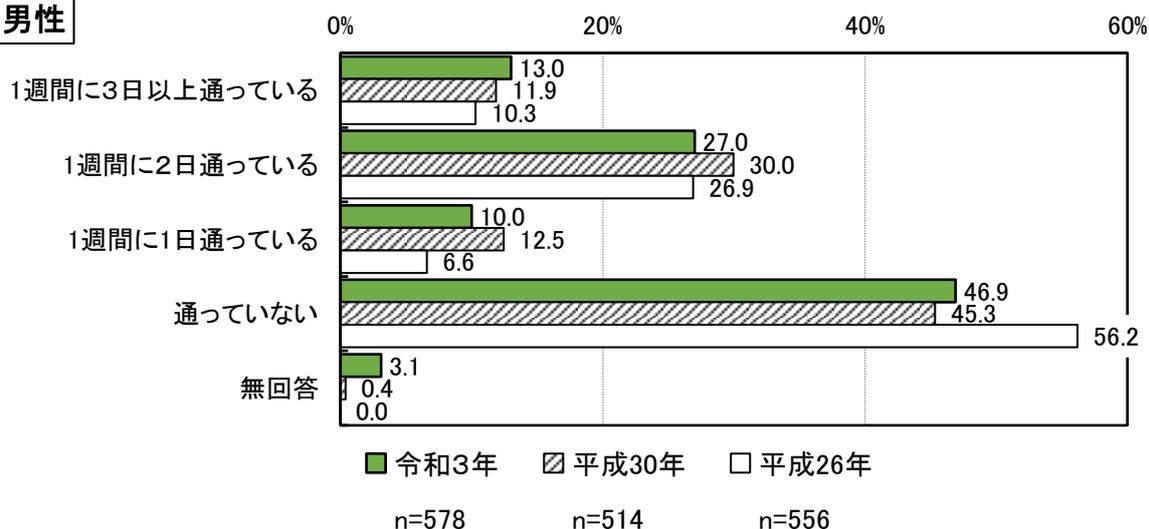


## 【性別】

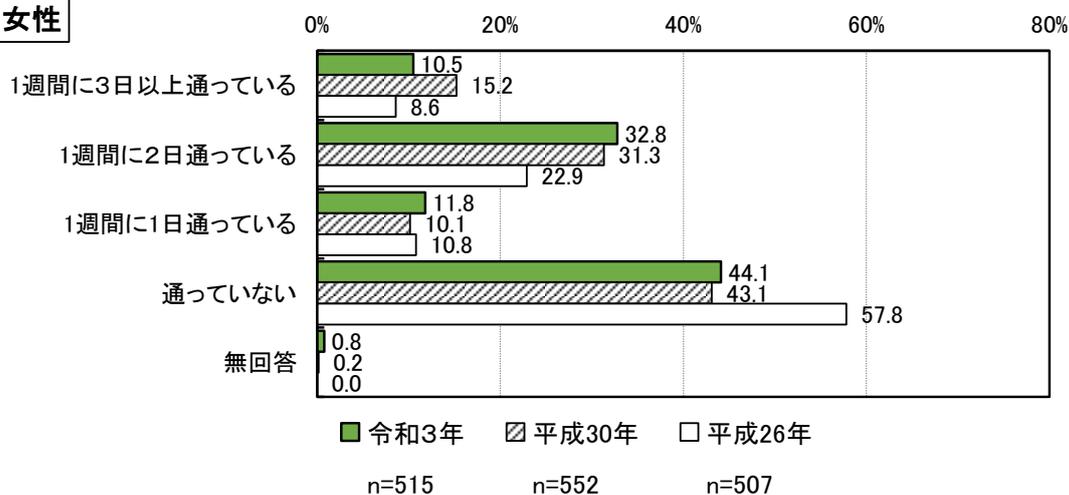
性別で見ると、全体の傾向としては大きな違いはみられませんが、「1週間に3日以上通っている」は、“女性”よりも“男性”の割合が高くなっています。

平成30年度の調査と比較すると、本調査で“女性”は「1週間に3日以上通っている」が減少していますが、他の項目は増加してはいます。“男性”では「1週間に3日以上通っている」「通っていない」は増加しましたが、他の項目は減少しています。

### 男性



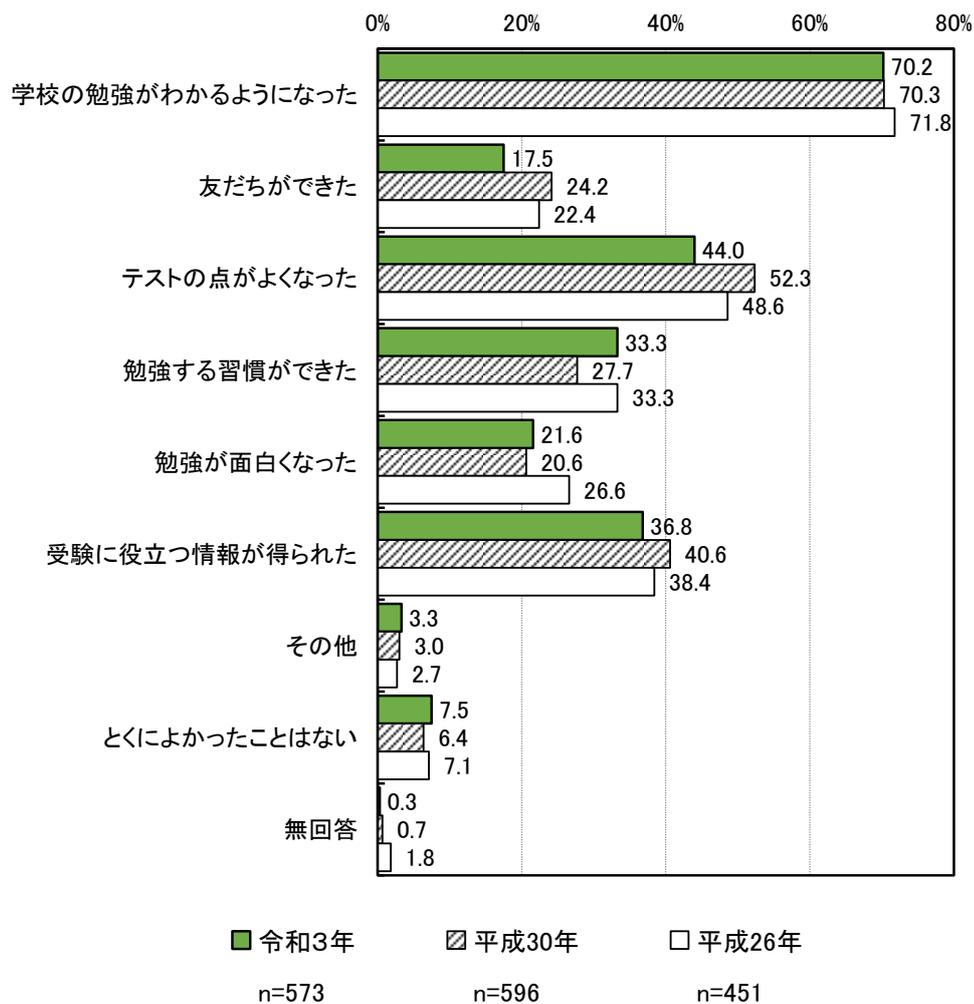
### 女性



問 18 学習塾に通ってよかったことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

学習塾に通ってよかったことについては、「学校の勉強がわかるようになった」が70.2%で最も多く、次いで「テストの点がよくなった」が44.0%、「受験に役立つ情報が得られた」が36.8%、「勉強する習慣ができた」が33.3%、「勉強が面白くなった」が21.6%などとなっています。

平成30年度の調査と比較すると、本調査では「勉強する習慣ができた」が最も増加し、「友だちができた」「テストの点がよくなった」が減少しています。



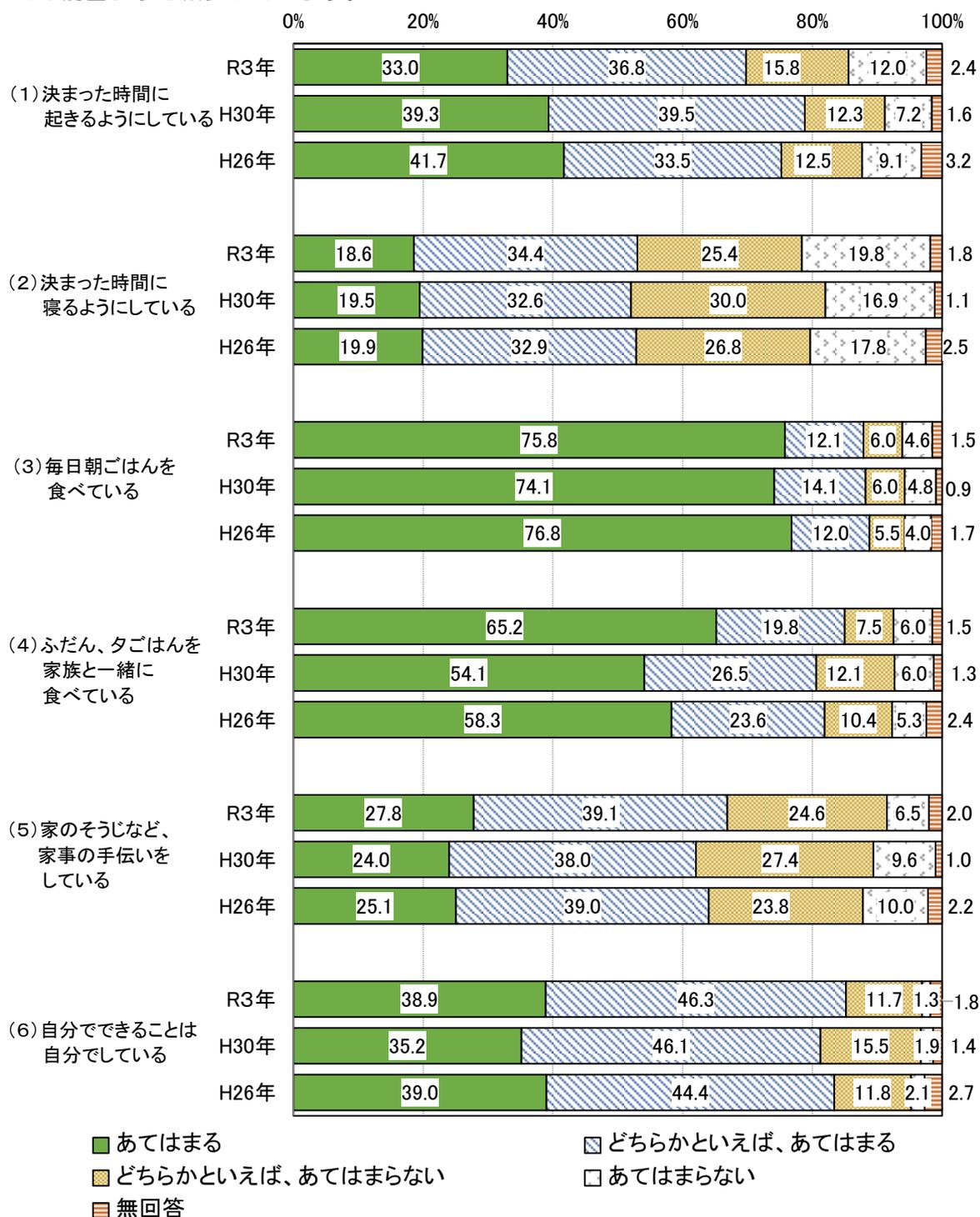
## 4. 家での様子について

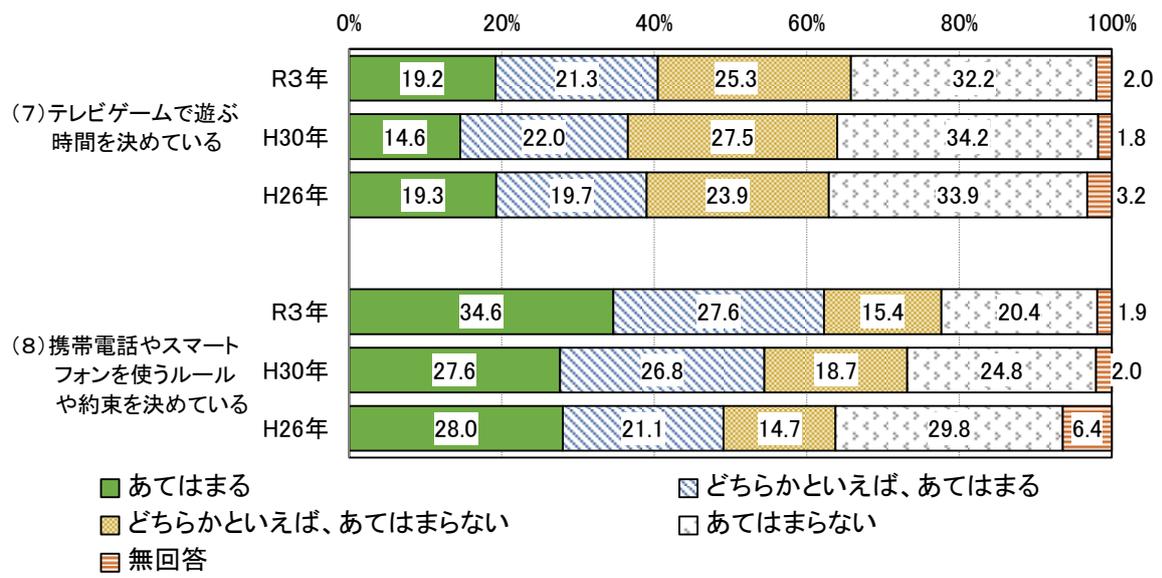
問 19 つぎのうち、あなたの普段の生活に当てはまるのはどのようなことですか。

(それぞれに1つずつ〇)

普段の生活にあてはまるものについて、「あてはまる」では“(3) 毎日朝ごはんを食べている”で7割半ば、“(4) ふだん、夕ごはんを家族と一緒に食べている”で6割半ばとなっています。一方、「あてはまらない」では“(7) テレビゲーム(コンピュータゲームや携帯式のゲームを含む)で遊ぶ時間を決めている”で3割を超えています。

平成30年度の調査と比較すると、多くの項目で、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」を合わせた数が増加していますが、“(1) 決まった時間に起きるようにしている”については前回よりも減少しています。

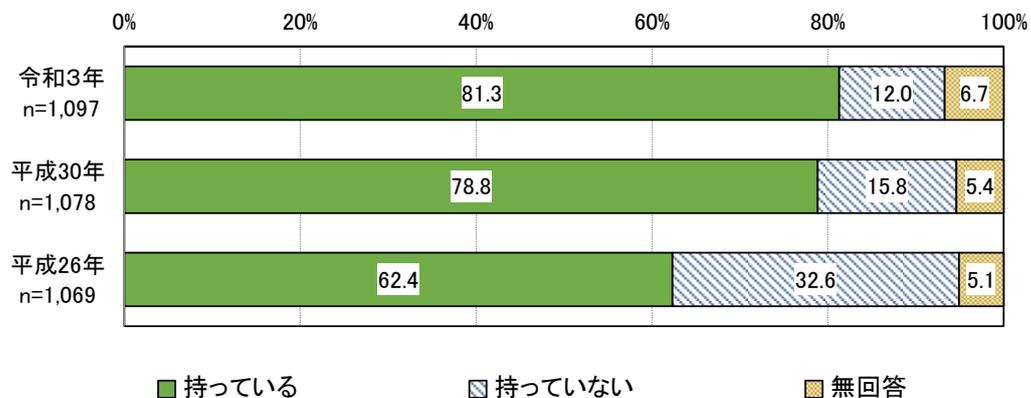




問 20 あなたは、自分だけの携帯電話やスマートフォンを持っていますか。(1つだけ○)

自分だけの携帯電話やスマートフォンを持っているかについては、「持っている」が81.3%、「持っていない」が12.0%となっています。

平成30年度の調査と比較すると、本調査では「持っている」が増加しています。

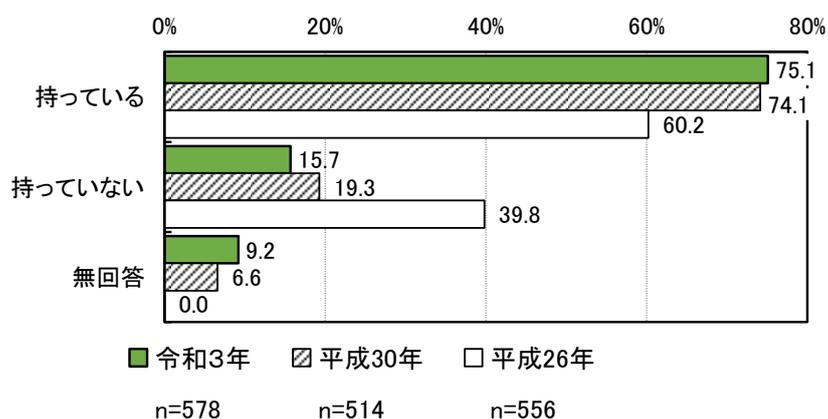


### 【性別】

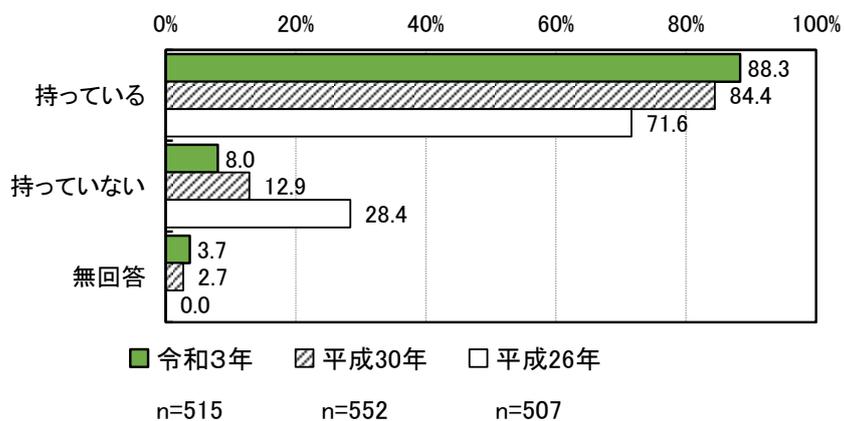
性別でみると、“女性”は「持っている」が8割を超え“男性”と比べて高い割合となっています。

平成30年度の調査と比較すると、本調査では「持っている」が“男性”“女性”ともに増加しています。

#### 男性



#### 女性



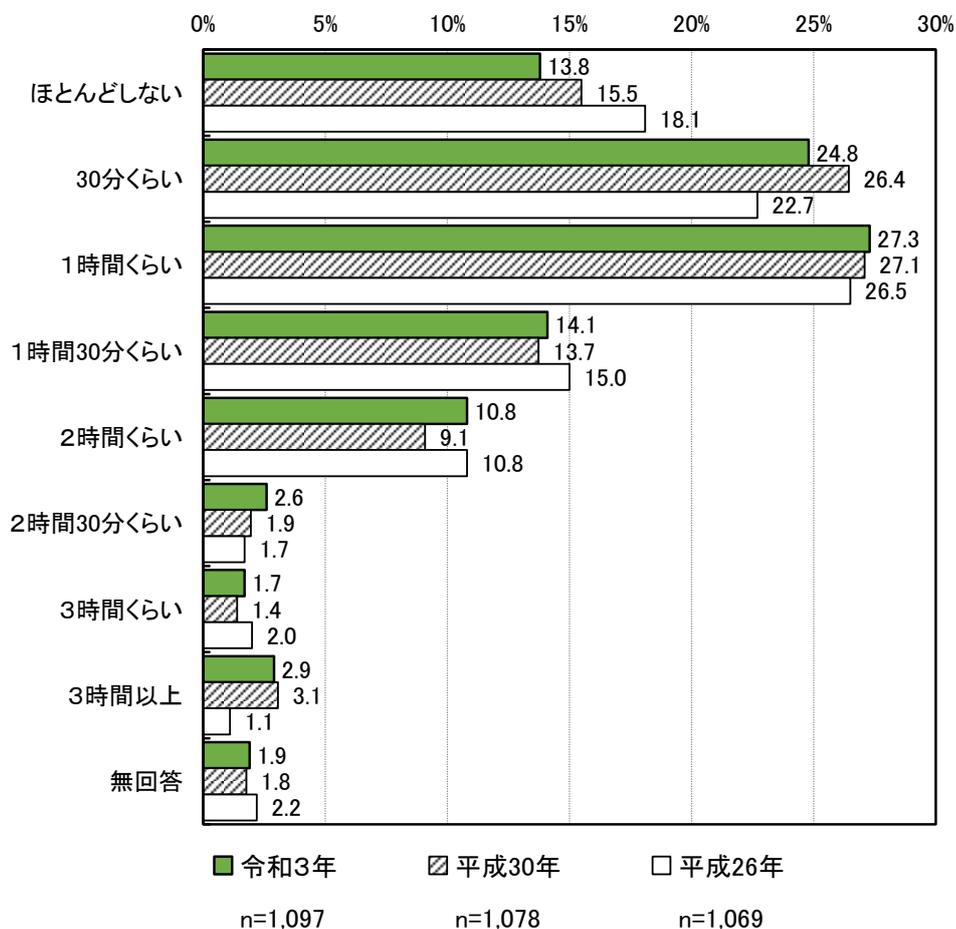
問 21 あなたは、ふだん家でどれくらい勉強していますか。塾で勉強する時間をのぞいた一日のだいたいの時間を教えてください。（それぞれに1つずつ〇）

ふだん家でどれくらい勉強しているかについては、平日では「1時間くらい」が最も多く27.3%、次いで「30分くらい」が24.8%などとなっています。

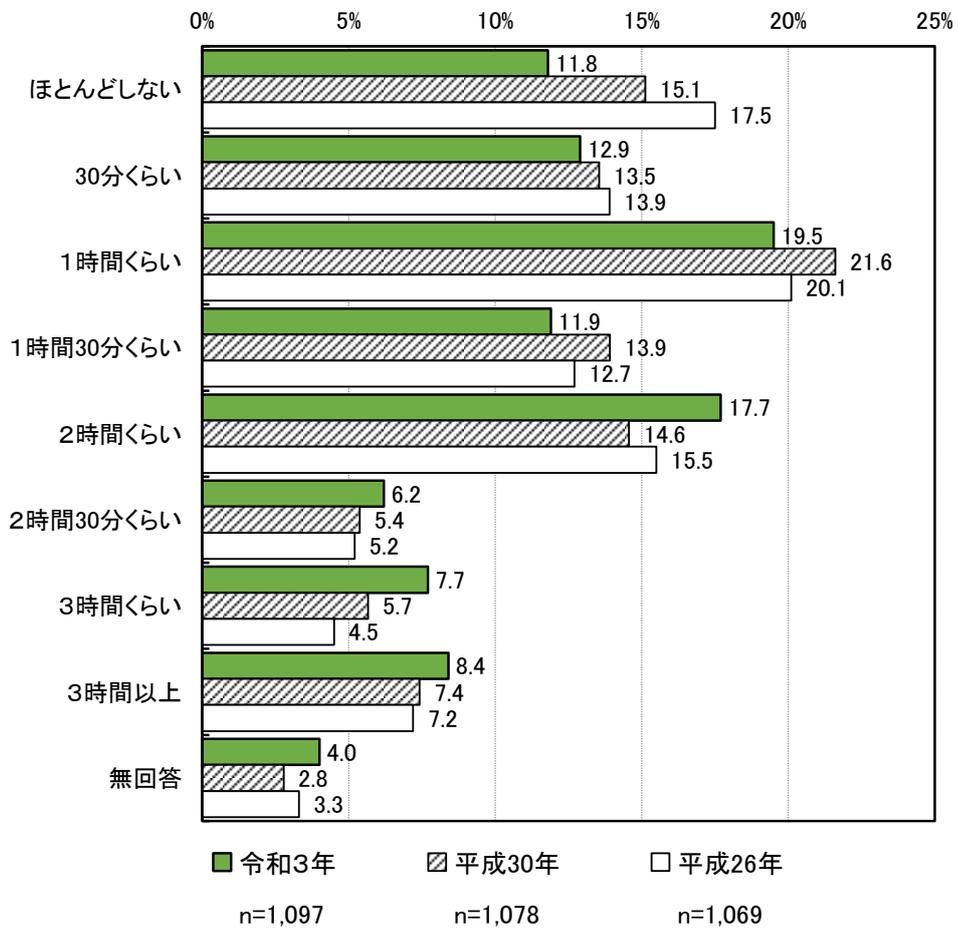
また、休日でも「1時間くらい」が最も多く19.5%、次いで「2時間くらい」が17.7%などとなっています。

平成30年度の調査と比較すると、本調査では、平日、休日ともに「2時間くらい」が増加しています。なお、「ほとんどしない」については平日、休日ともに減少しています。

【平日】



【休日】



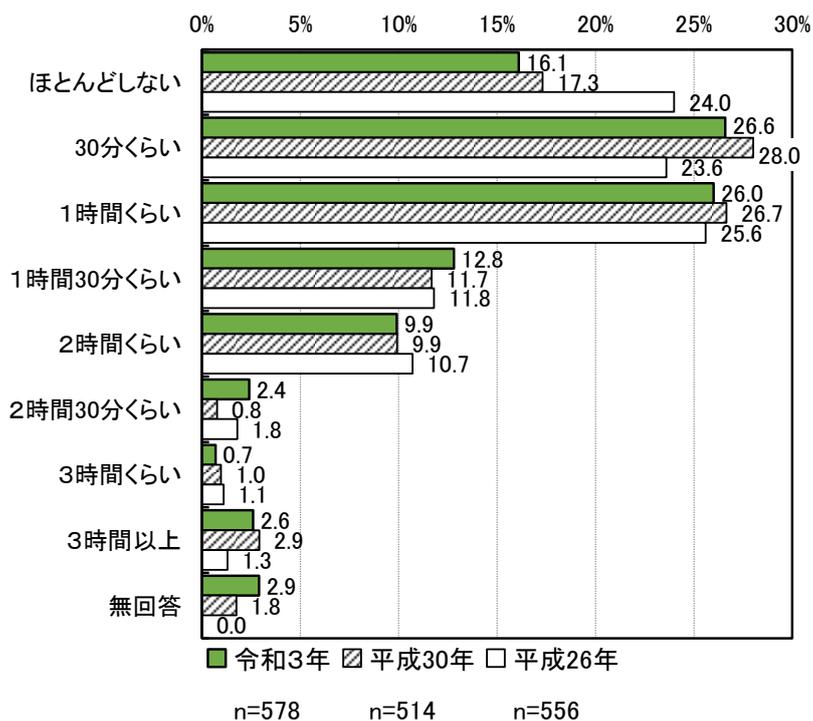
## 【性別】

性別でみると、「2時間くらい」について、“女性”は平日、休日ともに割合が高くなっています。男性は、休日の割合が高くなっています。

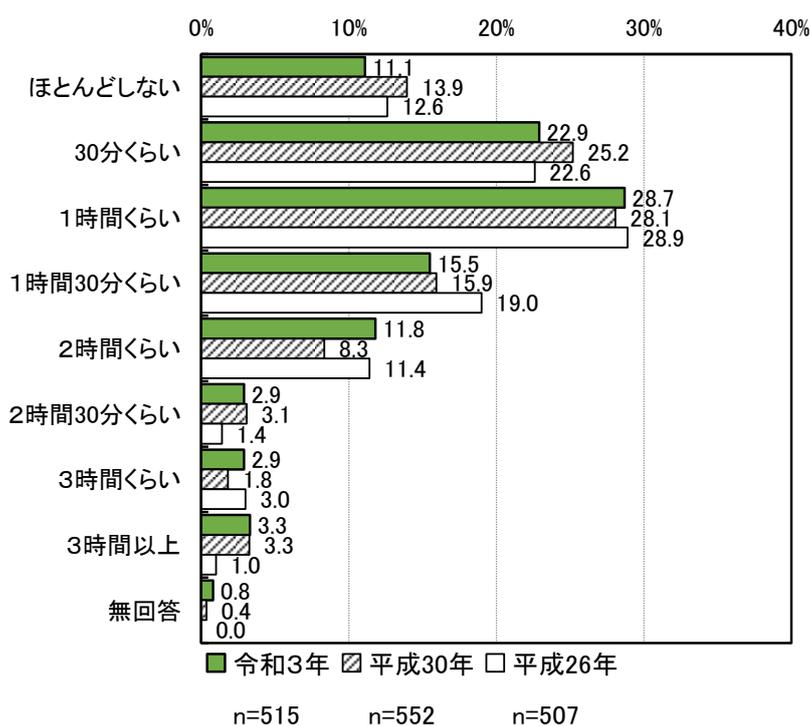
平成30年度の調査と比較すると、平日では“男性”は「1時間30分くらい」「2時間30分くらい」、「女性」は、「2時間くらい」「3時間くらい」などの割合が増えています。休日でも同じような傾向がみられます。

## 【平日】

### 男性

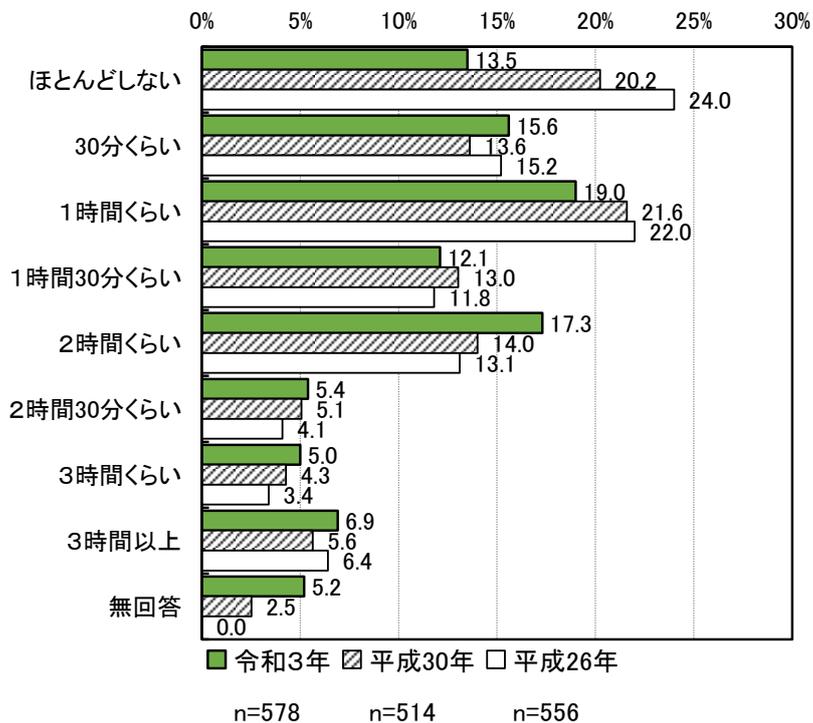


### 女性

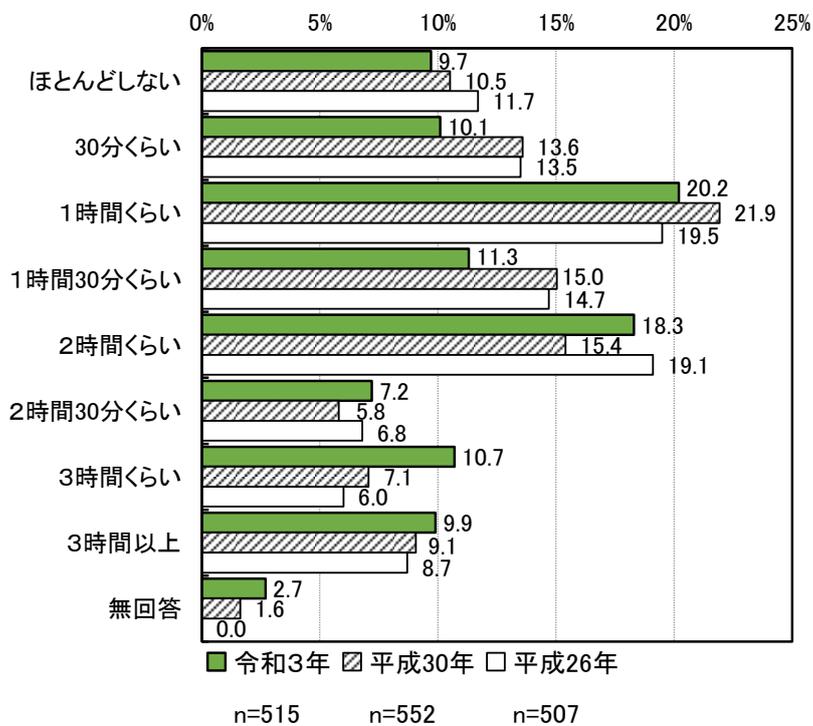


【休日】

男性



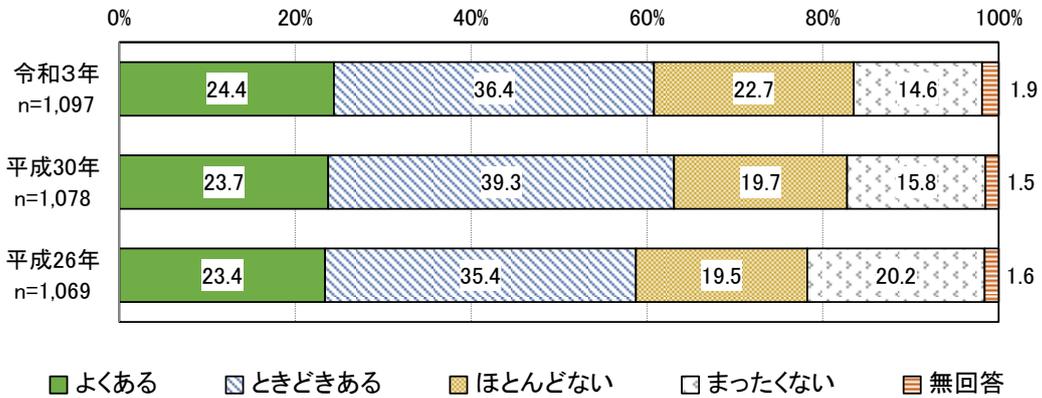
女性



問 22 あなたは、心配ごとなどで不安に感じることがありますか。(1つだけ○)

心配ごとなどで不安に感じることは、「ときどきある」が36.4%で最も多く、次いで「よくある」が24.4%、「ほとんどない」が22.7%、「まったくない」が14.6%となっています。

平成30年度の調査と比較すると、本調査では「ほとんどない」が増加しています。

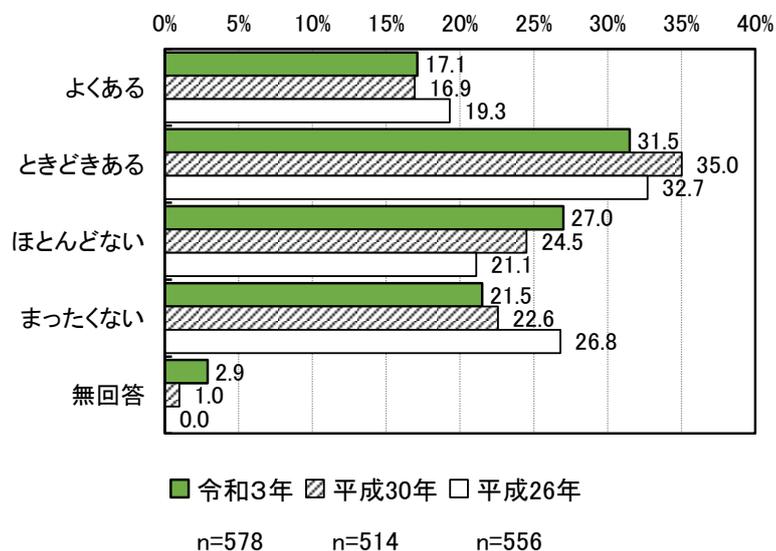


## 【性別】

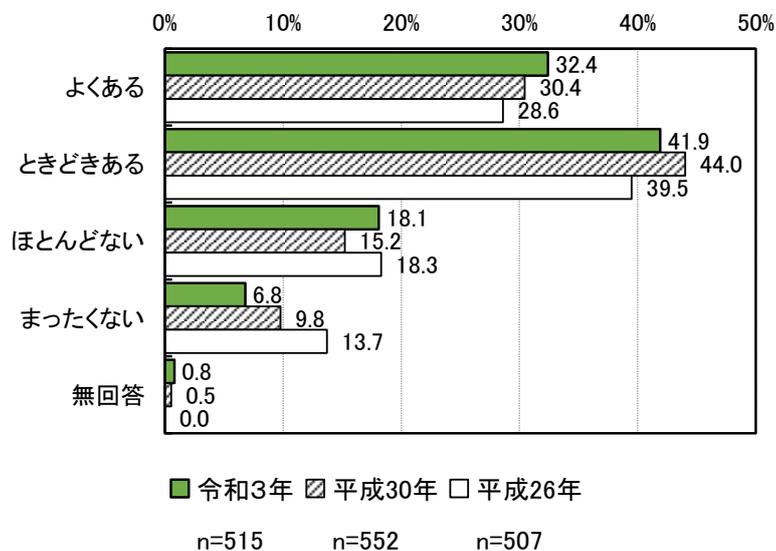
性別でみると、“女性”の「よくある」「ときどきある」を合わせると7割を超えており、“男性”と比べて不安を感じる割合が高くなっています。

平成30年度の調査と比較すると、本調査では“男性”“女性”ともに「ときどきある」が減少しています。

### 男性



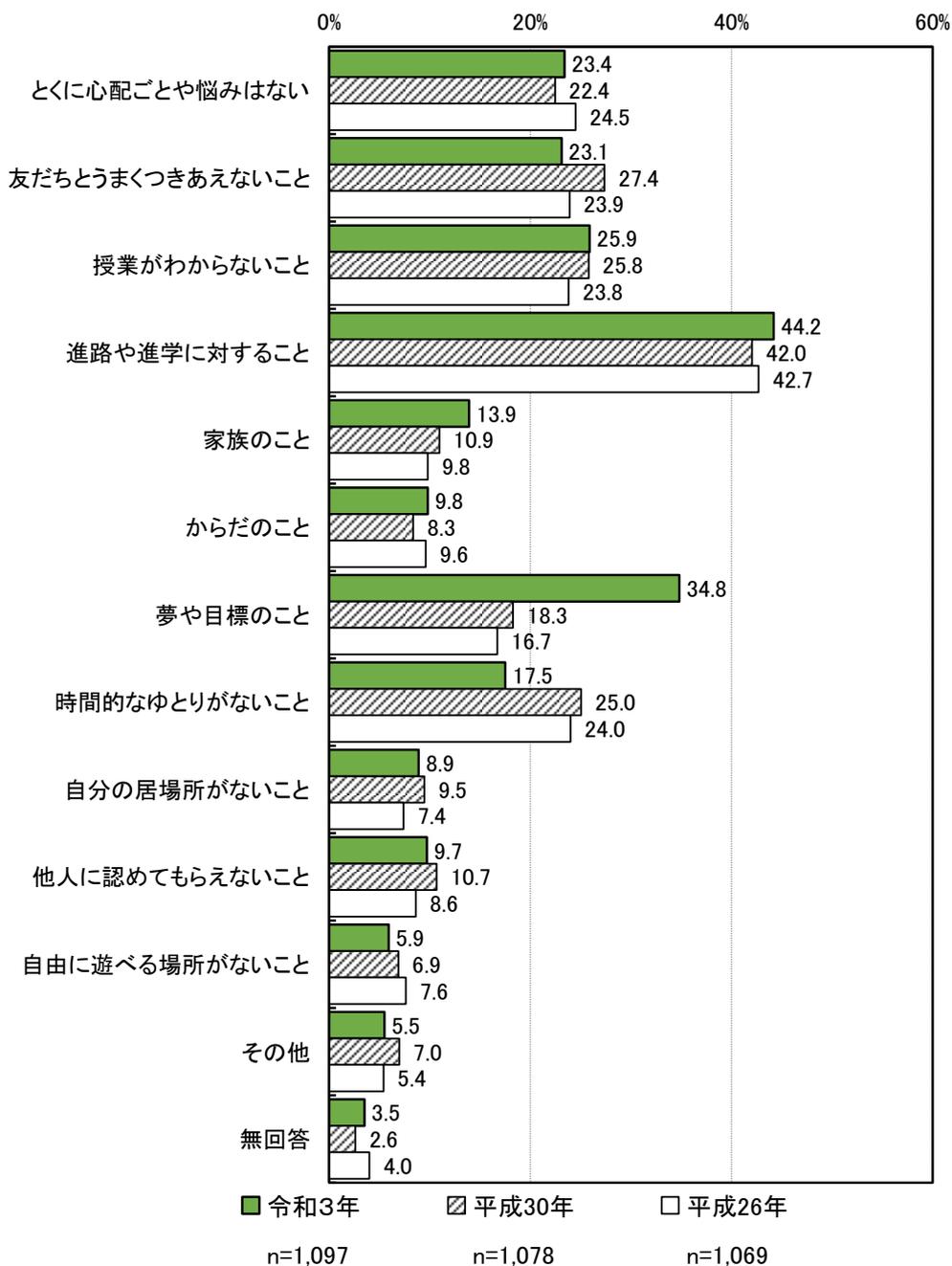
### 女性



問 23 あなたの心配ごとや悩みは次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

心配ごとや悩みの理由については、「進路や進学に対すること」が44.2%で最も多く、次いで「夢や目標のこと」が34.8%、「授業がわからないこと」が25.9%、「友だちとうまくつきあえないこと」が23.1%などとなっています。また、「とくに心配ごとや悩みはない」が23.4%となっています。

平成30年度の調査と比較すると、本調査では「夢や目標のこと」が大きく増加しています。

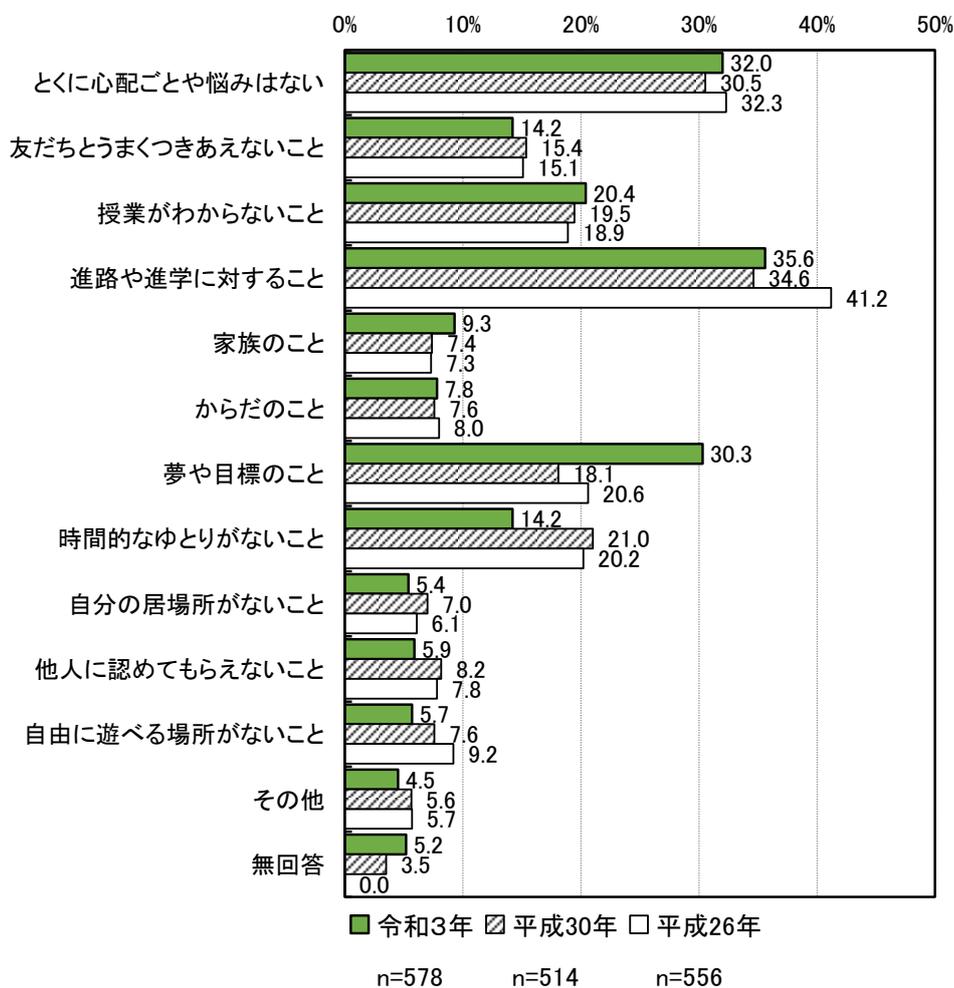


【性別】

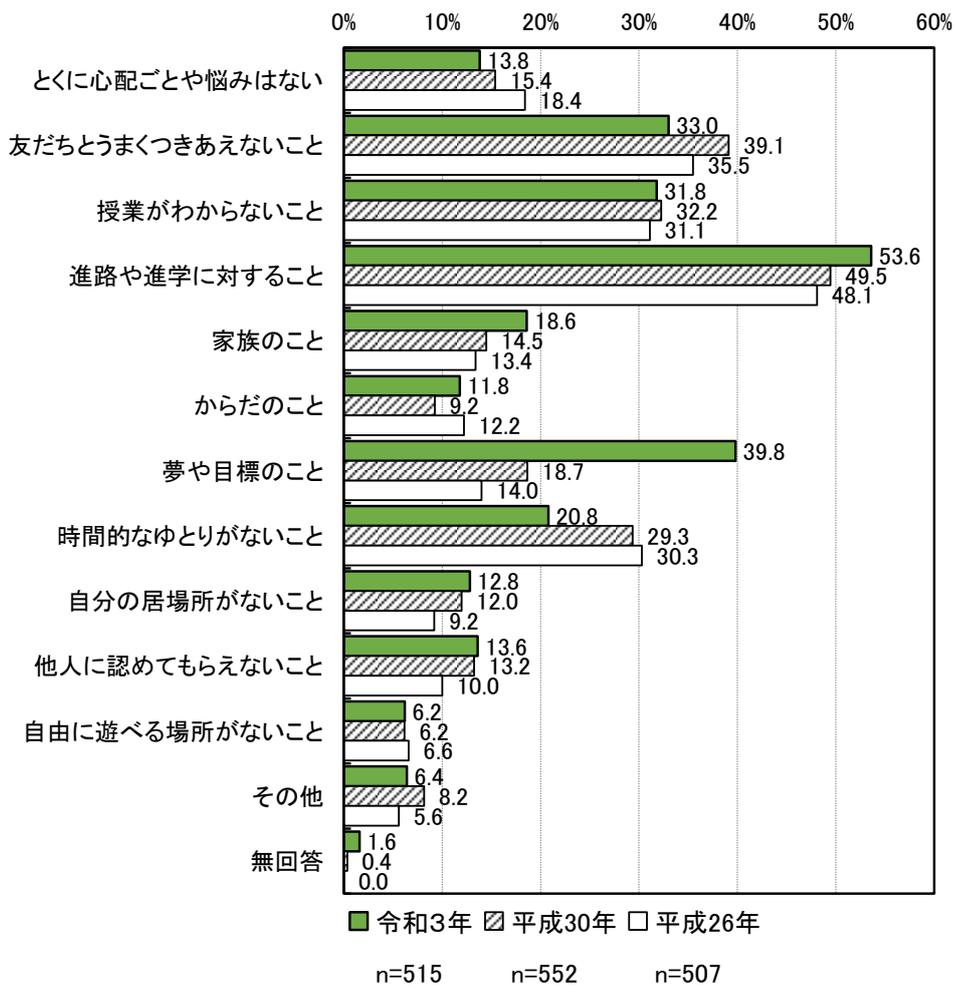
性別でみても、“男性”“女性”ともに「進路や進学に対すること」が最も多くなっています。なかでも“女性”は5割と“男性”と比べて高い割合となっています。

平成30年度の調査と比較すると、本調査では“男性”“女性”ともに「夢や目標のこと」が大きく増加しています。

男性



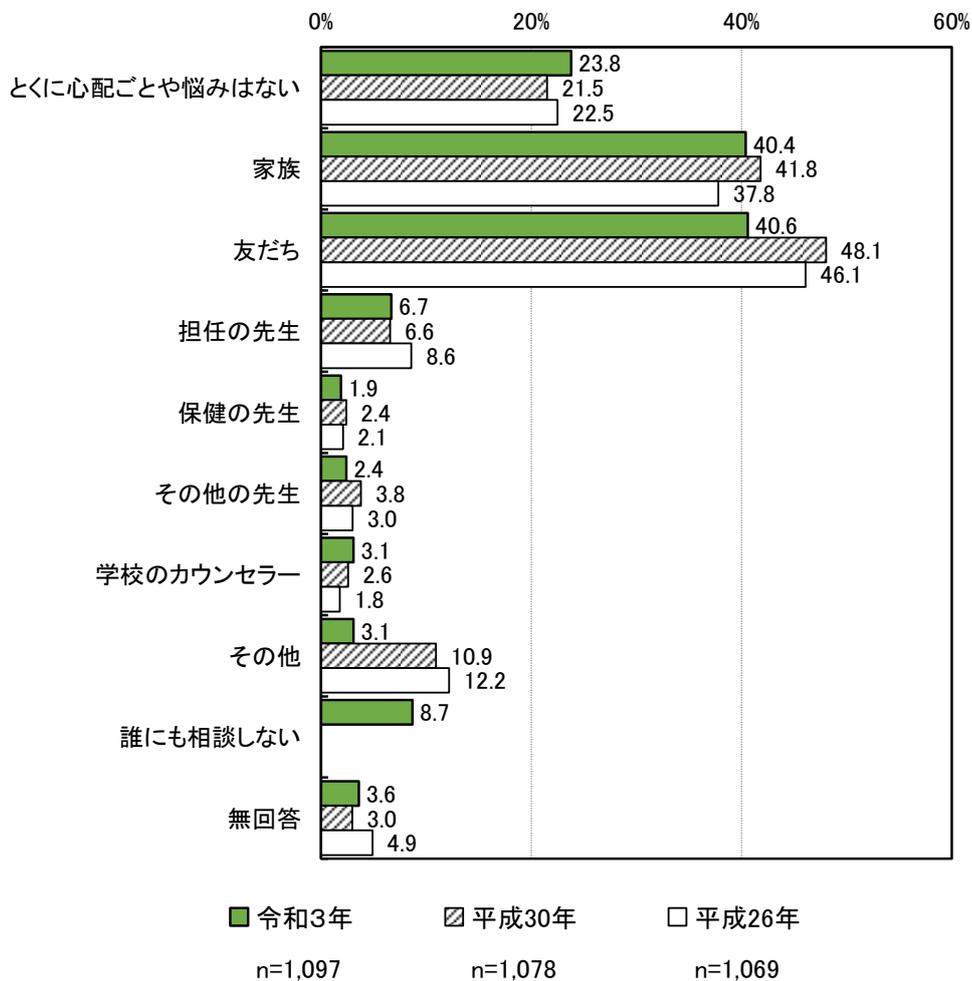
女性



問 24 心配ごとや悩みは、誰に相談することが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

心配ごとや悩みを誰に相談するかについては、「友だち」が最も多く 40.6%、次いで「家族」40.4%などとなっています。

平成 30 年度の調査と比較すると、本調査では「家族」「友だち」が減少しています。



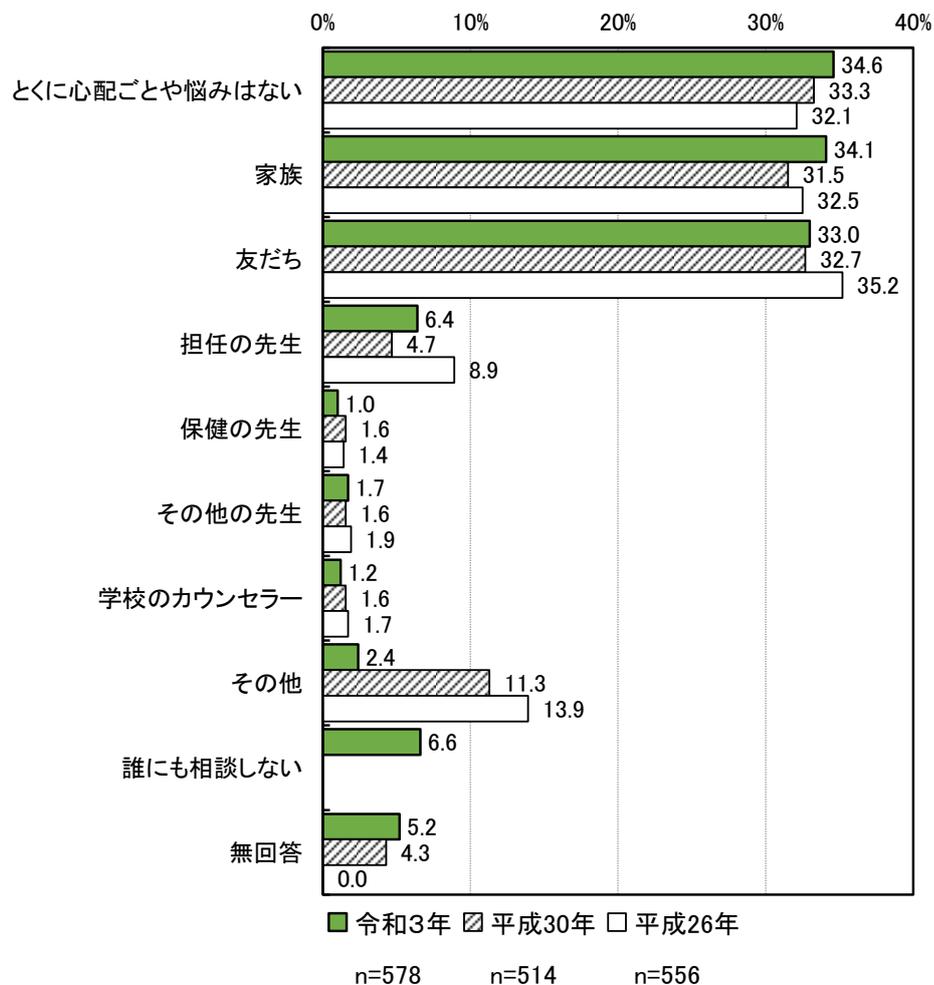
※「誰にも相談しない」は「その他」の回答が多かったため、項目立てして集計しました。

## 【性別】

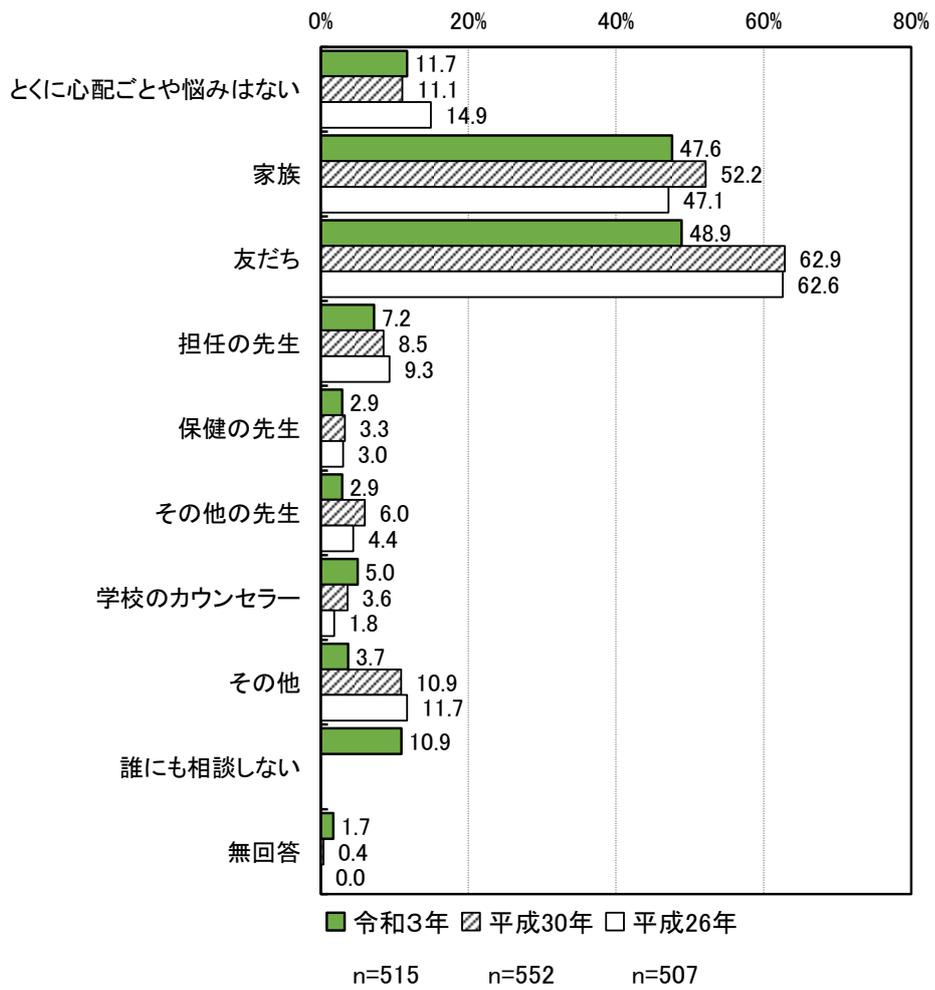
性別で見ると、相談相手について“男性”“女性”ともに「家族」や「友だち」が多くなっています。全体の傾向として“男性”よりも“女性”の割合が高くなっています。

平成30年度の調査と比較すると、本調査では、相談相手について“男性”は「家族」「担任の先生」が増えています。“女性”は、「誰にも相談しない」が多くなり、相対的に「友だち」「家族」などが減少しました。

### 男性



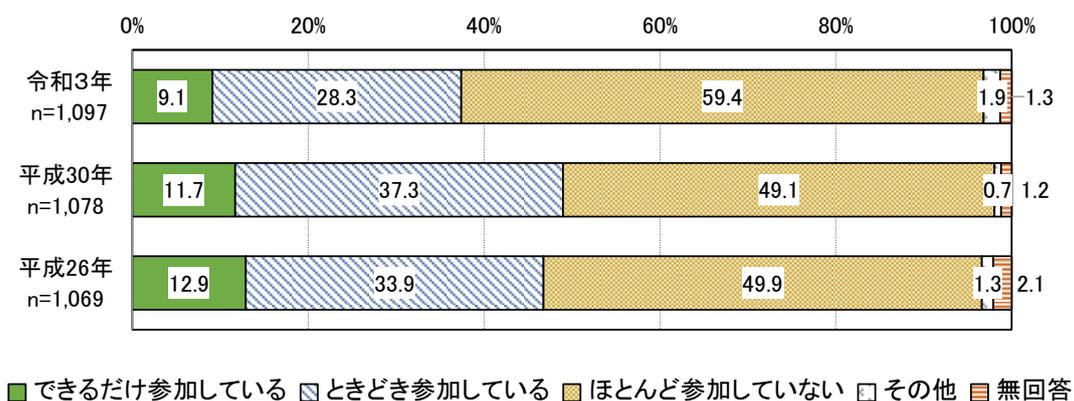
女性



問 25 あなたは地域の行事などにどのくらい参加していますか。(1つだけ○)

地域の行事などにどのくらい参加するかについては、「ほとんど参加していない」が59.4%で最も多く、次いで「ときどき参加している」が28.3%、「できるだけ参加している」が9.1%となっています。

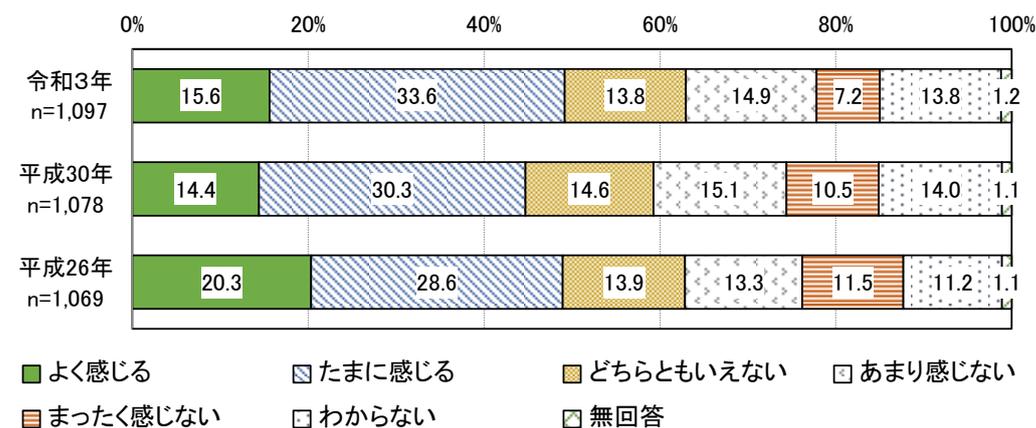
平成30年度の調査と比較すると、本調査では「ほとんど参加していない」が増加しています。



問 26 あなたは、地域の大人が自分たちを見守ってくれていると感じますか。(1つだけ○)

地域の大人が自分たちを見守ってくれていると感じるかについては、「たまに感じる」が33.6%で最も多く、次いで「よく感じる」が15.6%、「あまり感じない」が14.9%、「どちらともいえない」、「わからない」が同率で13.8%などとなっています。

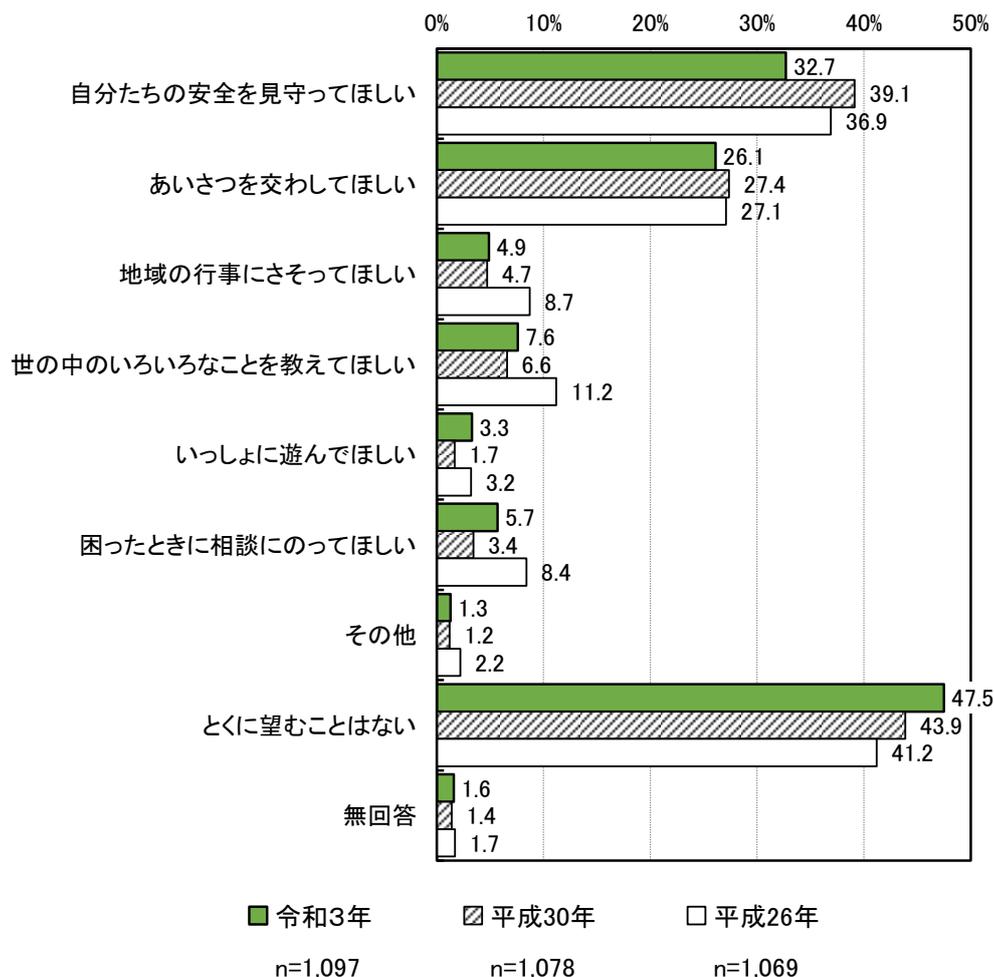
平成30年度の調査と比較すると、本調査では「たまに感じる」が増加しています。



問 27 あなたの住んでいる地域の大人にどんなことを望みますか。(2つまで○)

住んでいる地域の大人にどんなことを望むかについては、「自分たちの安全を見守ってほしい」が32.7%で最も多く、次いで、「あいさつを交わしてほしい」が26.1%などとなっています。また、「とくに望むことはない」が47.5%となっています。

平成30年度の調査と比較すると、「自分たちの安全を見守ってほしい」や「あいさつを交わしてほしい」で減少し、「困ったときに相談にのってほしい」「とくに望むことはない」などについては増加しています。

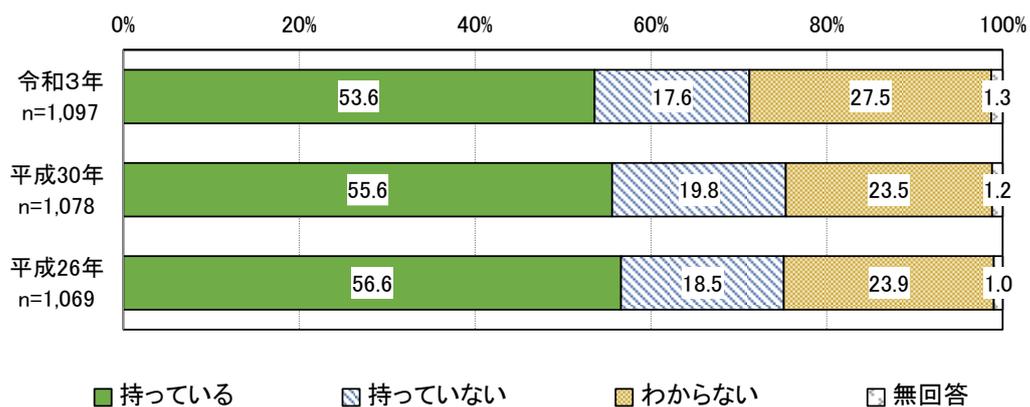


## 5. 将来について

問 28 あなたは将来の夢や目標を持っていますか。(1つだけ〇)

将来の夢や目標については、「持っている」が最も多く 53.6%、次いで「わからない」が 27.5%、「持っていない」が 17.6%となっています。

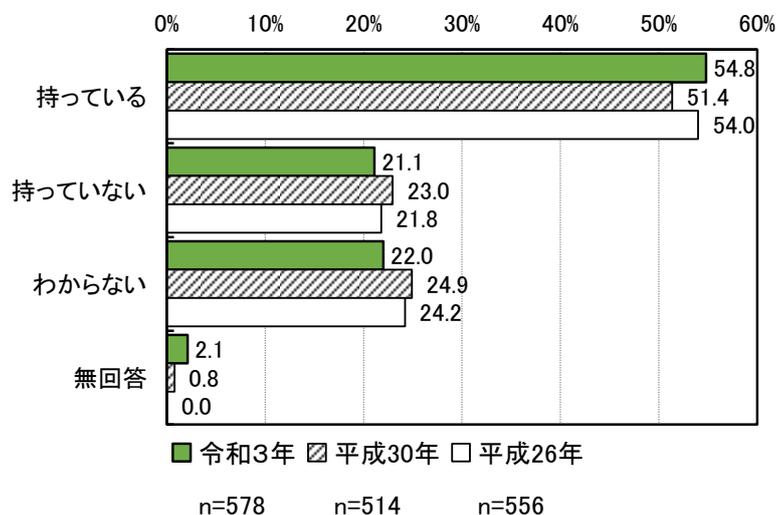
平成 30 年度の調査との比較では、「持っている」「持っていない」が減少し、「わからない」が増加しました。



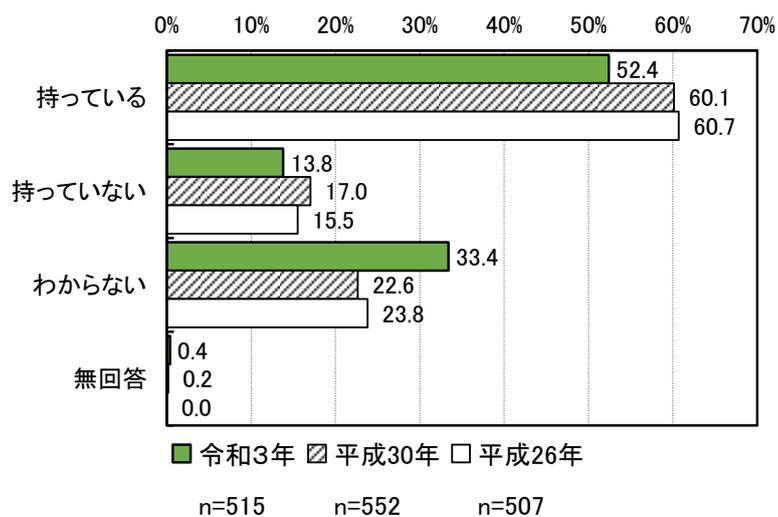
【性別】

性別でみると、“女性”では「わからない」が大きく増加し、「持っている」「持っていない」が相対的に減少しています。

男性



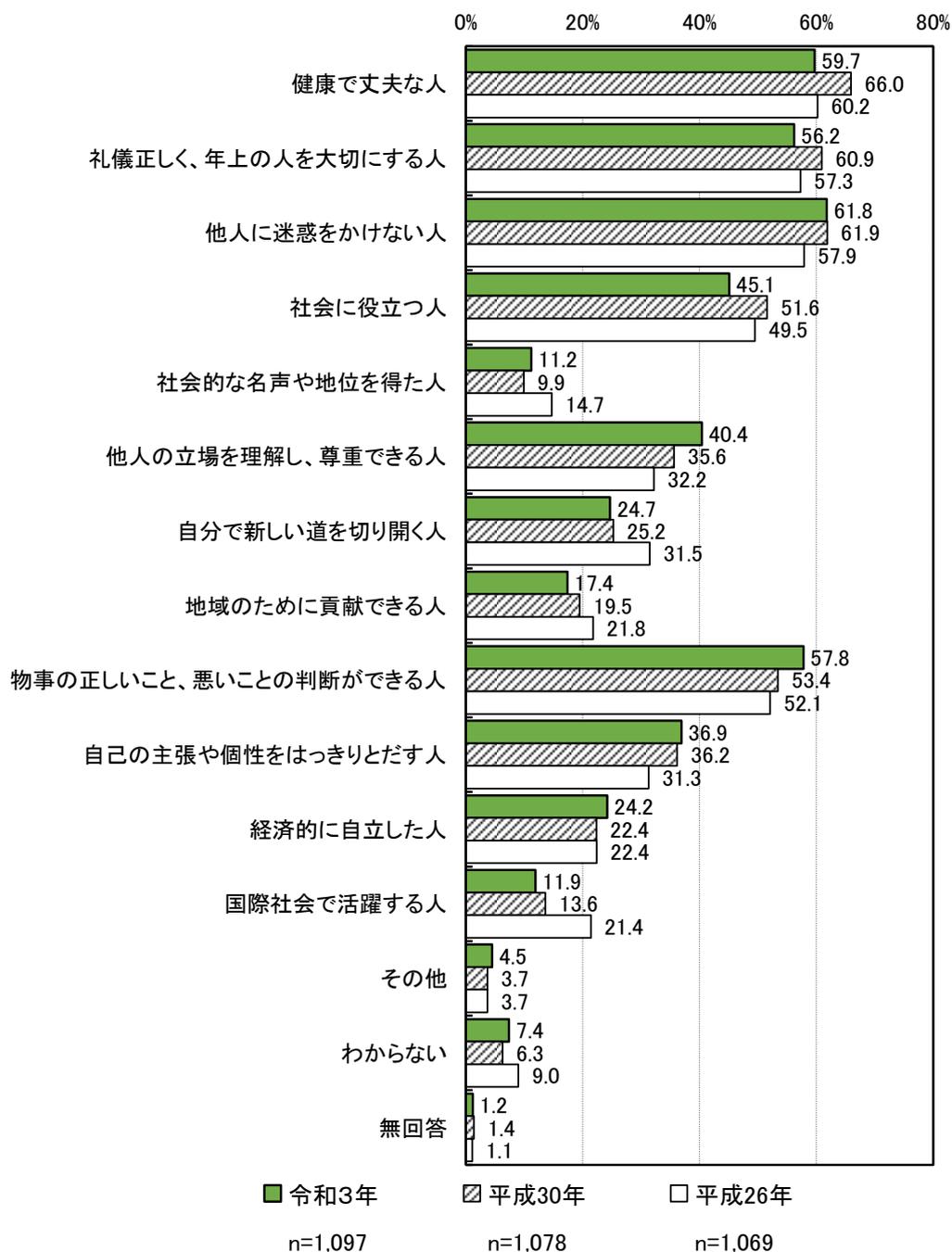
女性



問 29 あなたは将来どのような人になりたいですか。(あてはまるものすべてに○)

将来どのような人になりたいかについては、「他人に迷惑をかけない人」が61.8%で最も多く、次いで「健康で丈夫な人」が59.7%、「物事の正しいこと、悪いことの判断ができる人」が57.8%、「礼儀正しく、年上の人を大切にする人」が56.2%、「社会に役立つ人」が45.1%などとなっています。

平成30年度の調査と比較すると、本調査では「他人の立場を理解し、尊重できる人」「物事の正しいこと、悪いことの判断ができる人」が増加しています。

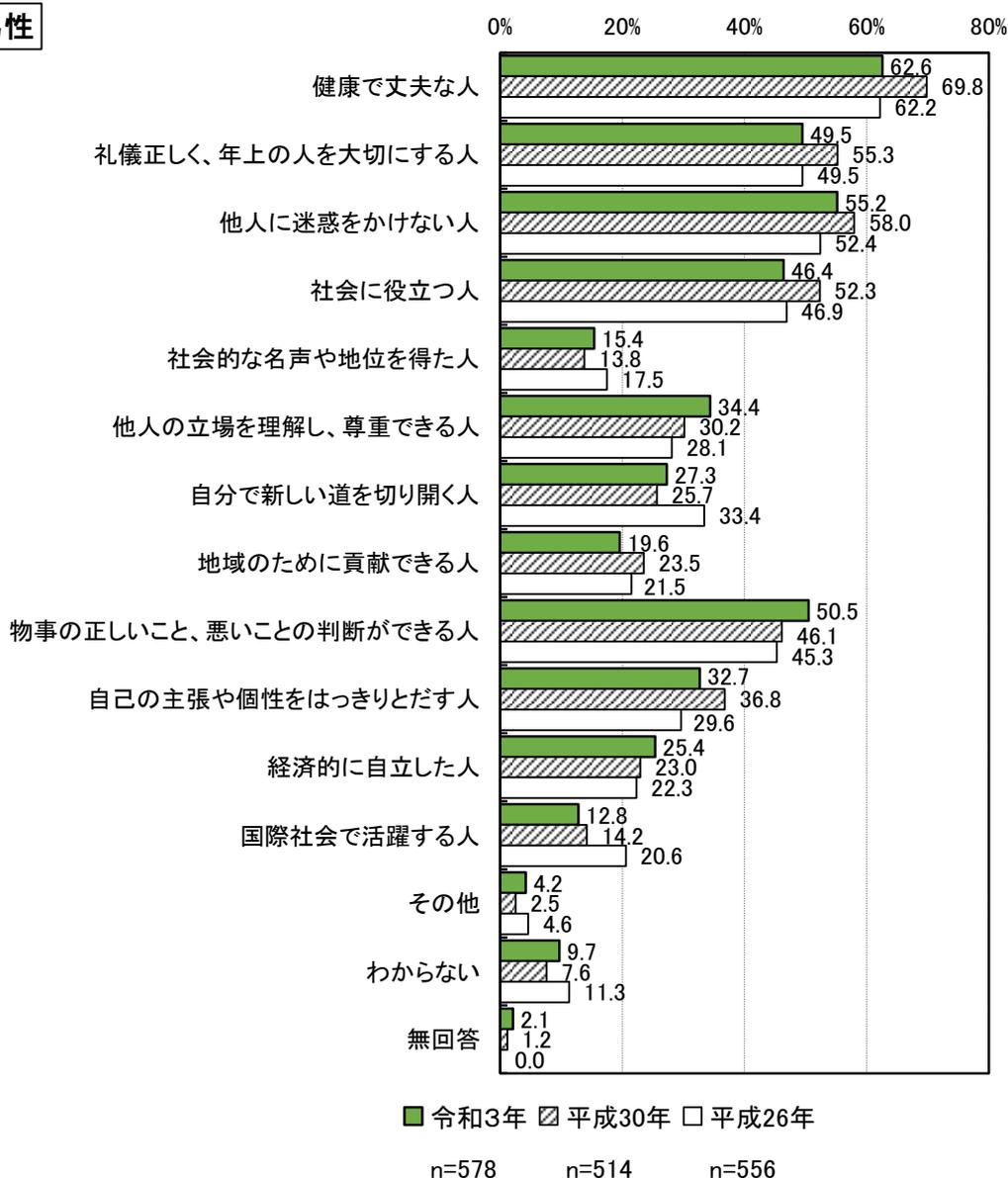


## 【性別】

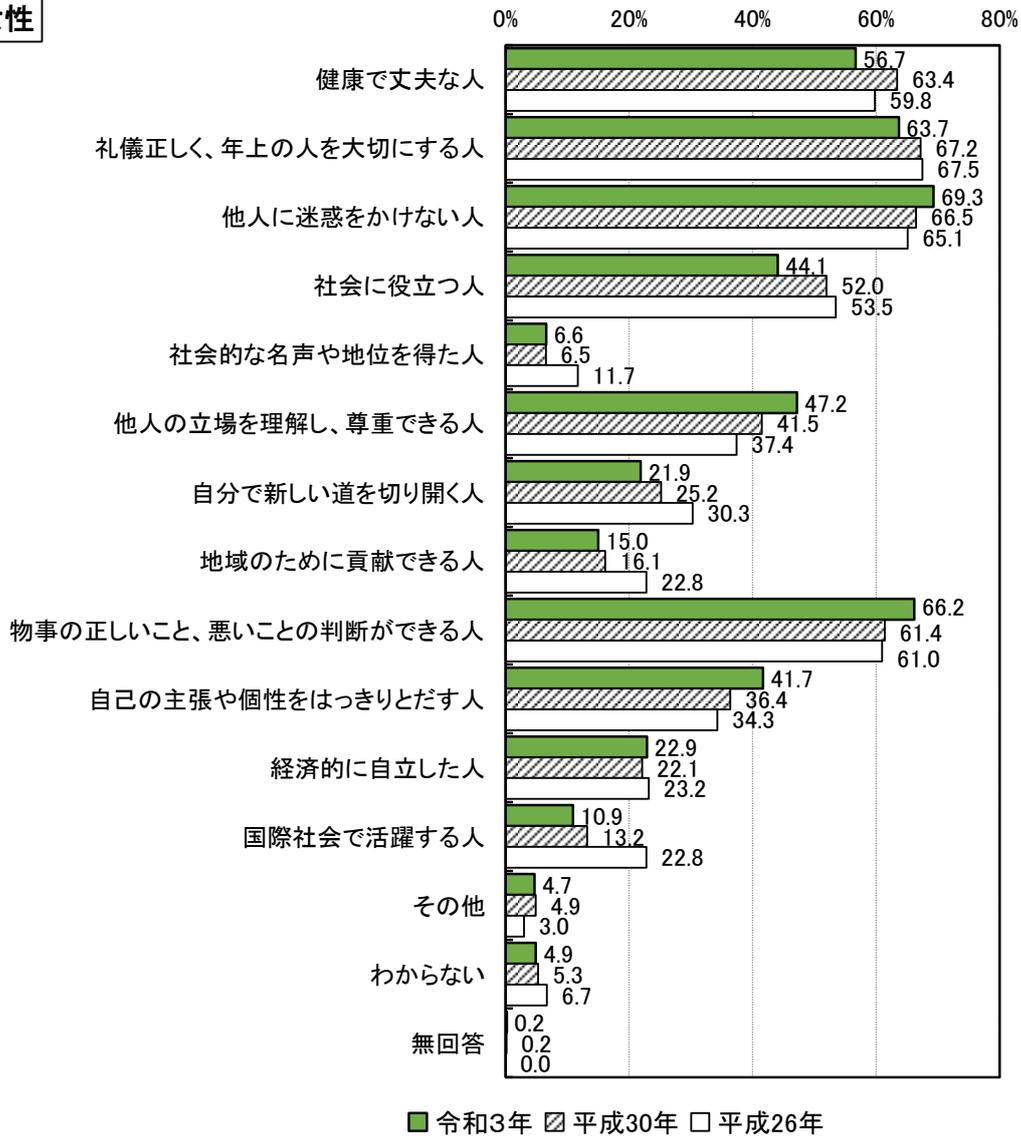
性別でみると、「他人に迷惑をかけない人」「礼儀正しく、年上の人を大切にする人」や「物事の正しいこと、悪いことの判断ができる人」で“女性”の割合が、“男性”と比べて高くなっています。

平成30年度の調査と比較すると、本調査では“男性”の「物事の正しいこと、悪いことの判断ができる人」が増加し、「健康で丈夫な人」は減少しています。“女性”の「他人の立場を理解し、尊重できる人」「自己の主張や個性をはっきりとだす人」が増加し、「社会に役立つ人」が減少しています。

### 男性



女性



■ 令和3年 ▨ 平成30年 □ 平成26年

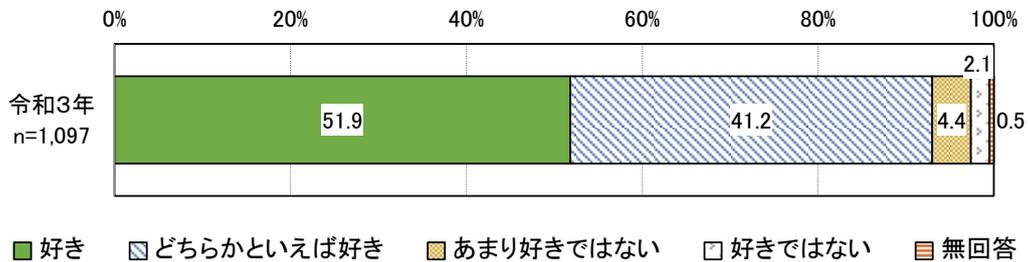
n=515

n=552

n=507

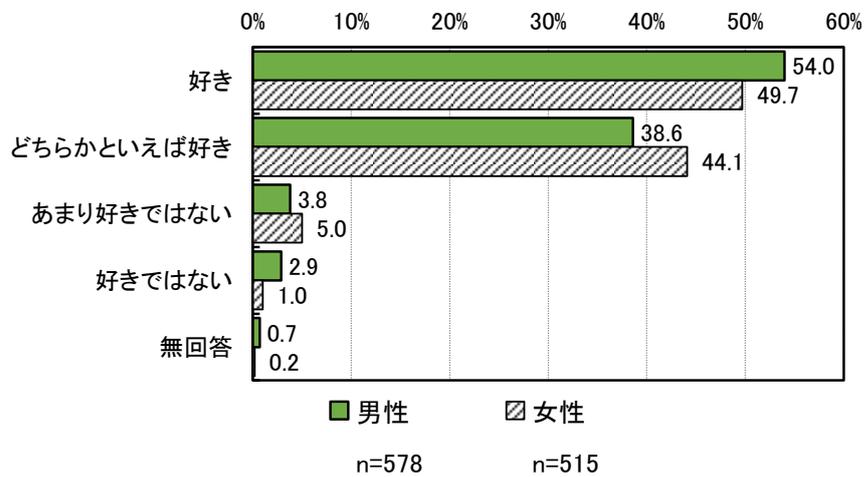
問 30 あなたは成田市が好きですか。(1つだけ○)

成田市が好きかについては、「好き」が51.9%で最も多く、次いで「どちらかといえば好き」が41.2%、「あまり好きではない」が4.4%、「好きではない」が2.1%となっています。



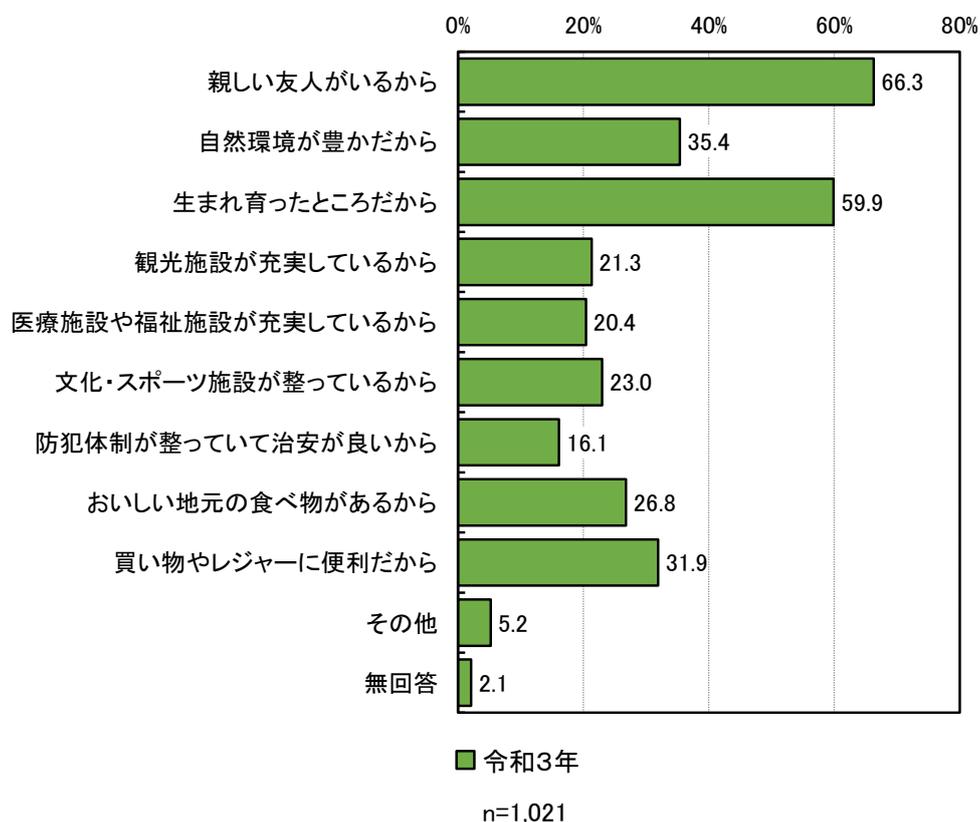
【性別】

性別でみると、“男性”“女性”ともに「好き」「どちらかといえば好き」を合わせると9割を超えています。



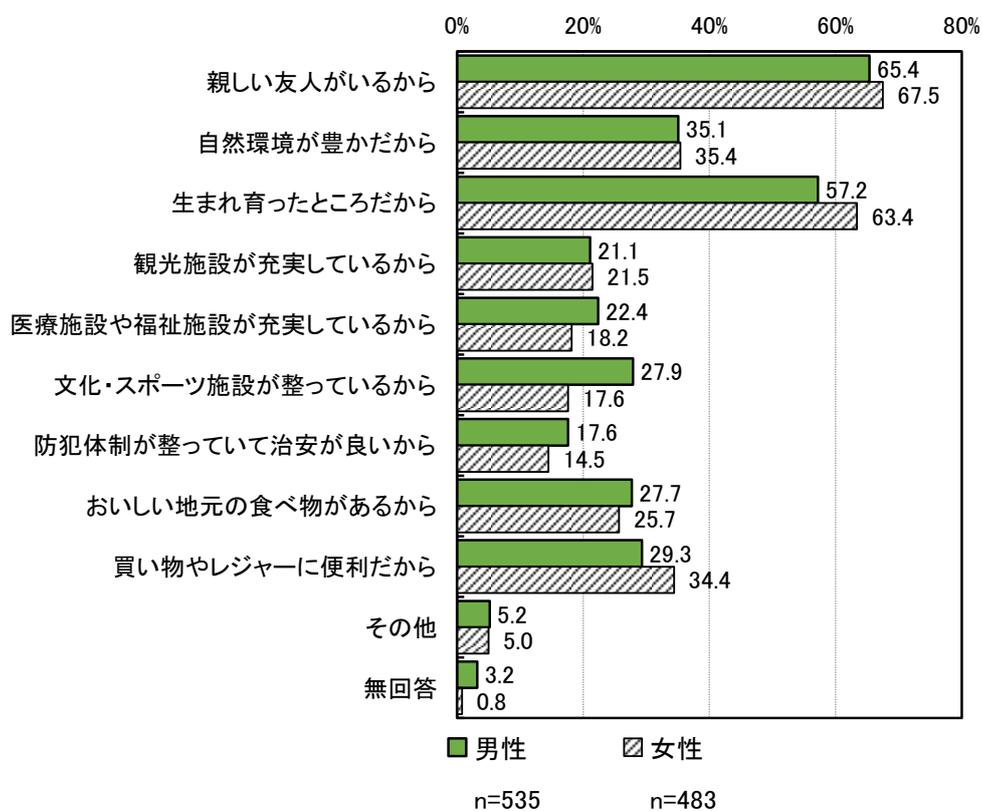
問 31 成田市を好きな理由はどのようなところですか。(あてはまるものすべてに○)

成田市を好きな理由については、「親しい友人がいるから」が66.3%で最も多く、次いで「生まれ育ったところだから」が59.9%、「自然環境が豊かだから」が35.4%、「買い物やレジャーに便利だから」が31.9%、「おいしい地元の食べ物があるから」が26.8%などとなっています。



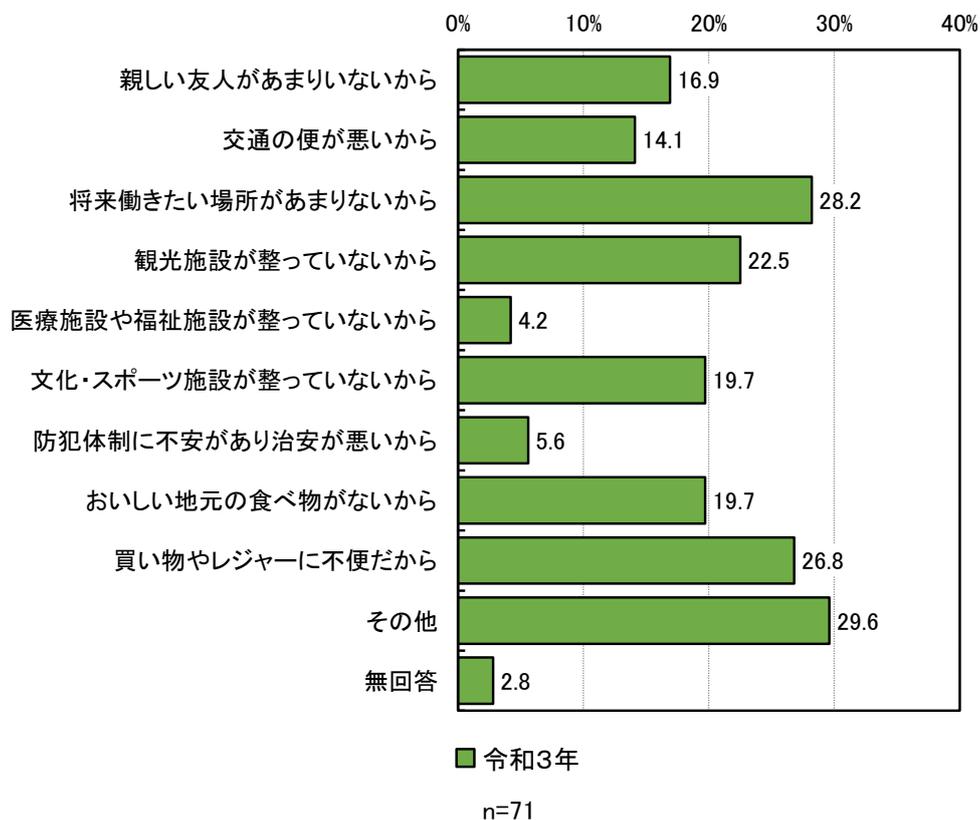
【性別】

性別で見ると、上位項目については“男性”“女性”ともに同じ傾向がみられましたが、「文化・スポーツ施設が整っているから」は“女性”より“男性”の割合が高くなっています。



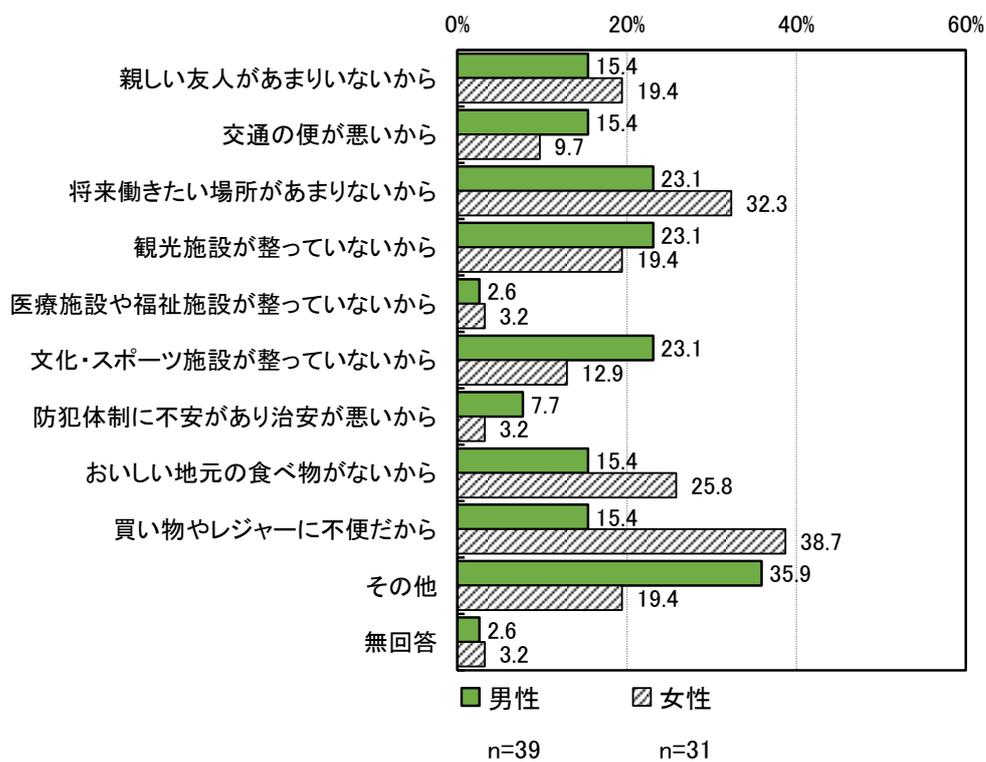
問 32 成田市を好きではない理由はどのようなところですか。(あてはまるものすべてに○)

成田市が好きではない理由については、「将来働きたい場所があまりないから」が28.2%で最も多く、次いで、「買い物やレジャーに不便だから」が26.8%、「観光施設が整っていないから」が22.5%、「文化・スポーツ施設が整っていないから」「おいしい地元の食べ物がいないから」が同率の19.7%などとなっています。



### 【性別】

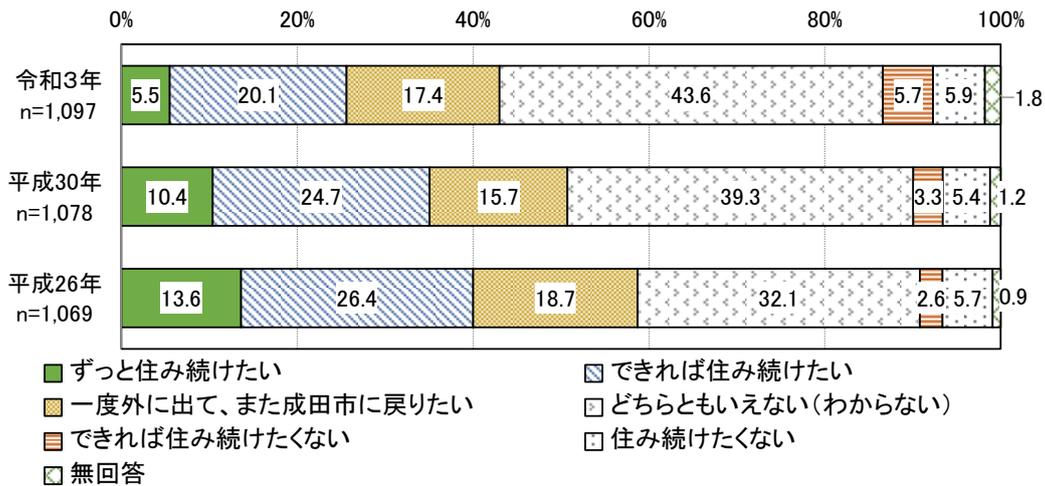
性別でみると、“男性”は「将来働きたい場所があまりないから」「観光施設が整っていないから」「文化・スポーツ施設が整っていないから」の割合が高くなっています。“女性”は「買い物やレジャーに不便だから」「将来働きたい場所があまりないから」「おいしい地元の食べ物がないから」の割合が高くなっています。



問 33 あなたは、将来も成田市に住み続けたいと思いますか。(1つだけ〇)

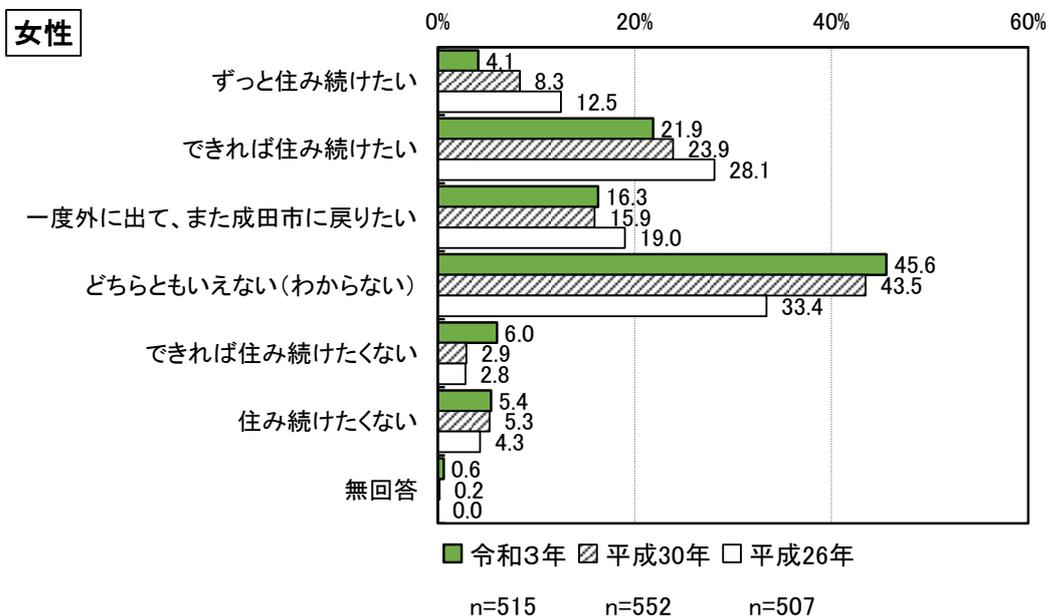
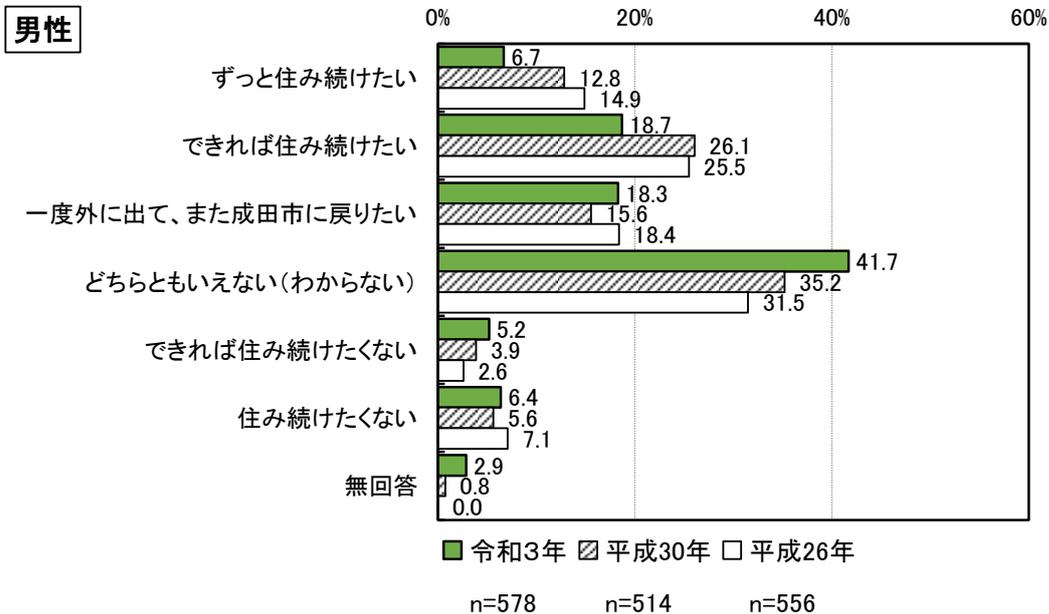
将来も成田市に住み続けたいと思うかについては、「どちらともいえない(わからない)」が43.6%で最も多く、次いで「できれば住み続けたい」が20.1%、「一度外に出て、また成田市に戻りたい」が17.4%、「住み続けたくない」が5.9%、「できれば住み続けたくない」が5.7%などとなっています。

平成30年度の調査と比較すると、本調査では「どちらともいえない」が増加し、「ずっと住み続けたい」や「できれば住み続けたい」が減少しています。



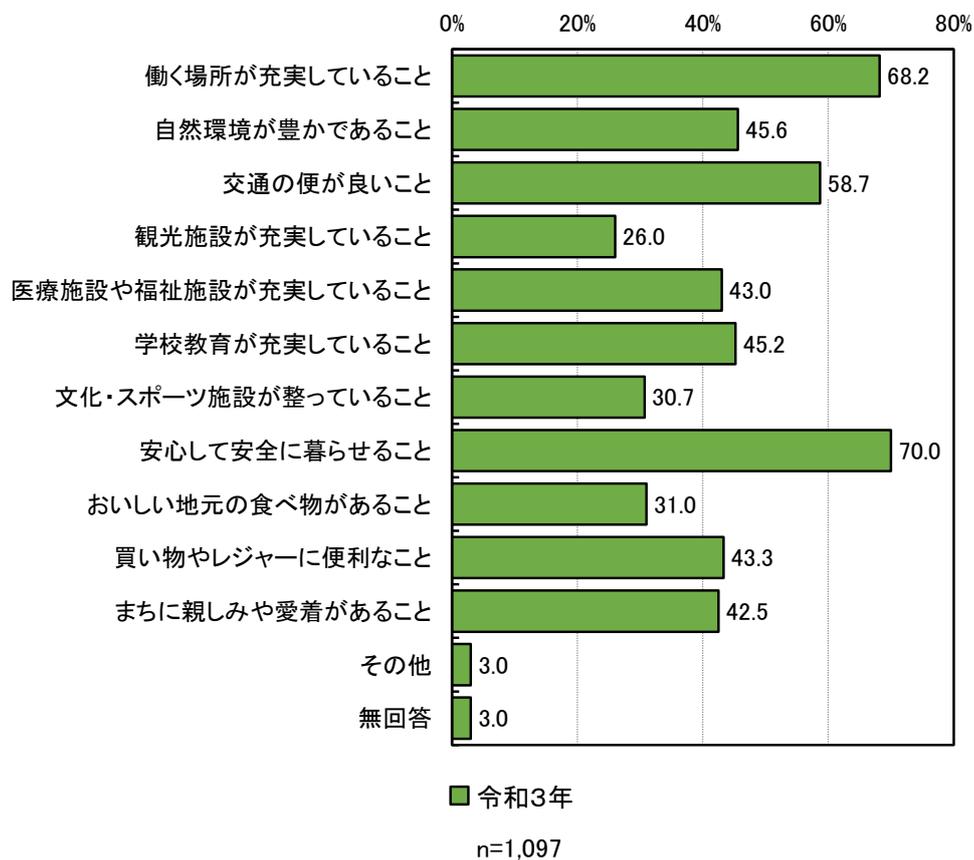
【性別】

性別でみると、“男性”“女性”ともに「どちらともいえない(わからない)」が多くなっています。



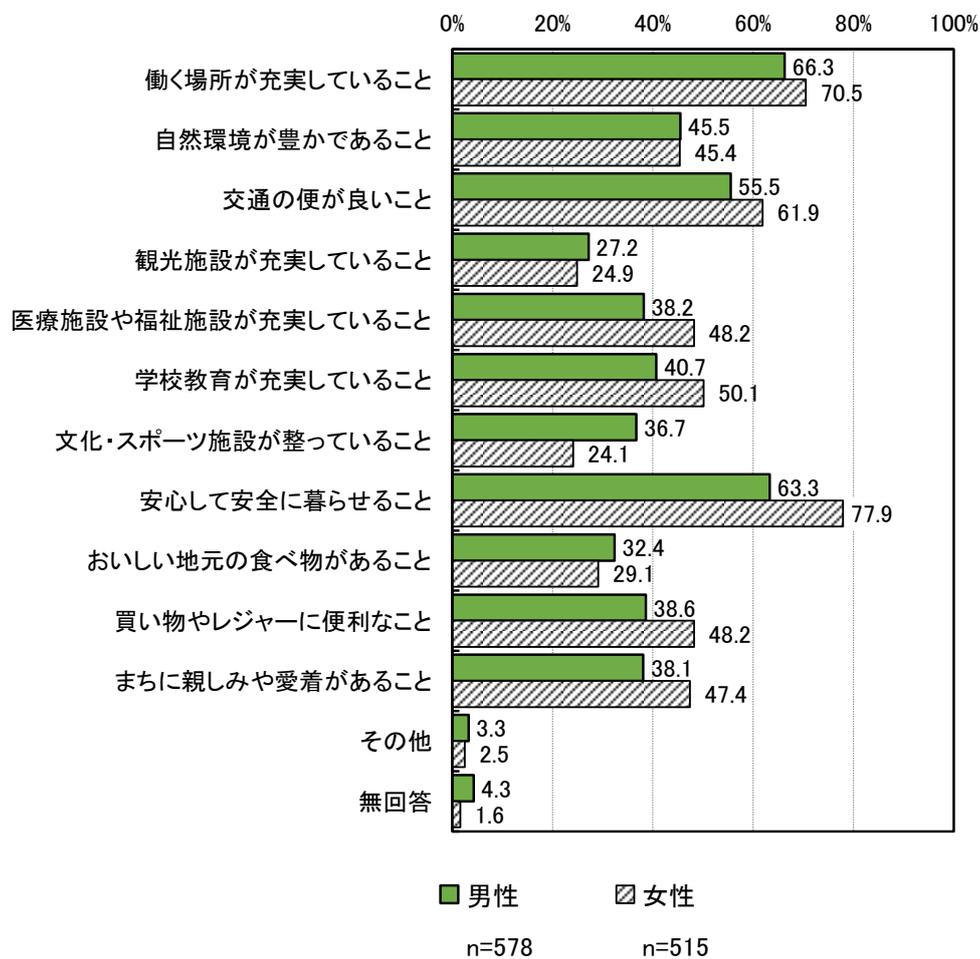
問 34 成田市に住み続けていくために大事なことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

成田市に住み続けていくために大事なことについては、「安心して安全に暮らせること」が70.0%で最も多く、次いで「働く場所が充実していること」が68.2%、「交通の便が良いこと」が58.7%、「自然環境が豊かであること」が45.6%、「学校教育が充実していること」が45.2%などとなっています。



## 【性別】

性別でみると、全体的に“女性”の割合が多い傾向がみられました。そのなかで「文化・スポーツ施設が整っている」「おいしい地元の食べ物がある」、「観光施設が充実していること」では“男性”割合が高くなっています。

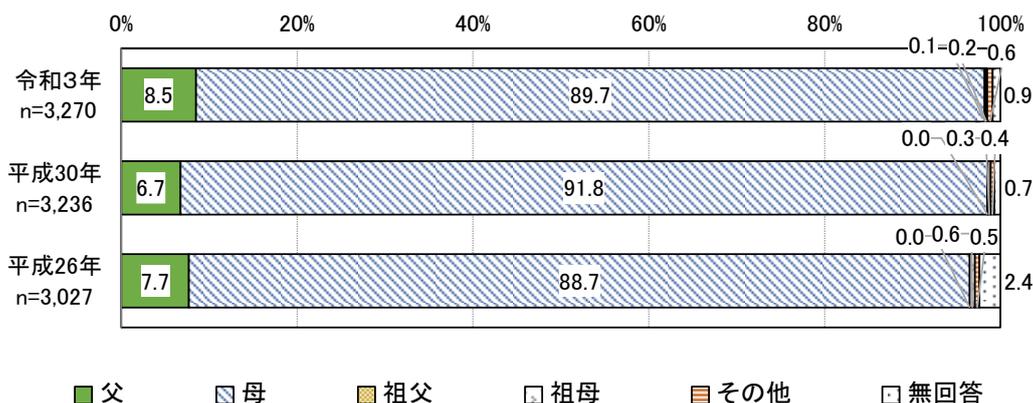


## 第4章 保護者調査の結果

### 1. あなたについて

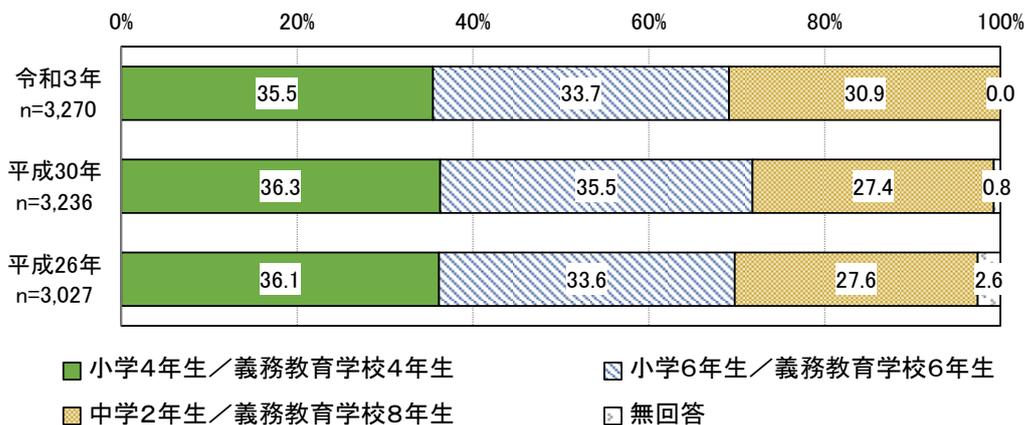
問1 お子さんとの続柄を教えてください。(1つだけ○)

回答者のお子さんとの続柄については、「母親」が89.7%、「父親」が8.5%となっています。



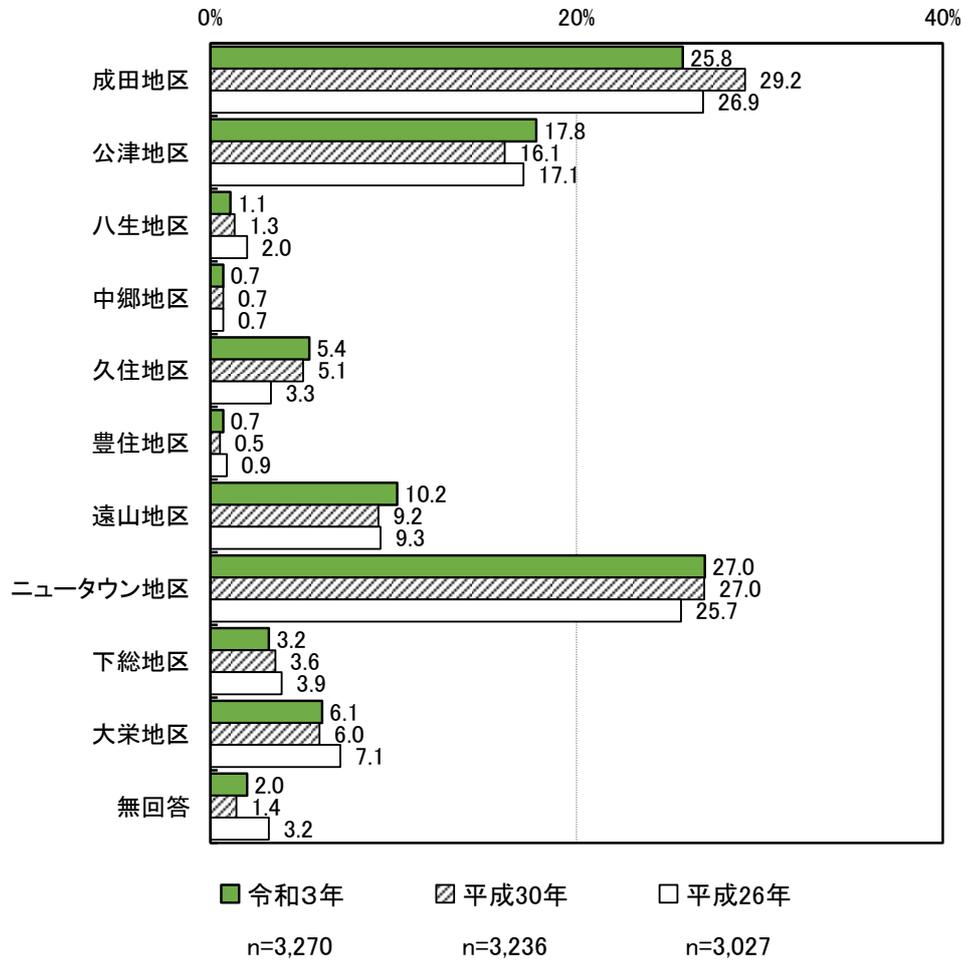
問2 あなたのお子さんの学年は、次のうちどれですか。(1つだけ○)

回答者のお子さんの学年については、「小学4年生／義務教育学校4年生」が35.5%、「小学6年生／義務教育学校6年生」が33.7%、「中学2年生／義務教育学校8年生」が30.9%となっています。



問3 あなたがお住まいの地区はどちらですか。(1つだけ○)

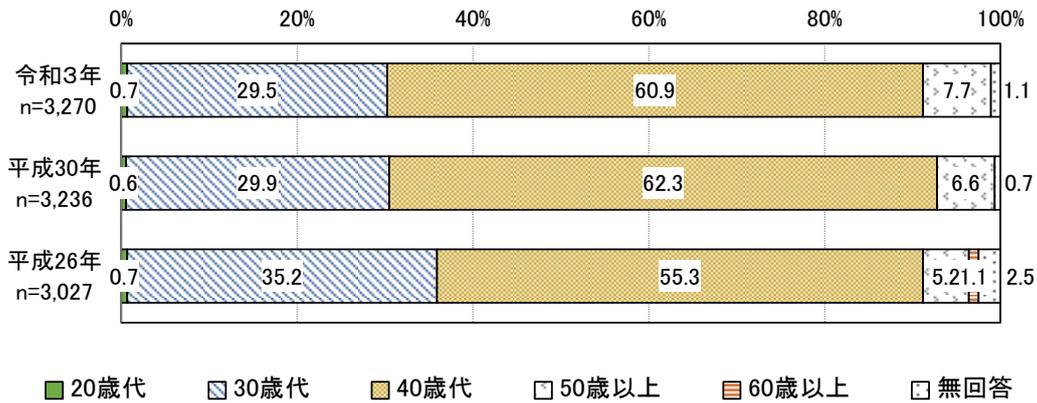
居住地区については、「ニュータウン地区」が27.0%で最も多く、次いで「成田地区」が25.8%、「公津地区」が17.8%、「遠山地区」が10.2%、「大栄地区」が6.1%などとなっています。



問4 あなたの年齢について当てはまるものを選んでください。(1つだけ〇)

年齢については、「40歳代」が60.9%で最も多く、次いで「30歳代」が29.5%、「50歳以上」が7.7%、「20歳代」が0.7%などとなっています。

平成30年度の調査と比較すると、本調査では「50歳代」が増加し、「40歳代」が減少しています。

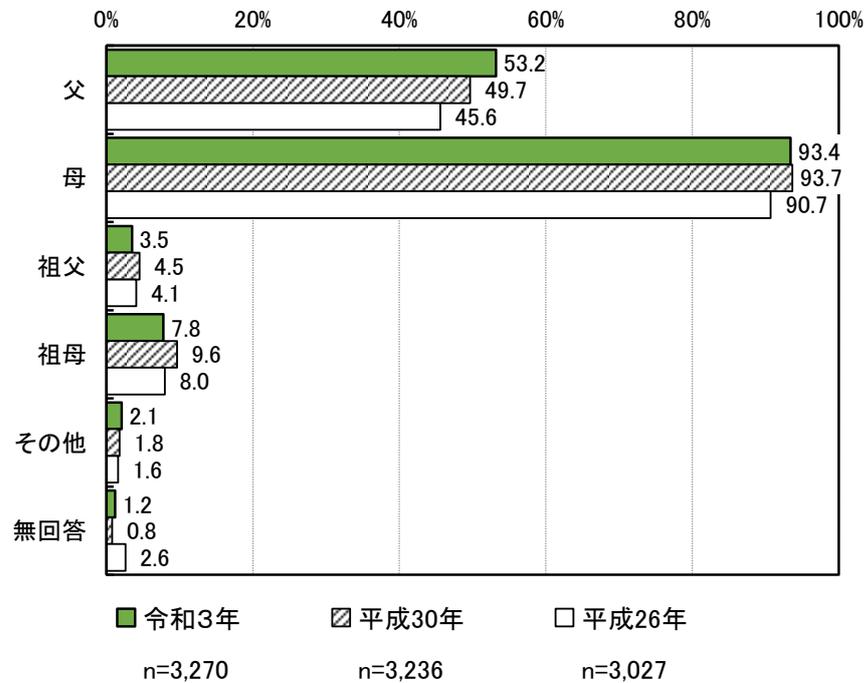


問5 ご家庭で、お子さんの教育に積極的に関わっていらっしゃる方はどなたですか。

(あてはまるものすべてに○)

お子さんの教育に積極的に関わっていらっしゃる方については、「母」が93.4%で最も多く、次いで「父」が53.2%、「祖母」が7.8%、「祖父」が3.5%となっています。

平成30年度の調査と比較すると、本調査では父は増加、祖父母は減少しています。

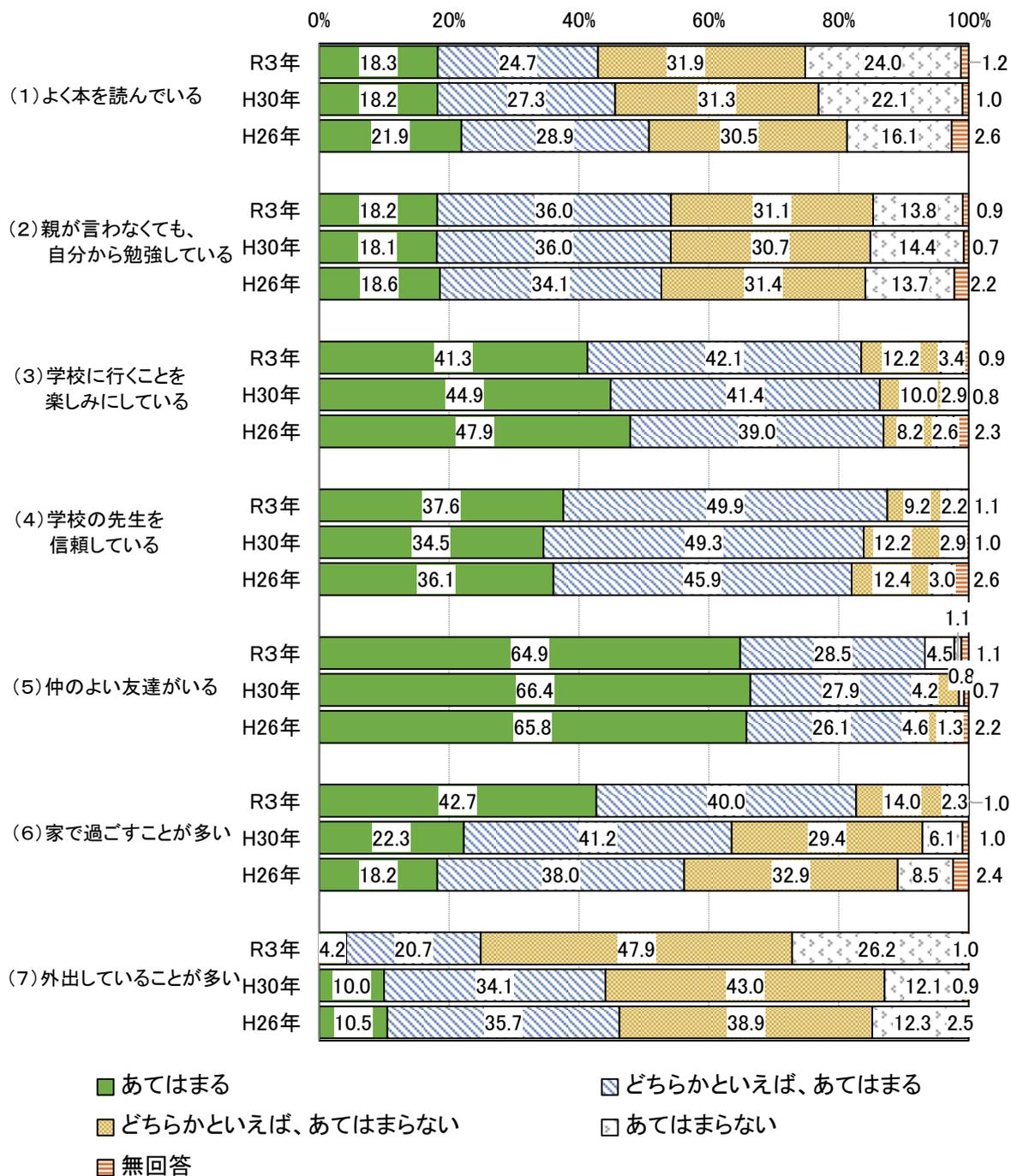


## 2. お子さんへの接し方について

問6 お子さんの普段の様子について、次のことはどれくらいあてはまりますか。(それぞれに1つずつ〇)

お子さんの普段の様子については、「あてはまる」では“(5) 仲のよい友達がいる”で6割半ば、“(3) 学校に行くことを楽しみにしている”で4割程度となっています。一方、「どちらかといえば、あてはまらない」では“(7) 外出していることが多い”で約5割、「あてはまらない」では“(1) よく本を読んでいる”と“(7) 外出していることが多い”が2割を超えています。

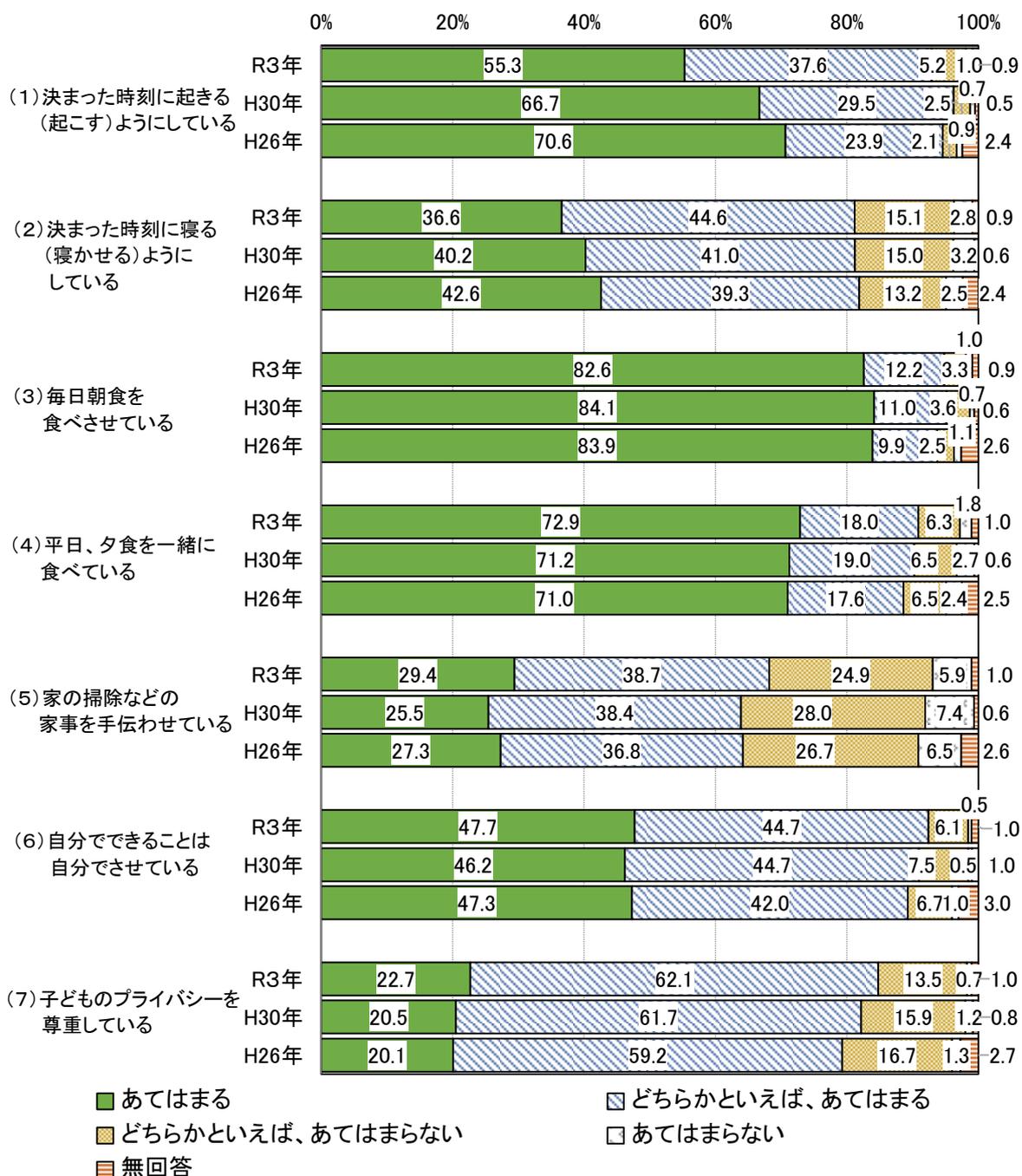
平成30年度の調査と比較すると、本調査では“(6) 家で過ごすことが多い”において「あてはまる」「どちらかといえば、あてはまる」を合わせて8割を超え、大きく増加しています。

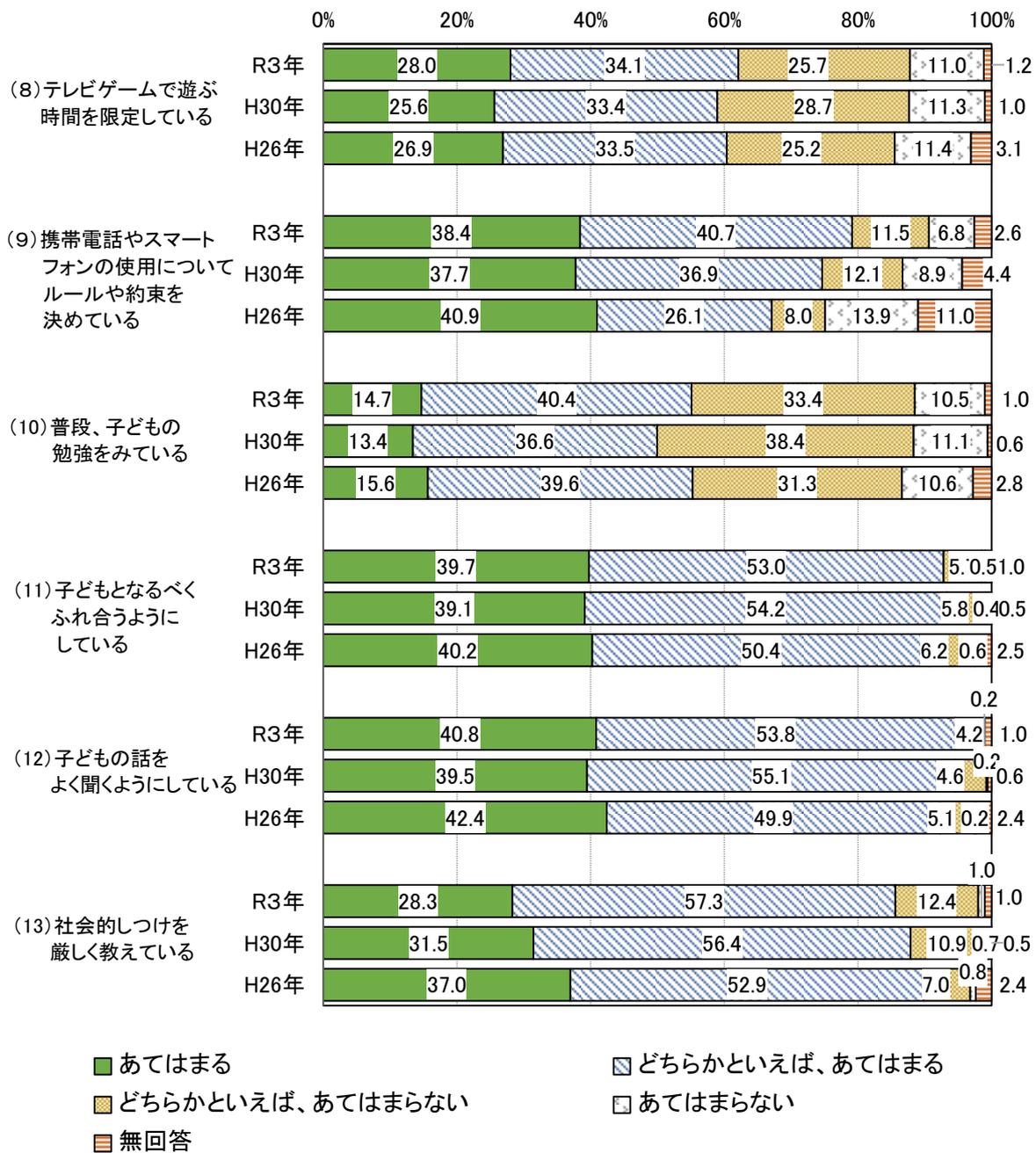


問7 あなたのご家庭では、お子さんに対して、次のことをしていますか。(それぞれに1つずつ)

お子さんに対して行っていることについては、「あてはまる」では“(3) 毎日朝食を食べさせている”で8割を超え、“(4) 平日、夕食を一緒に食べている”で7割を超えています。一方、「どちらかといえば、あてはまらない」では“(10) 普段、子どもの勉強をみている”で3割を超えており、「あてはまらない」では、“(8) テレビゲーム(コンピュータゲーム・携帯式のゲームを含む)で遊ぶ時間を限定している”などで1割を超えています。

平成30年度の調査と比較すると、本調査では“(13) 社会的しつけを厳しく教えている”で「あてはまる」が減少し、「あてはまらない」が増加しています。

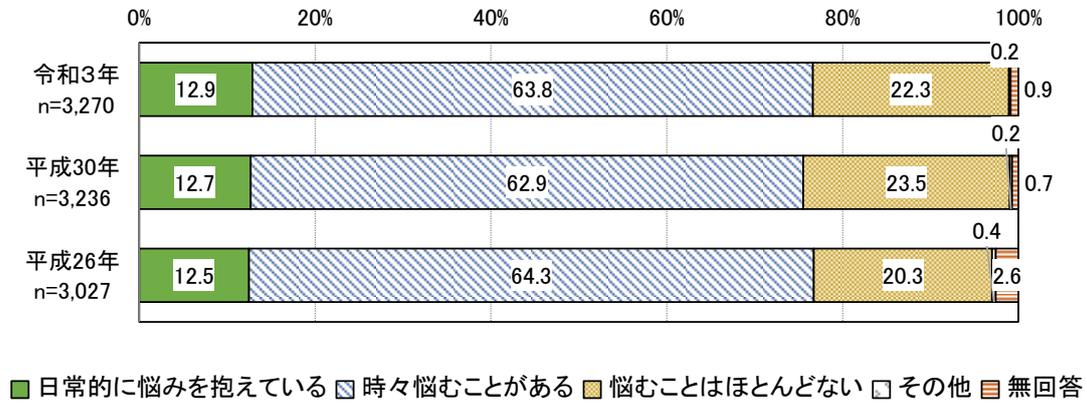




問8 お子さんの教育に関して、困ったり悩むことはありますか。(1つだけ〇)

お子さんの教育に関して、困ったり悩むことはあるかについては、「時々悩むことがある」が63.8%で最も多く、次いで「悩むことはほとんどない」が22.3%、「日常的に悩みを抱えている」が12.9%となっています。

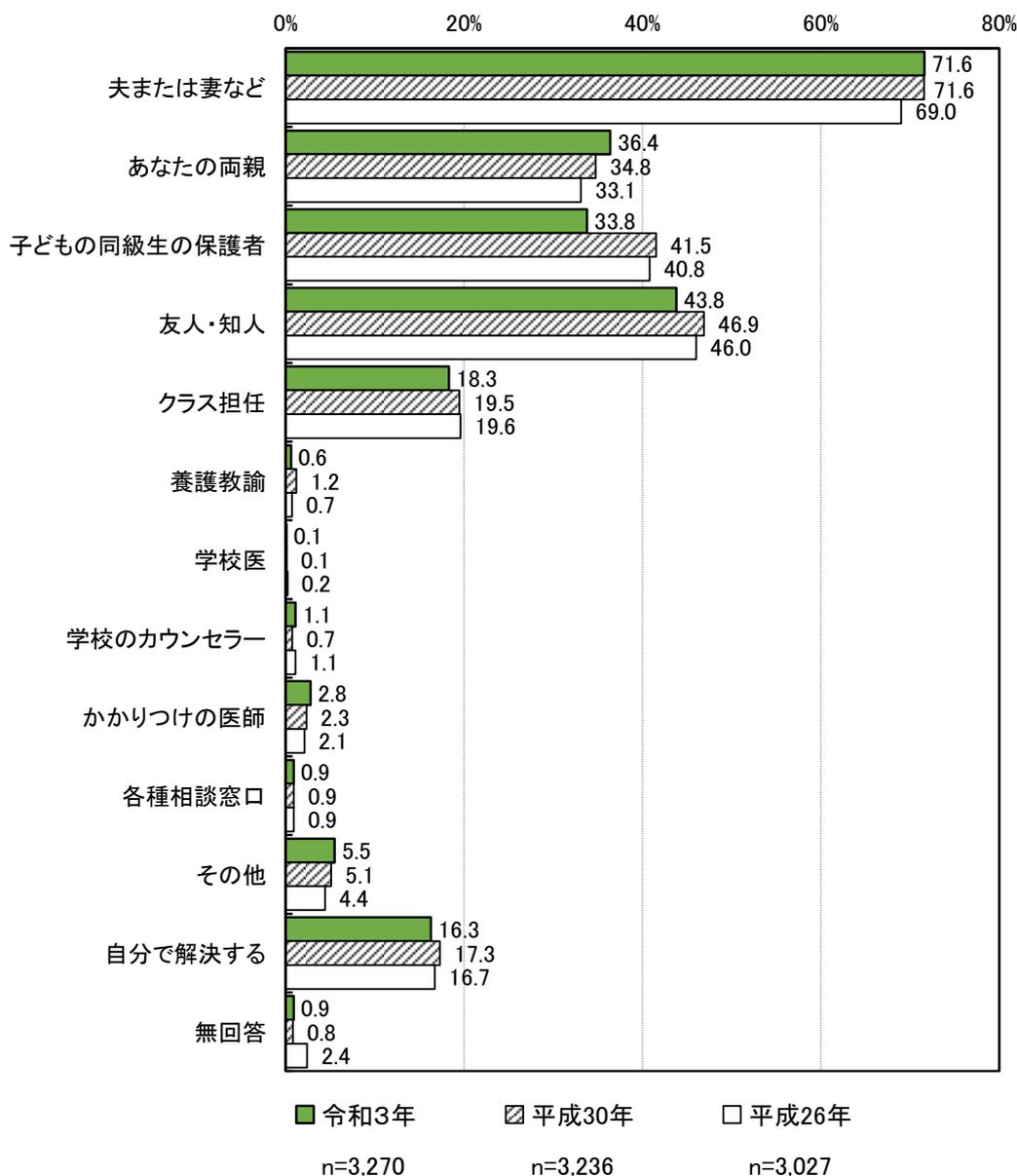
平成30年度の調査と比較すると、本調査でも同じような傾向がみられました。



問 9 お子さんの教育に関して困ったり、悩んだりした時には誰に相談することが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

お子さんの教育に関して困ったり、悩んだりした時には誰に相談することが多いかについては、「夫または妻など」が71.6%で最も多く、次いで「友人・知人」が43.8%、「あなたの両親」が36.4%、「子どもの同級生の保護者」が33.8%、「クラス担任」が18.3%などとなっています。

平成30年度の調査と比較すると、本調査では「あなたの両親」が増加し、「子どもの同級生の保護者」や「友人・知人」は減少しています。

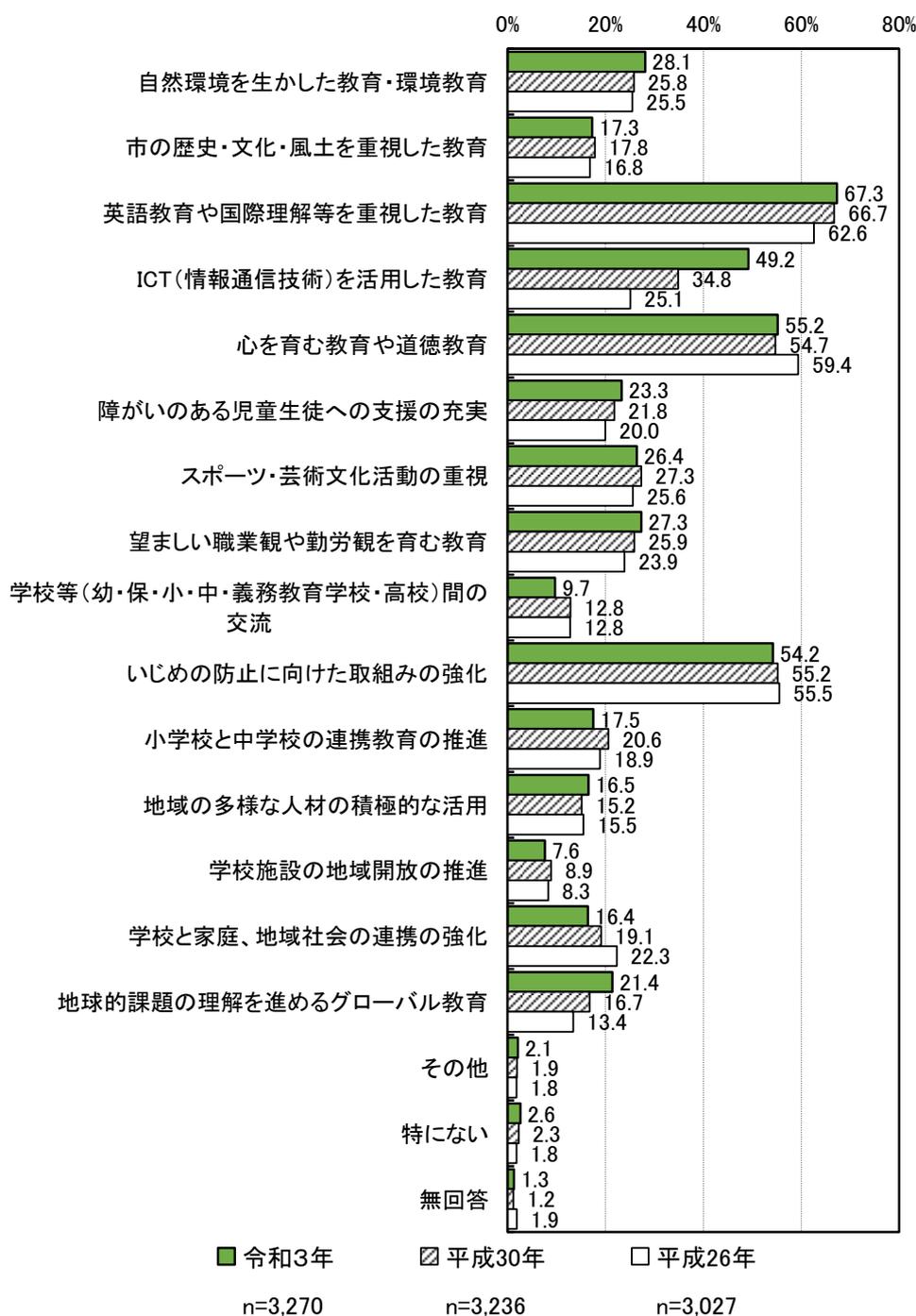


### 3. 学校教育について

問 10 成田市の学校教育（小・中・義務教育学校）では、今後どのような点に力を入れていくことが望ましいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

成田市の学校教育で今後力を入れていくことについては、「英語教育や国際理解等を重視した教育」が67.3%で最も多く、次いで「心を育む教育や道徳教育」が55.2%、「いじめの防止に向けた取組みの強化」が54.2%、「ICT（情報通信技術）を活用した教育」が49.2%などとなっています。

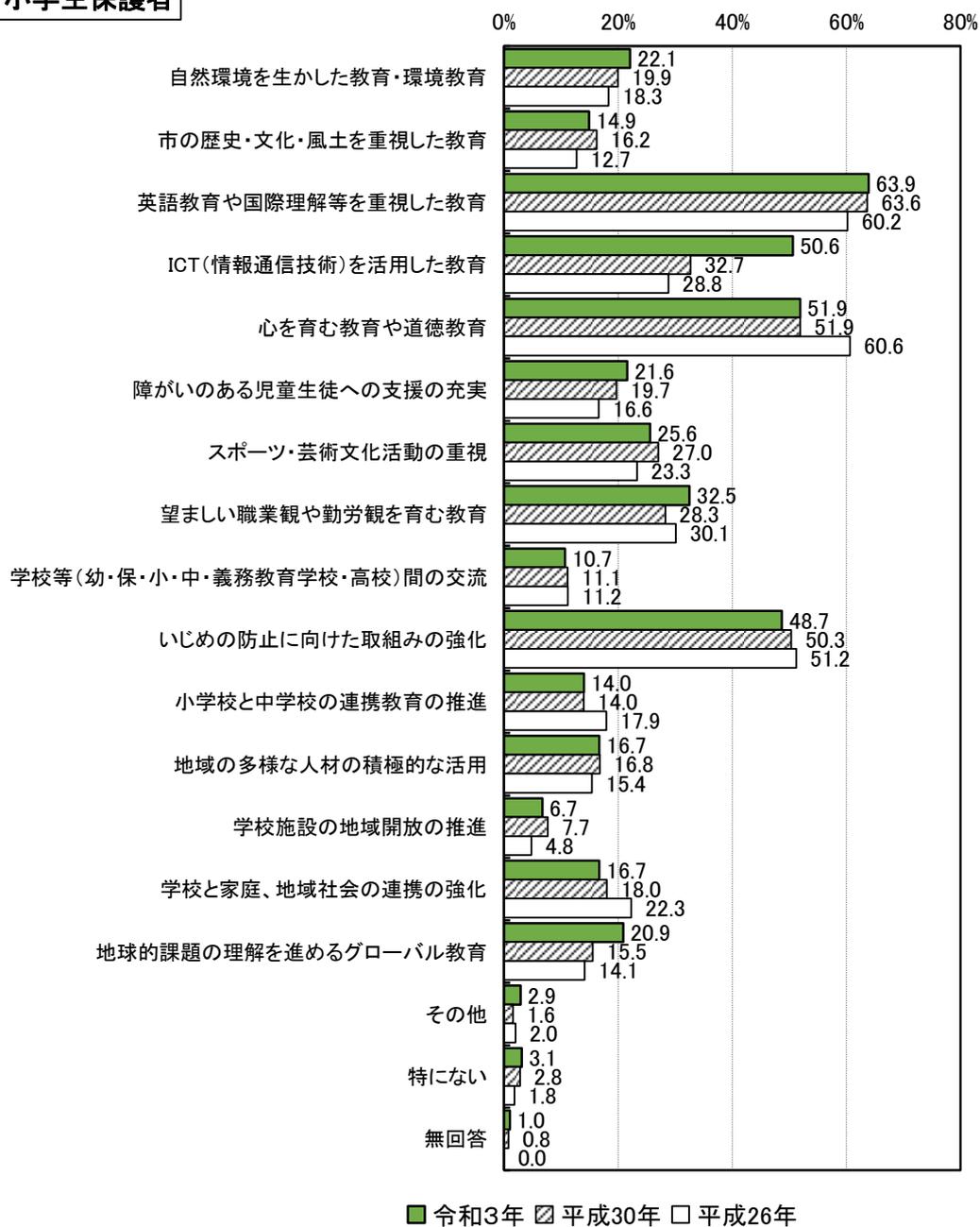
平成30年度の調査と比較すると、本調査では「ICT(情報通信技術)を活用した教育」や「地球的課題の理解を進めるグローバル教育」などが増加しています。



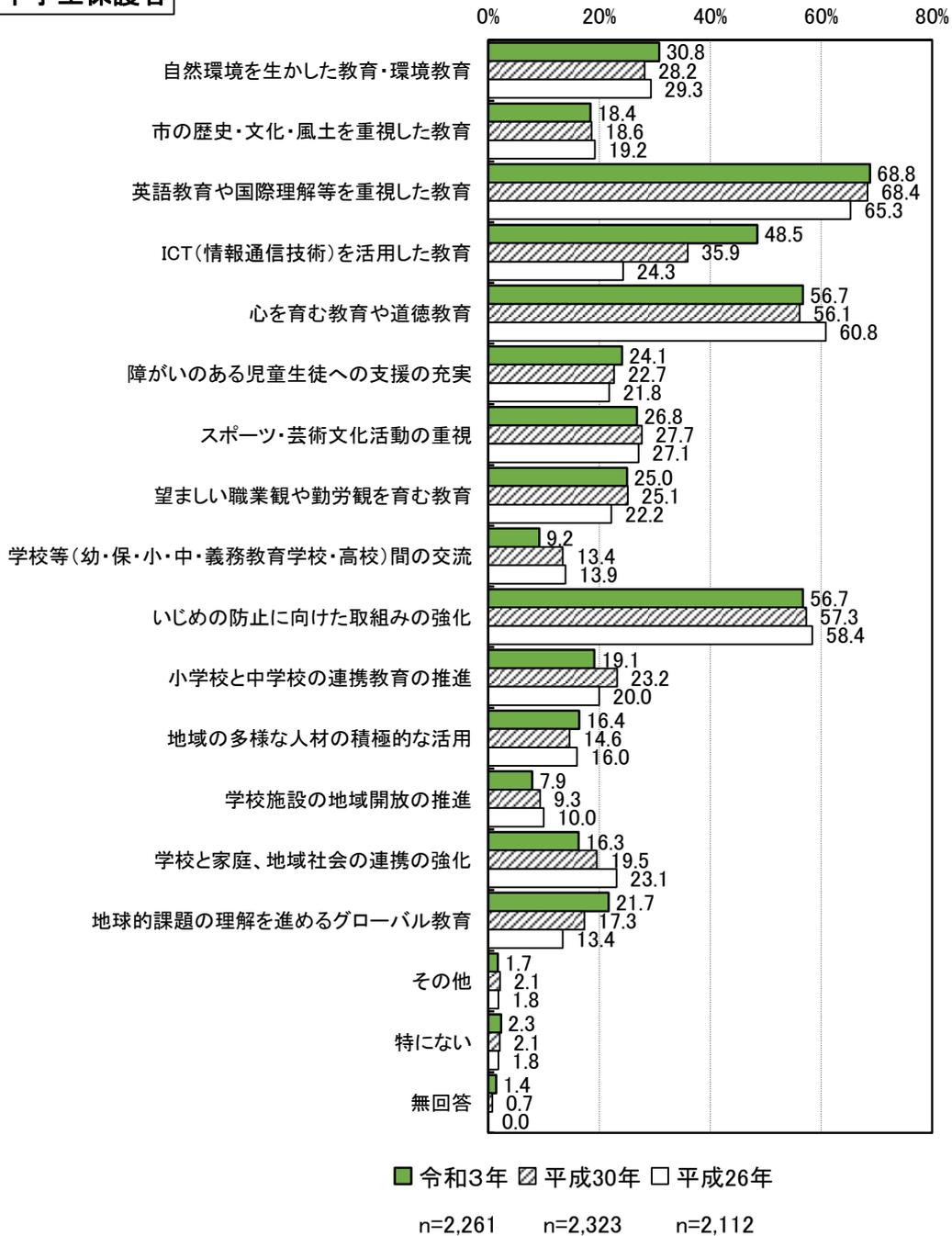
## 【学校別】

学校別でみた場合、上位に大きな違いはみられませんが、平成30年度の調査と比較すると、“小学生保護者”“中学生保護者”ともに「ICT（情報通信技術）を活用した教育」が大きく増加しています。

### 小学生保護者



# 中学生保護者

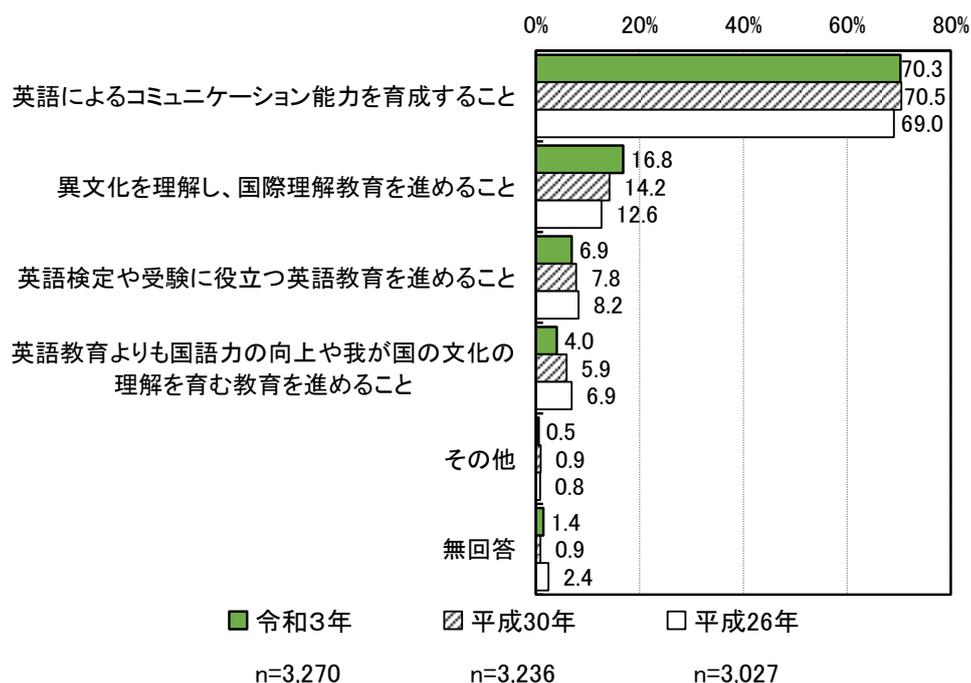


問 11 成田市では、国際空港が立地しているという地域特性を生かして、英語教育の推進に努めておりますが、どのような点に力を入れていくことが望ましいと思いますか。

(1つだけ〇)

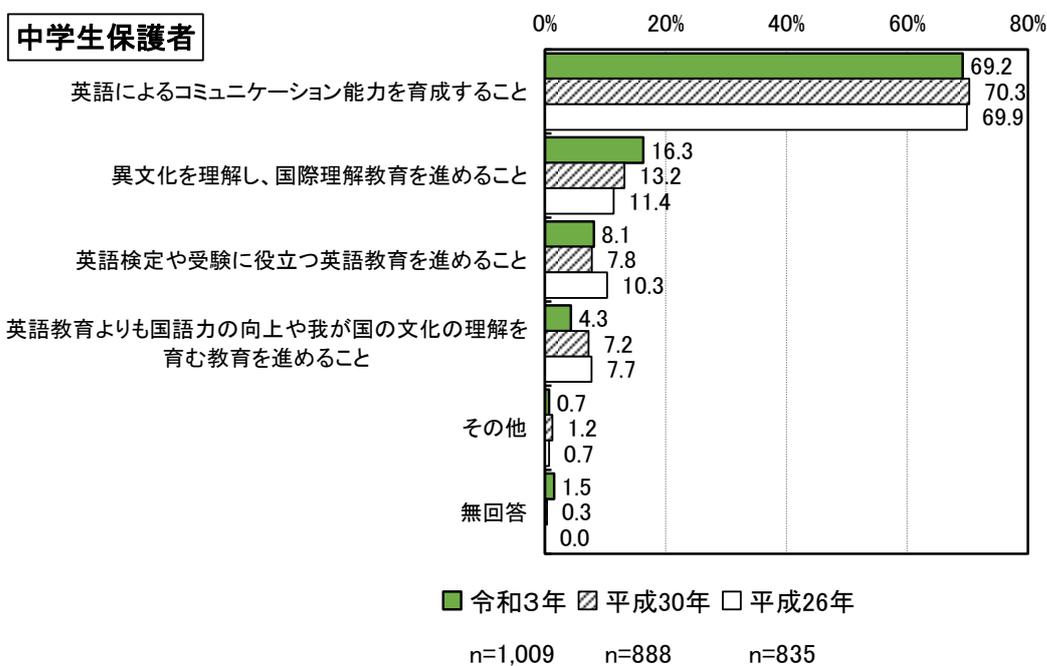
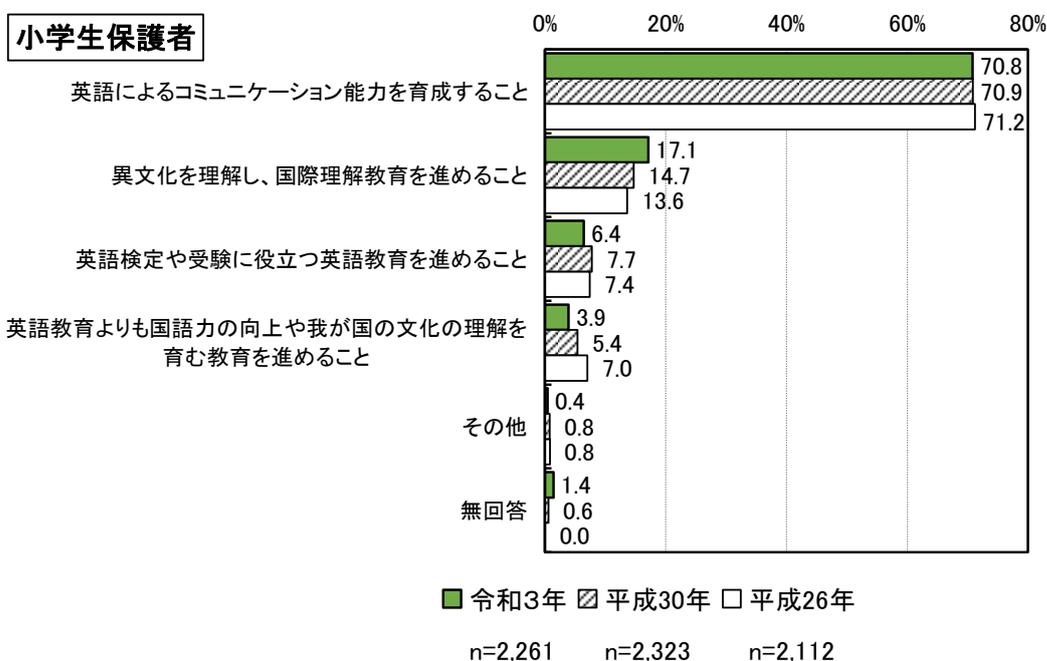
成田市の英語教育推進で力を入れていくことについては、「英語によるコミュニケーション能力を育成すること」が 70.3%で最も多く、次いで「異文化を理解し、国際理解教育を進めること」が 16.8%などとなっています。

平成 30 年度の調査と比較すると、本調査では「異文化を理解し、国際理解教育を進めること」が増加しています。



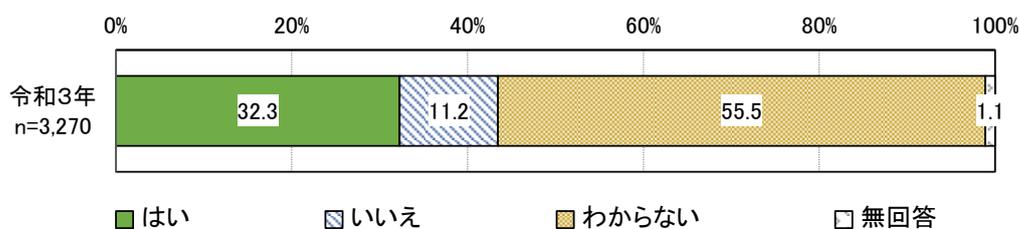
## 【学校別】

学校別でみた場合、“小学生保護者”と“中学生保護者”で大きな違いはみられませんが、平成30年度の調査と比較すると、本調査では“小学生保護者”“中学生保護者”の「英語教育よりも国語力の向上や我が国の文化の理解を育む教育を進めること」が減少しています。



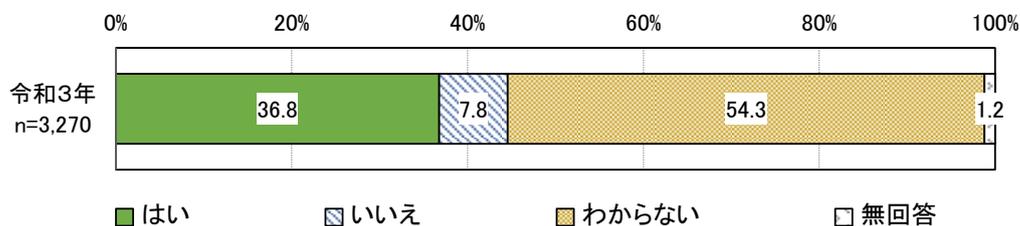
問 12 お子さんは、自分の目的に合わせて情報や情報手段を自ら選択して活用できる力（いわゆる情報活用能力）を学校でのICT教育を通して身に付けていると思いますか。（1つだけ○）

自分の目的に合わせて情報や情報手段を自ら選択して活用できる力を、学校でのICT教育を通して身に付けていると思うかについては、「はい」が32.3%、「いいえ」が11.2%、「わからない」が55.5%となっています。



問 13 ICTを活用することにより、お子さんは意欲的に学んだり、授業に対する興味・関心度が高まったと思いますか（1つだけ○）

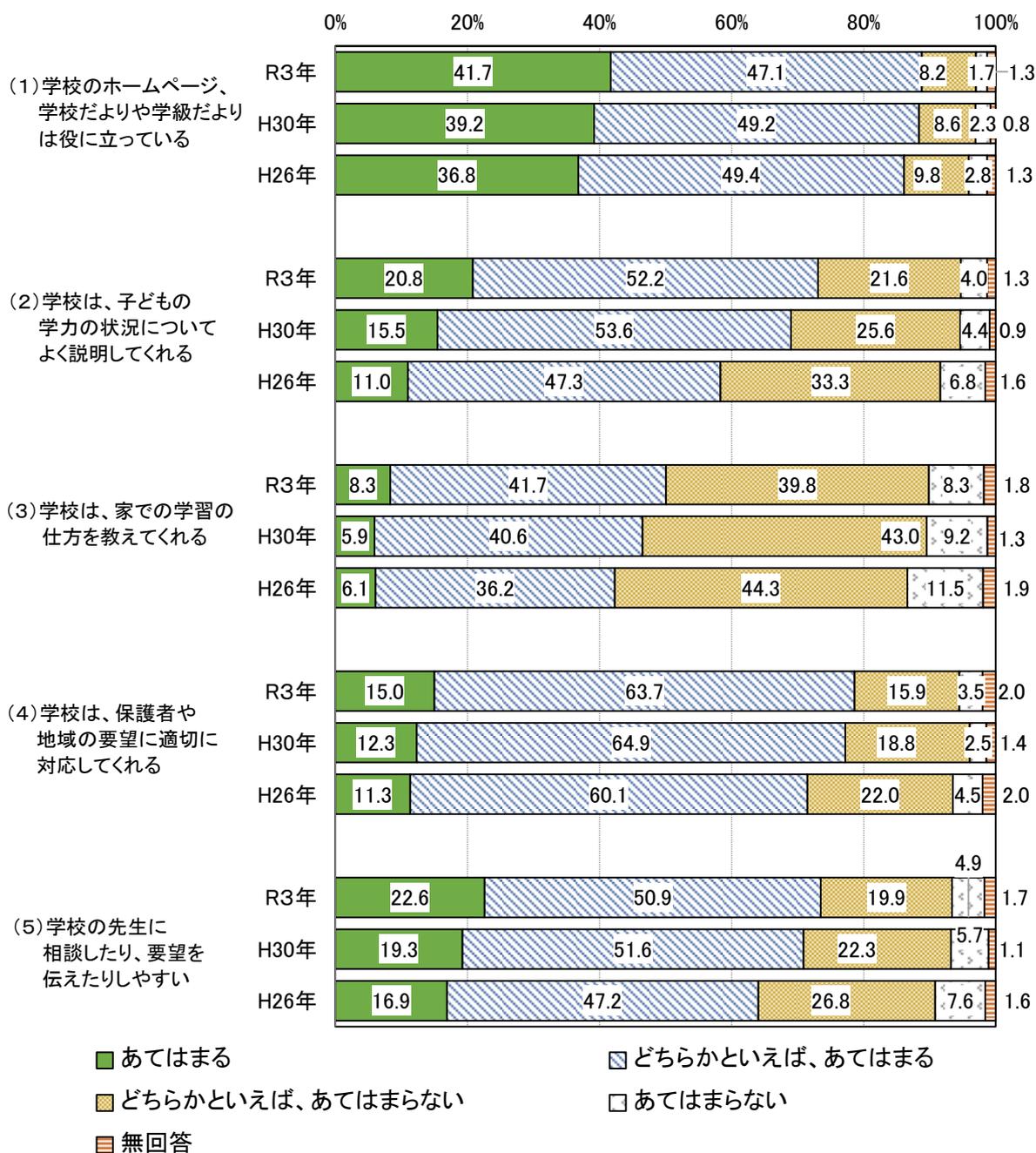
ICTを活用することにより、意欲的に学んだり、授業に対する興味・関心度が高まったと思うかについては、「はい」が36.8%、「いいえ」が7.8%、「わからない」が54.3%となっています。



問 14 お子さんが通っている学校の取組みなどについて、あてはまるものを選んでください。（それぞれに1つずつ〇）

お子さんが通っている学校の取組みなどについては、“（1）学校のホームページ、学校だよりや学級だよりは役に立っている”では「あてはまる」が4割となっています。一方、“（3）学校は、家での学習の仕方を教えてくれる”では「あてはまらない」が1割近くとなっています。

平成30年度の調査と比較すると、いずれの項目においても「あてはまる」と「どちらかといえば、あてはまる」を合わせた割合は前回調査よりも増加しています。

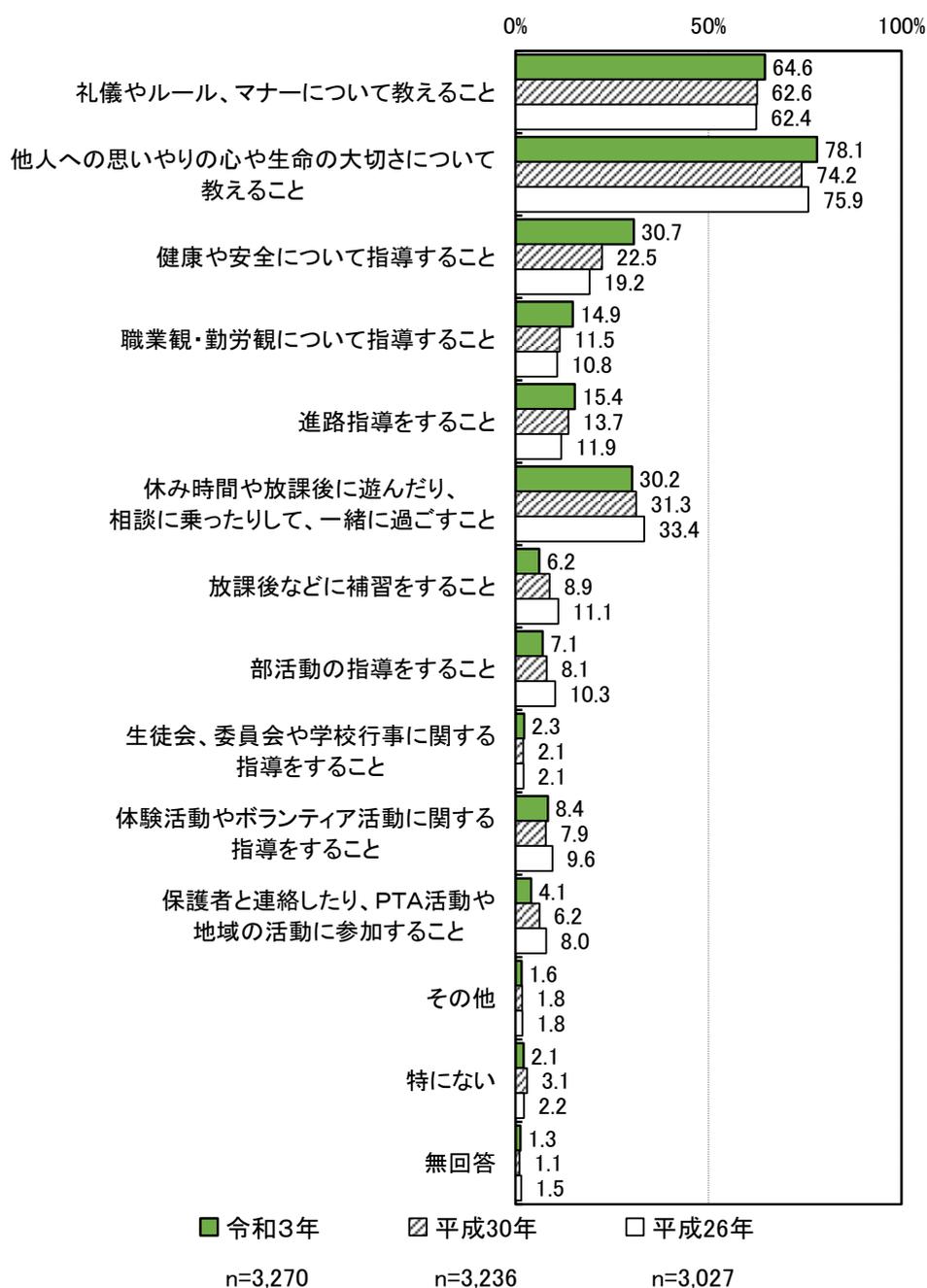


問 15 お子さんの学校の先生に、教科の授業以外で特に期待することは何ですか。

(3つまで〇)

お子さんの学校の先生に、教科の授業以外で特に期待することについては、「他人への思いやりの心や生命の大切さについて教えること」が 78.1%で最も多く、次いで「礼儀やルール、マナーについて教えること」が 64.6%、「健康や安全について指導すること」が 30.7%、「休み時間や放課後に遊んだり、相談に乗ったりして、一緒に過ごすこと」が 30.2%、「進路指導をすること」が 15.4%などとなっています。

平成 30 年度の調査と比較すると、「健康や安全について指導すること」が増加し、「休み時間や放課後に遊んだり、相談に乗ったりして、一緒に過ごすこと」などが減少しています。

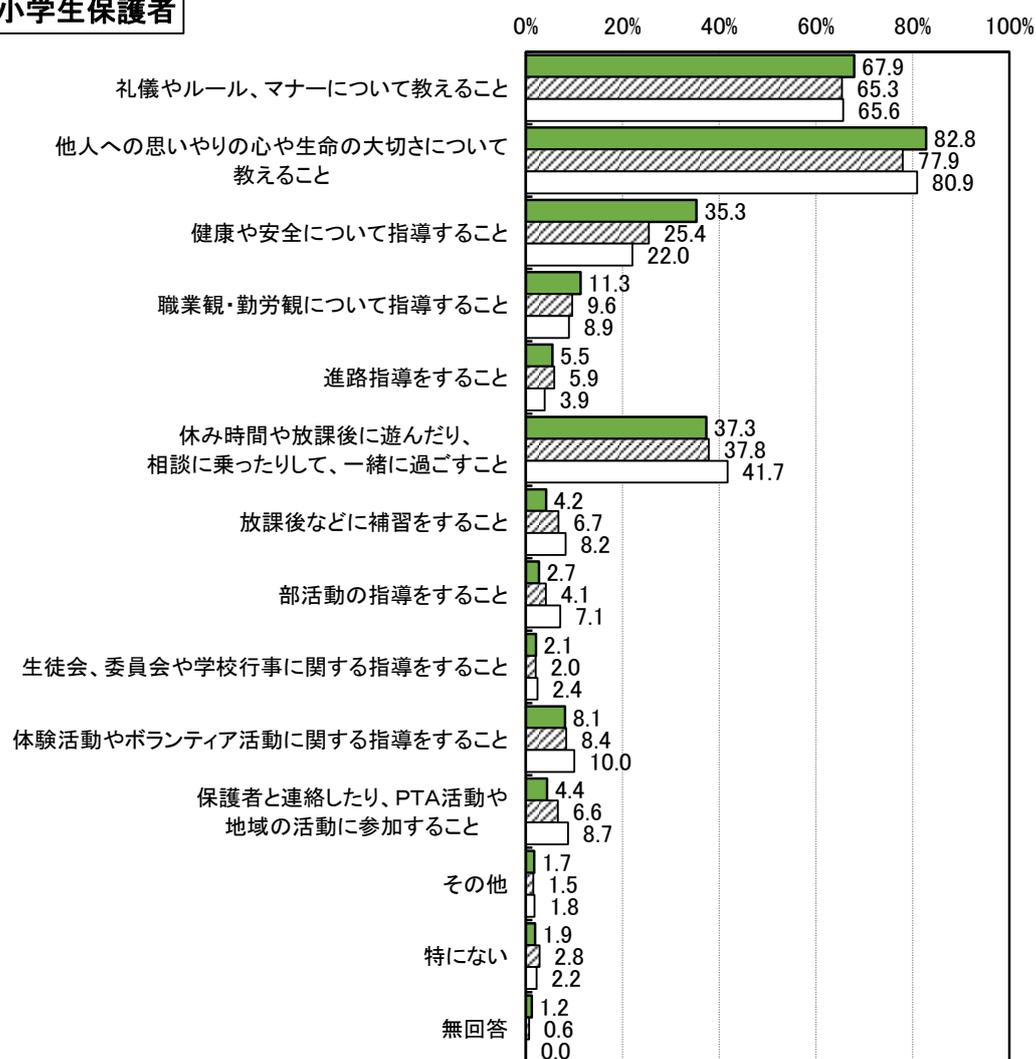


## 【学校別】

学校別でみると、“小学生保護者”“中学生保護者”ともに「他人への思いやりの心や生命の大切さについて教えること」「礼儀やルール、マナーについて教えること」が上位で、特に“小学生保護者”で高い割合となっています。

平成30年度の調査と比較すると、本調査では“小学生保護者”“中学生保護者”ともに「健康や安全について指導すること」が増加しています。

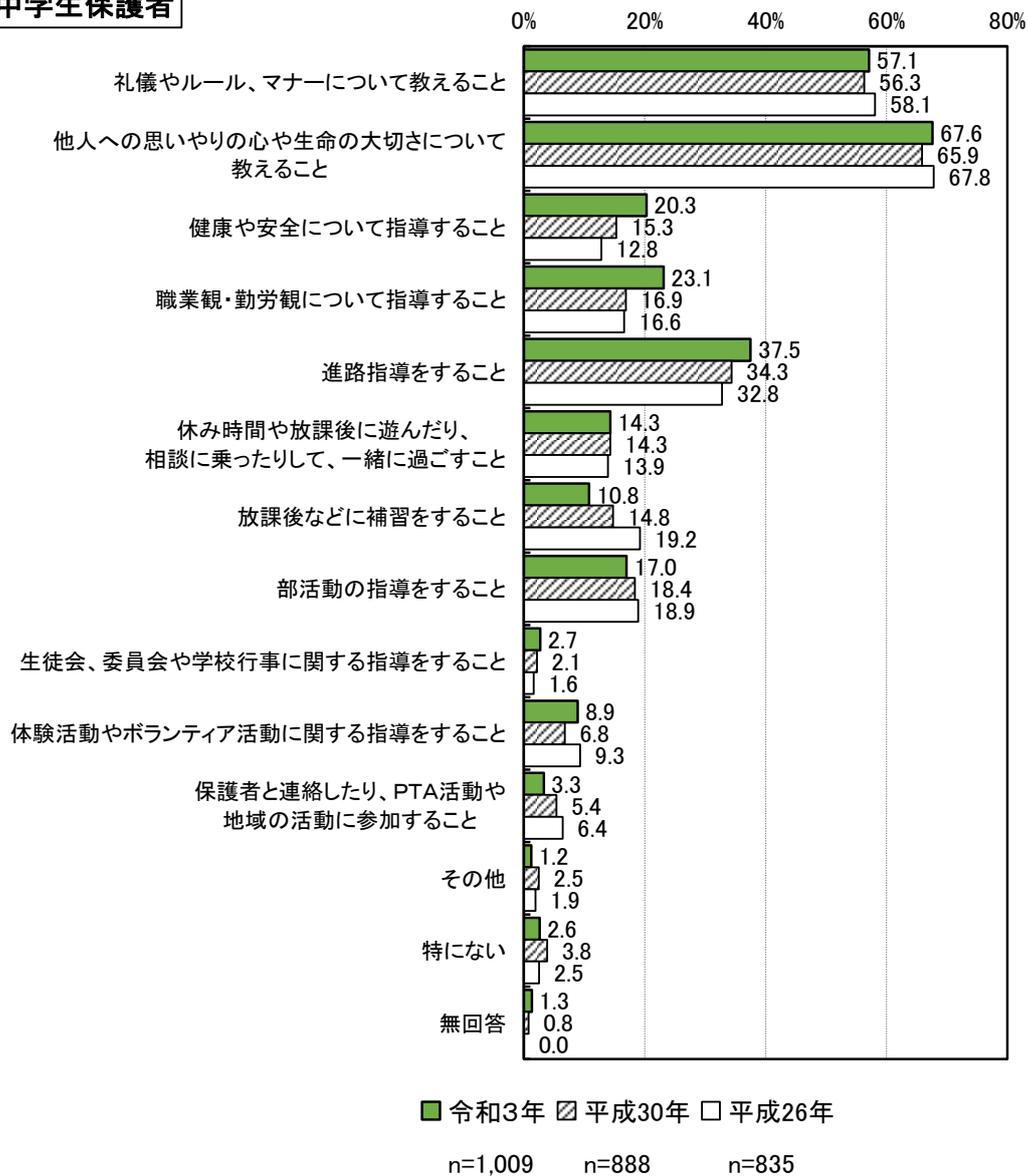
### 小学生保護者



■ 令和3年 ▨ 平成30年 □ 平成26年

n=2,261    n=2,323    n=2,112

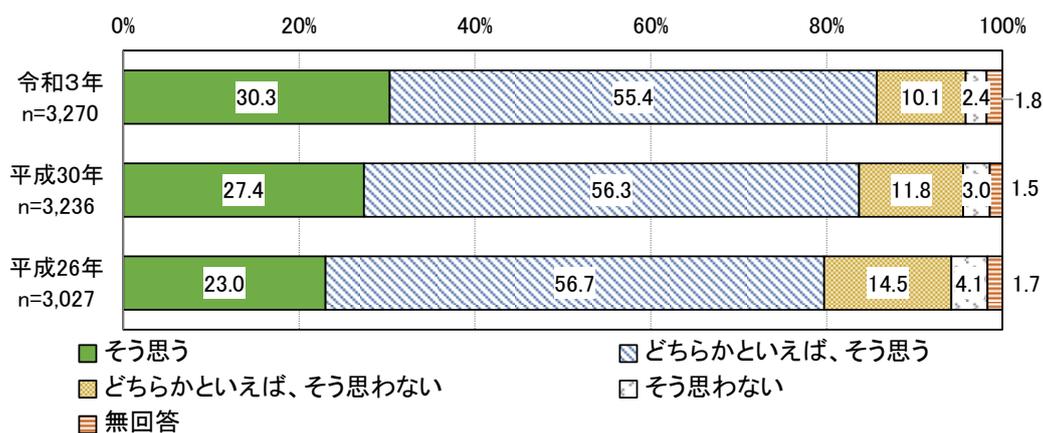
## 中学生保護者



問 16 お子さんの学校の先生は、期待に応えてくれていると思いますか。(1つだけ○)

お子さんの学校の先生が期待に応えてくれているかについては、「どちらかといえば、そう思う」が 55.4%で最も多く、次いで「そう思う」が 30.3%、「どちらかといえば、そう思わない」が 10.1%、「そう思わない」が 2.4%となっています。

平成 30 年度の調査と比較すると、本調査では「そう思う」が増加し、相対的に他の項目は減少しています。

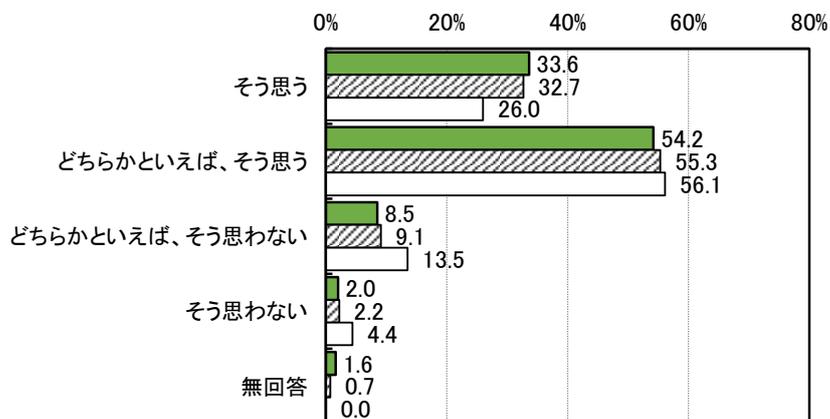


### 【学校別】

学校別でみると、「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」とした“小学生保護者”は9割近くとなり、“中学生保護者”に比べて高い割合となっています。

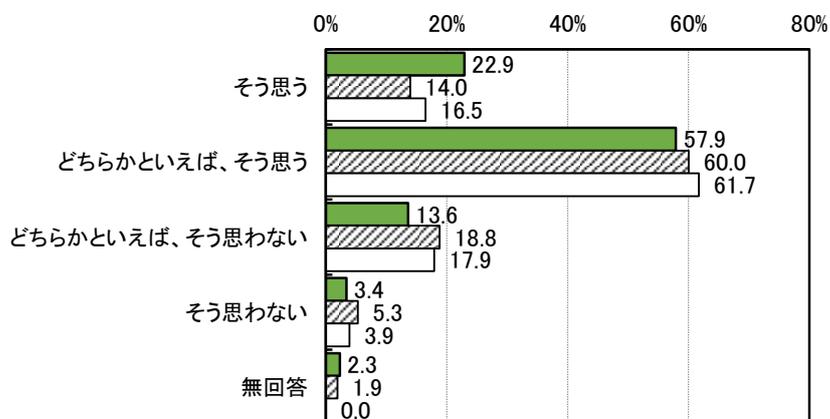
平成 30 年度の調査と比較すると、本調査では“中学生保護者”の「そう思う」が増加し、「どちらかといえば、そう思わない」が減少しています。

#### 小学生保護者



■ 令和3年 ▨ 平成30年 □ 平成26年  
n=2,261 n=2,323 n=2,112

#### 中学生保護者



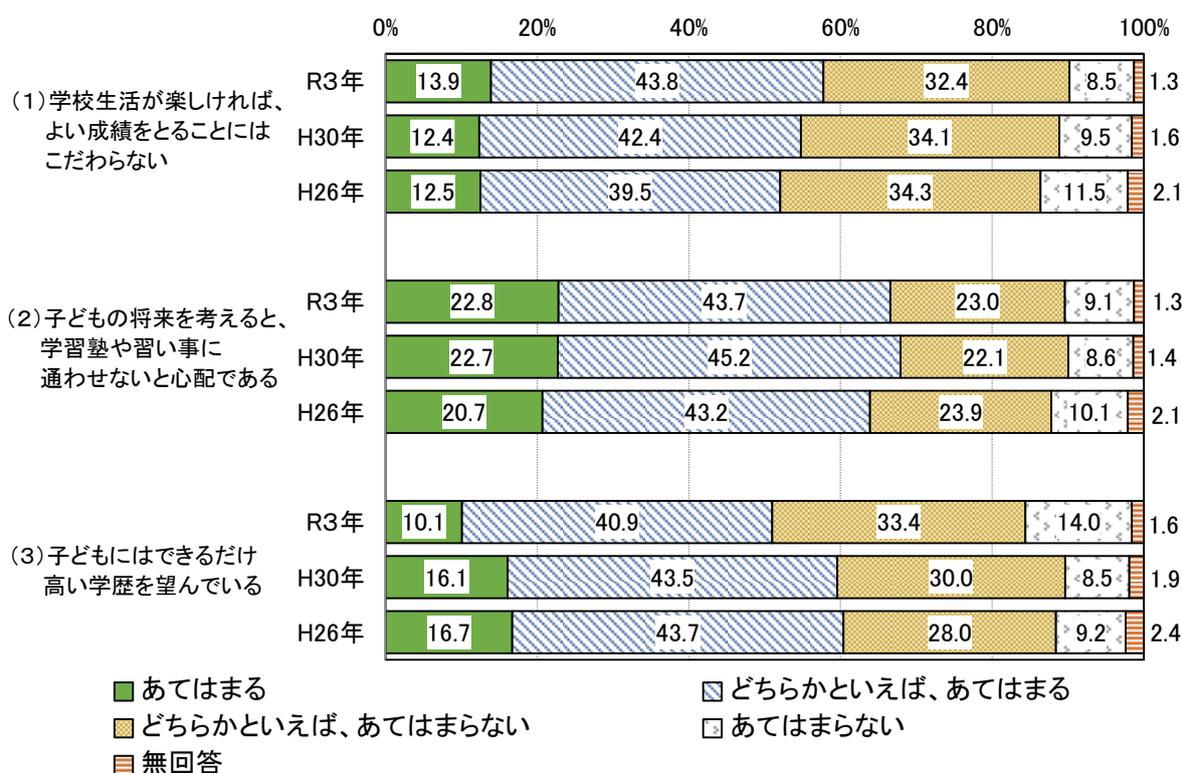
■ 令和3年 ▨ 平成30年 □ 平成26年  
n=1,009 n=888 n=835

## 4. 教育全般について

問17 あなたは、次のことについて、どのように考えていますか。(それぞれに1つずつ〇)

教育についての考え方については、「あてはまる」と「どちらかといえば、あてはまる」を合わせた『あてはまる』で、“(1) 学校生活を楽しめれば、よい成績をとることはこだわらない”で6割近く、“(2) 子どもの将来を考えると、学習塾や習い事に通わせないと心配である”では6割半ば、“(3) 子どもにはできるだけ高い学歴を望んでいる”で5割程度となっています。

平成30年度の調査と比較すると、本調査では“(3) 子どもにはできるだけ高い学歴を望んでいる”の「あてはまる」及び「どちらかといえば、あてはまる」がそれぞれ減少しています。



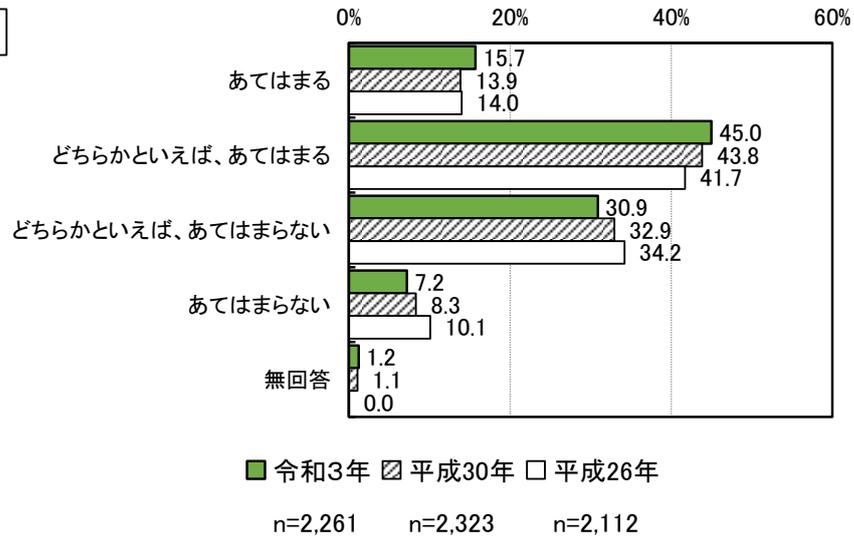
【学校別】

(1) 学校生活を楽しめれば、よい成績をとることにはこだわらない

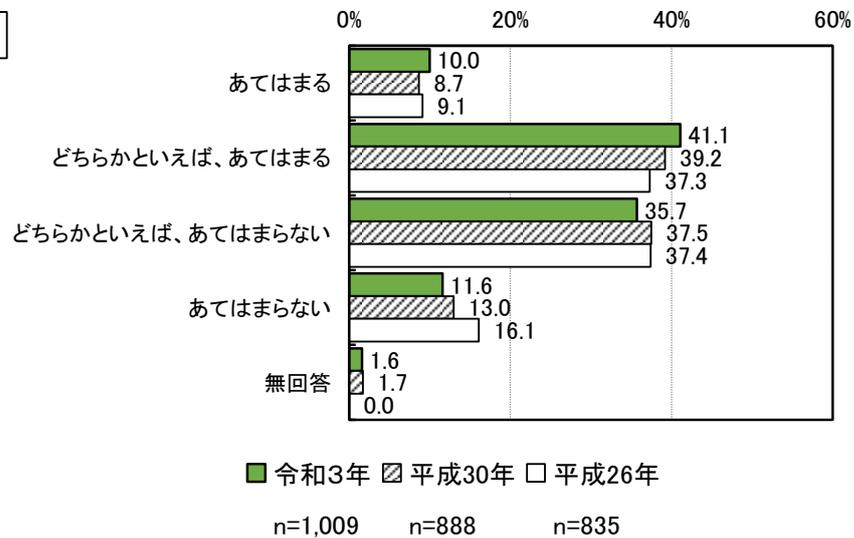
学校別でみると、「あてはまる」「どちらかといえば、あてはまる」とした“小学生保護者”が6割となり、“中学生保護者”に比べて高い割合となっています。

平成30年度の調査と比較すると、本調査では“小学生保護者”“中学生保護者”の「どちらかといえば、あてはまらない」「あてはまらない」が減少しています。

**小学生保護者**



**中学生保護者**

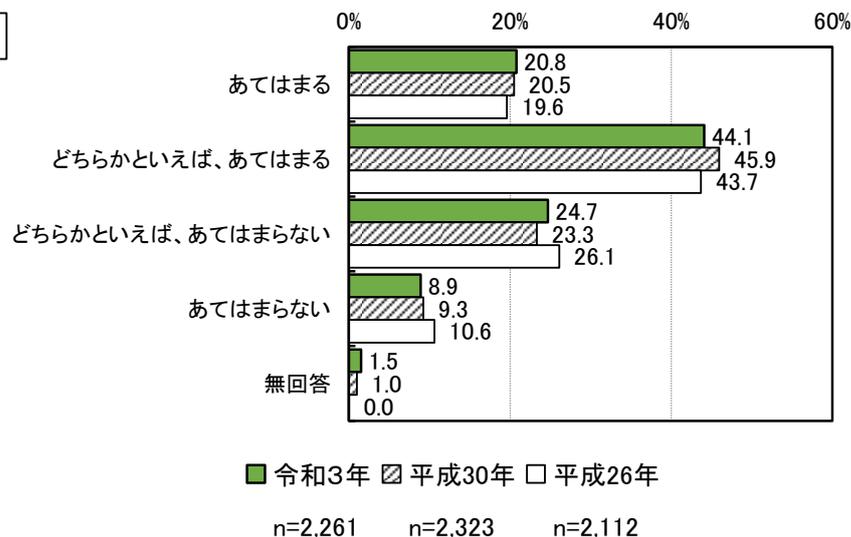


(2) 子どもの将来を考えると、学習塾や習い事に通わせないと心配である

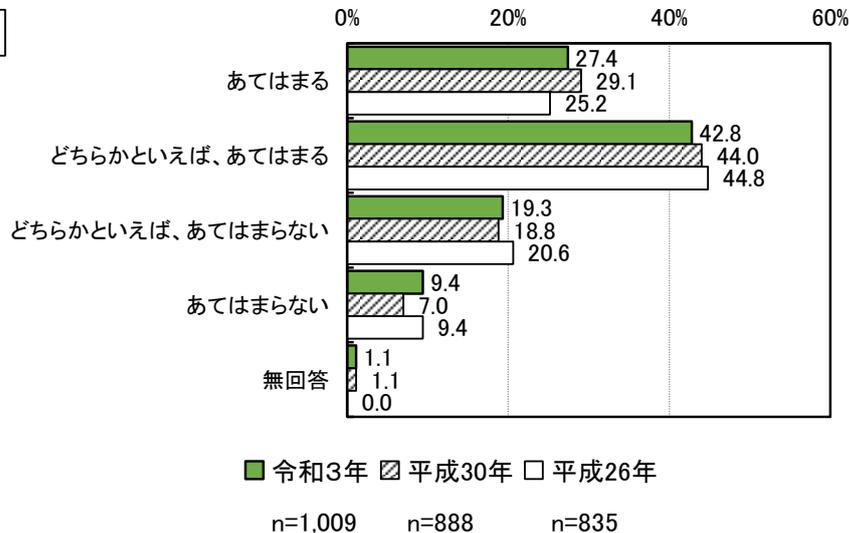
学校別でみると、「あてはまる」「どちらかといえば、あてはまる」とした“中学生保護者”が7割となり、“小学生保護者”に比べて高い割合となっています。その一方で、「どちらかといえば、あてはまらない」は、“小学生保護者”の割合が高くなっています。

平成30年度の調査と比較すると、本調査では“小学生保護者”では「どちらかといえばあてはまらない」、「中学生保護者」では「あてはまらない」が増加しています。

**小学生保護者**



**中学生保護者**

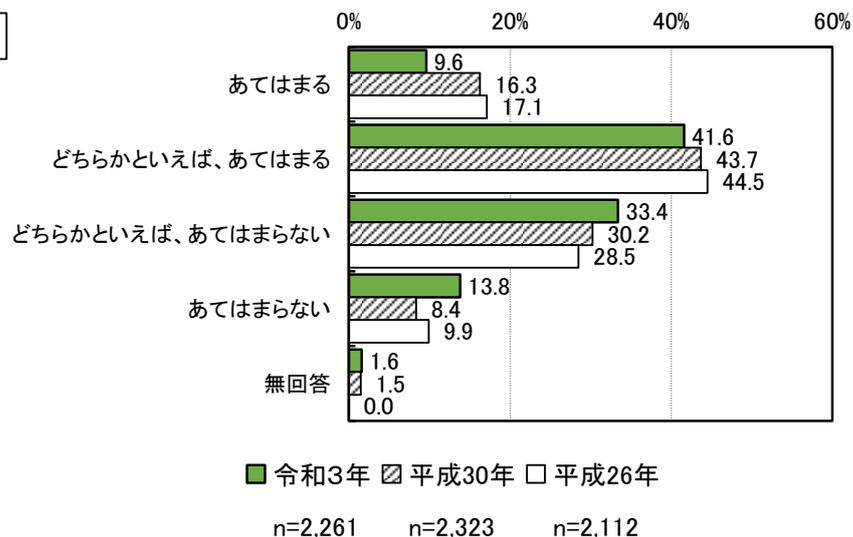


(3) 子どもにはできるだけ高い学歴を身につけさせたい

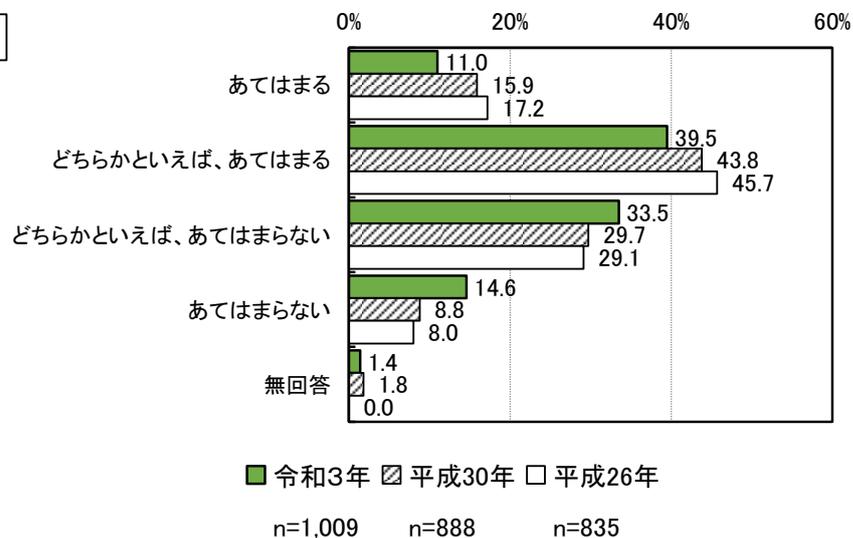
学校別でみた場合、“小学生保護者”と“中学生保護者”で大きな違いはみられませんでした。

平成 30 年度の調査と比較すると、“小学生保護者”“中学生保護者”ともに「あてはまる」「どちらかといえば、あてはまる」が減少し、「どちらかといえば、あてはまらない」「あてはまらない」が増加しています。

**小学生保護者**



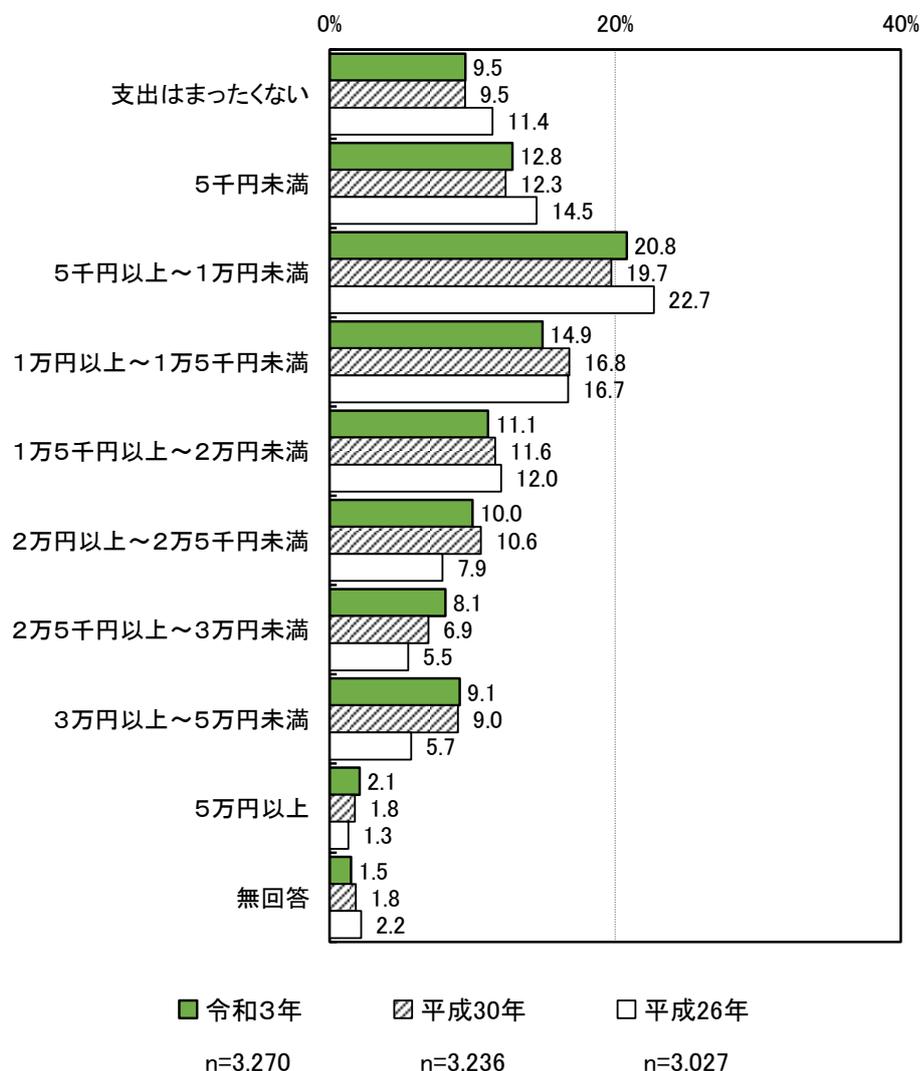
**中学生保護者**



問 18 お子さん1人について、学校以外の教育にかける1か月あたりの平均の支出はどのくらいですか。(1つだけ〇)

お子さん1人について、学校以外の教育にかける1か月あたりの平均の支出については、「5千円以上～1万円未満」が20.8%で最も多く、次いで「1万円以上～1万5千円未満」が14.9%、「5千円未満」が12.8%、「1万5千円以上～2万円未満」が11.1%、「2万円以上～2万5千円未満」が10.0%などとなっています。

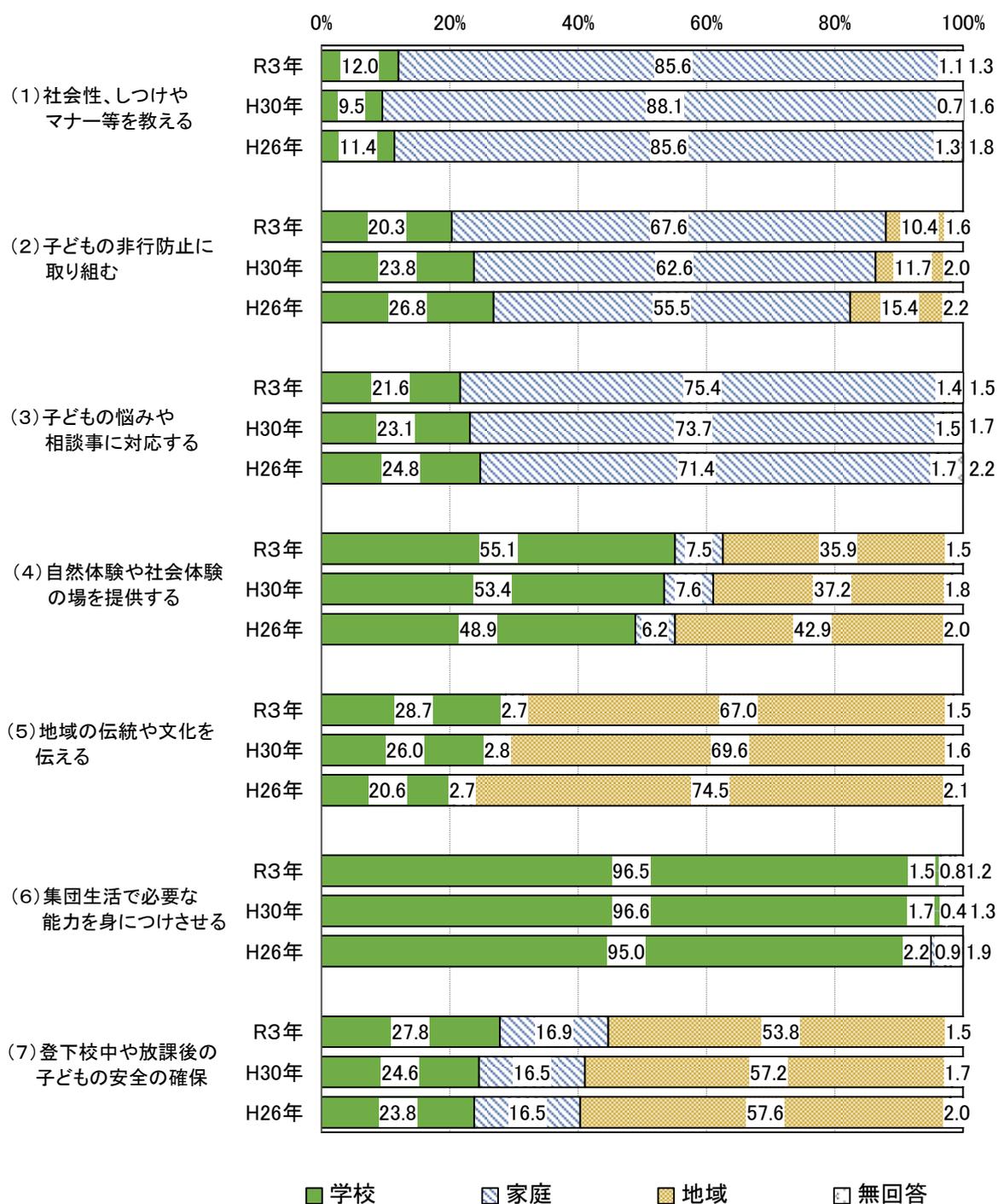
平成30年度の調査と比較すると、本調査では「5千円未満」「5千円以上～1万円未満」など『1万円未満』が増加するなかで、「2万5千円以上～3万円未満」など『2万円以上』も増加しています。



問 19 あなたは、次のことについて、学校、家庭、地域のどこが中心となるべきだと考えていますか。(それぞれに1つずつ〇)

学校、家庭、地域のどこが中心となるべきかについては、“(6) 集団生活に必要な能力を身に付けさせる”において「学校」が中心となるべきだと考えている方が9割半ばと高くなっています。一方、“(1) 社会性、しつけやマナー等を教える”では「家庭」が8割半ばと高くなっており、“(5) 地域の伝統や文化を伝える”では「地域」が7割近くとなっています。

平成30年度の調査と比較すると、本調査では“(1) 社会性、しつけやマナー等を教える”や“(7) 登下校中や放課後の子どもの安全の確保”における「学校」の割合が増加しています。

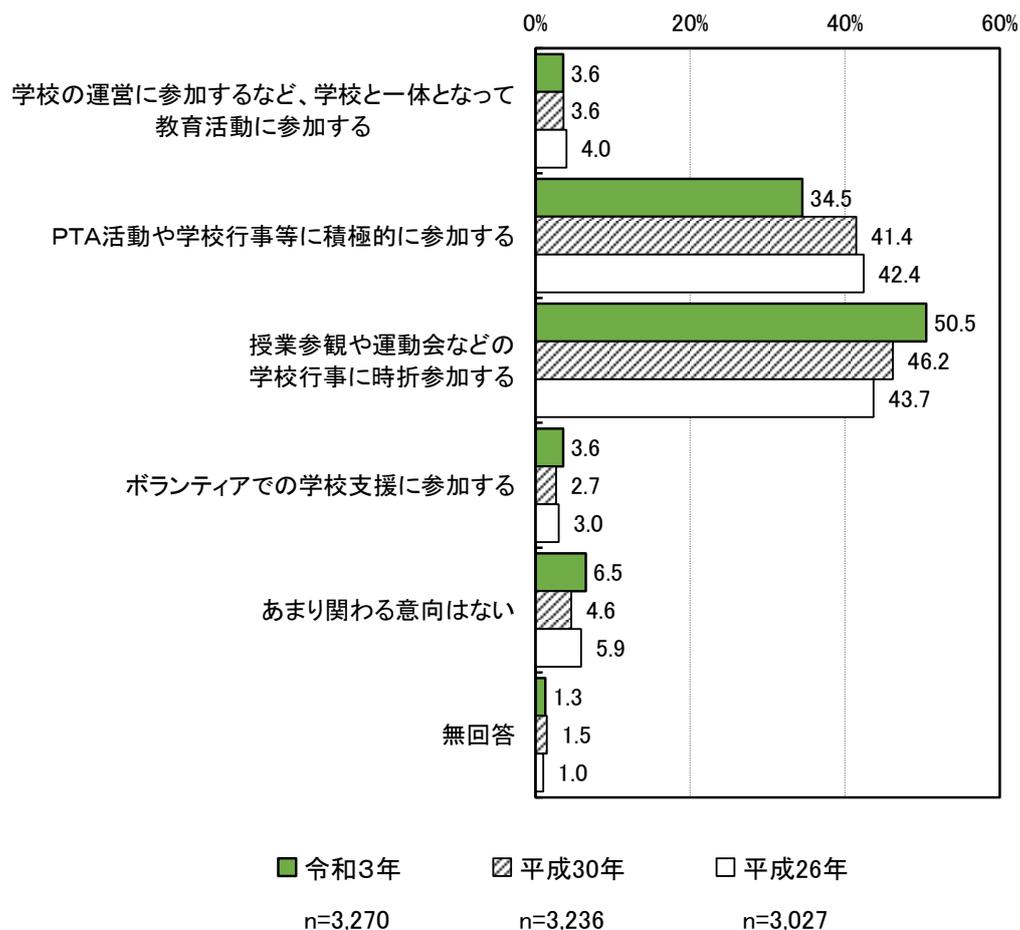


問 20 あなたは、学校の活動に対して、どの程度、関わる意向を持っていますか。

(1つだけ○)

学校の活動に対して、どの程度、関わる意向を持っているかについては、「授業参観や運動会などの学校行事に時折参加する」が 50.5%で最も多く、次いで「PTA活動や学校行事等に積極的に参加する」が 34.5%などとなっています。

平成 30 年度の調査と比較すると、本調査では「授業参観や運動会などの学校行事に時折参加する」が増加しています。

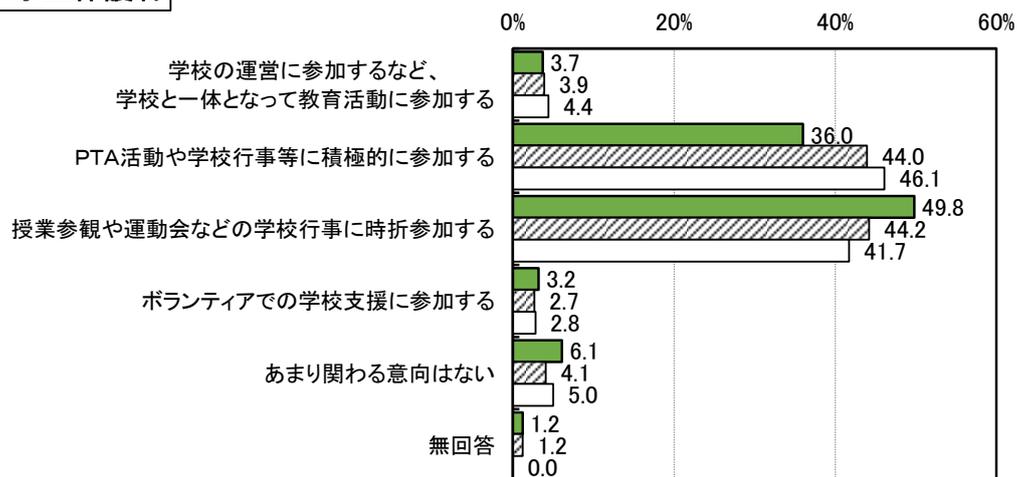


## 【学校別】

学校別でみると、“小学生保護者”“中学生保護者”ともに「授業参観や運動会などの学校行事に時折参加する」が多くなっています。

平成30年度の調査と比較すると、本調査では“小学生保護者”“中学生保護者”ともに「PTA活動や学校行事等に積極的に参加する」が減少していますが、“小学生保護者”の落ち込みが大きくなっています。

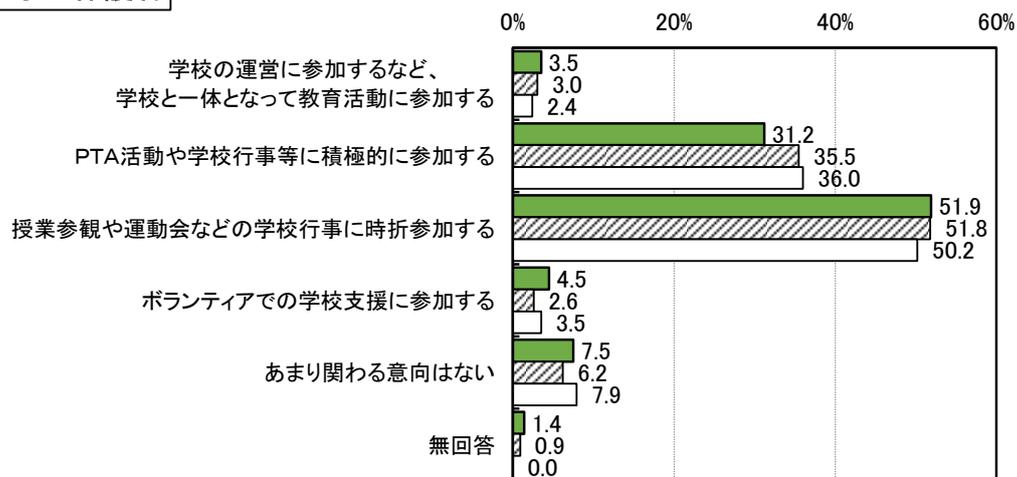
### 小学生保護者



■ 令和3年 ▨ 平成30年 □ 平成26年

n=2,261    n=2,323    n=2,112

### 中学生保護者



■ 令和3年 ▨ 平成30年 □ 平成26年

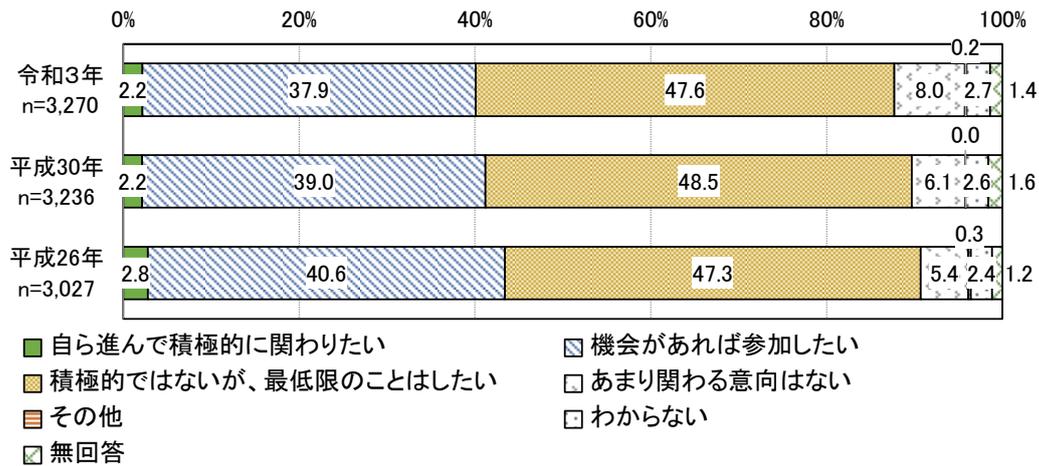
n=1,009    n=888    n=835

問 21 あなたは、地域社会における教育に、どの程度、関わる意向を持っていますか。

(1つだけ○)

地域社会における教育に、どの程度、関わる意向を持っているかについては、「積極的ではないが、最低限のことはしたい」が最も多く 47.6%、次いで「機会があれば参加したい」が 37.9% などとなっています。

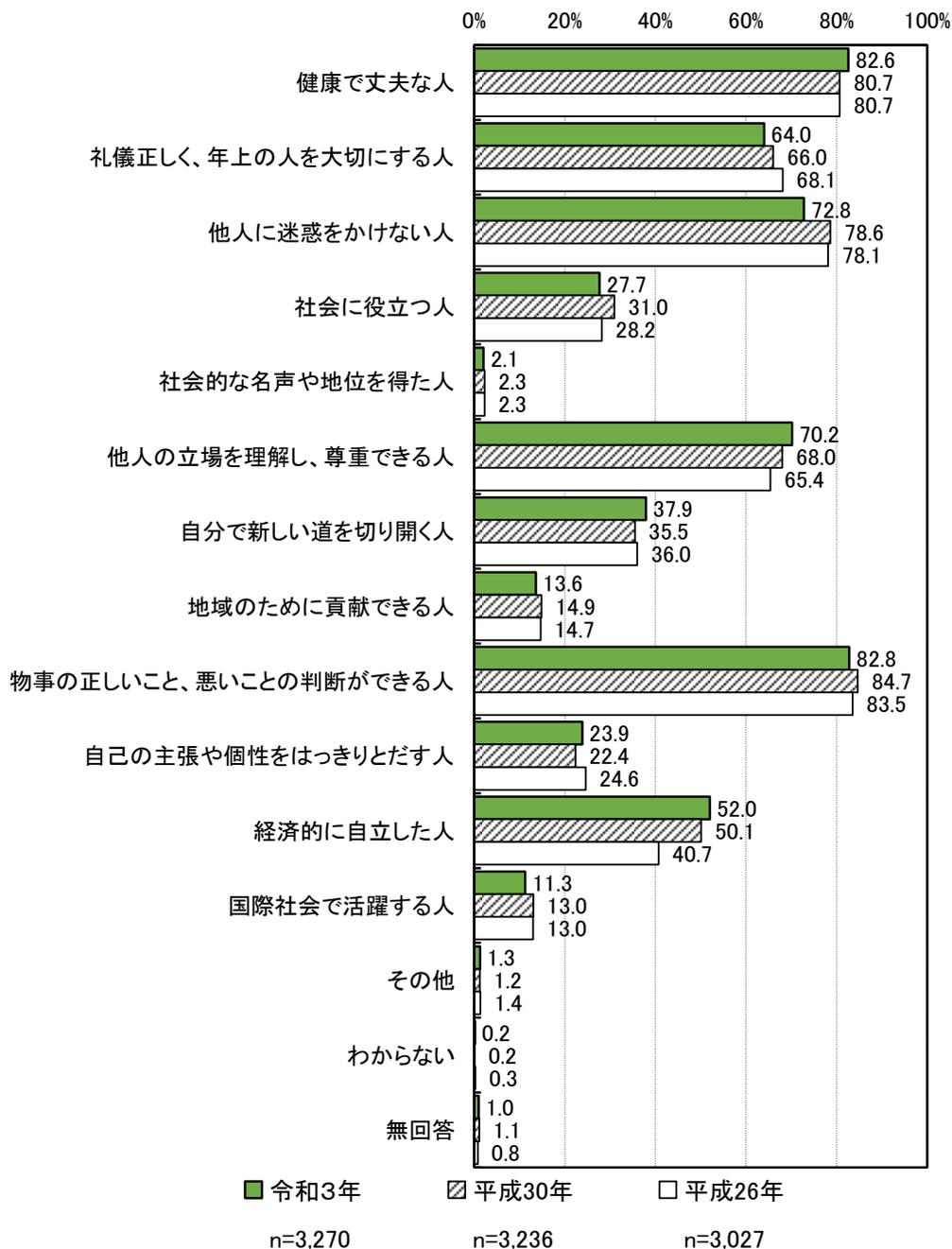
平成 30 年度の調査との比較では、大きな変動は見られませんが、本調査では「機会があれば参加したい」がやや減少しています。



問 22 あなたのお子さんにはどのような人になってもらいたいですか。(あてはまるものすべてに○)

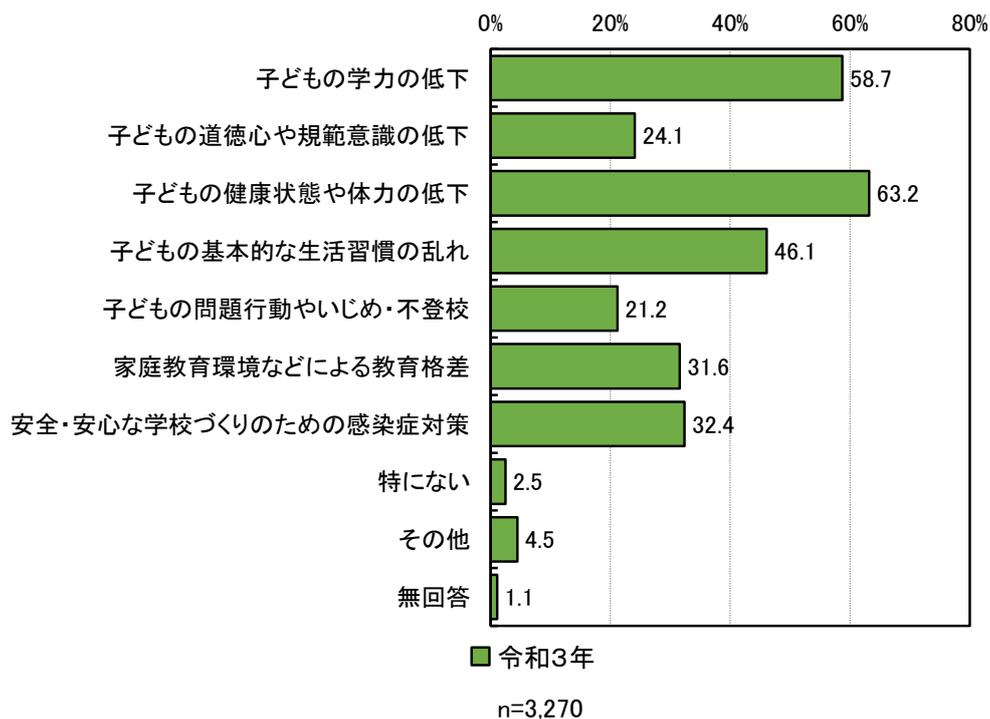
お子さんにどのような人になってもらいたいかについては、「物事の正しいこと、悪いことの判断ができる人」が82.8%で最も多く、次いで「健康で丈夫な人」が82.6%、「他人に迷惑をかけない人」が72.8%、「他人の立場を理解し、尊重できる人」が70.2%、「礼儀正しく、年上の人を大切にする人」が64.0%などとなっています。

平成30年度の調査と比較すると、本調査では「他人に迷惑をかけない人」「礼儀正しく、年上の人を大切にする人」などが減少しています。



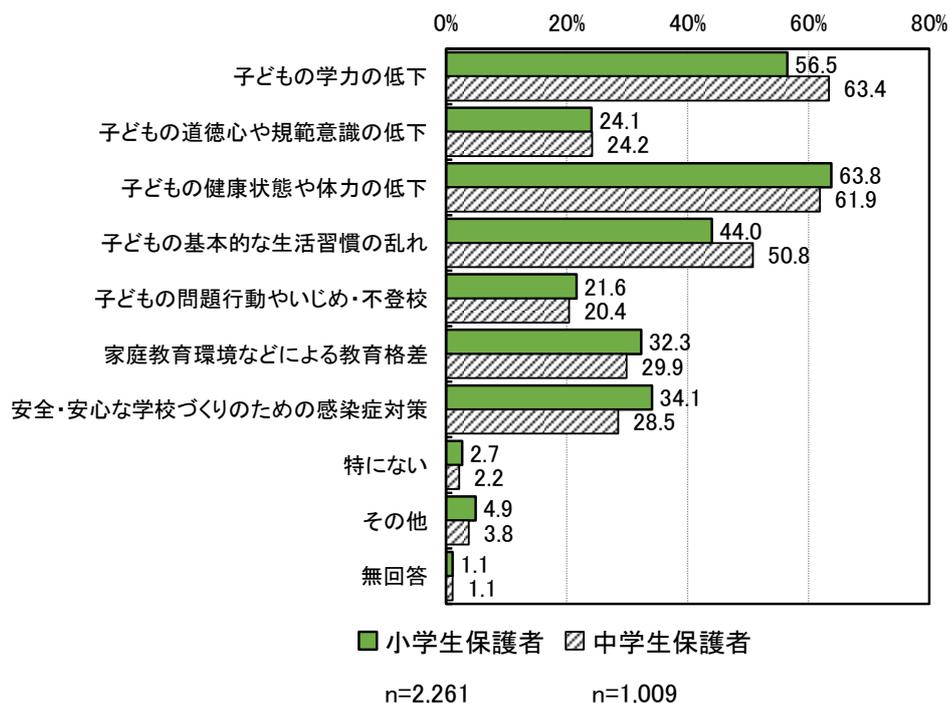
問 23 新型コロナウイルス感染症が今後も子どもたちの教育に大きな影響を及ぼす可能性があります。現在の状況下における子どもたちの教育について不安に感じていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

現在の状況下における子どもたちの教育について不安に感じていることについては、「子どもの健康状態や体力の低下」が63.2%で最も多く、次いで「子どもの学力の低下」が58.7%、「子どもの基本的な生活習慣の乱れ」が46.1%、「安全・安心な学校づくりのための感染症対策」が32.4%、「家庭教育環境などによる教育格差」が31.6%などとなっています。



### 【学校別】

学校別でみると、“小学生保護者”“中学生保護者”の傾向に差はみられませんでした。小学生保護者は「子どもの健康状態や体力の低下」や「安全・安心な学校づくりのための感染症対策」「家庭教育環境などによる教育格差」「子どもの問題行動やいじめ・不登校」の割合が高くなっています。中学生保護者では、「子どもの学力の低下」「子どもの基本的な生活習慣の乱れ」の割合が高くなっています。

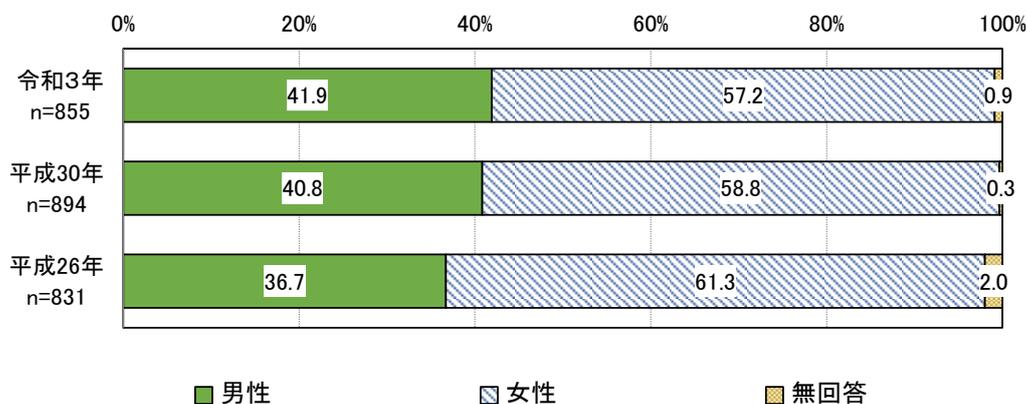


## 第5章 教職員調査の結果

### 1. あなた自身について

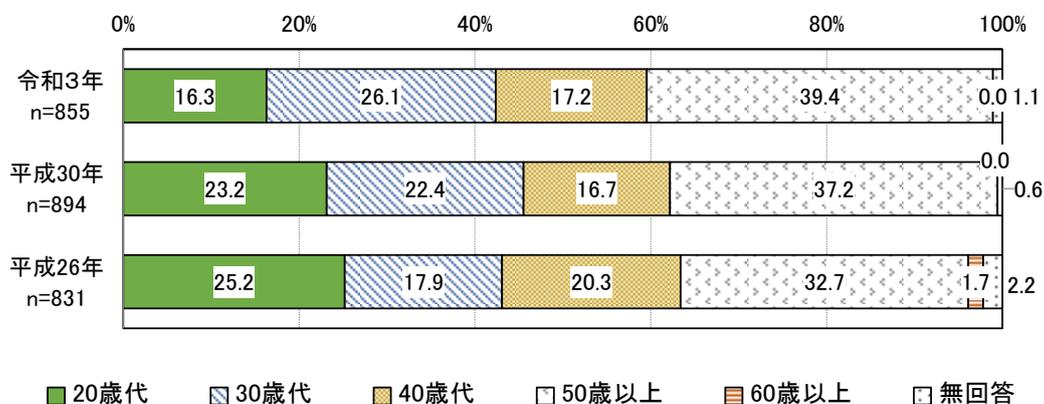
問1 あなたの性別はどちらですか。(1つだけ○)

性別については、「男性」が41.9%、「女性」が57.2%となっています。



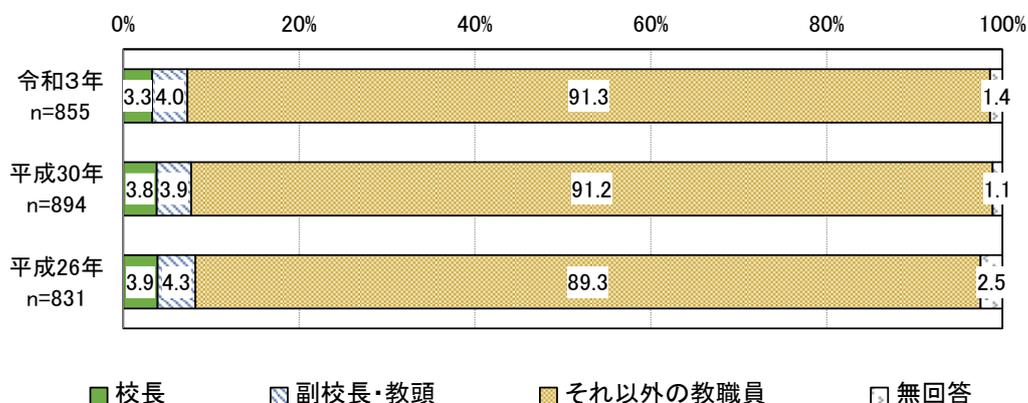
問2 あなたの年齢についてあてはまるものを選んでください。(1つだけ○)

年齢については、「50歳以上」が39.4%で最も多く、次いで「30歳代」が26.1%、「40歳代」が17.2%、「20歳代」が16.3%となっています。



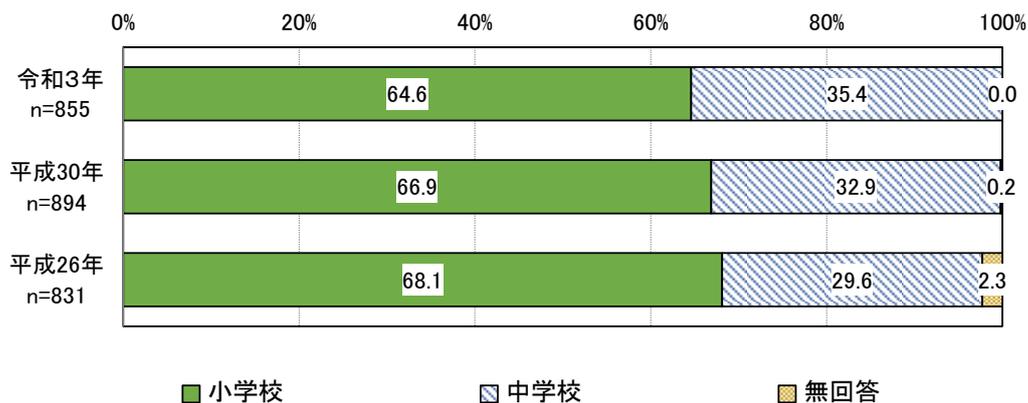
問3 あなたの職名は何ですか。(1つだけ○)

職名については「校長」が3.3%、「副校長・教頭」が4.0%、「それ以外の教職員」が91.3%となっています。



問4 あなたの勤務先はどちらですか。(1つだけ○)

勤務先については、「小学校」が64.6%、「中学校」が35.4%となっています。

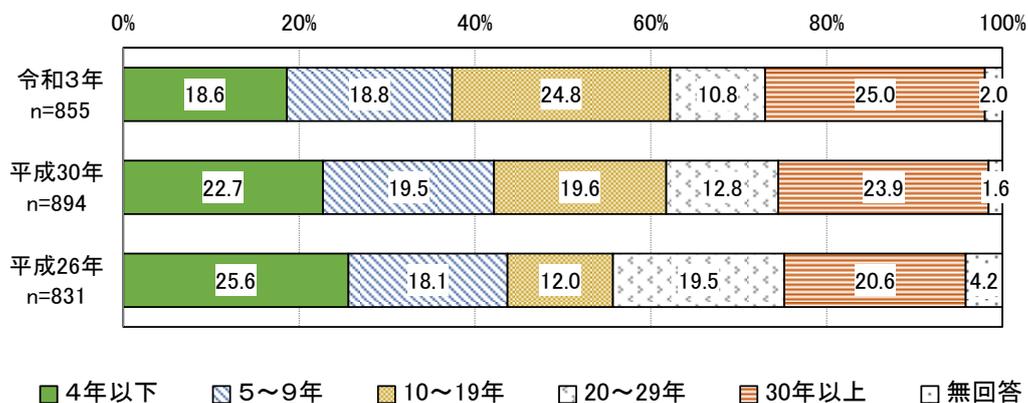


※義務教育学校の教職員は、主として担当している学年等が前期課程であれば「小学校」を、後期課程であれば「中学校」を選択しています。

問5 あなたの教職員経験年数は何年ですか。(1つだけ〇)

教職員経験年数については、「4年以下」が18.6%、「5～9年」が18.8%、「10～19年」が24.8%、「20～29年」が10.8%、「30年以上」が25.0%となっています。

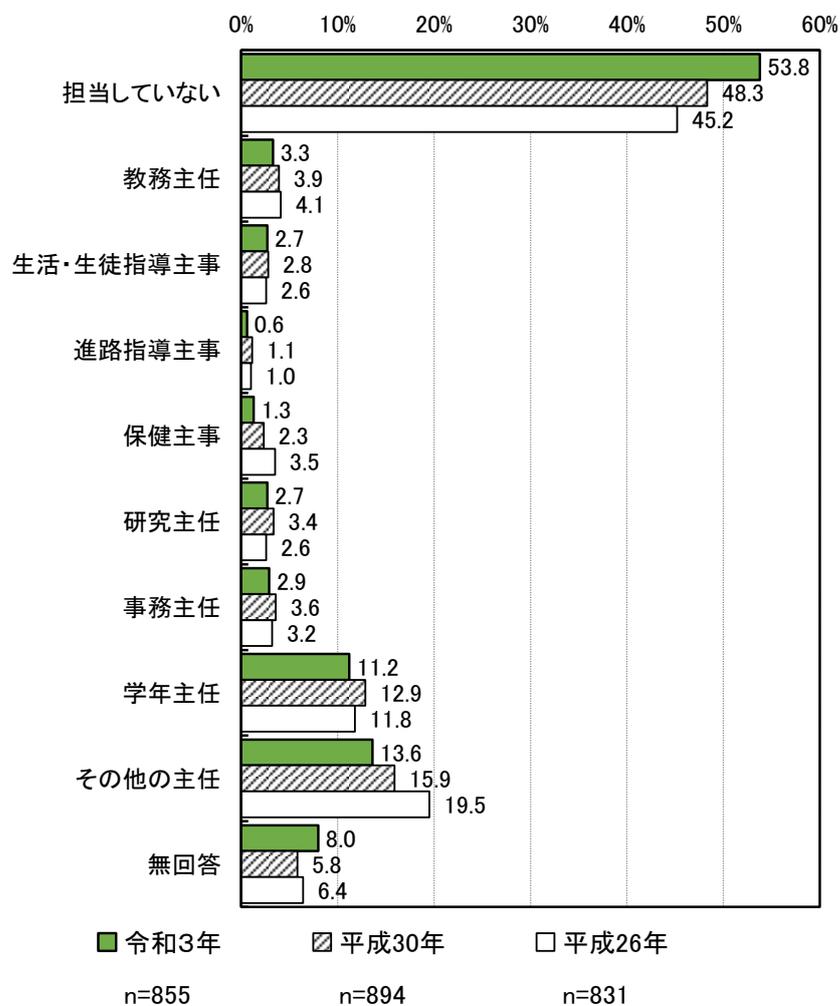
平成30年度の調査と比較すると、本調査では「10～19年」「30年以上」が増加しています。



問6 主任を担当していますか。(1つだけ〇)

主任を担当しているかについては、「担当していない」が53.8%、「その他の主任」が13.6%、「学年主任」が11.2%などとなっています。

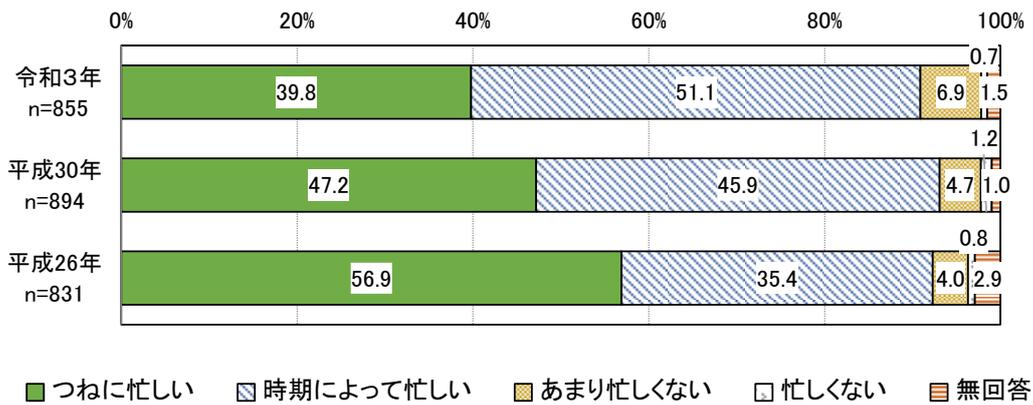
平成30年度の調査と比較すると、本調査では「担当していない」が増加し、「学年主任」「その他の主任」が減少しています。



問7 ご自身の職務について、どれくらい忙しいと感じていますか。(1つだけ〇)

職務について、どれくらい忙しいと感じているかについては、「時期によって忙しい」が51.1%で最も多く、次いで「つねに忙しい」が39.8%、「あまり忙しくない」が6.9%、「忙しくない」が0.7%となっています。

平成30年度の調査と比較すると、本調査では「時期によって忙しい」が増加し、「つねに忙しい」が減少しています。



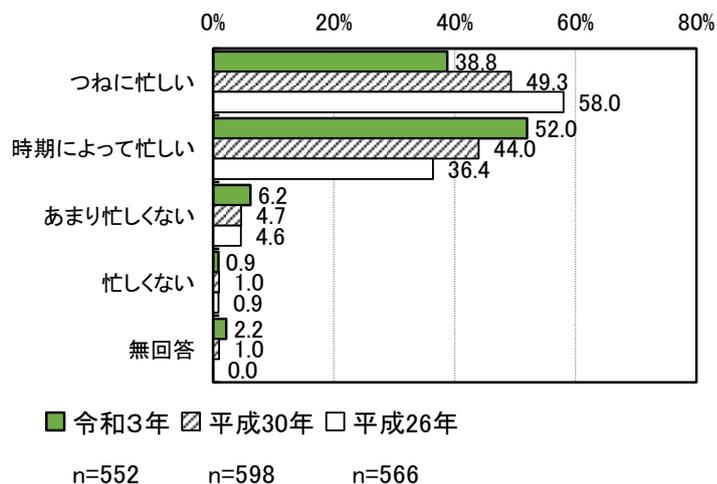
【勤務先別】

勤務先別でみた場合、“小学校職員”“中学校職員”ともに「時期によって忙しい」が最も多くなっています。

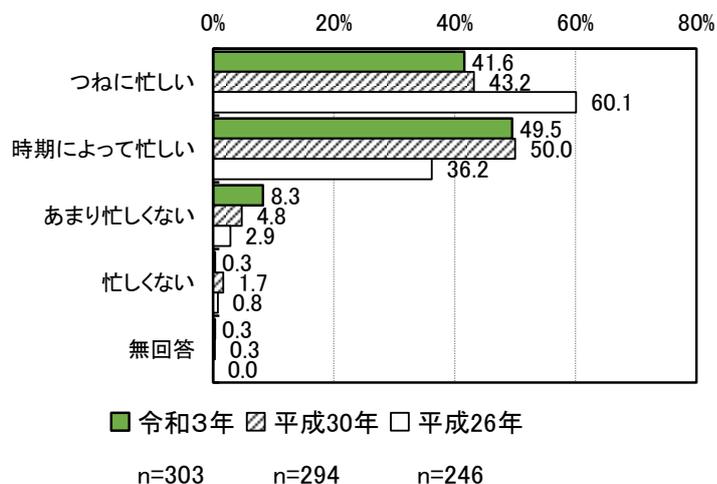
平成30年度の調査と比較すると、“小学校職員”では「つねに忙しい」が大きく減少し、「時期によって忙しい」が増加しています。

“中学校職員”では「あまり忙しくない」が増加しています。

**小学校教員**



**中学校教員**

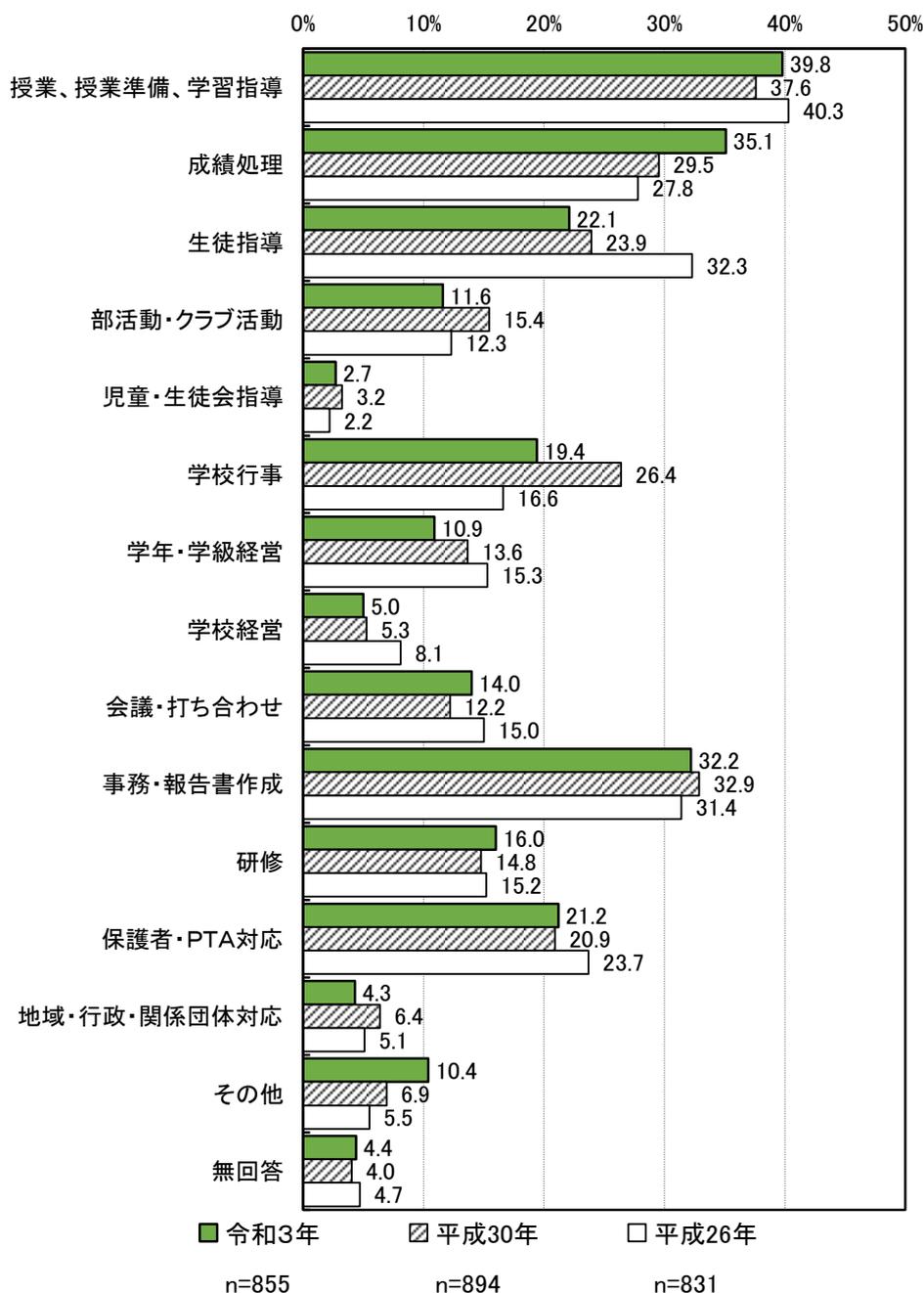


問8 仕事をするうえで、あなたが特に大変だと感じるのはどのような業務ですか。

(3つまで○)

仕事をする上で特に大変だと感じることについては、「授業、授業準備、学習指導」が39.8%で最も多く、次いで「成績処理」が35.1%、「事務・報告書作成」が32.2%、「生徒指導」が22.1%、「保護者・PTA対応」が21.2%などとなっています。

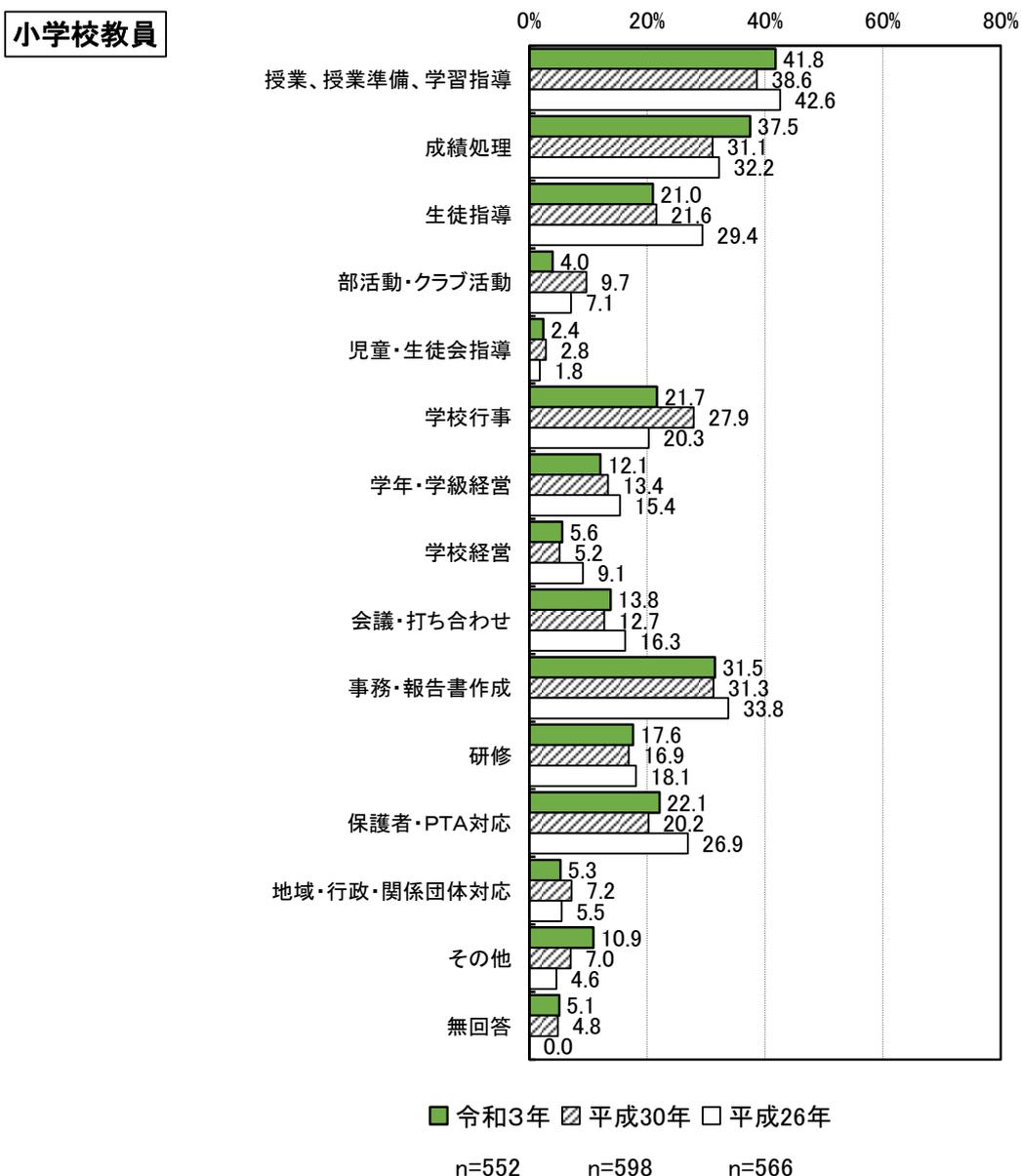
平成30年度の調査と比較すると、本調査では「学校行事」、「部活動・クラブ活動」が大きく減少する一方で、「成績処理」については増加しています。



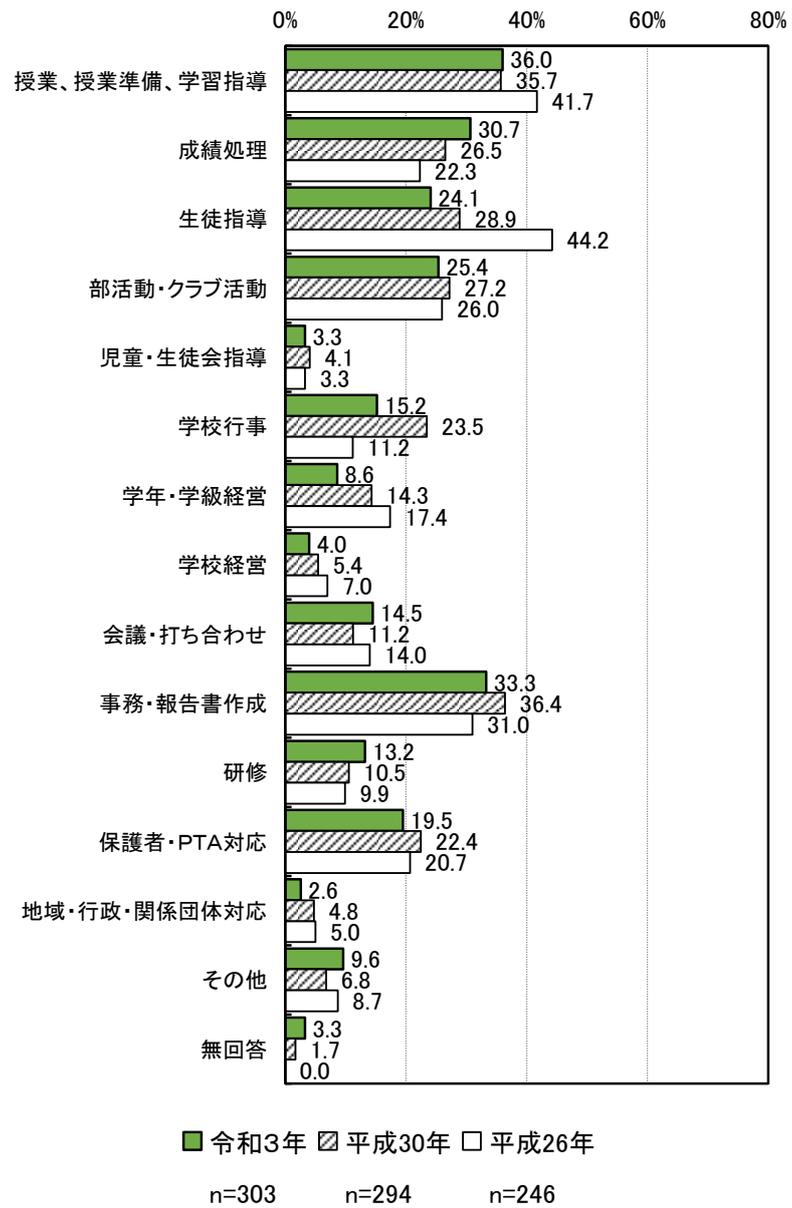
### 【勤務先別】

勤務先別でみると、「授業、授業準備、学習指導」「成績処理」「学校行事」で“小学校職員”の割合が高く、「事務・報告書作成」「部活動・クラブ活動」で“中学校職員”の割合が高くなっています。

平成30年度の調査と比較すると、“小学校職員”“中学校職員”ともに「学校行事」が減少する一方で、「成績処理」が増加しています。



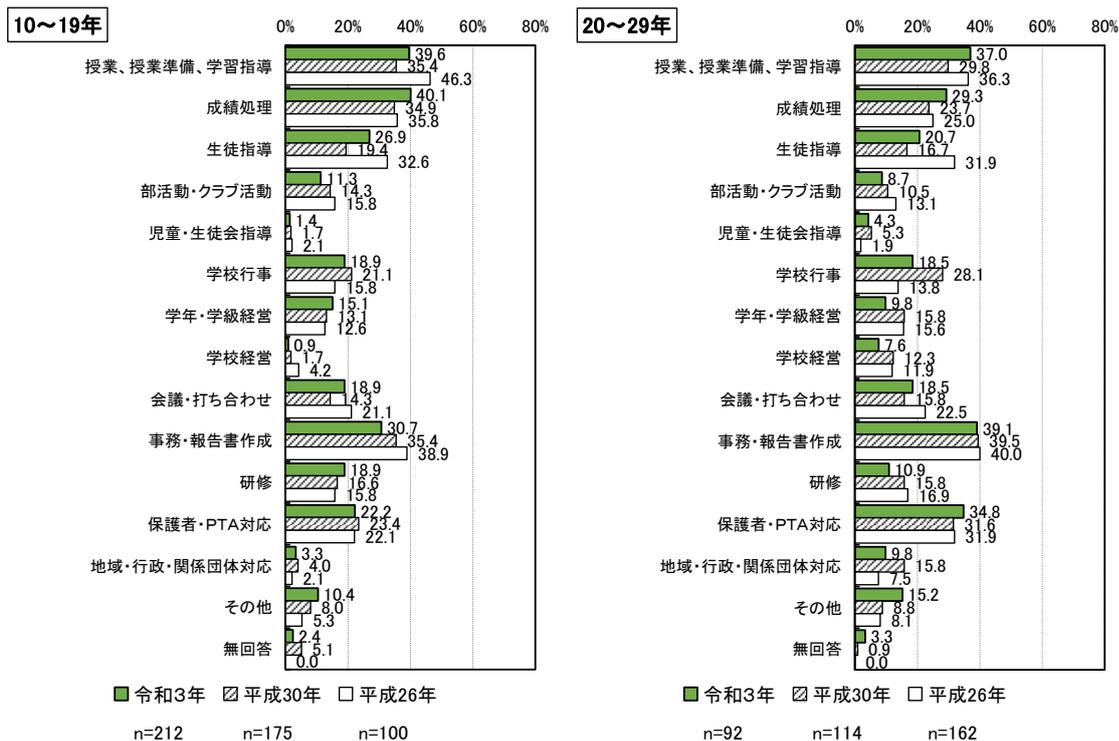
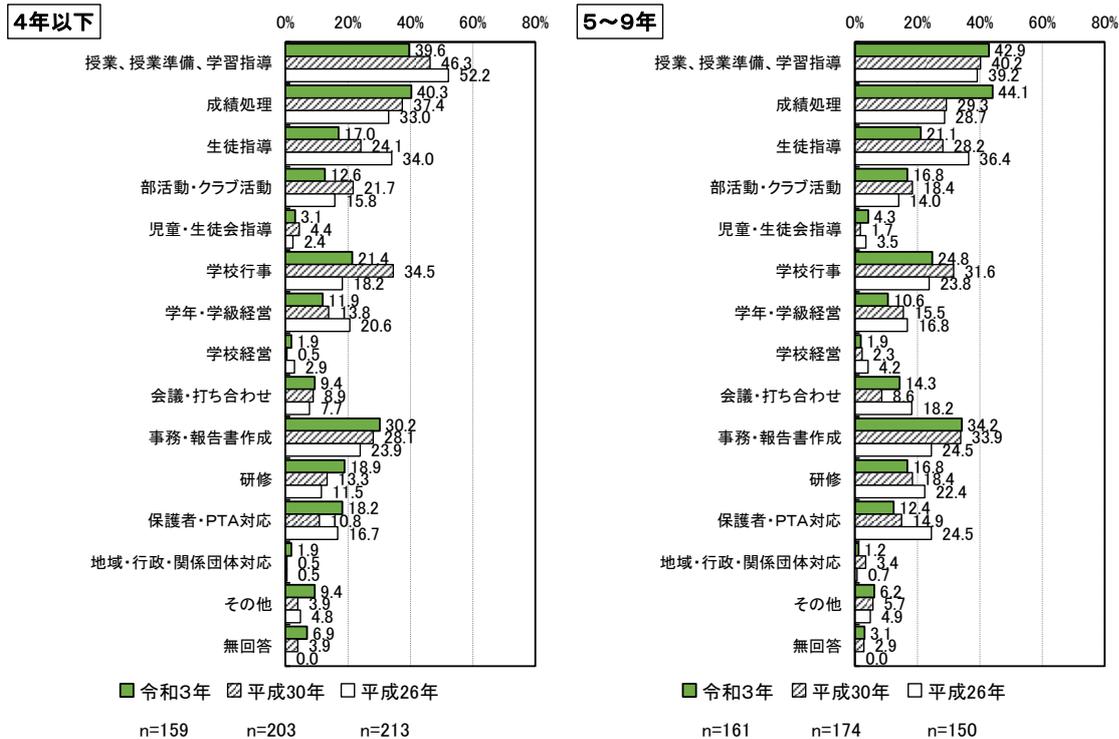
中学校教員



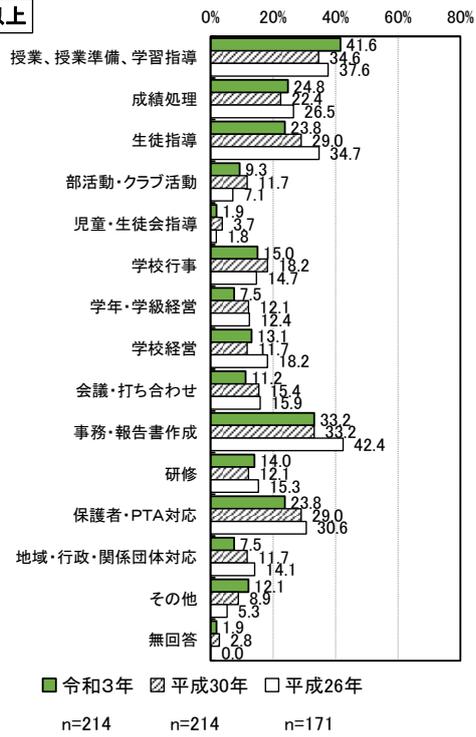
### 【経験年数別】

経験年数別でみると、「授業、授業準備、学習指導」では、すべての年数で約4割となりました。また、「成績処理」も“20～29年”“30年以上”を除く年数で約4割となっています。

平成30年度の調査と比較すると、本調査では“10～19年”及び“20～29年”の「生徒指導」が増加し、“4年以下”、“5～9年”及び“20～29年”“30年以上”では減少しています。



30年以上

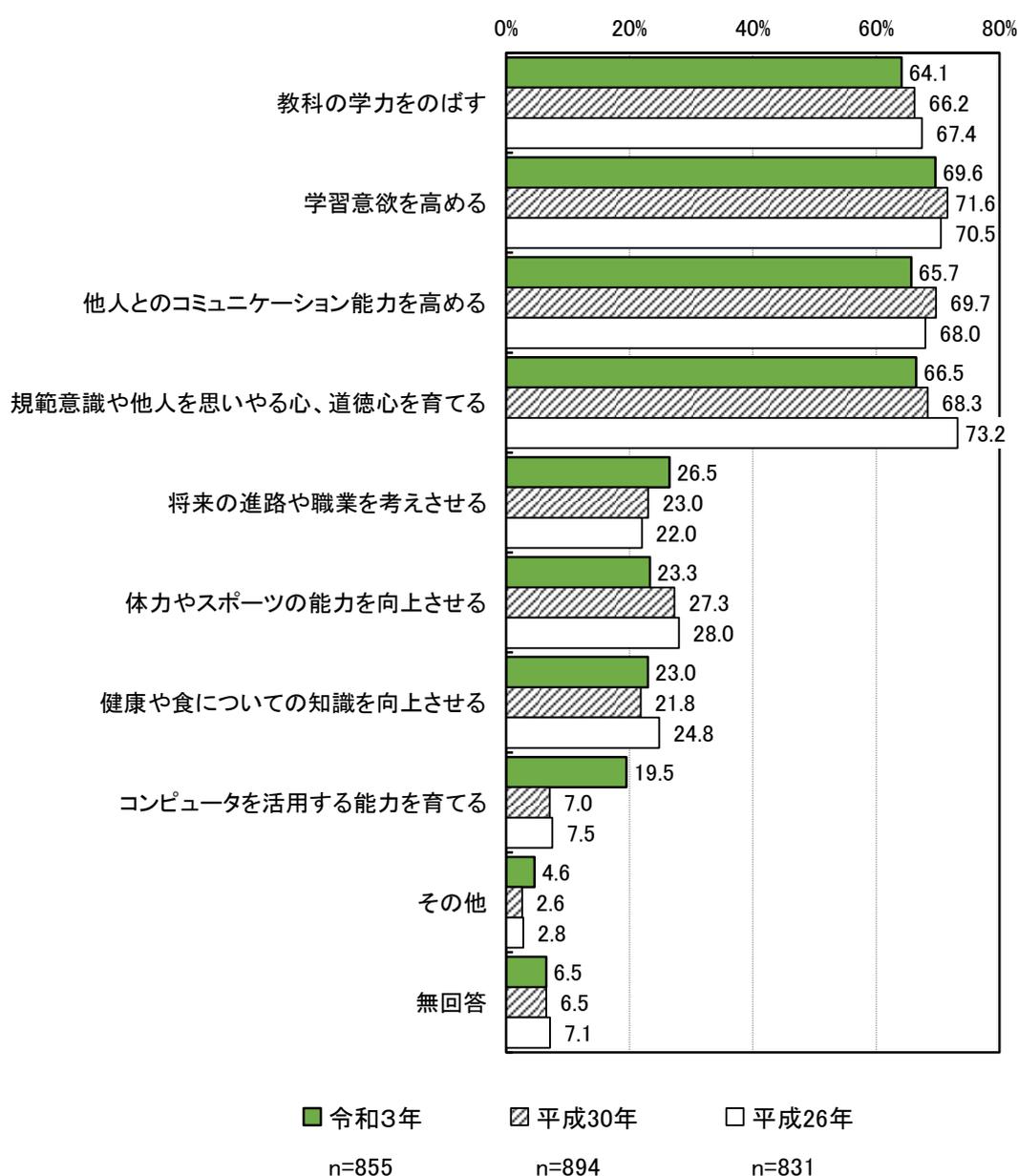


## 2. 学習指導などの状況について

問 9 あなたは、普段の教育や指導のなかで、どのようなことに力を入れて取り組んでいますか。（あてはまるものすべてに○）

普段の教育や指導のなかで、どのようなことに力を入れて取り組んでいるかについては、「学習意欲を高める」が69.6%で最も多く、次いで「規範意識や他人を思いやる心、道徳心を育てる」が66.5%、「他人とのコミュニケーション能力を高める」が65.7%、「教科の学力をのばす」が64.1%、「将来の進路や職業を考えさせる」が26.5%などとなっています。

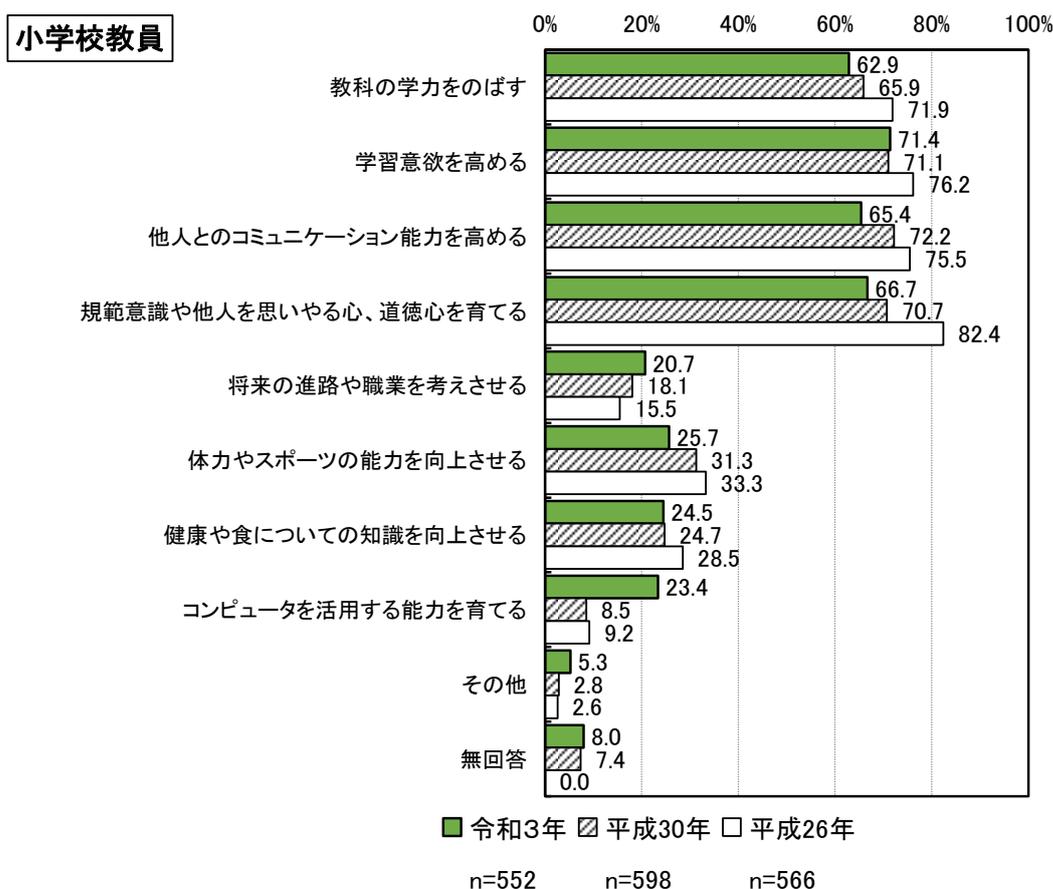
平成30年度の調査と比較すると、本調査では「コンピュータを活用する能力を育てる」が大きく増加しています。



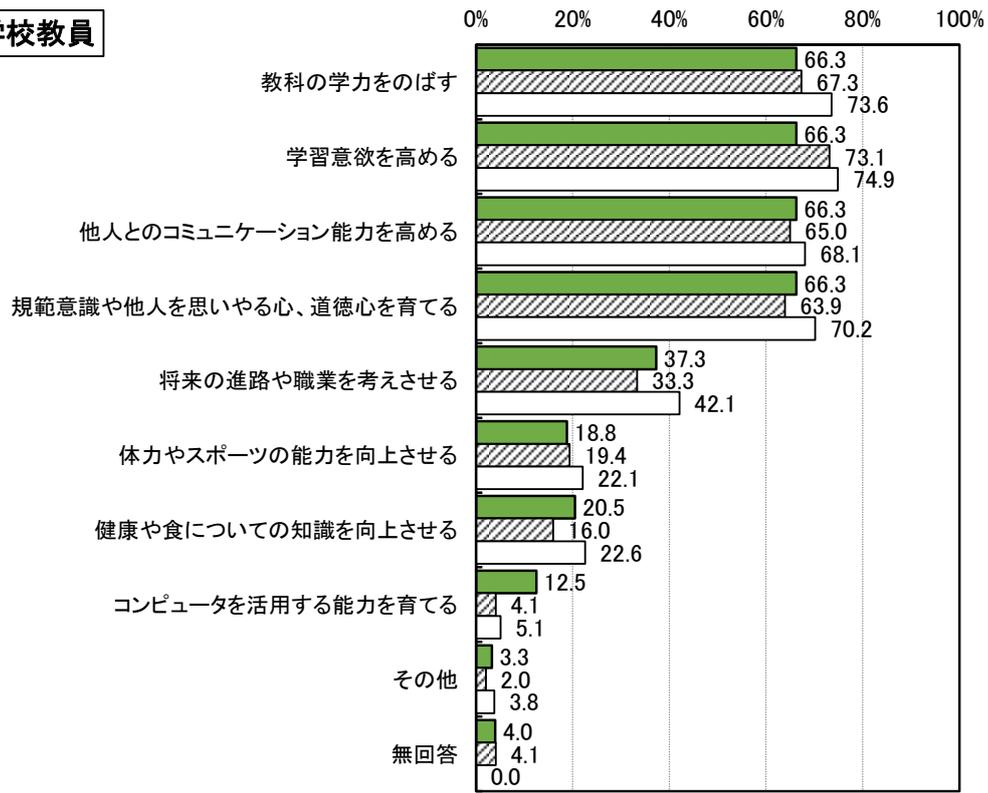
## 【勤務先別】

勤務先別でみると、“小学校職員”では「学習意欲を高める」が最も高く、“中学校職員”では、「教科の学力をのばす」「学習意欲を高める」「他人とのコミュニケーション能力を高める」「規範意識や他人を思いやる心、道徳心を育てる」が同率となりました。

平成30年度の調査と比較すると、“小学校職員”では上位4項目のうち「学習意欲を高める」が微増、ほかの3項目は減少しています。“中学校職員”では上位4項目のうち「他人とのコミュニケーション能力を高める」「規範意識や他人を思いやる心、道徳心を育てる」が増加し、「教科の学力をのばす」「学習意欲を高める」は減少しています。



中学校教員



■ 令和3年 ▨ 平成30年 □ 平成26年

n=303

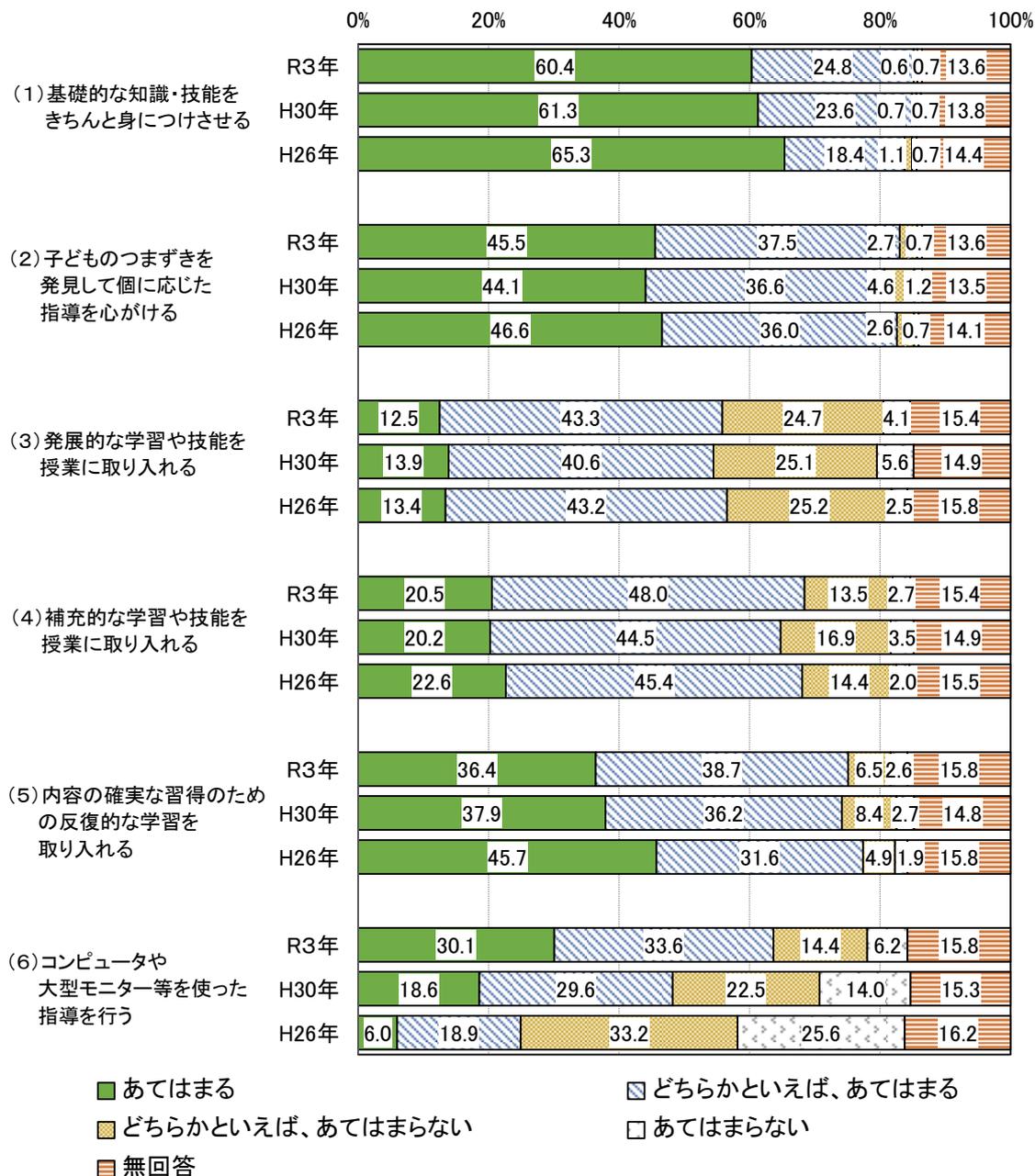
n=294

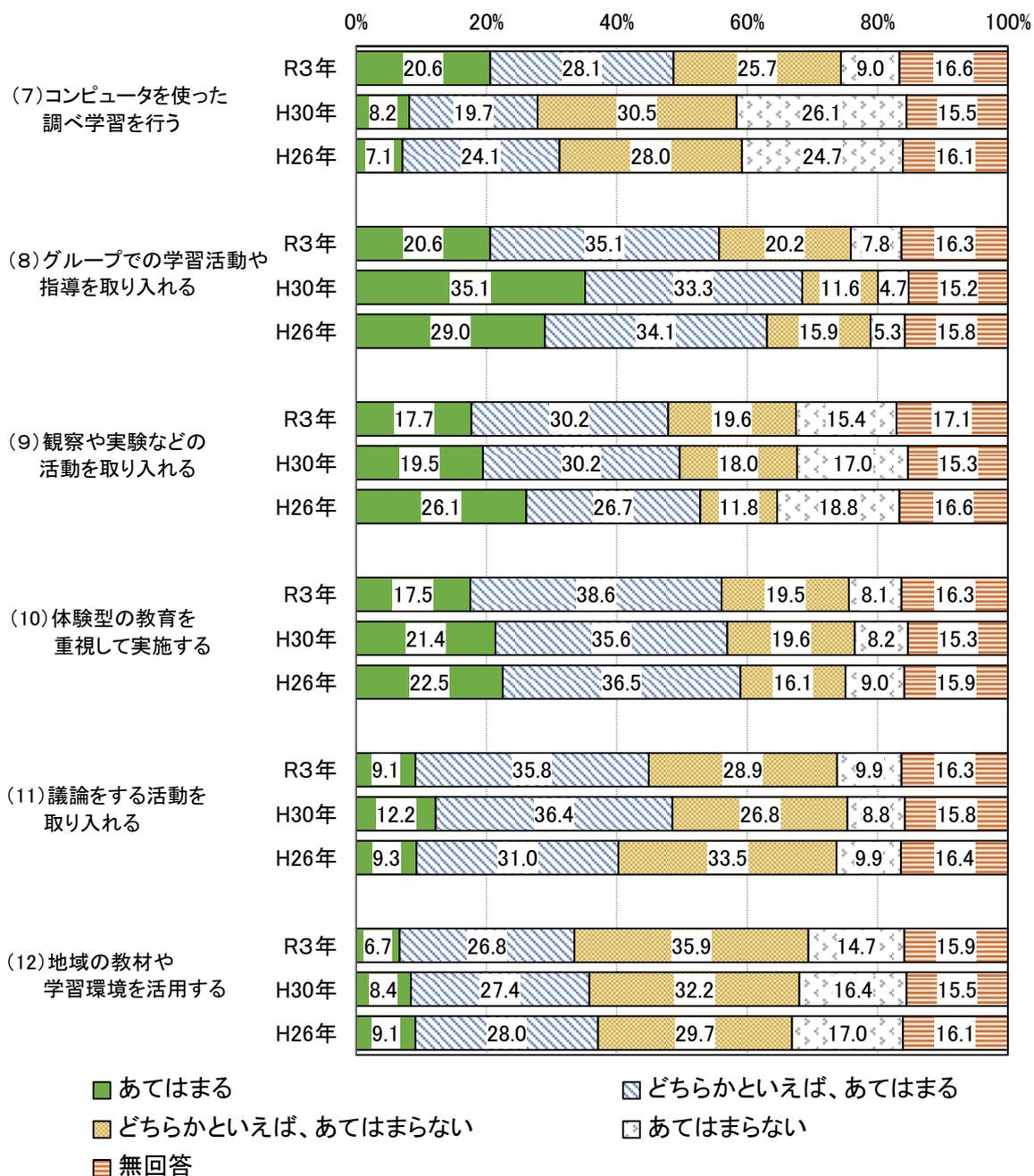
n=246

問 10 普段の学習指導のなかで、あなたが取り組んでいることで、あてはまるものを選んでください。(それぞれに1つずつ〇)

普段の学習指導のなかで、取り組んでいることについては、“(1) 基礎的な知識・技能をきちんと身につけさせる”で「あてはまる」が6割と高くなっています。一方「あてはまらない」では“(16) 毎日必ず課題を出す”で2割となるなど他の項目と比べて高い割合となっています。

平成30年度の調査と比較すると、本調査では“(6) コンピュータや大型モニター等を使った指導を行う”“(7) コンピュータを使った調べ学習を行う”における「あてはまる」「どちらかといえば、あてはまる」の割合が大きく増加しています。



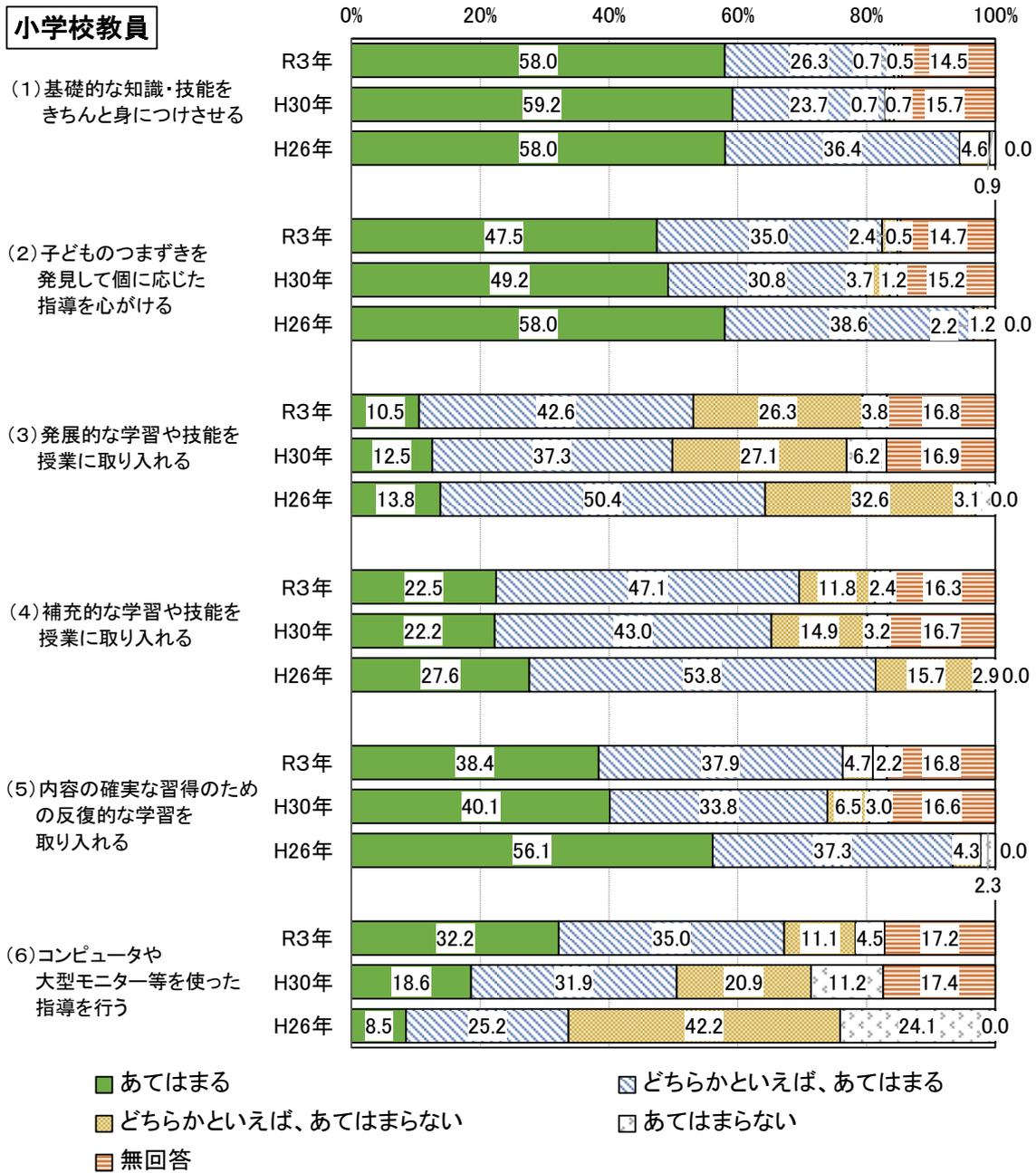




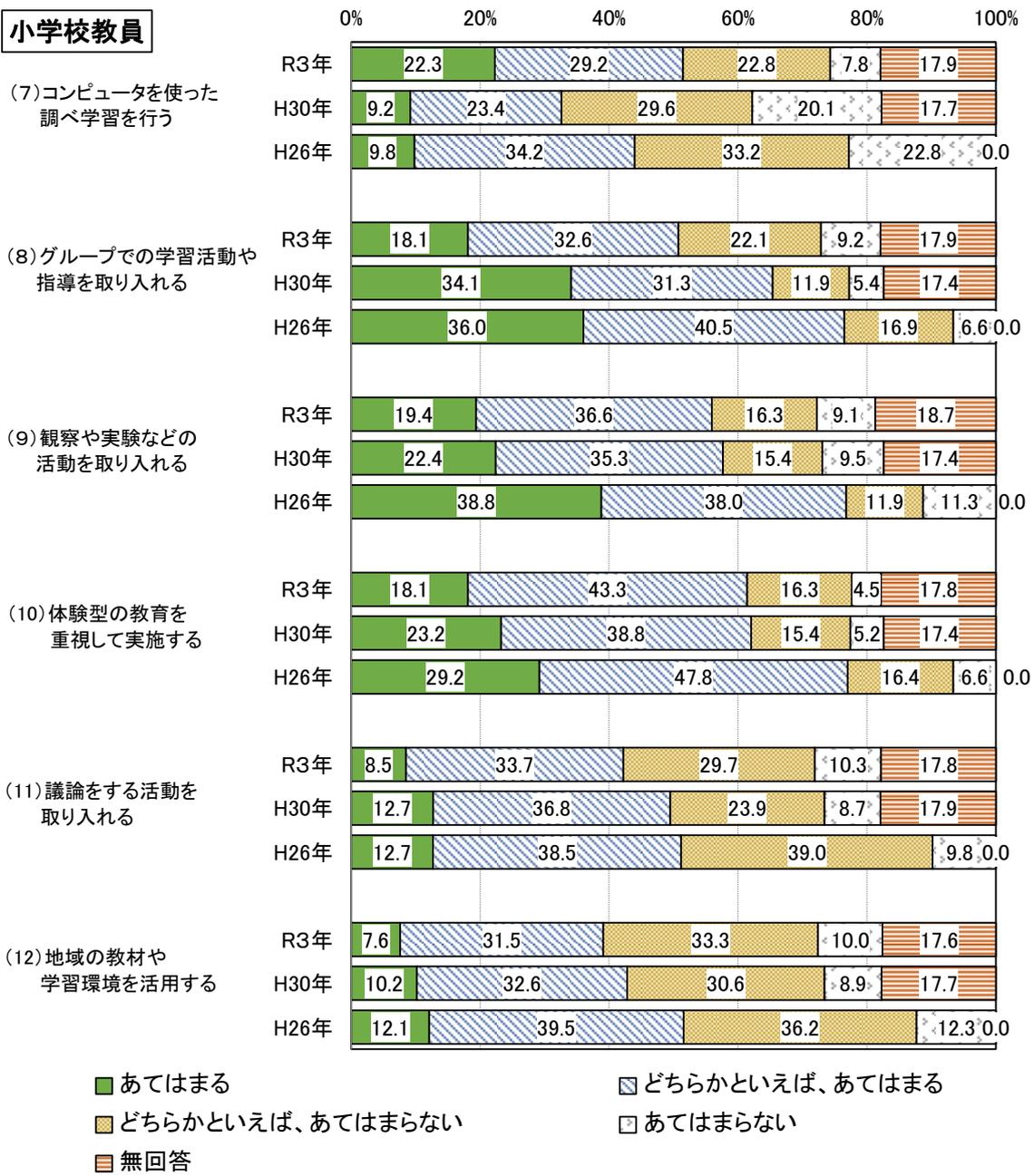
【勤務先別】

勤務先別の結果を示します。

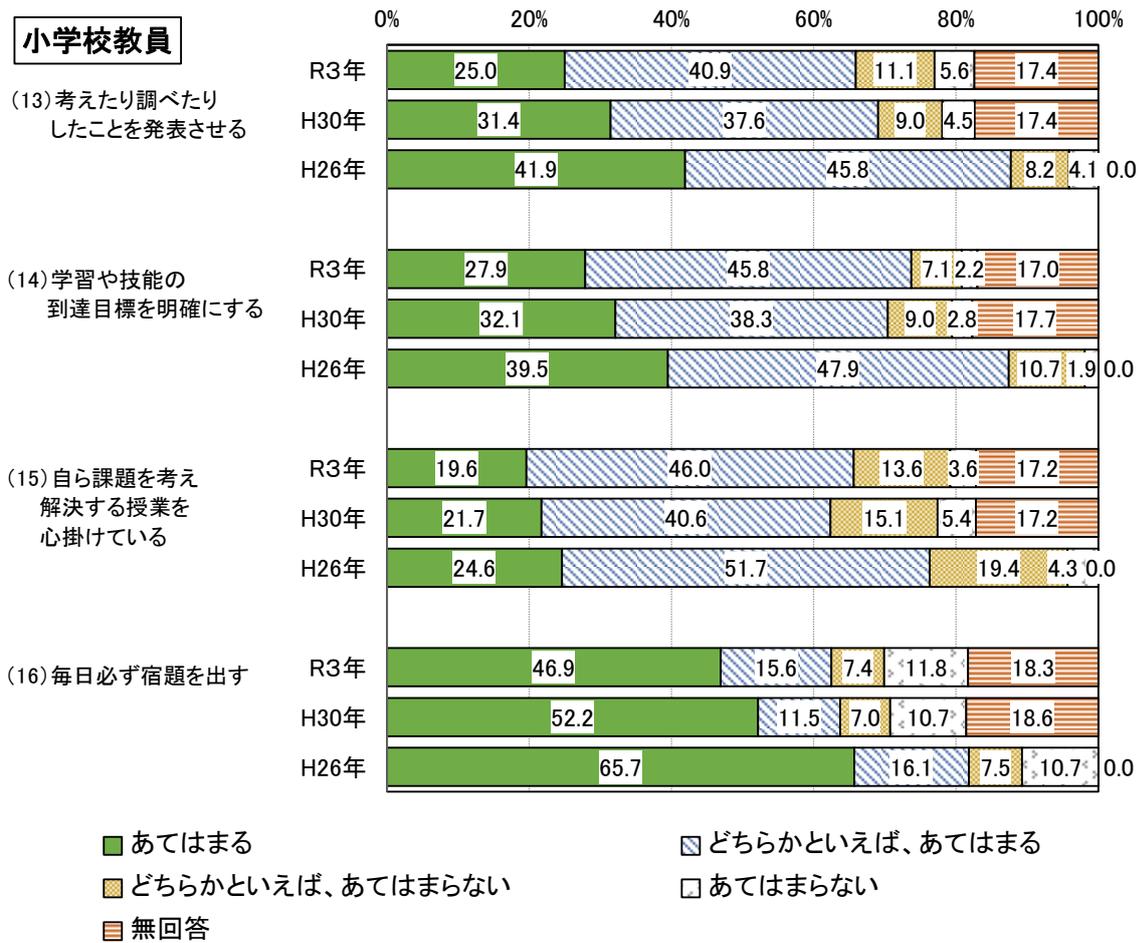
小学校教員



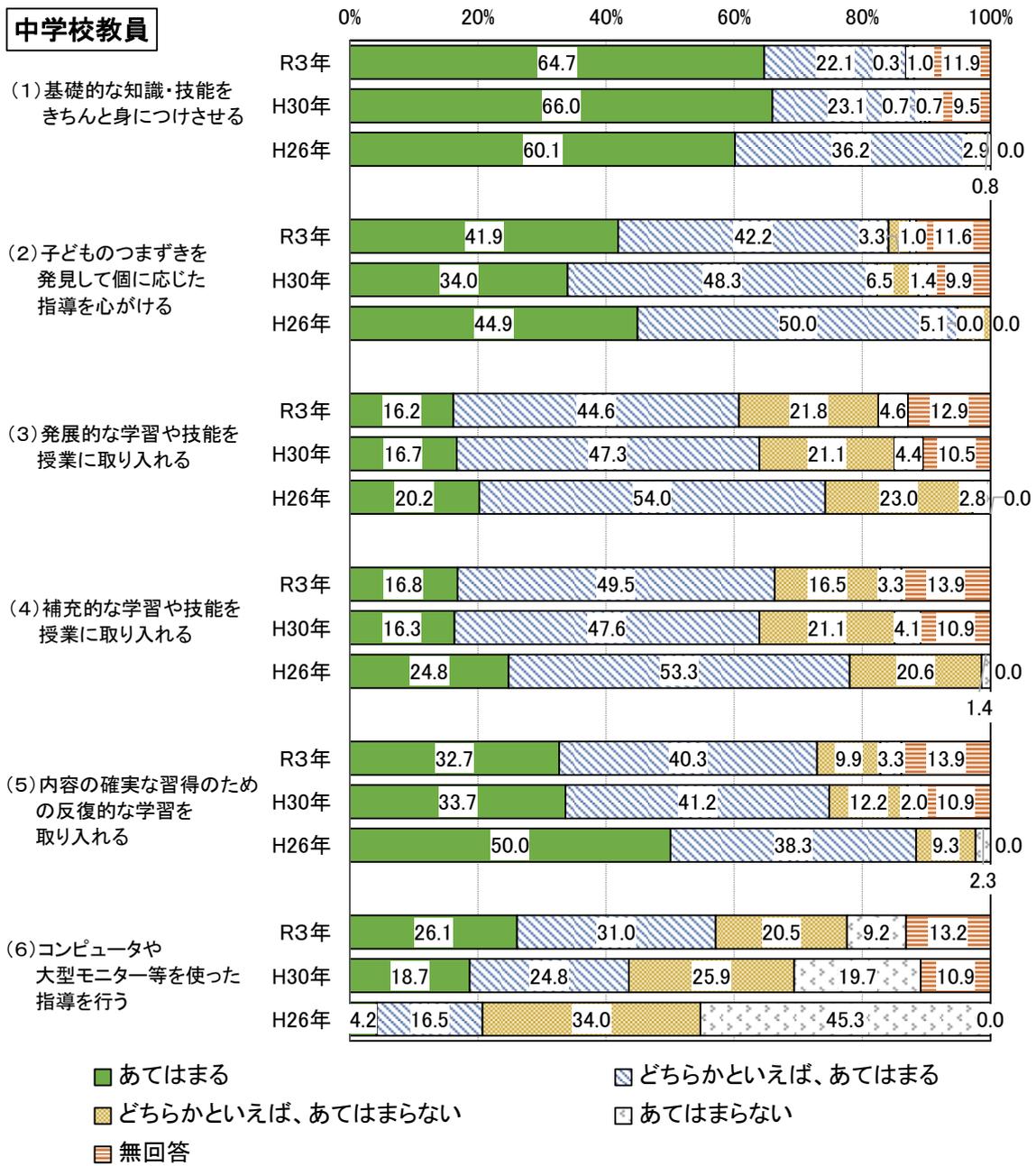
**小学校教員**



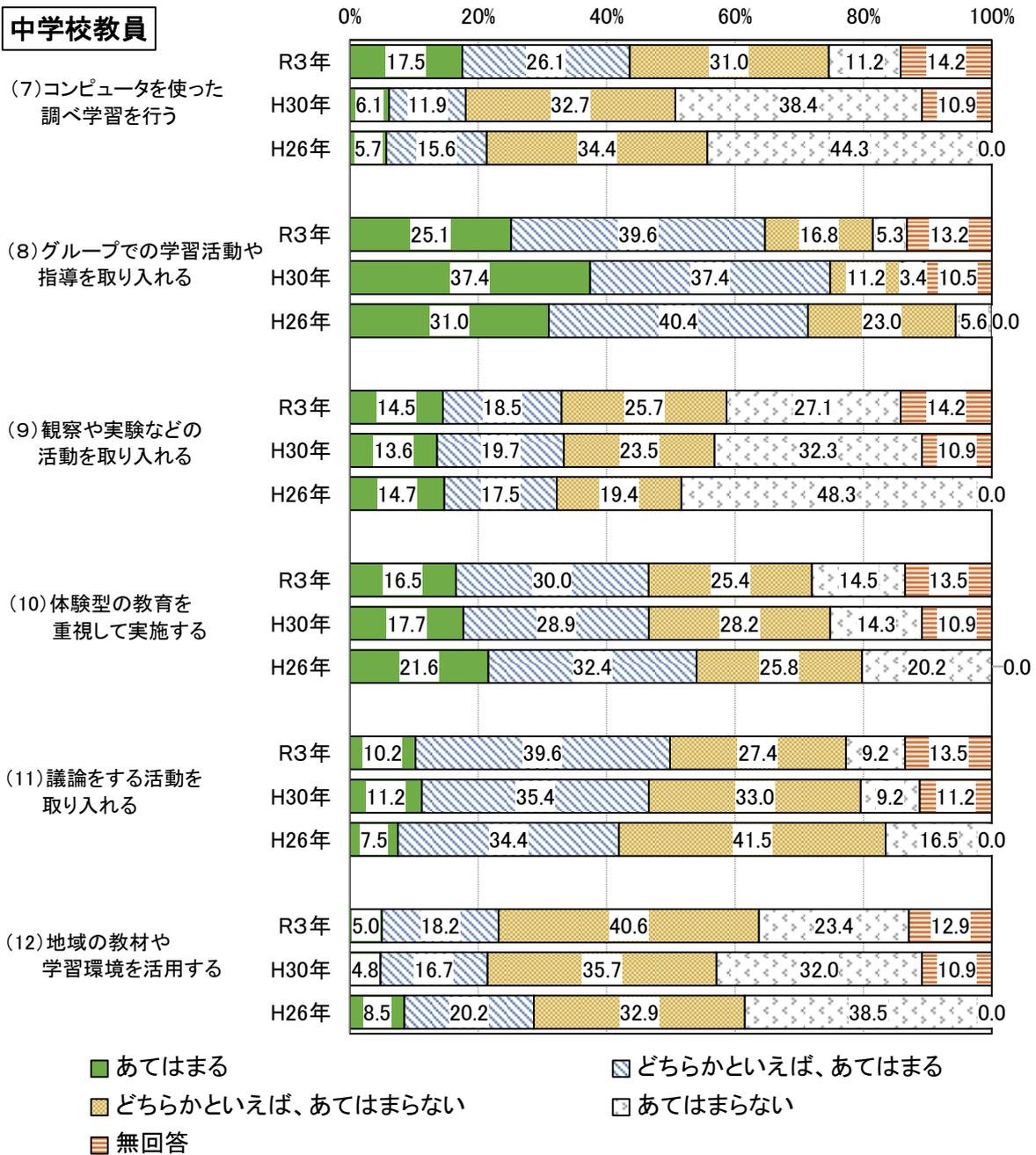
**小学校教員**



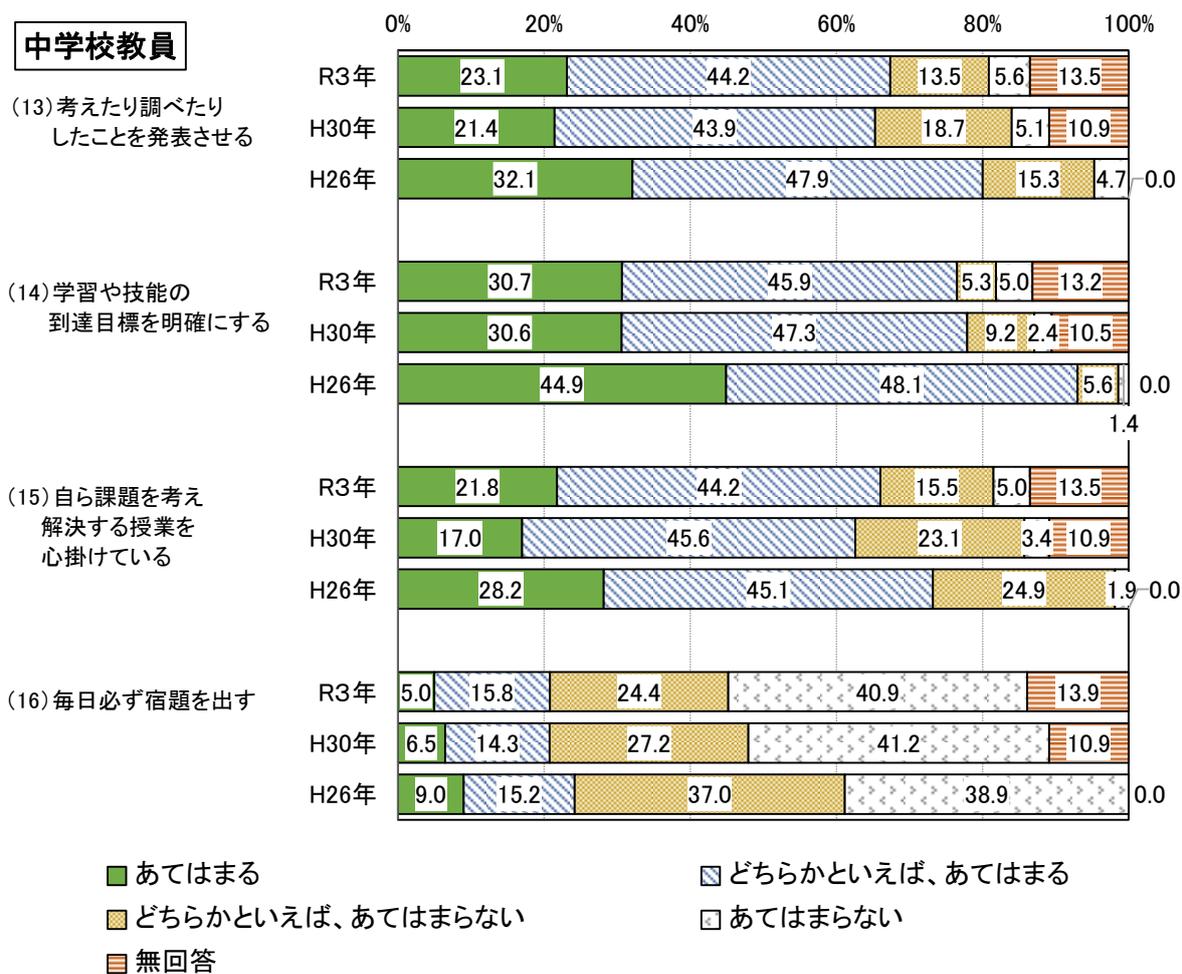
**中学校教員**



**中学校教員**



**中学校教員**

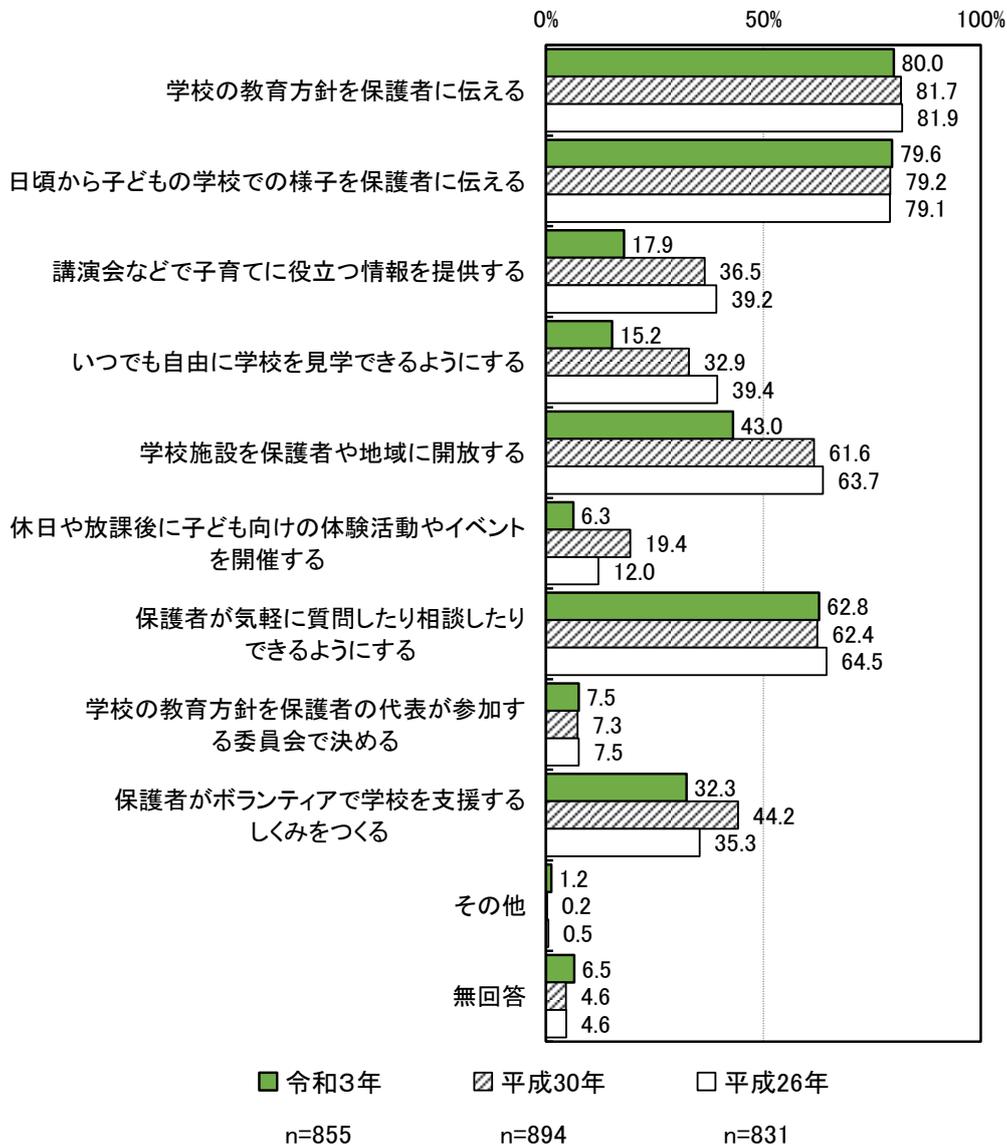


### 3. 学校教育の在り方について

問 11 あなたやあなたの学校では次のようなことを行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

学校で行っていることについては、「学校の教育方針を保護者に伝える」が80.0%で最も多く、次いで「日頃から子どもの学校での様子を保護者に伝える」が79.6%、「保護者が気軽に質問したり相談したりできるようにする」が62.8%、「学校施設を保護者や地域に開放する」が43.0%、「保護者がボランティアで学校を支援するしくみをつくる」が32.3%などとなっています。

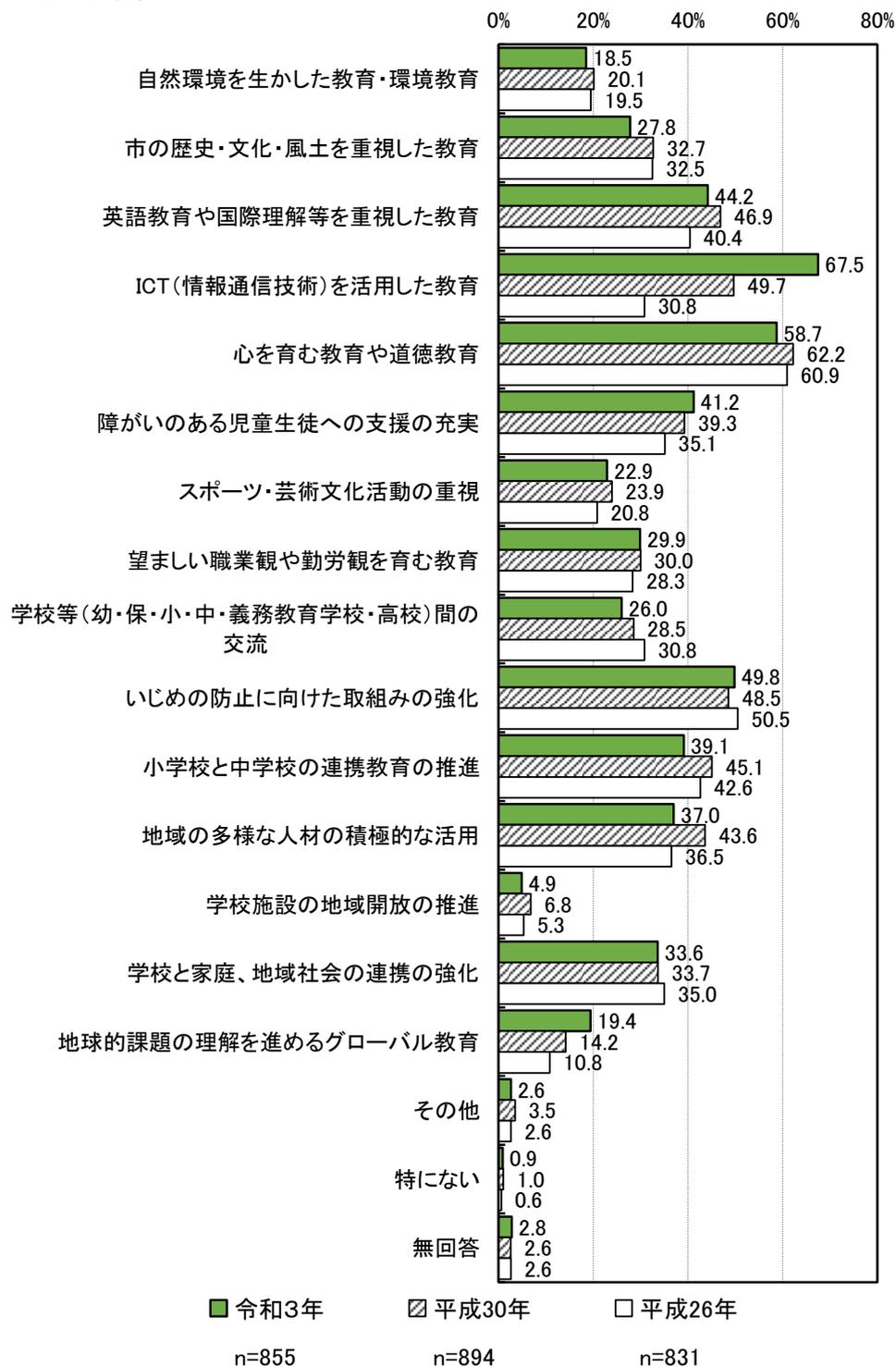
平成30年度の調査と比較すると、本調査では「講演会などで子育てに役立つ情報を提供する」「いつでも自由に学校を見学できるようにする」「学校施設を保護者や地域に開放する」「休日や放課後に子ども向けの体験活動やイベントを開催する」「保護者がボランティアで学校を支援するしくみをつくる」などで大きく減少しています。



問 12 成田市の学校教育（小・中・義務教育学校）では、今後どのような点に力を入れていくことが望ましいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

成田市の学校教育で今後力を入れていくことについては、「ICT（情報通信技術）を活用した教育」が67.5%で最も多く、次いで「心を育む教育や道徳教育」が58.7%、「いじめの防止に向けた取組みの強化」が49.8%、「英語教育や国際理解等を重視した教育」が44.2%、「障がいのある児童生徒への支援の充実」が41.2%などとなっています。

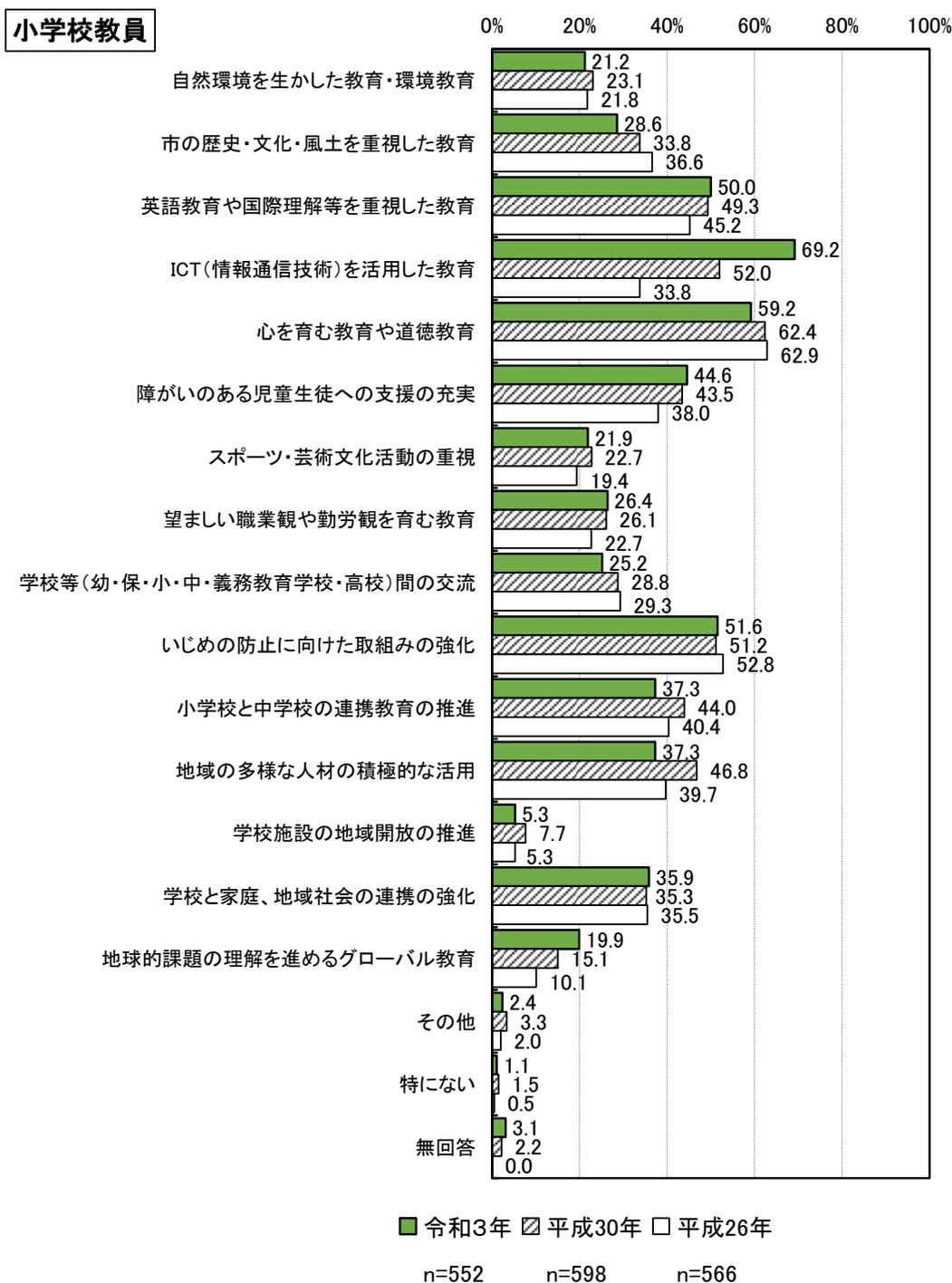
平成 30 年度の調査と比較すると、本調査では「ICT（情報通信技術）を活用した教育」が大きく増加しています。



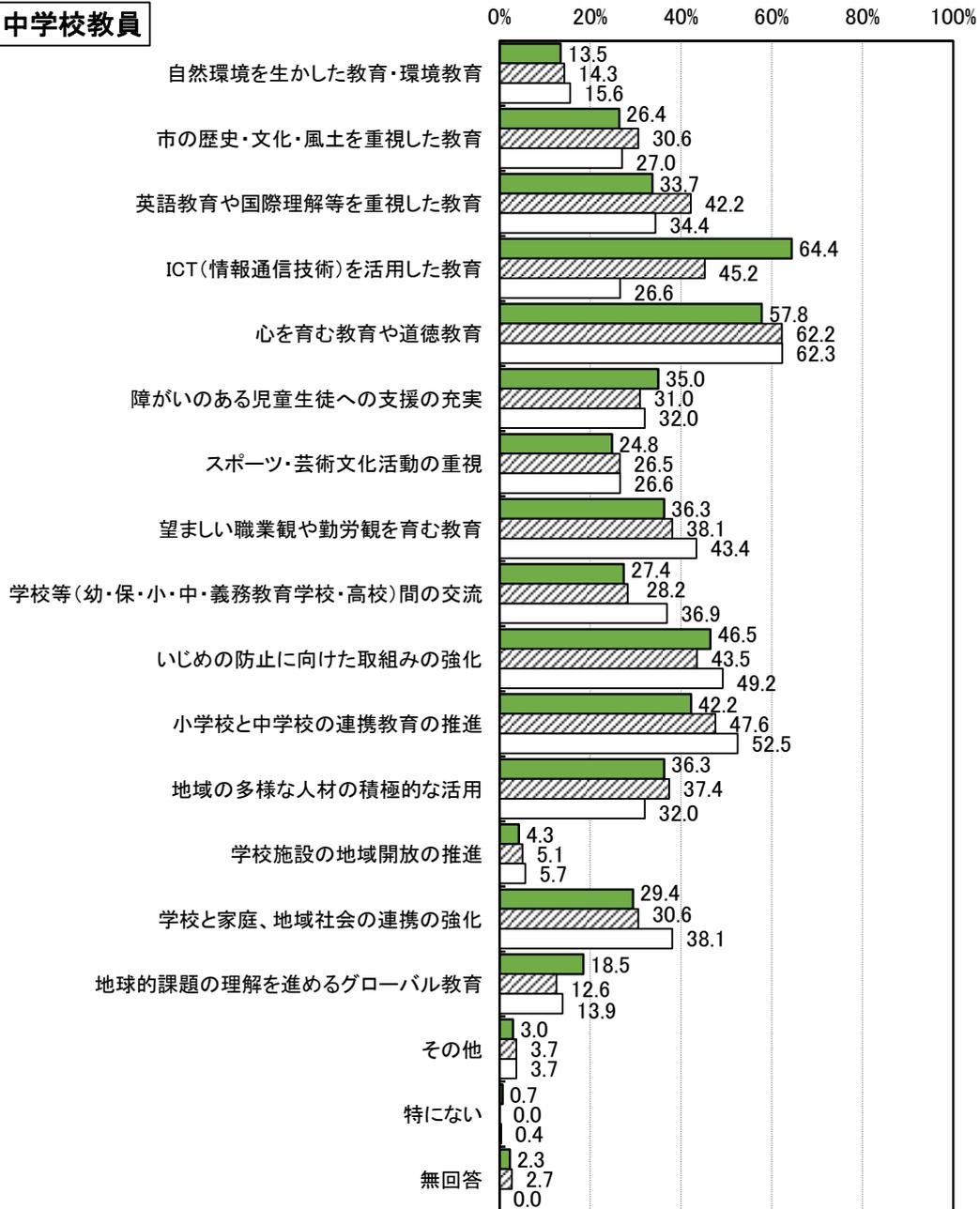
【勤務先別】

勤務先別でみた場合、「小学校職員」「中学校職員」ともに「ICT（情報通信技術）を活用した教育」が最も多くなっています。

平成 30 年度の調査と比較すると、本調査では「小学校職員」「中学校職員」ともに、「ICT（情報通信技術）を利用した教育」が大きく増加しています。



中学校教員



■ 令和3年 ▨ 平成30年 □ 平成26年

n=303

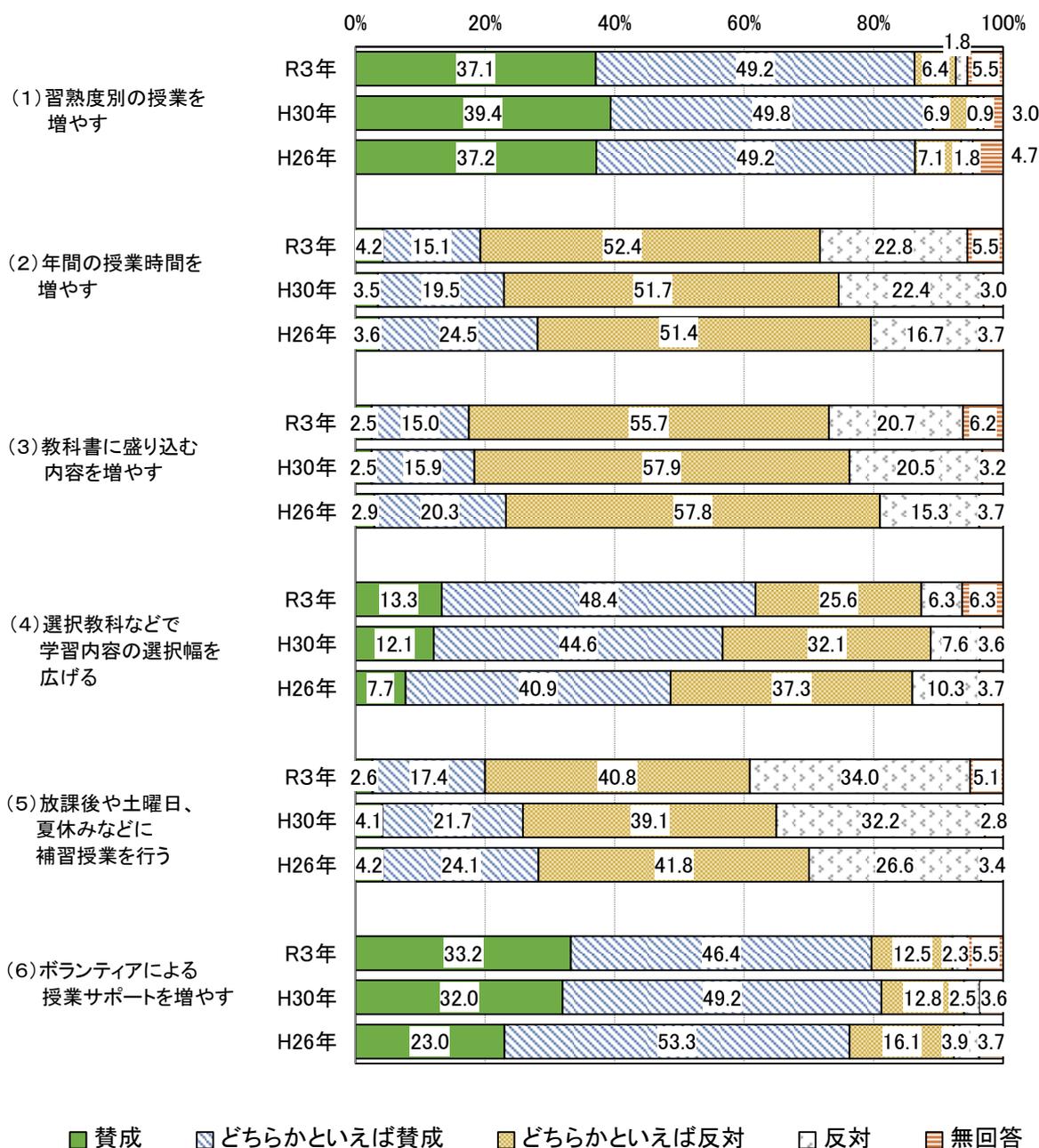
n=294

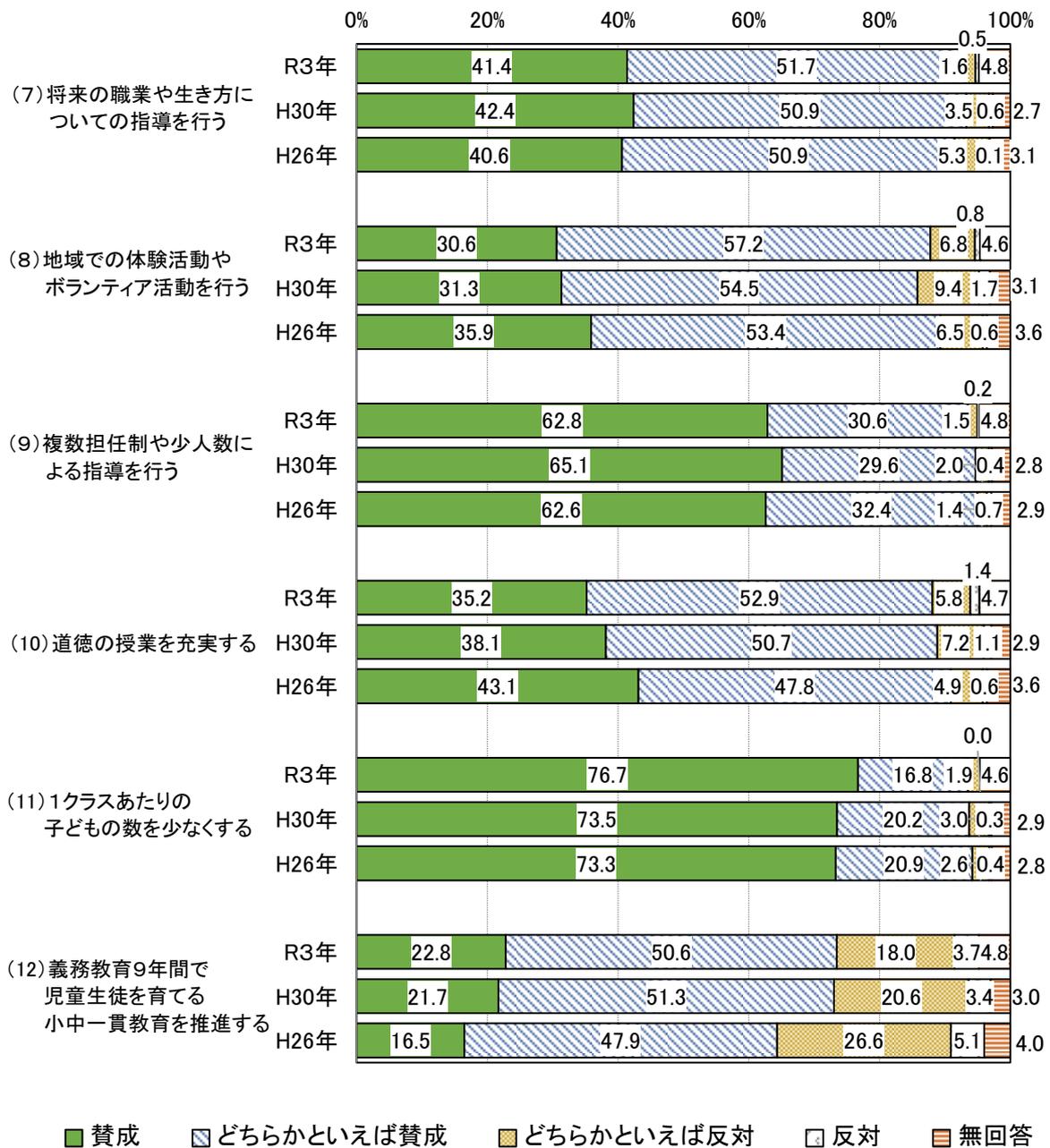
n=246

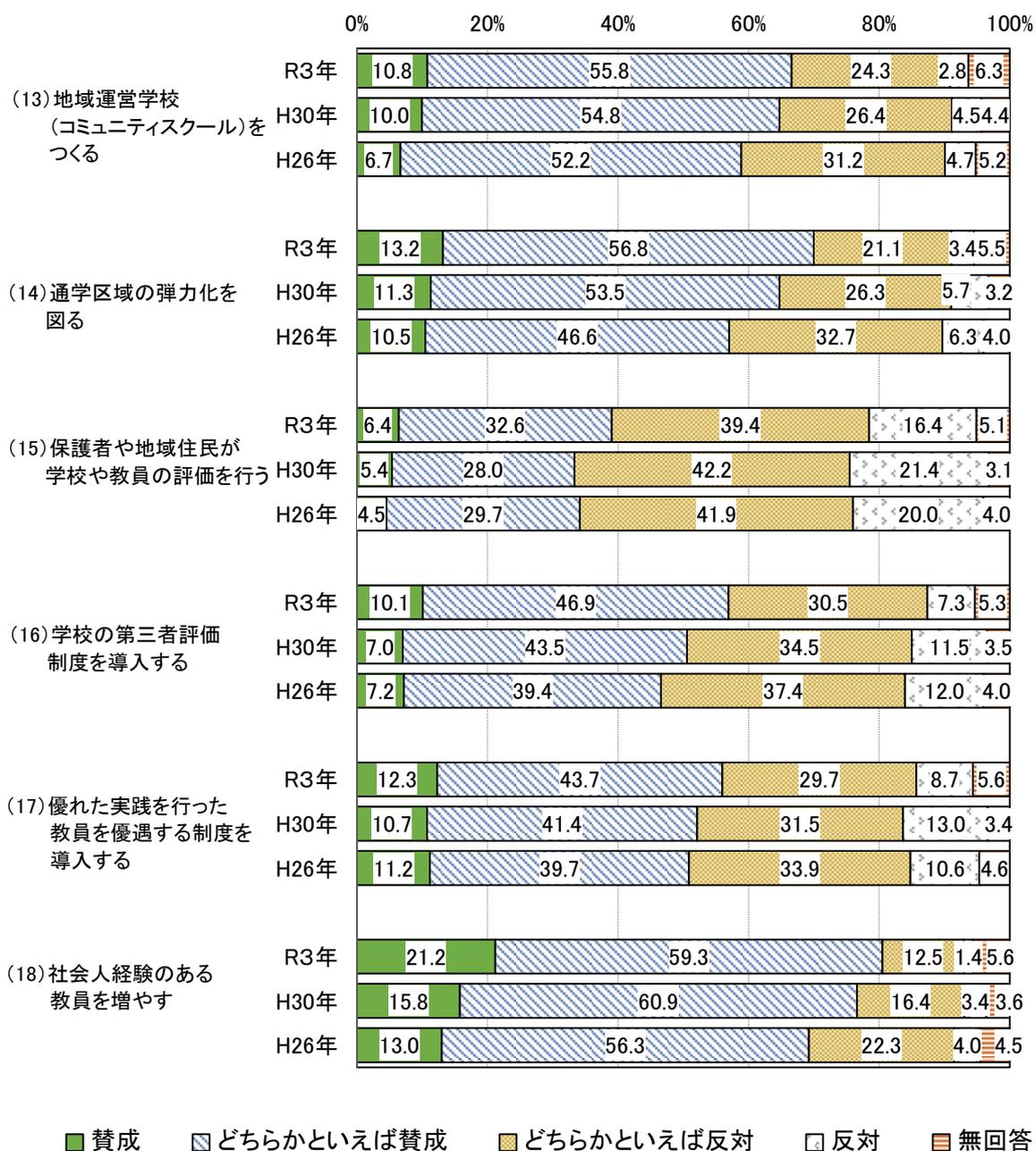
問 13 あなたは、現在の教育改革で進められている次のような取り組みについて、どのよう  
 にお考えですか。（それぞれに1つずつ〇）

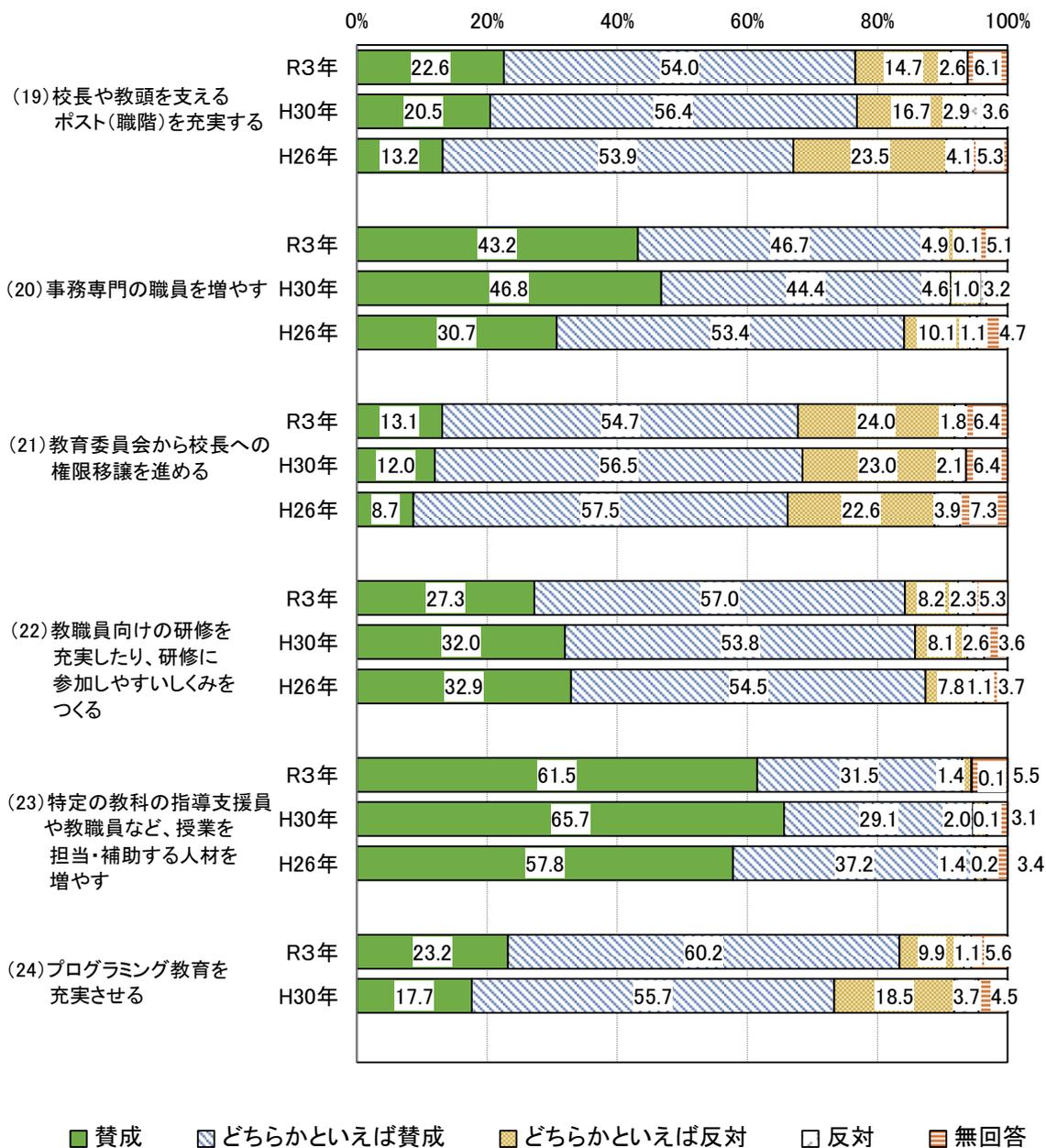
現在の教育改革で進められている取り組みについては、“(11) 1クラスあたりの子どもの数を  
 を少なくする”の「賛成」が最も多く 76.7%、次いで“(26)働き方改革を推進する”が 68.8%、  
 “(9) 複数担任制や少人数による指導を行う”が 62.8% “(23) 特定の教科の指導支援員や  
 教職員など、授業を担当・補助する人材を増やす”が 61.5%などとなっています。

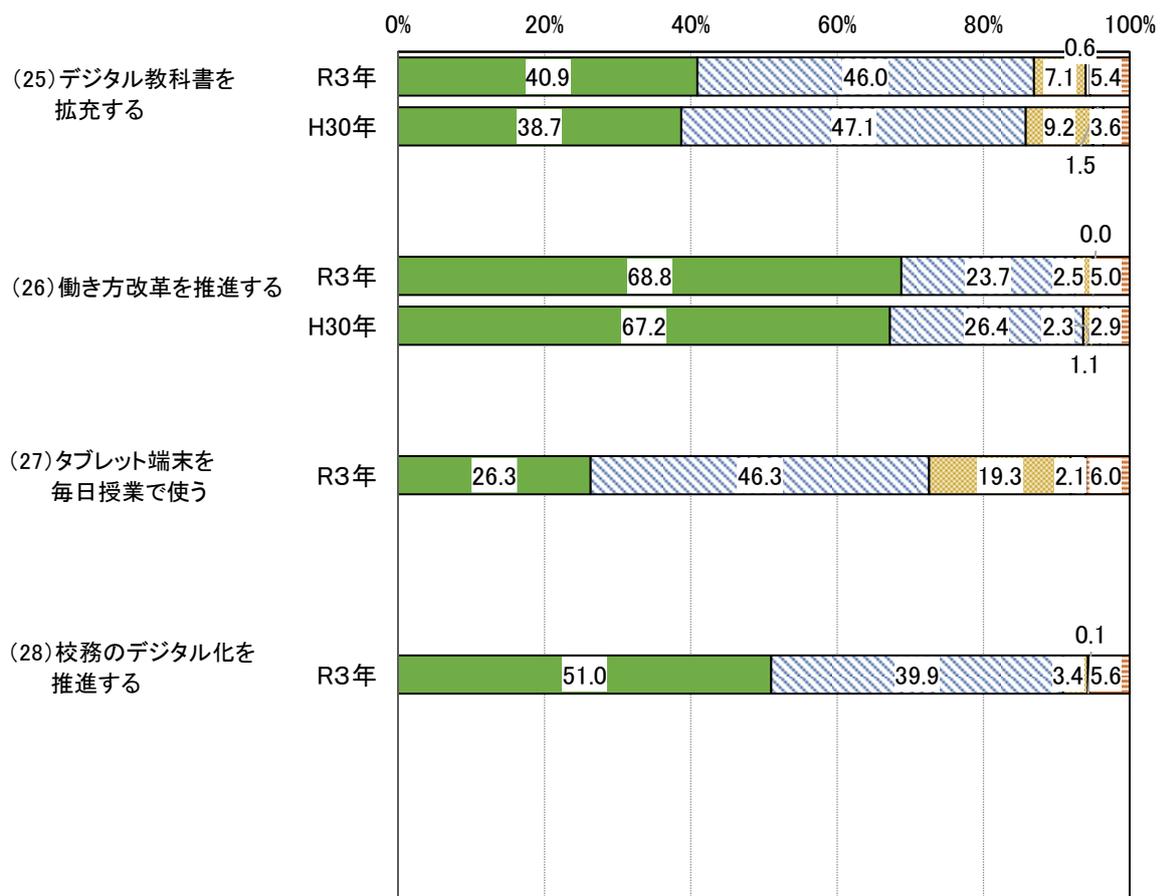
平成 30 年度の調査と比較すると、本調査では“(18)社会人経験のある教員を増やす”“(24)  
 プログラミング教育を充実させる”の「賛成」が多くなっています。









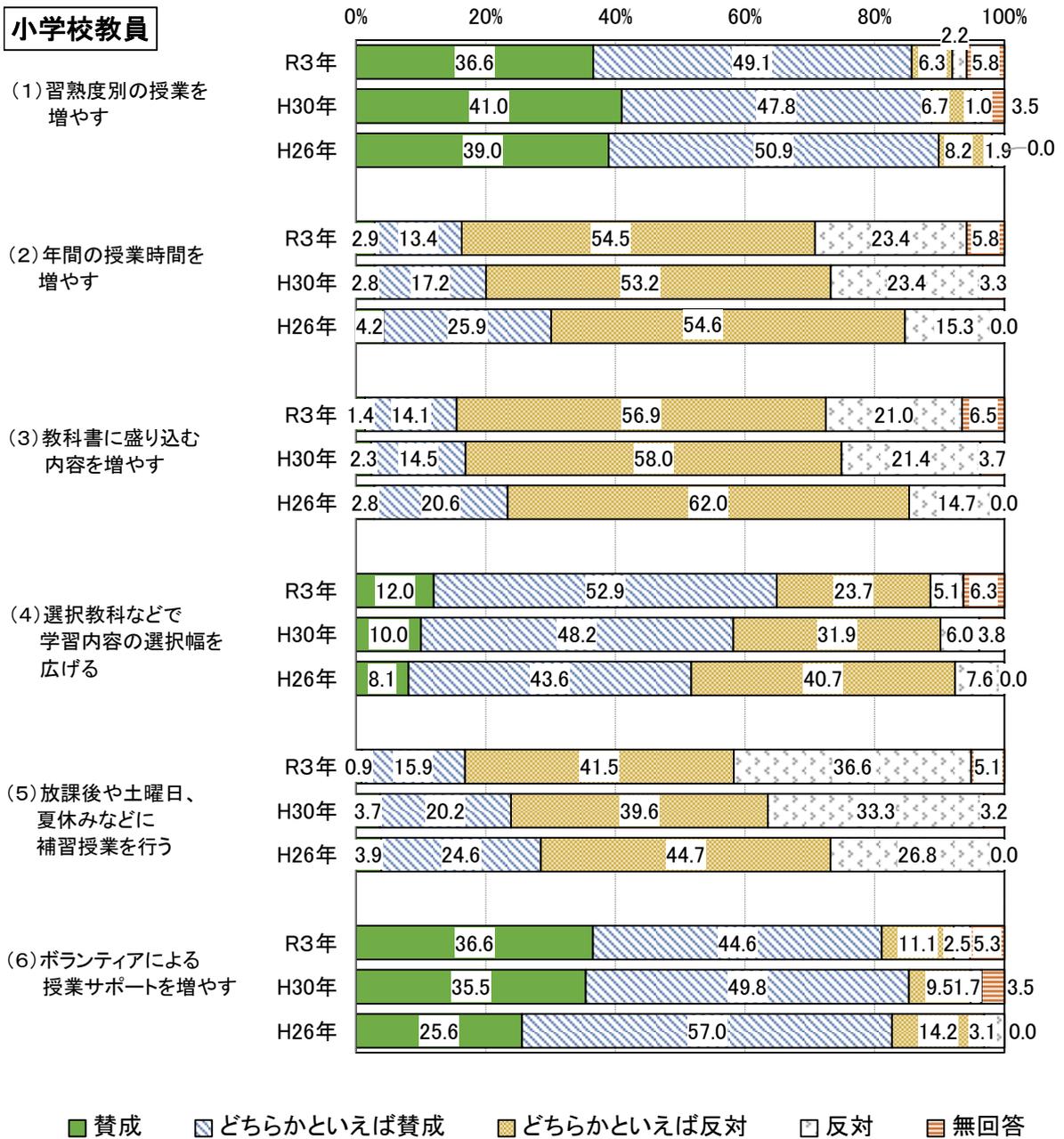


■ 賛成   
 ▨ どちらかといえば賛成   
 ▨ どちらかといえば反対   
 □ 反対   
 ▨ 無回答

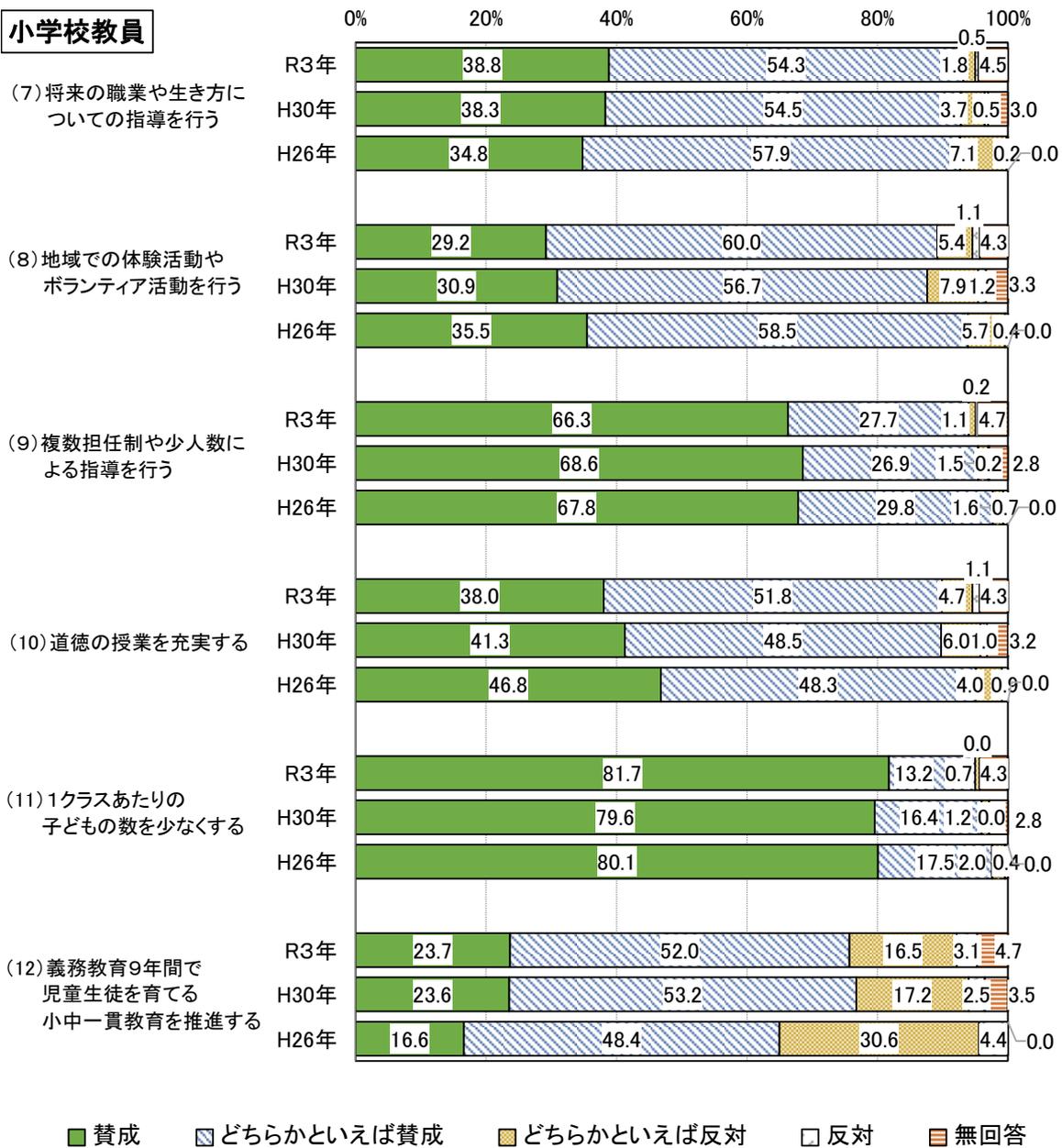
【勤務先別】

勤務先別の結果を示します。

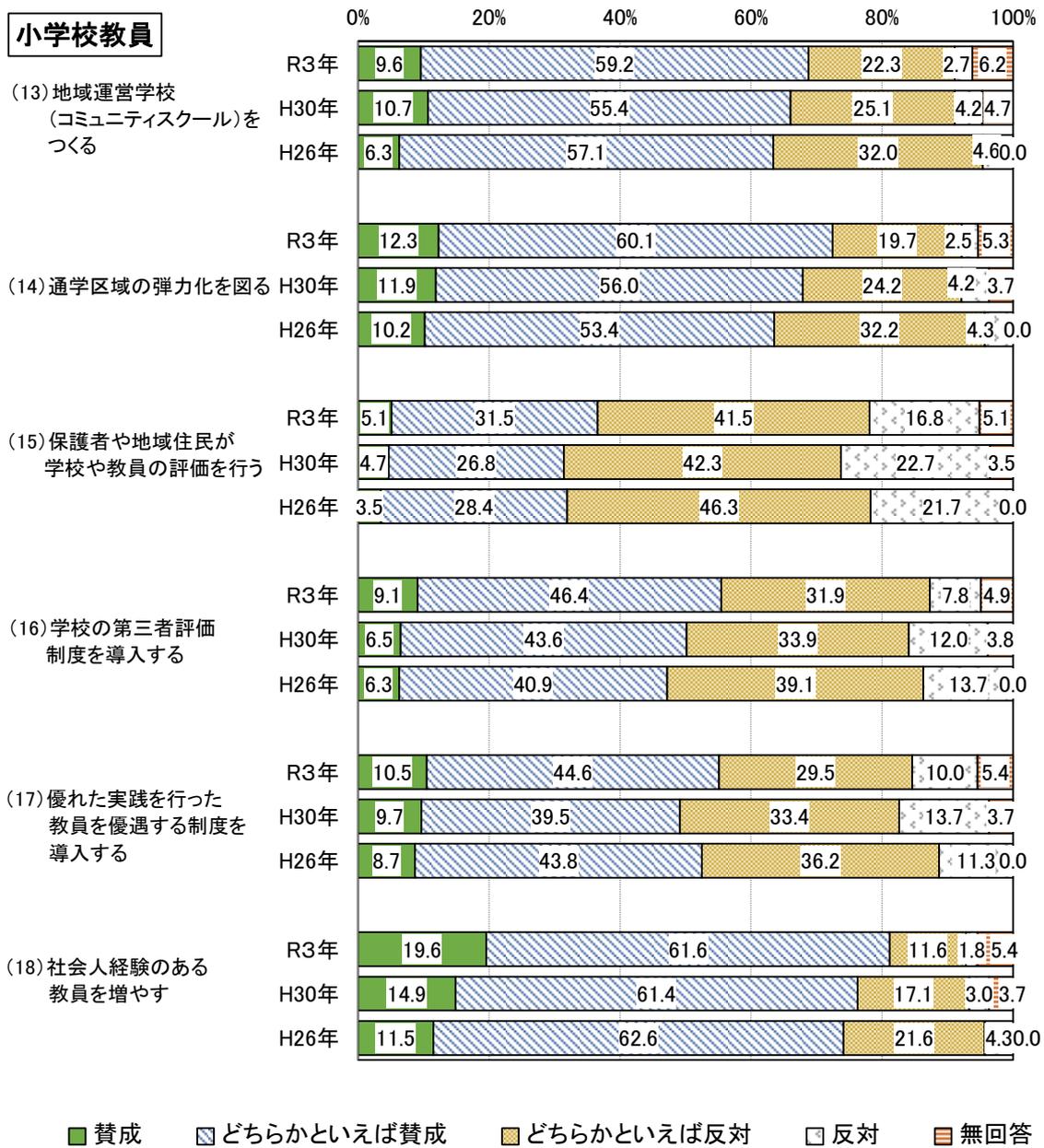
小学校教員



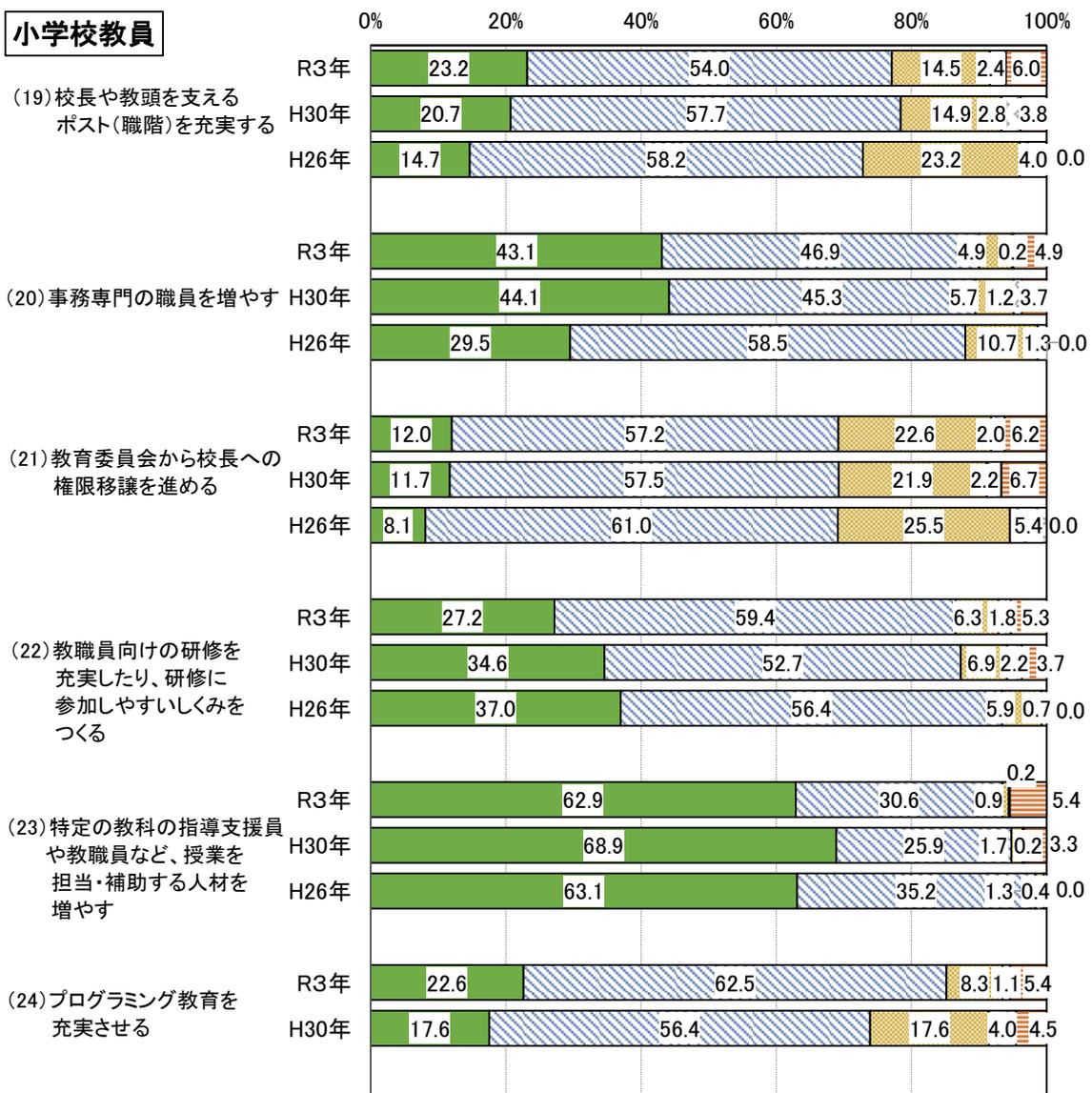
**小学校教員**



**小学校教員**

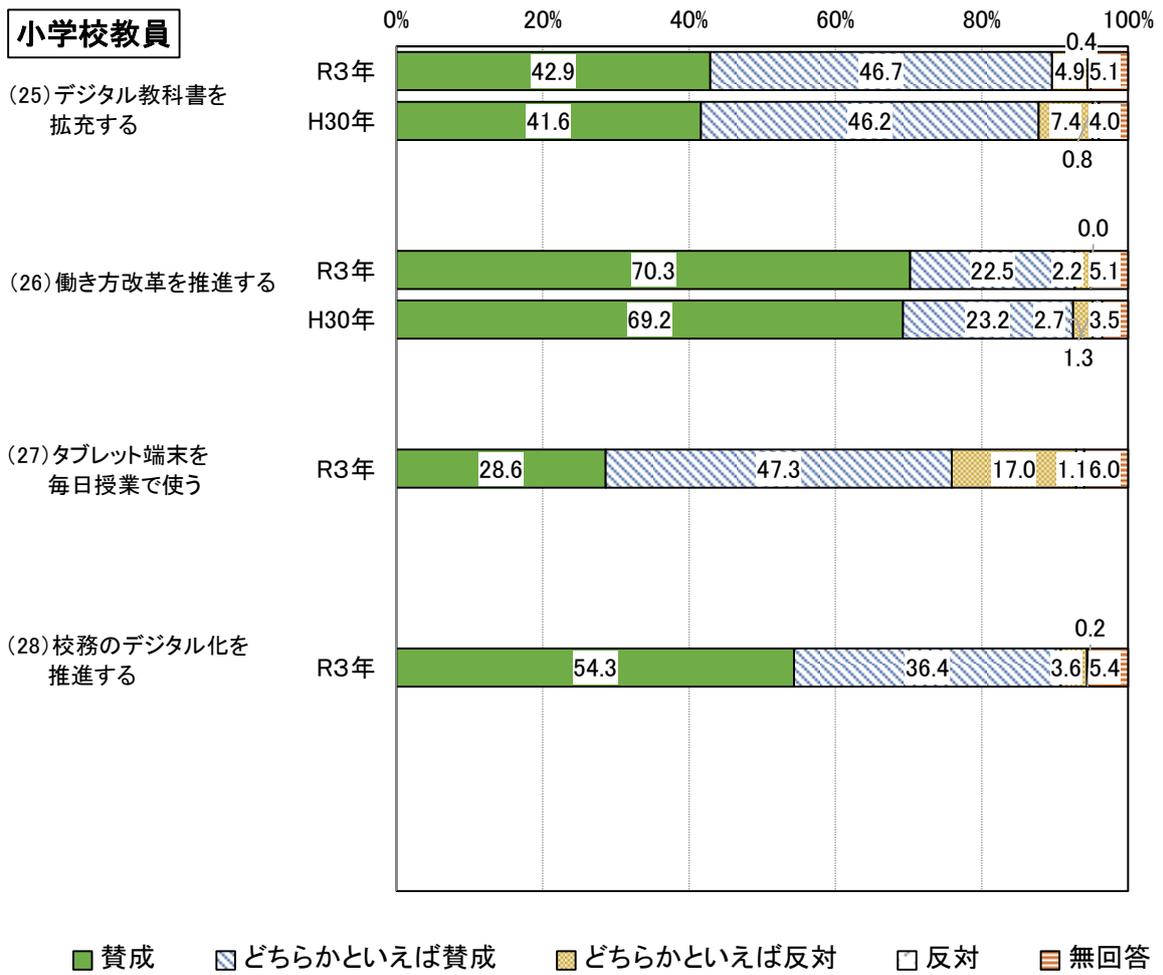


**小学校教員**

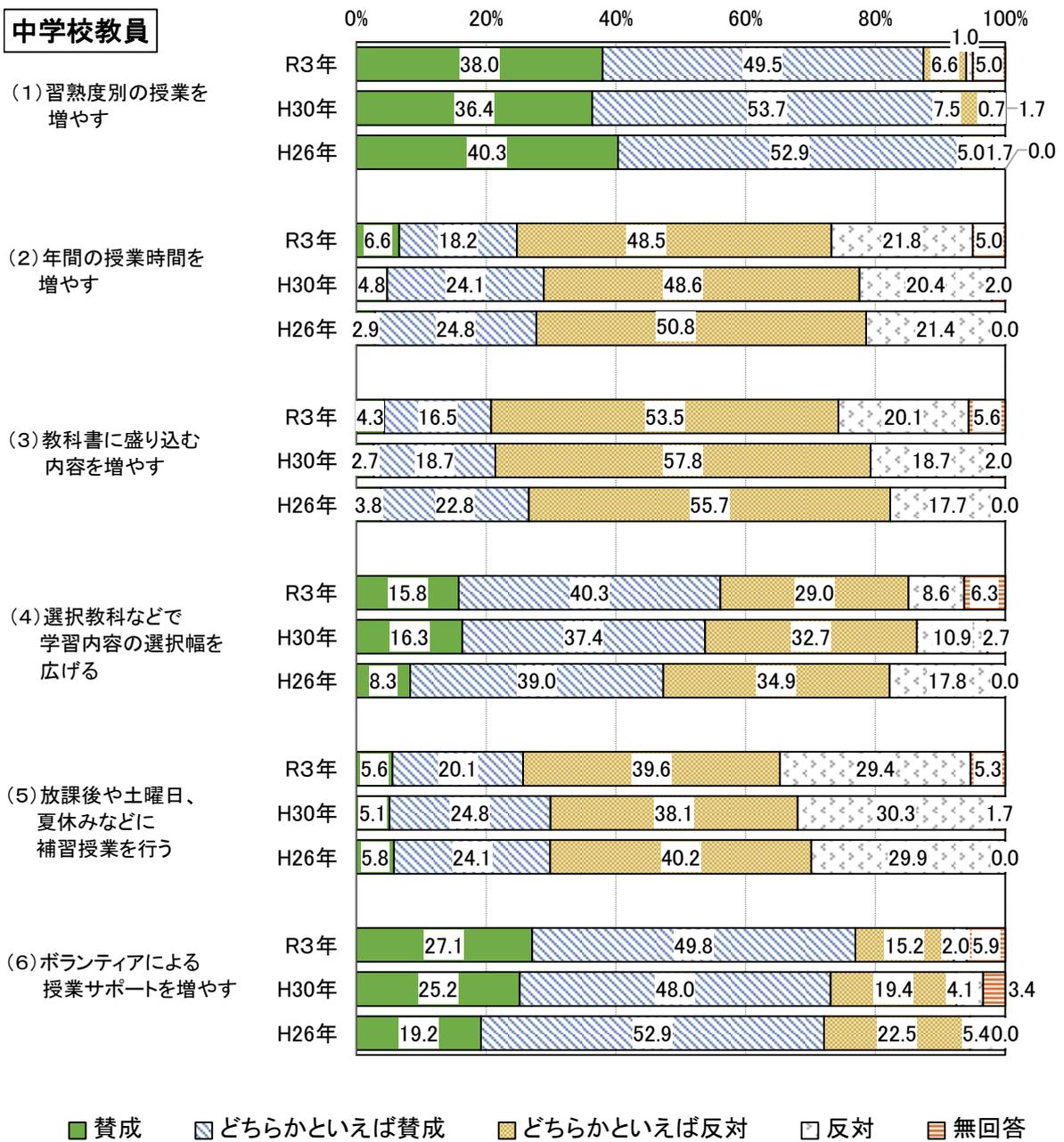


■ 賛成    ■ どちらかといえば賛成    ■ どちらかといえば反対    □ 反対    ■ 無回答

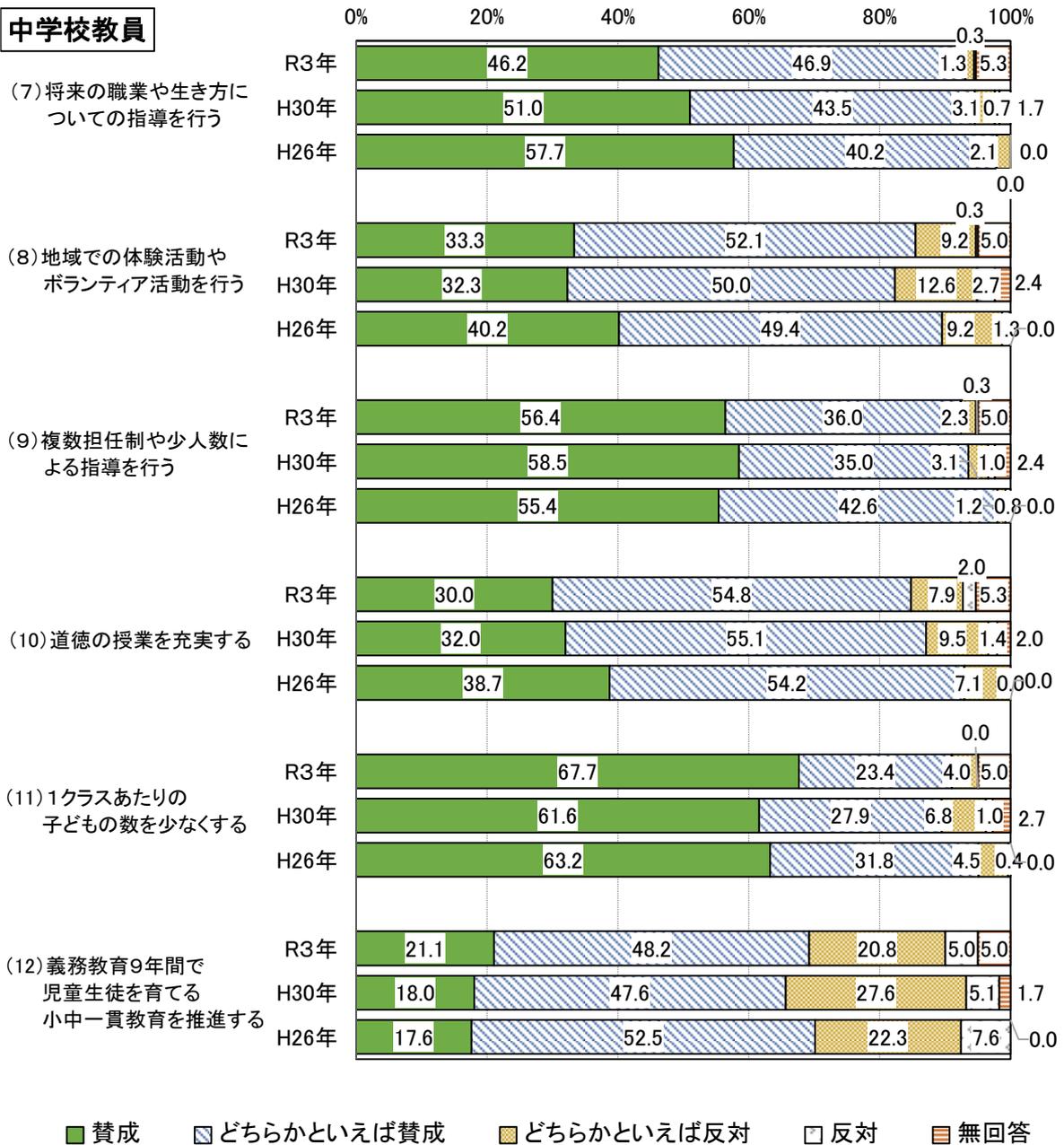
**小学校教員**



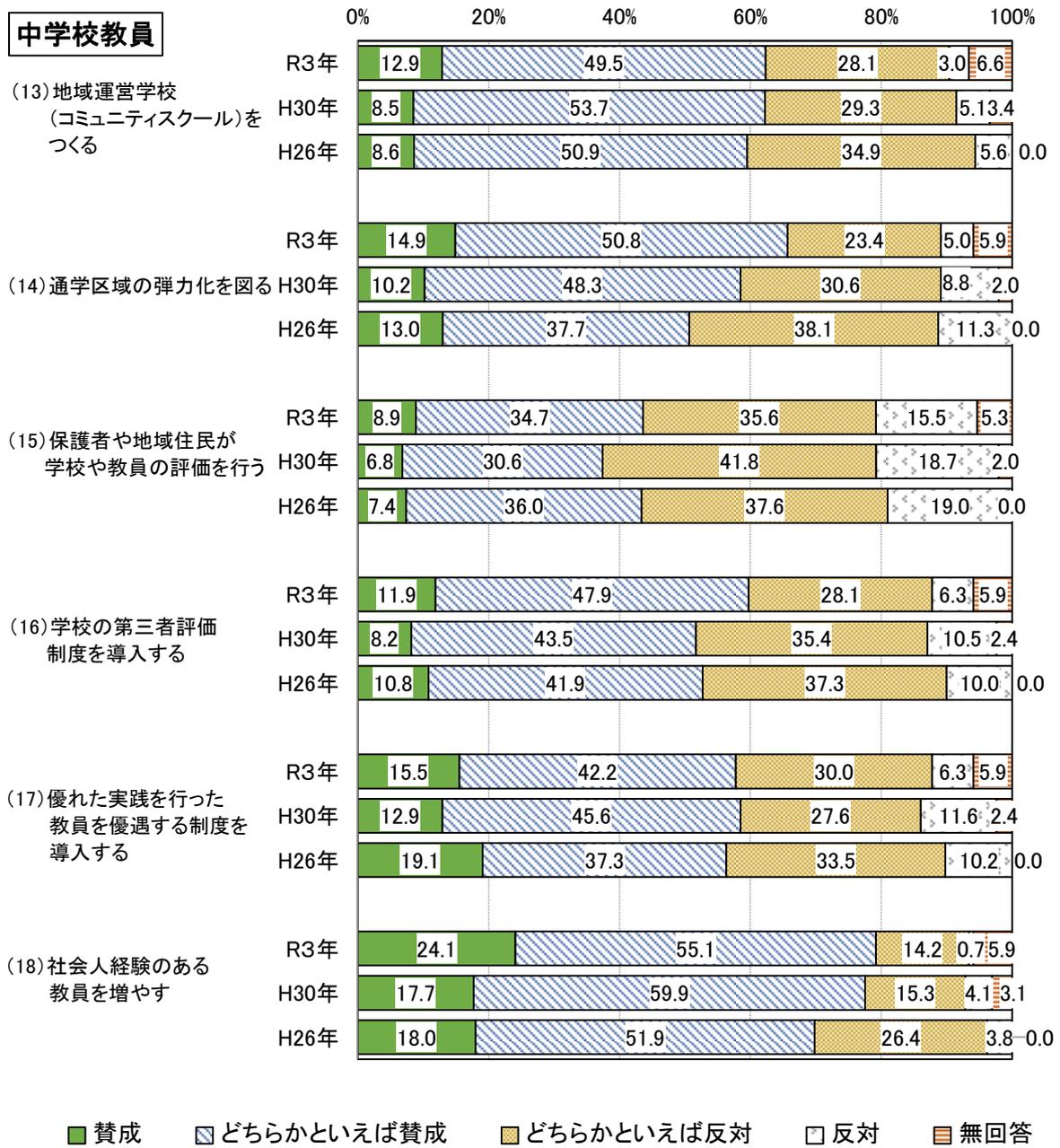
## 中学校教員



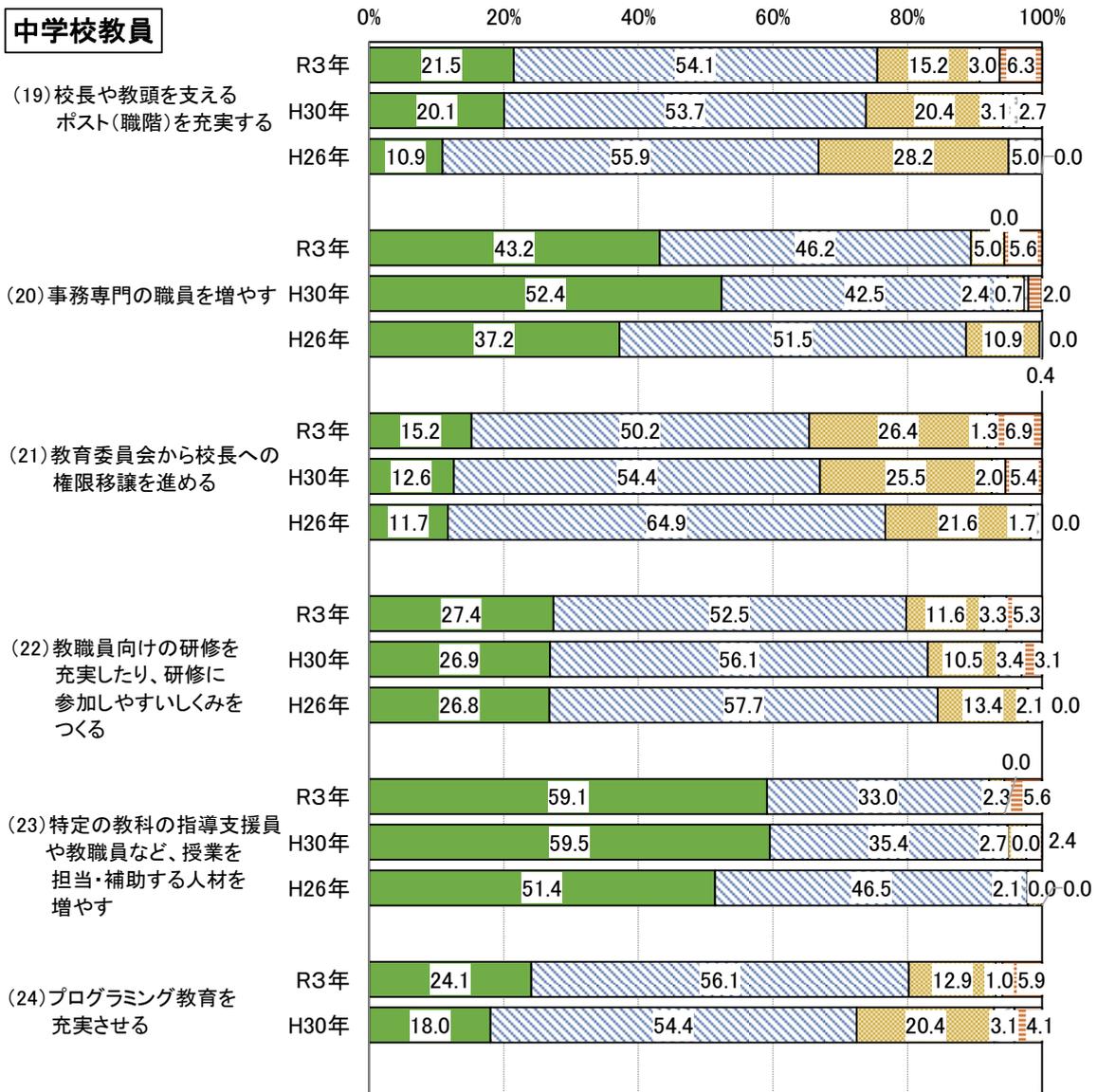
**中学校教員**



**中学校教員**

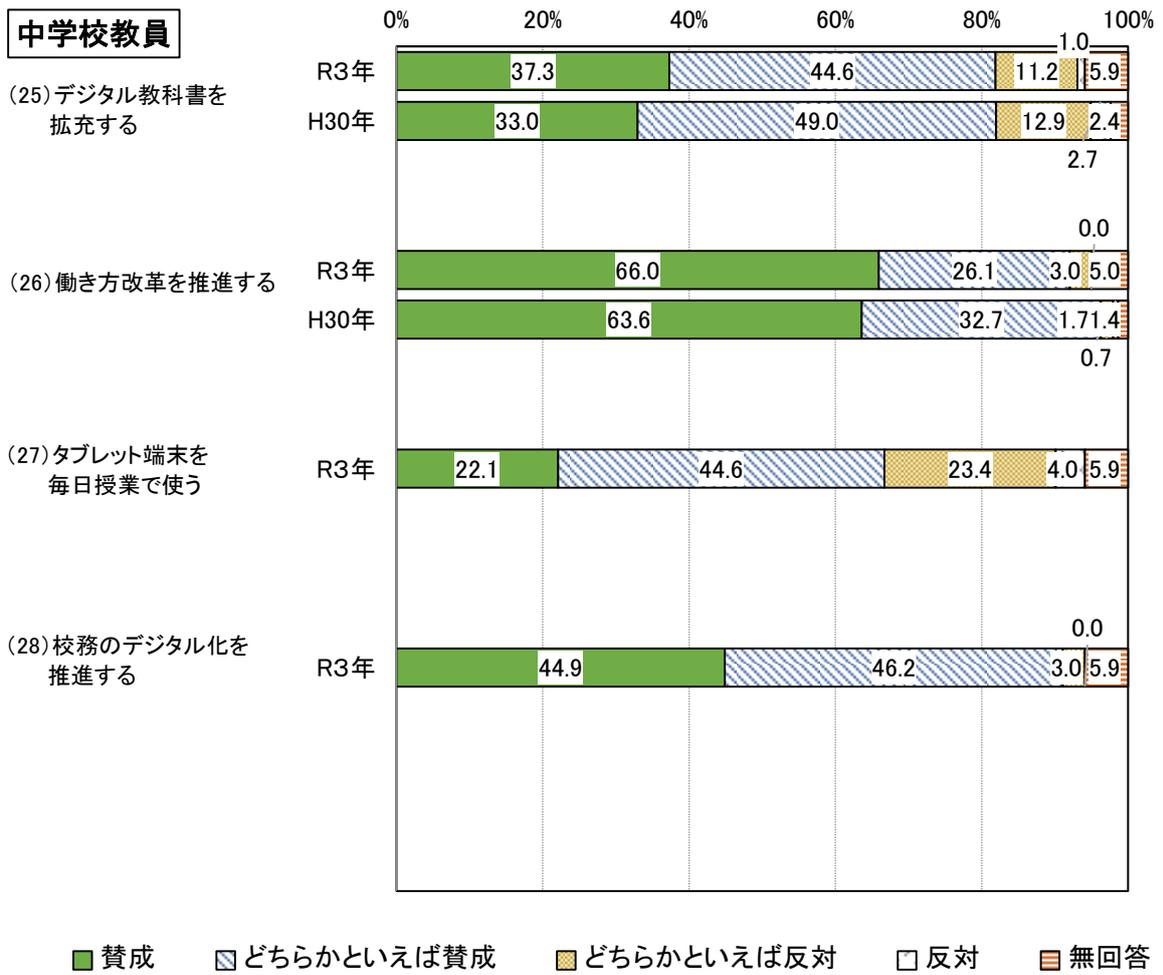


**中学校教員**



■ 賛成    □ どちらかといえば賛成    □ どちらかといえば反対    □ 反対    □ 無回答

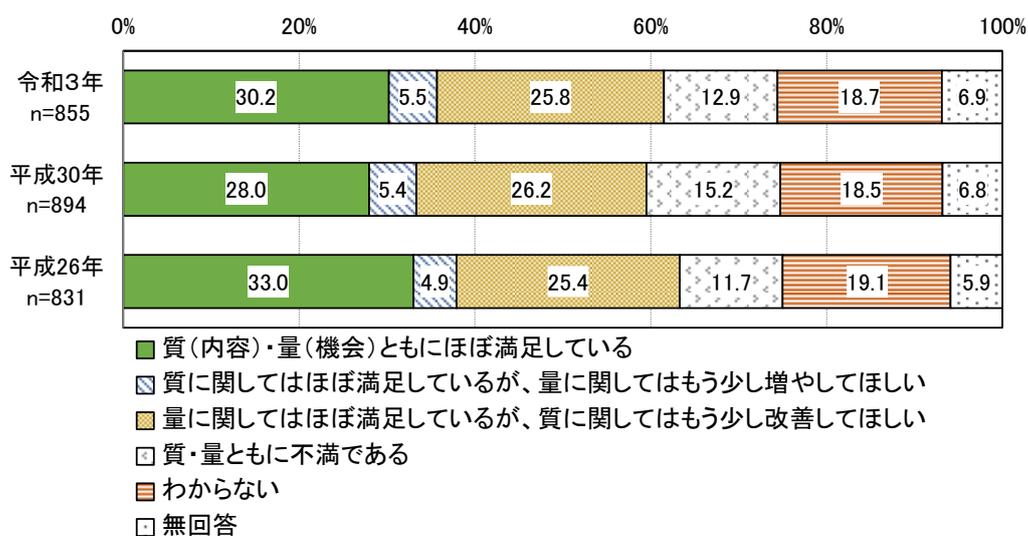
**中学校教員**



問 14 現在の教員研修制度についてどうお考えですか。(1つだけ○)

現在の教員研修制度については「質(内容)・量(機会)ともにほぼ満足している」が30.2%で最も多く、次いで「量に関してはほぼ満足しているが、質に関してはもう少し改善してほしい」が25.8%、「わからない」が18.7%、「質・量ともに不満である」が12.9%、「質に関してはほぼ満足しているが、量に関してはもう少し増やしてほしい」が5.5%などとなっています。

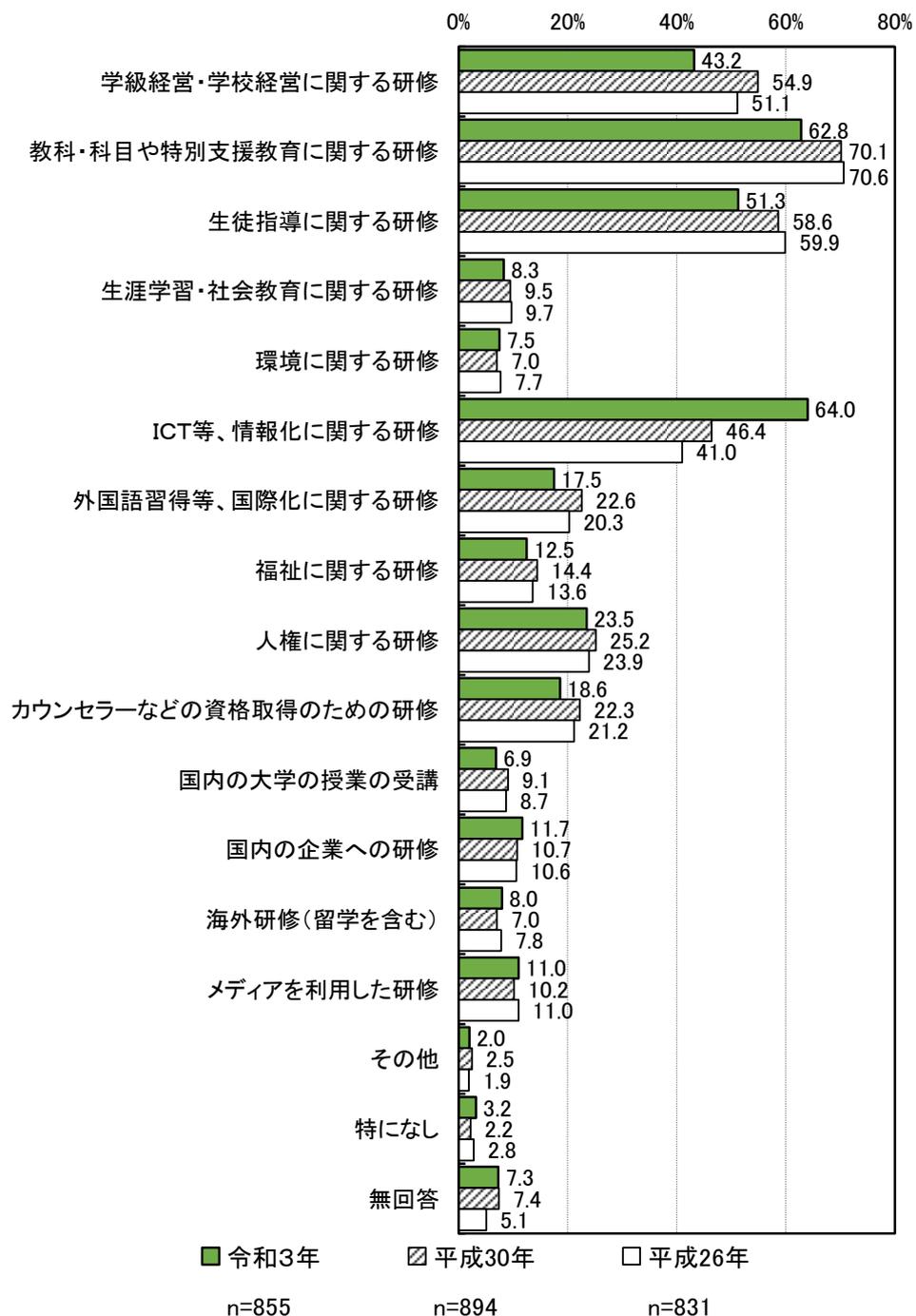
平成30年度の調査と比較すると、本調査では「質(内容)・量(機会)ともにほぼ満足している」が増加し、「質・量ともに不満である」が減少しています。



問 15 教員研修制度の内容・方法として特に重要だと思われるものは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

教員研修制度の内容・方法として特に重要だと思われるものについては、「ICT等、情報化に関する研修」が64.0%で最も多く、次いで「教科・科目や特別支援教育に関する研修」が62.8%、「生徒指導に関する研修」が51.3%、「学級経営・学校経営に関する研修」が43.2%、「人権に関する研修」が23.5%などとなっています。

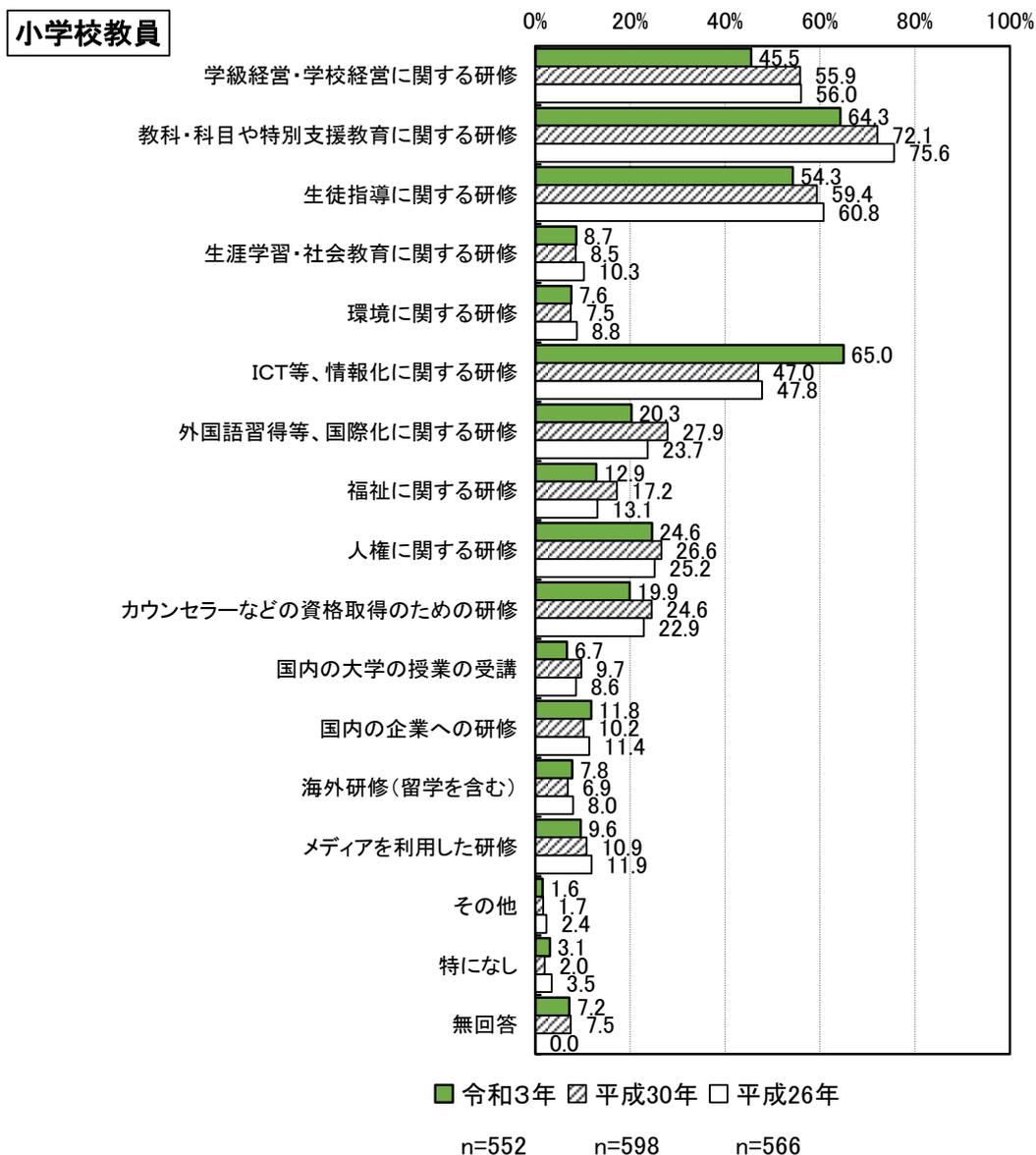
平成30年度の調査と比較すると、本調査では「ICT等、情報化に関する研修」が大きく増加しています。



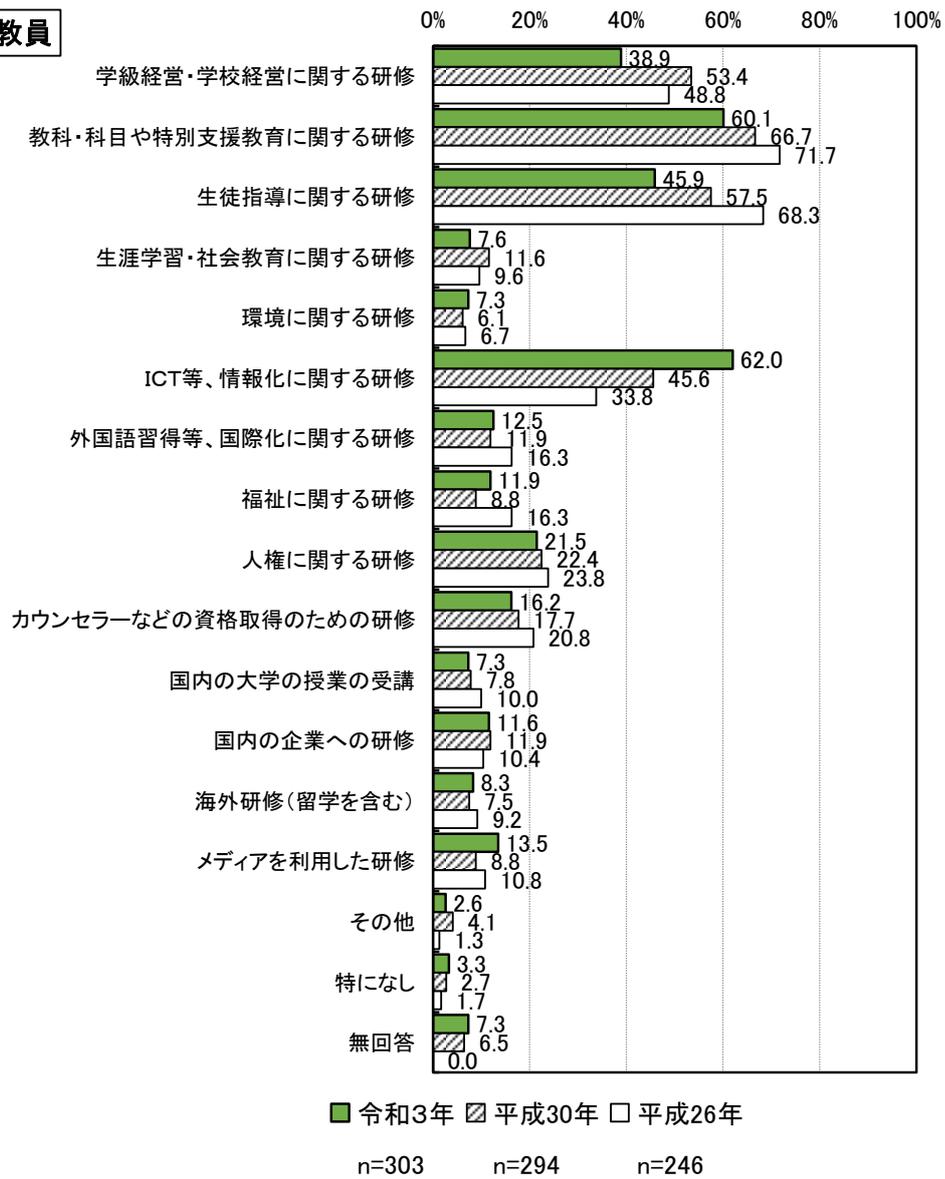
### 【勤務先別】

勤務先別でみた場合、“小学校職員”“中学校職員”ともに「ICT等、情報化に関する研修」が最も多くなっています。

平成30年度の調査と比較すると、「ICT等、情報化に関する研修」に対する割合が著しく増加しています。



中学校教員

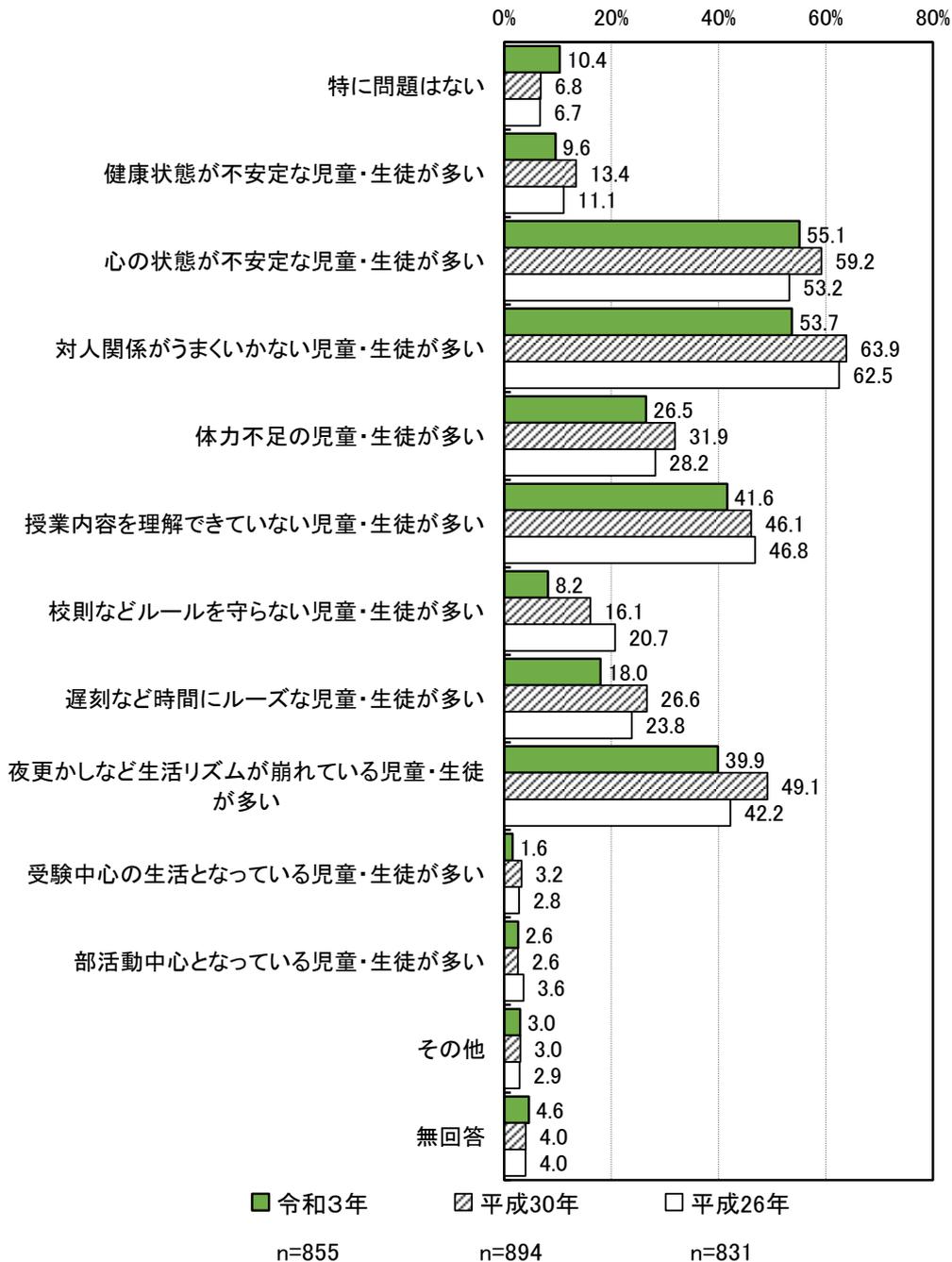


#### 4. 児童・生徒や地域との関わりについて

問 16 学校における児童・生徒の生活に関して問題だと思われる点があるとしたらそれは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

学校における児童・生徒の生活に関する問題については、「心の状態が不安定な児童・生徒が多い」が55.1%で最も多く、次いで「対人関係がうまくいかない児童・生徒が多い」が53.7%、「授業内容を理解できていない児童・生徒が多い」が41.6%、「夜更かしなど生活リズムが崩れている児童・生徒が多い」が39.9%などとなっています。

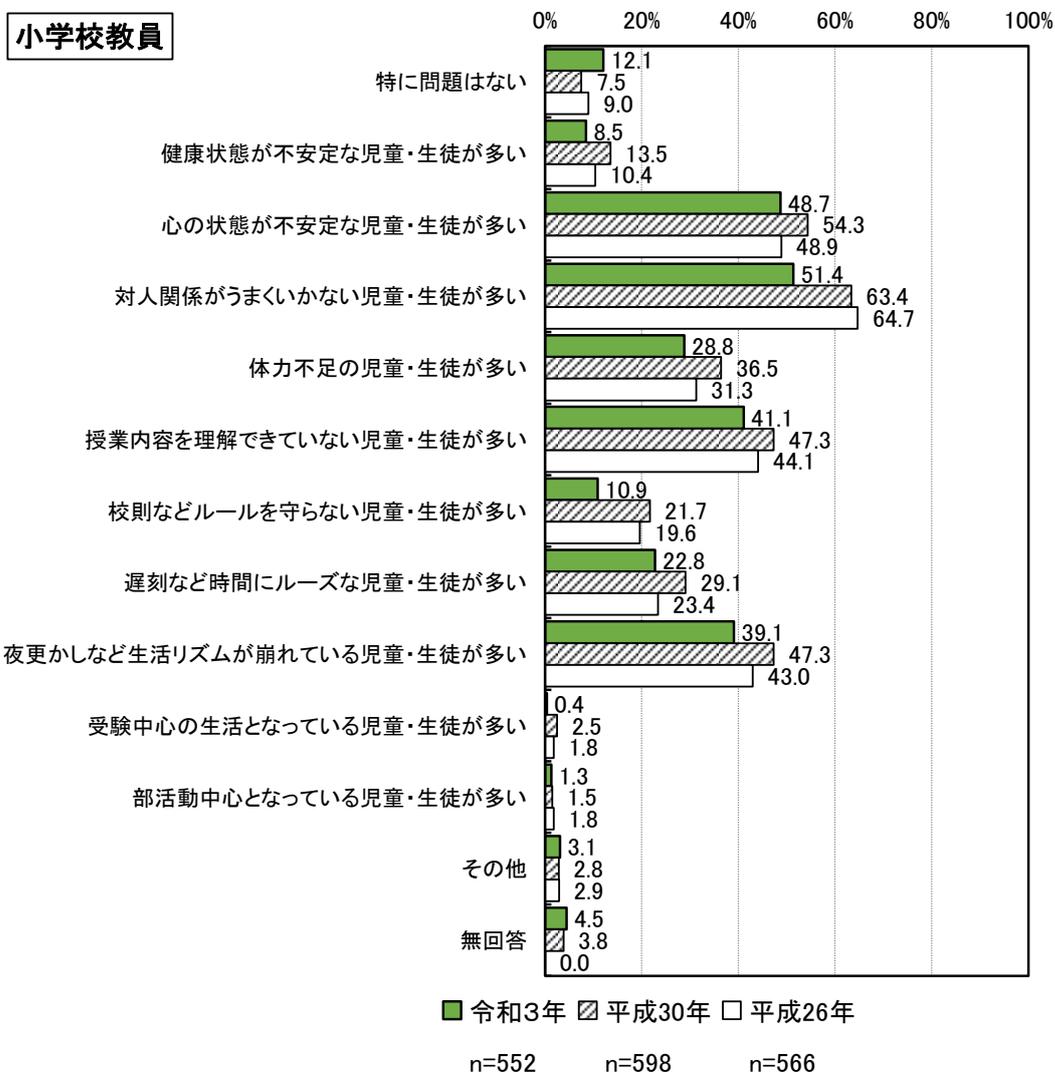
平成30年度の調査と比較すると、傾向に大きな変化はなく、全体的に割合が下がっています。



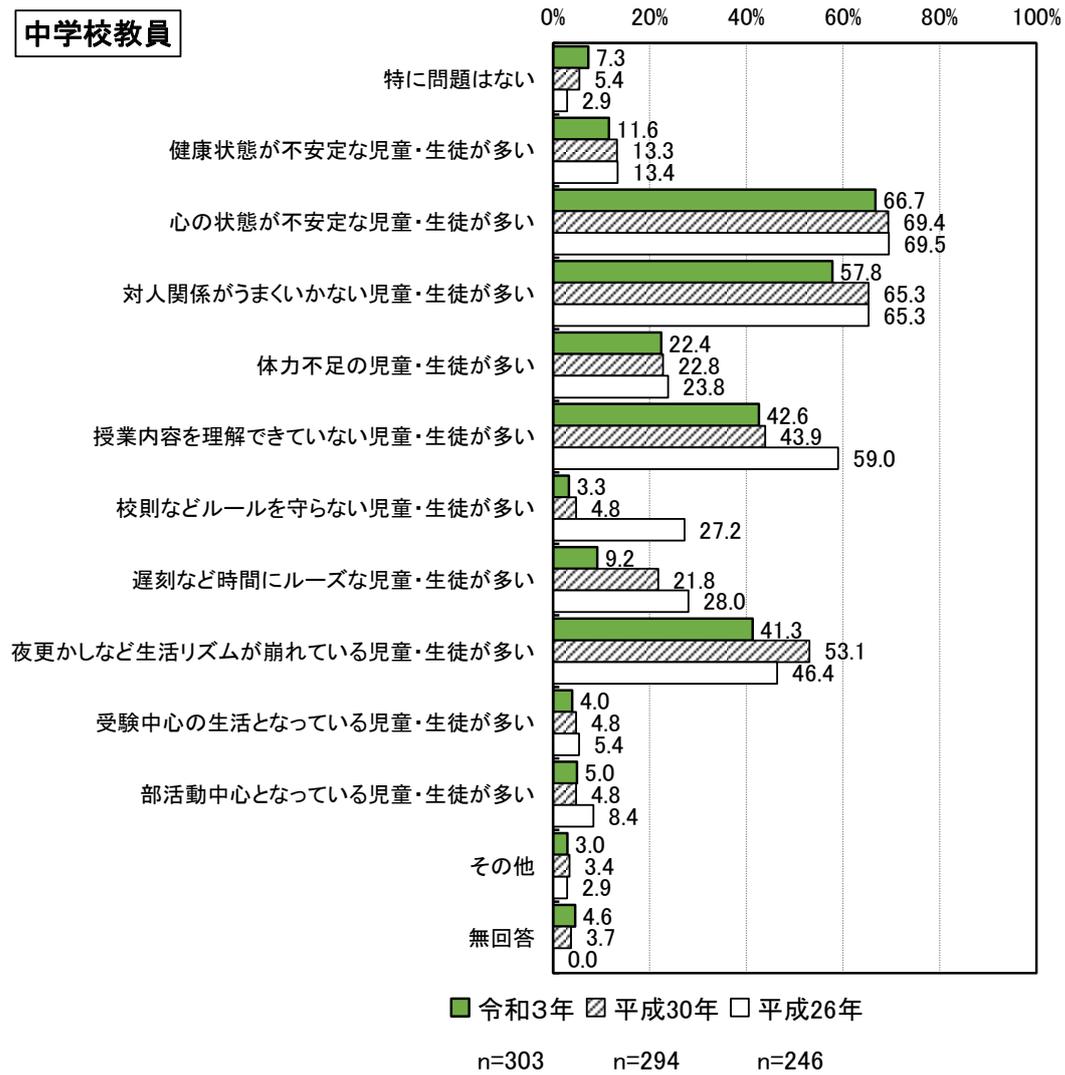
【勤務先別】

勤務先別でも、“小学校職員”“中学校職員”ともに全体と同じ傾向がみられますが、減少幅は、“中学校職員”より“小学校職員”のほうが大きくなっています。

また、「特に問題はない」は、“小学校職員”“中学校職員”ともに微増しています。



中学校教員

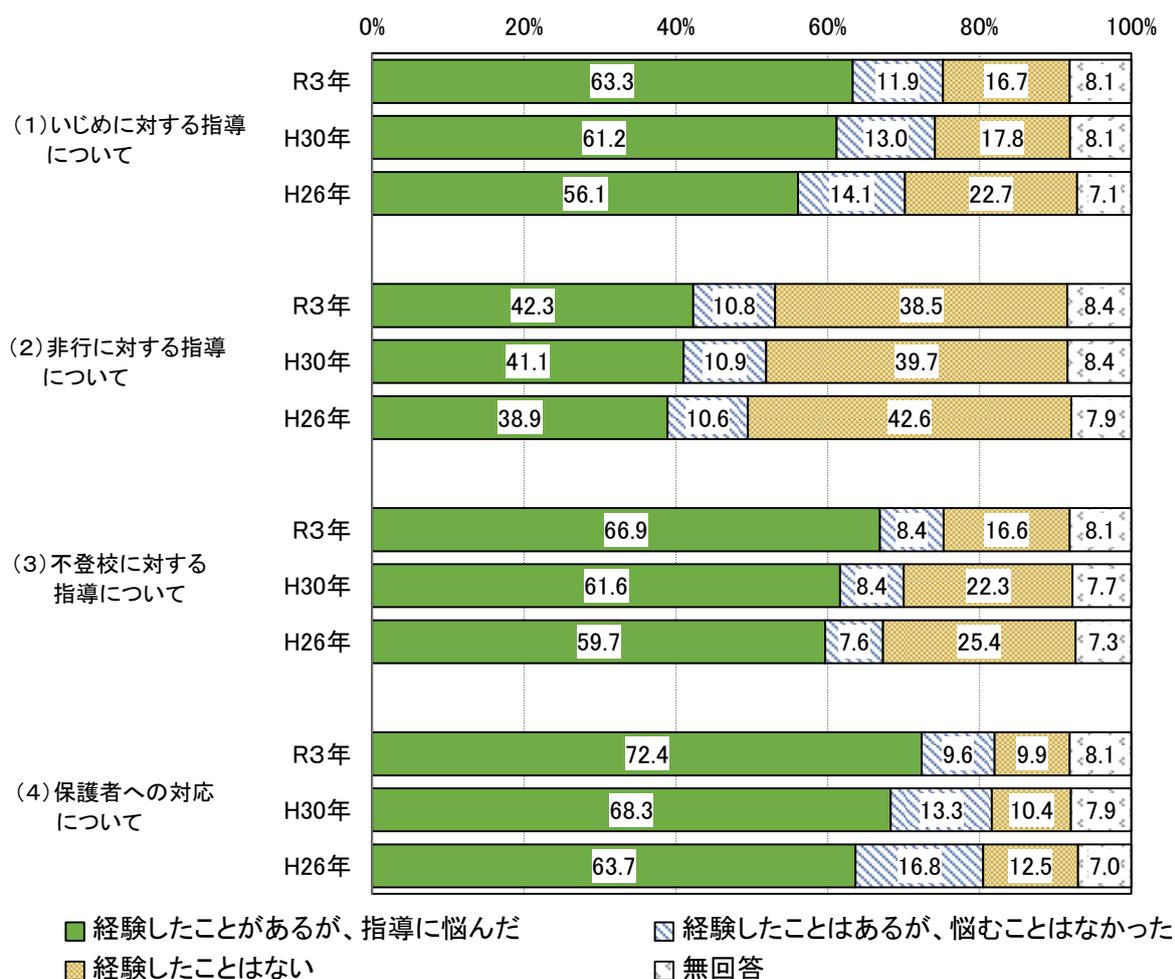


問 17 児童生徒の指導に関して、次のうち経験したことがあるものを選んでください。

(それぞれに1つずつ〇)

児童生徒の指導に関して経験したことについて、「経験したことはあるが、指導に悩んだ」では“(4) 保護者への対応について”が最も多く72.4%、次いで“(3) 不登校に対する指導について”が66.9%、“(1) いじめに対する指導について”が63.3%、“(2) 非行に対する指導について”が42.3%となっています。

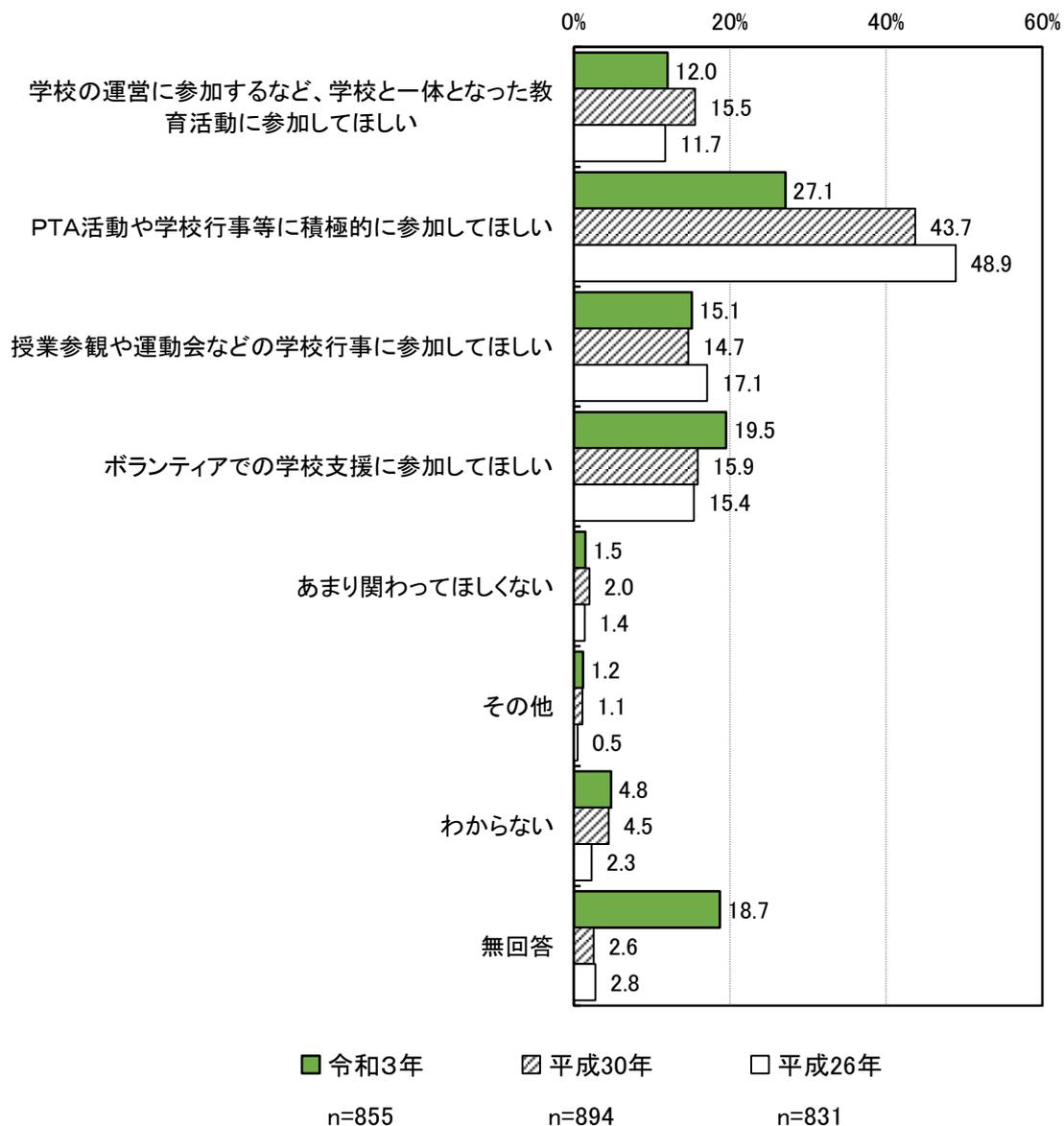
平成30年度の調査と比較すると、「経験したことはあるが、指導に悩んだ」は、すべての項目で増加しています。



問 18 保護者や地域の方には、学校の活動に対して、どの程度、関わってほしいと思いますか。(1つだけ〇)

保護者や地域の方の学校活動への関わりについては、「PTA活動や学校行事等に積極的に参加してほしい」が 27.1%で最も多く、次いで「ボランティアでの学校支援に参加してほしい」が 19.5%、「授業参観や運動会などの学校行事に参加してほしい」が 15.1%などとなっています。

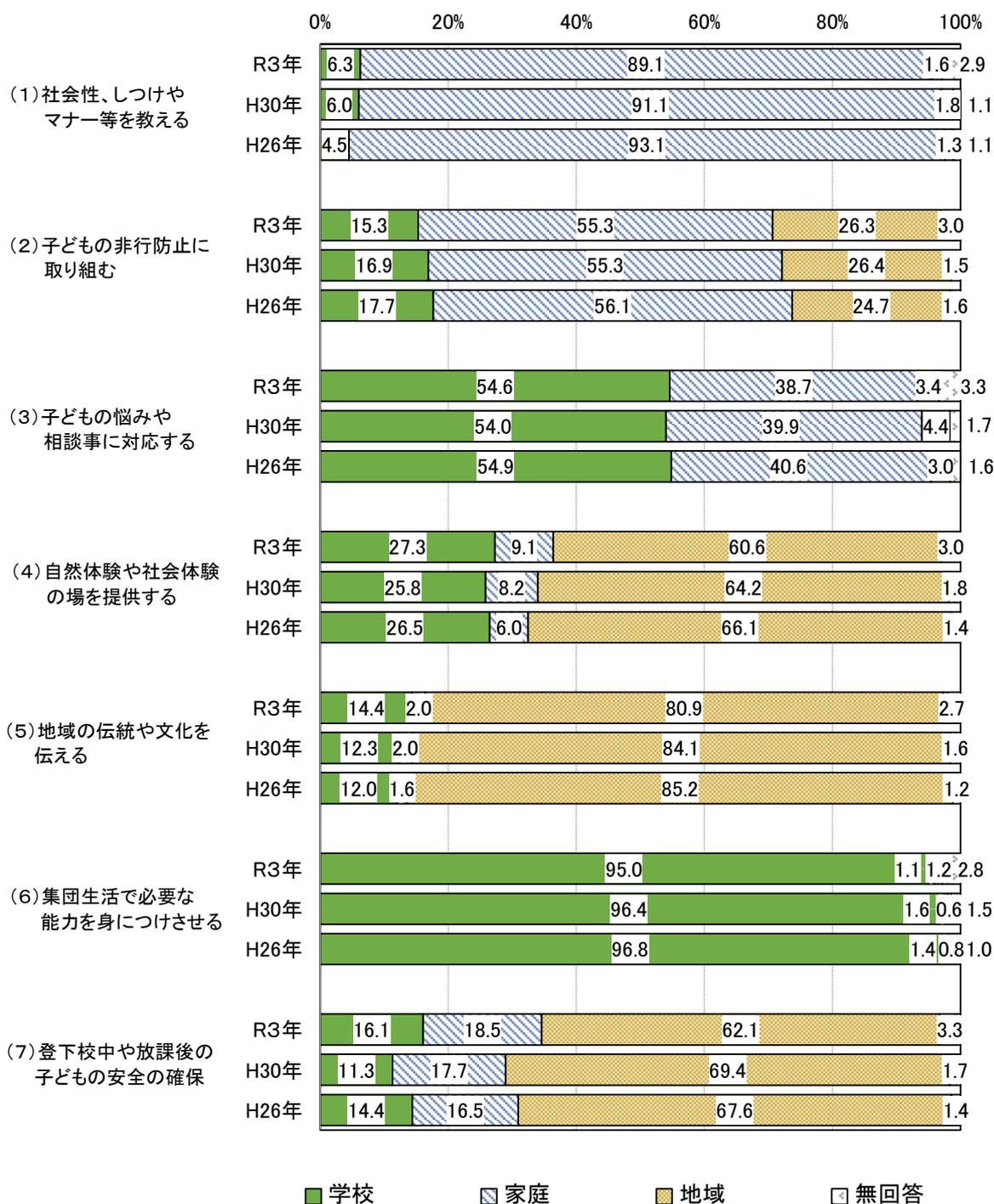
平成 30 年度の調査と比較すると、「PTA活動や学校行事等に積極的に参加してほしい」が大きく減少する一方、「ボランティアでの学校支援に参加してほしい」は増加しています。



問 19 あなたは、次のことについて、学校、家庭、地域のどこが中心となるべきだと考えていますか（それぞれに1つずつ〇）

学校、家庭、地域のどこが中心になるべきかについて、「学校」は“（6）集団生活に必要な能力を身につけさせる”の割合が最も多く、「家庭」は“（1）社会性、しつけやマナー等を教える”、「地域」は“（5）地域の伝統や文化を伝える”の割合が最も多くなっています。

平成 30 年度の調査と比較すると、“（4）自然体験や社会体験の場を提供する”“（5）地域の伝統や文化を伝える”“（7）登下校中や放課後の子どもの安全の確保”の「学校」の割合が微増しています。



## 成田市学校教育に関するアンケート調査報告書

発 行 成田市教育委員会

編 集 教育総務部教育総務課

〒286-8585 成田市花崎町760番地

電話 0476 (20) 1580

調査機関 Next-i 株式会社さいたま支店

発 行 令和4年3月

登録番号 成教総21-043

